

SHARP®

パーソナルモバイルツール

形名 **MI-E1**

取扱説明書

基本編



Zaurus

もくじ



情報ファイル

基本的な
使いかた



アクション
プランナー

基本操作

検索 /
絞り込み

文字入力

データ
編集



所有者情報



ユーザー設定



アドレス帳



メモリー管理



スケジュール



シークレット



アクションリスト



カード



フォトメモリー



バックアップ /
リストア



クイック
メモ



POJINK



インクワープ



データ
交換



MORE
ソフト



パソコンデータ



時計



買い替え
のお客様



電卓



付録

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または、もよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。

別添の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この『取扱説明書(基本編)』と別冊の『取扱説明書(通信ガイド)』、『取扱説明書(AVガイド)』をよくお読みになってからご使用ください。また、この『取扱説明書(基本編)』と別冊の『取扱説明書(通信ガイド)』、『取扱説明書(AVガイド)』は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役にたちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、ご使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き一切その責任を負いません。
- 当社は、この製品において内蔵機能(ソフトウェア) MOREソフトなどの追加ソフトウェアを使用された結果に関しては、いかなる保証も致しかねますので、あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。
なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者がこの製品の使いかたを誤ったときや静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
- 次のことを必ずお守りください。
重要な内容は必ず控えを取っておいてください。パソコン連携ソフト(別売のパソコン連携キットCE-PCK1に付属)や当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を使って、バックアップ(保管)することができます。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。



- この製品では、当社MI-EX1、MI-600/500シリーズ、MI-10用のPCカード、PI-8000/PI-6600/PI-6500/PI-6000/PI-5000/PI-4500/PI-4000/PI-3000用、PV-F1用や電子手帳用のICカードは使用できません。



- 本書をお読みになる前に
この製品に同梱の「はじめにお読みください」をご覧になり、この製品をお使いになる前の準備をしてください。
- この製品で利用できる周辺機器には、入手困難または現在生産されていないものが含まれています。すでに、周辺機器を入手されているお客様への説明として記載しているものもありますので、周辺機器のご購入に際しては、この製品をお買いあげの販売店にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

■ MI-E1 本体の取り扱いについて



警告

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 指定のACアダプターや充電電池をご使用ください。指定以外のACアダプターや充電電池などを使用すると、火災・事故の原因となります。



注意

- ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。



■ MI-E1 本体の取り扱いについて（続き）

注意

- SDメモリーカード(マルチメディアカードを含む)を取り外すときは、指でSDメモリーカードを押し込み、SDメモリーカードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがスロットに確実に装着されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。

SDメモリーカードを装着しているエンターテインメントスロットを顔の方に向けて、取り付けたり、取り外さないでください。急に指を離すと、SDメモリーカードが飛び出し危険です。



■ 充電電池の取り扱いについて

危険

- 充電電池(リチウムイオン充電電池)について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂の原因となります。
- MI-E1で利用できる充電電池は、AD-T51BTです。これ以外の充電電池は使用しないでください。
- プラスとマイナスの向きが決められています。MI-E1にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電電池の向きを確かめてください。
- 充電にはMI-E1および付属のACアダプター(EA-68)以外のものを使用しないでください。また、この充電電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。
- 直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所(60℃以上)に放置しないでください。
- 釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- 充電電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけないでください。
- 外傷、変形の著しい充電電池は使用しないでください。
- 分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
- 水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
- 端子をショートさせないでください。金属小物(鍵、アクセサリ、ネックレスなど)と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。
- 充電電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こす恐れがあります。



■ 充電池の取り扱いについて（続き）

警告

- 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。
 - ・ 電子レンジや高压容器に入れないでください。
 - ・ 水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。
 - ・ 充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
 - ・ 液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
 - ・ 充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。
- 充電池を誤って飲み込むことがないように、充電池は乳幼児の手の届かない所へ置いてください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。

注意

- 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
 - ・ 小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。
 - ・ 乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が MI-E1 から取り出さないように注意してください。
 - ・ 充電は必ず 5 ～ 35 の範囲で行ってください。
 - ・ 充電方法については、MI-E1 の取扱説明書をよくお読みください。
 - ・ 使用した後は、必ず使用機器（MI-E1）の電源を切ってください。
- 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。
- 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われるときは、充電池を本体に装着しないで買いあげの販売店にご持参ください。

■ AC アダプターの取り扱いについて

警告

- 表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。
- 付属のACアダプターをコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
- 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。
 - ・ ACアダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。
 - ・ ACアダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。
 - ・ お客様による改造や分解・修理はしないでください。
 - ・ ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
 - ・ ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。
 - ・ コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。
- 使用されないときには、安全のため、ACアダプターをコンセントおよびMI-E1本体から外しておいてください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。



■ AC アダプターの取り扱いについて（続き）

注意

- AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
 - ・ 周囲温度 0 ~ 40 、湿度 35 ~ 85% の範囲でご使用ください。
 - ・ 直射日光の当たる場所では使用しないでください。
 - ・ ほこりの多い場所に置かないでください。
 - ・ 重い物を載せたり、落下しやすいところに置かないでください。
 - ・ 電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。



■ ヘッドホンの取り扱いについて

警告

事故を防ぐために、次のことをお守りください。

- 自動車やバイク、自転車など運転中は、ヘッドホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げ過ぎないでください。特に、踏み切りや横断歩道などでは、十分に気をつけてください。



注意

- ヘッドホンで聞くときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



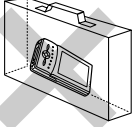
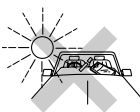
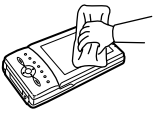
■ 付属 CD-ROM の取り扱いについて

警告

- 付属の CD-ROM は、一般オーディオ用の CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に被害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。



使用上のご注意とお手入れのしかた

 電源を入れたまま、コンパクトフラッシュメモリーカードやSDメモリーカード、マルチメディアカード（MMC）などの抜き差しはしないでください。 データが壊れたり正常に働かなくなることがあります。	 持ち運ぶときや使用しないときは、必ず液晶保護カバーを取り付けてください。 液晶保護カバーを取り付けずに持ち運ぶと、表示部が割れたり傷ついたりします。
 日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。 高温により、変形や故障の原因となります。	 落としたり、ズボンのポケットに入れたり、強いショックを与えないでください。 故障や破損の原因となります。
 ホコリの多い場所や湿度の高いところに置いたり、使用しないでください。 故障の原因となります。	 表示部は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。 汚れたまま画面にタッチすると傷つくことや、タッチペンのすべりが悪くなることがあります。
 お手入れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。 シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。	 表示部（画面）や液晶保護カバーを強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。 表示部や液晶保護カバーを傷めることがあります。

 本体の上に書類などをのせないでください。誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。	 突起部のある硬いものと一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。入れかたや取り扱いかた(誤って、ぶついたり落とすなど)によっては、液晶保護カバーや表示部の破損の原因となります。
 液晶保護カバーと本体の表示部の間に名刺やテレホンカード、ペンなどを入れないでください。液晶保護カバーの上から力が加わったときなどに表示部に荷重がかかり、表示部が割れたり傷ついたりします。	 防水構造になっていませんので、水など液体がかかる場所での使用や保存は避けてください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。
 使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。	



- この製品を落としたり、満員電車の中などで強い衝撃や力を加えないでください。表示部(画面)などの破損の原因となります。ハンドストラップなどをご利用になって落下しないようにしてください。

- この製品のデジタル携帯電話アダプター/cdmaOneアダプター/PHSアダプター機能は、日本国内での使用を目的に設計されておりますので、海外では使用できません。

The built-in PDC/cdmaOne/PHS adapter of this product are designed for use in Japan only.

They must not be used in any other country.

- この製品は使用誤りや故障により記憶内容が変化・消失する場合があります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。パソコン連携ソフト(別売のパソコン連携キットCE-PCK1に付属)や当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を使って、保管(バックアップ)することもできます。
- この製品は(戻る)(電源)キーを押すと電源が入ります。この製品に周辺機器を接続するときには、誤って電源が入らないように(戻る)(電源)キーを押さないようにして周辺機器を接続してください。
- 航空機内や病院内の一部など、デジタル携帯電話やPHSなどの使用を禁止された区域では使用しないでください。この製品は、デジタル携帯電話やPHSなどを接続して通信を行います。デジタル携帯電話やPHSなどは航空機内では使用が禁止されています。くわしくは、航空会社にお問い合わせください。また、医療機関内での使用については、各医療機関の指示に従ってください。胸部(胸ポケット)に入れて使用すると、ペースメーカーに悪影響を及ぼす場合があります。バッグなどに入れて携帯してください。
- タッチペンのペン先や画面の汚れを取って操作してください。汚れたまま操作すると、表示部に傷がついたり、ペンのすべりが悪くなることがあります。
- 画面タッチの操作は、付属または別売のタッチペンを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものは、使わないでください。表示部を傷つけます。



- 表示部や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオ、テレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。
- AC アダプターとラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、くわしくはもよりの販売店、またはシャープお客様相談窓口までご相談ください。

こんなことが できます

メールを便利に 使いましょう

メール

メールを受信すると着信音やランプで知らせる機能や、送受信したメールの自動分類、お知らせメールなど豊富な機能があります。また、データカード型PHSなどを接続して、タイマーをセットした時刻にメールの受信ができます。



(『取扱説明書(通信ガイド)』36、140ページ)

ムービーを 見ましょう

ムービープレーヤー

別売のMPEG-4 ビデオレコーダー(CE-VR1)を使って録画した動画データ(MPEG-4ファイル)を再生することができます(*1)。この製品を使って、録画しておいた番組を電車の中や屋外で楽しむことができます。



(『取扱説明書(AVガイド)』14ページ)

音楽を 聞きましょう

ミュージックプレーヤー

パソコンを使って音楽CDからMP3データを作り、SDメモリーカードなどに登録して、この製品で音楽を聞くことができます(*2)。好きな曲を集めたSDメモリーカードなどを作って楽しむことができます。



(『取扱説明書(AVガイド)』54ページ)

ホームページを 見ましょう

インターネット

インターネットに接続して、お気に入りのホームページを見ましょう。見ているホームページを取り込み、後でゆっくり見することもできます。



(『取扱説明書(通信ガイド)』66、170ページ)

*1: CE-VR1を使って動画データ(MPEG-4ファイル)を登録するには、SDメモリーカードまたはマルチメディアカード(MMC)、コンパクトフラッシュメモリーカードが必要です。

*2: MP3データは、SDメモリーカードまたはマルチメディアカード(MMC)、コンパクトフラッシュメモリーカードに登録して、この製品で再生します。

住所やメールアドレスを登録したり、毎日の予定を管理しましょう

日頃よく使うアドレス帳やスケジュールをいろいろな角度から管理することができます。

(☞109、137ページ)



アドレス帳/スケジュール

手書きのイラストやメモを書きましょう

手書きでイラストや地図を書いたり、手書メモをアドレス帳などに貼り付けたりできます。

(☞166、185ページ)



フォトメモリー/クイックメモ

大切なデータを保存しましょう

当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードやSDメモリーカードなどに、この製品で作成したデータを保存できます。

(☞266、276ページ)



カード/バックアップ/リストア

パソコンやほかのザウルスと通信しましょう

パソコン連携ソフトでパソコンとデータをやり取りしたり、ほかのザウルスと通信することができます。

(☞283、293ページ)



PCリンク/データ交換

便利な機能を使いましょう

このほか、登録したデータをファイルに分類したり、用件に優先度をつけるなど便利な機能が多くあります。

- ・「デジタルカメラ」
別売のデジタルカメラカード (CE-AG06) を使って写真を撮影する(☞取扱説明書「AVガイド」) 106ページ)
- ・「アクションリスト」
用件にランクをつけて登録する(☞161ページ)
- ・「インクワープロ」
手書きでメモをとったり、入力したインク文字をテキストにできる(☞189ページ)
- ・「電卓」
10桁までの計算ができる(☞211ページ)
- ・「アクションプランナー」
関連データを抽出する(☞226ページ)
- ・「MOREソフト」
ザウルス用のソフトが使える(☞201ページ)
- ・「時計」
世界の時間もわかる(☞208ページ)
- ・「情報ファイル」
各機能のデータを整理する(☞213ページ)
- ・「検索/絞り込み」
機能ごとに検索する(☞229ページ)

本書の見かた

1 はじめに

見出しと説明文を読み、これから操作する機能と目的を確かめます。

2 操作する

大きな操作ステップ(1、2、3...)

操作するステップが多いときなどに、大きなまとまりごとに、分けています。具体的な操作は小さな操作ステップに従って行います。

小さな操作ステップ(①、②、③...)

操作ステップに従って操作してください。簡単に操作できます。

3 くわしく

操作をマスターした後、メモの補足説明を読むと、さらに内容がよくわかります。

1

これから行う操作の概要や前提を確認します。

2

大きなステップ操作のひとまとまりを説明しています。

小さなステップ1つ1つの操作手順を①→②...の順番に説明しています。

タッチペンで操作できることを示します。

文字入力 基本

連文節を変換し別の漢字に変換する 連文節変換

この製品では連文節変換ができます。複数の文節の読みを入力して変換し、正しく変換された場合は(変換)キーを押してまとめて採用します。
正しく変換されないときは、(改行)採用 押-を押して先頭の文節から採用し、変換し直す文節を入力行の先頭に表示し、もう一度変換します。
変換する文節の区切りを変えるときは、次ページをご覧ください。

例 「あたらしいきかくをていあんする」を「新しい規格を提案する」に変換する場合

- 1 ひらがなの読みを入力し、漢字に変換します。
 - ① 読み「あたらしいきかくをていあんする」を入力する
 - ② (変換)キーを押す
- 2 文節 青色)ごとに変換した漢字を採用します。
 - ① (改行)採用 押-を押して、正しく変換された文節「新しい」を採用する
採用された文節
 - ② (変換)キーを押して、候補メニューを表示する
 - ③ 下の(改行)を押して、正しく変換された文節「規格を」を選択し、(決定)キーを押す
変換中の文節が採用される
 - ④ 同じようにして残りの文節も変換し採用する(ここでは、「提案する」は正しいので(変換)キーを押す)

※ 手順2の③で(決定)キーの代わりに(改行)採用 押-を押しても、選択した文節が採用されます。また(変換)キーを押すと、選択した文節と入力行に残っている文字がすべて採用されます。

棒引きしている箇所ので操作できることを示します。

3

操作するとき、知っているに役に立つ情報などを説明しています。

本書の表記

● ボタンやキーの表記

画面上のボタンなど ・ 作業を実行する **新規作成** などのボタンは、**新規作成** と表記します。

・ ホームインデックス1画面などに表示されるアイコンは、たとえば  では、**メール** アイコンと表記します。

・ 画面を切り替える **<詳細へ** などのボタンは、**<詳細へ** と表記します。

パネルのキー ・ パネルのキーは、**(決定)** キーなどと表記します。スクロールキーは、**(スクロール)** と表記します。また、スクロールキーは1つのキーで上下左右に押せます。「左右の **(スクロール)** を押すと」などの表記は、スクロールキーの中の左側/右側を押すことを表しています。

・  などキーの下に表示されている「電源」などの機能は、**(戻る)(電源)** キーと表記します。

スライド式キーボード ... ・ **(N)** などのキーは、**(N)** キーと表記します。

のキー ・ **(N)** などのキーの上に表示されている「新規作成」(緑色の文字)などの機能は、**(N)(新規作成)** キーと表記します。

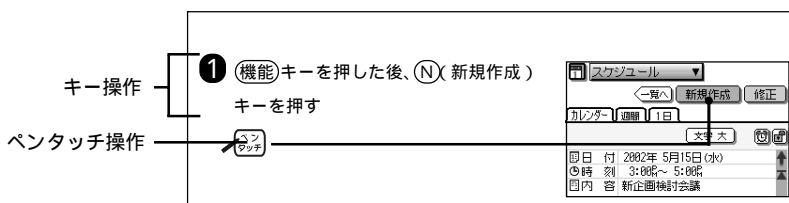
● 操作手順の表記

この製品を操作するには、次の2つの方法があります。

- ・ キーを押して操作する
- ・ タッチペンで画面にタッチして操作する

本書では、キーを使った操作を中心に説明し、キーを使えない操作では画面タッチ操作で説明しています。

また、「アドレス帳」の章の「始めましょう」など、基本的な使いかたを手順を追って説明している箇所では、操作手順をキー操作で説明し、タッチ操作は  マークで補足的に説明しています。



● タッチ操作の表記

1回または2回タッチする データなどに1回または2回タッチすることです。

- ・ 選択してオレンジ色などに表示されているデータなど ... 1回タッチする
- ・ 選択していないデータなど 2回タッチする

個人名	自宅電話
麻川 良哉	0427-32-83xx
粟津 晶	0429-25-36xx
伊藤 理佐	0272-23-12xx
大澤 敦	03-3984-12xx
大島 美由紀	048-802-12xx
岡田 紀子	06-6385-52xx
岡西 盛人	052-961-06xx
尾崎 優	0422-22-12xx
黒木 仁司	03-3410-37xx
森原 毅	045-671-28xx
小谷 茉莉	03-5478-50xx

→ 選択しているオレンジ色などの表示の部分に1回タッチすると、選ばれる

→ 選択していない部分に2回タッチすると、選ばれる

● マーク



... 補足的なことを説明しています。



... 大切なことを説明しています。



... 注意していただきたいことを説明しています。



... 画面にタッチする操作を説明しています。

● 表示画面

- ・ 本書に記載されている画面は、実際の製品で表示される画面とは異なる場合があります。
- ・ 実際の画面では、数字のゼロと英字のオーを区別するために、ゼロは「0」と表示されます。

はじめに	表紙の裏
安全にお使いいただくために	1
使用上のご注意とお手入れのしかた	6
こんなことができます	10
本書の見かた	12
本書の表記	13

基 本

基本的な使いかた

各部のなまえとはたらき	23
液晶保護カバーの取り外し/取り付け	26
スライド式キーボードを開く/閉じる	27
ホーム・キー操作をするときの持ちかたについ	
て	28
タッチペンの取り出し/取り付け	28
電源の入/切	29
ACアダプターの接続と充電について	32

基本操作

インデックス画面の表示と機能を選ぶ	33
インデックス画面の切り替え	35
ホーム・メニューでインデックス画面を変える	
には	36
ホームインデックス1画面	37
ホームインデックス2画面	38
システム設定画面	39
データ通信画面	40
MOREインデックス画面	41
本体機能インデックス画面	41
キーのはたらき	42
各キーのはたらき	42
操作メニューを使う	45
インデックス画面を編集する	47
インデックス画面でアイコンを追加・隠す・移動	
する	47

オリジナルインデックス画面を作る	49
電源を入れたときや(ホームインデックス)キー	
を押したときの画面を変更する	50
電源を入れたときに表示される画面を変更する	
.....	50
(戻る)キー、(ホームインデックス)キーで表示	
する画面を変更する	51
文字を拡大して表示する	52
画面各部のなまえと操作	53
お好みメニューを設定する	59
お好みメニューにメニューを登録する	59
(スクロールキー)を使う	61
(決定)キーを使う	64
(戻る)(電源)キーを使う	66
(順送り)キー、(逆送り)キーを使う	66
キーボードから操作する	67
次に行う操作を教えてくれる	68
次に行う操作を教えてくれる	68

文字入力

入力ボードの種類	70
入力ボードの概要	70
入力できる文字と入力ボード	72
入力ボードの切り替え	73
キーボードの基本操作	76
キーの役割	76
基本的な操作	78
キーボードで入力する	79
ローマ字でひらがなや漢字を入力する	79
ホーム・入力中の読み(ひらがな)を修正するには	
(入力行での修正)	84
ホーム・採用した文字を修正するには	
(入力項目での修正)	85
連文節を変換し別の漢字に変換する	
..... 連文節変換	86
文節の区切りを変えて変換する	
..... 文節区切り変換	87
音読み/訓読みから漢字に変換する	
..... 音訓変換	88

㊦・漢字変換中に修正するには	89
㊦・変換できない漢字(固有名詞など)を音訓変換する	90
手書認識ボードで入力する	91
文字を手書きする	91
手書きのひらがなを漢字や連文節などに変換する	96
㊦・採用されたひらがなを漢字にする ..	96
㊦・文字変換時のキーボードのキーと手書認識ボードのボタン	97
数字入力ボードで入力する	98
記号入力ボードで入力する	99
50音ボードで入力する	100
タイプライターボードで入力する	101
その他の入力ボードで入力する	103
インクワープ参照ボード	103
インク文字ボード	103
区点入力ボード	104
常用語ボード	104

所有者情報

所有者情報を登録する	106
------------------	-----

情報を管理/活用する

アドレス帳

始めましょう

アドレス帳にデータを入れる	110
アドレス帳のデータを見る	116
個人名から個人の電話番号などを見る ..	116
個人名から会社の電話番号などを見る ..	118
会社名から個人の電話番号などを見る ..	119
データを修正する	121
データを削除する	121

連絡をとる予定と連絡先を入れる	122
..... コンタクト登録 ...	122
連絡をとる予定を入れる	122
スケジュール画面で連絡をとる内容を見る ..	124
連絡をとった履歴を見る	124
メールアドレスを入力する	125
..... メールアドレス ...	125
2種類以上のメールアドレスを入力する ..	125
複数のメールアドレスをグループ登録する ..	127
住所や郵便番号を調べる	128
郵便番号から住所を入力する	128
..... 郵便番号変換	128
住所から7桁の郵便番号を入力する	129
..... 郵便番号逆変換	129
一覧画面で表示項目や項目の表示幅を変える ..	130
アドレス帳から電話をかける	131
写真をつける	133
..... フォトメモリーから写真を貼り込む	133
..... アドレス帳に貼り込まれた写真を見る ..	135
季節のやり取りを記録する	135
..... チェックリスト ...	135
会社名を変える	136
..... 会社名変更 ...	136

スケジュール

始めましょう

予定を入れる	137
ある日の予定を入れる	138
日をまたがる予定を入れる	141
予定を確かめる	142
..... ㊦・1週間のつまり具合を見るには(週間グラフ画面)	145
予定を修正する	145
予定を削除する	146
簡単に同じ予定を作る	147
..... 同じ予定を決まった日に入れる	147
..... 繰り返し ...	147
..... 同じような予定を作る	148

データを移動・複写する	148
年月日を指定して予定を表示する	年月日指定 ... 149
休日を設定/解除する	150
毎週ある曜日を休日に設定/解除する	曜日単位 ... 150
ある日を休日に設定/解除する	1日単位 ... 151
表示を変える	152
月曜日を週の始まりにする	カレンダー開始曜日 ... 152
アクションリストのデータを表示/非表示にする	152
メールのデータを表示/非表示にする	153
記念日を登録する	記念日 ... 154
毎年決まった日を記念日にする	記念日(月日) ... 154
ある月の何週目の何曜日を記念日にする	記念日(月/週/曜) ... 155
登録した記念日データだけを見る/削除する	156
記念日を見る	表示 ... 156
記念日を削除する	削除 ... 157
時刻前にアラームを鳴らす	スケジュールアラーム ... 158
アラームを設定する	158
アラームの時刻になると	159
アラーム音を一時的に鳴らさないようにする	159
アラーム音を変える	160
アラームを解除する	160

アクションリスト

要件にランクをつけ登録する	新規作成 ... 161
未処理の要件を確かめチェックする	162
フォーム・一覧画面の「アクション」項目で文字数を増やして見やすくする	165

メモする/記録する

フォトメモリー

始めましょう

手書きでメモを書く	新規作成 ... 167
メモを見る	170
データを修正する	171
データを削除する	171
ツールを使う	172
データを編集する	174
指定した範囲のデータを移動・複写・削除する	174
指定した範囲のデータを回転・反転させる、文字を入力する	175
写真などの画像をアドレス帳に貼る	176
画質を調整する	176
画像調整・減色・画像効果	176
表示を変える	178
フルスクリーン表示・縮小表示にする	178
スライドで連続して見る	179
スライドショー	179
路線図、出口案内のデータを利用する	182
オープニング画面にデータを表示する ...	183
フォトメモリーでの画像データの扱いについて	184

クイックメモ

新しくクイックメモを書く	185
クイックメモを見る	187
クイックメモを取り除く・修正・削除	188

インクワープロ

手書きでメモを書く	189
画面に直接書く	190
インク文字ボードから手書きする	191
データを見る	192
データを編集する	193
文字やブロックを削除する	193
ジェスチャーを使う ジェスチャー	194
文字に下線・色をつける	196
..... 下線・カラー	196
インク文字をテキスト文字にする	197
..... 清書	197
インクワープロの各種設定	198
インクワープロの使いかたを設定する	198
..... インクワープロ設定	198
ジェスチャーの書きかたを設定する	198
..... ジェスチャー設定	198
清書するときのテキスト文字を設定する	200
..... 清書機能設定	200

機能を追加する

MOREソフト

ほかのソフトウェアを利用する	MOREソフト ...	202
MOREソフトを読み込む		202
MOREソフトを展開する		204
MOREソフトを実行する		205
MOREソフトを停止する		205
MOREソフトを削除する		206
MOREドライバーを組み込む		207
MOREドライバーを取り外す		207

時計/電卓を使う

時 計

時計を使う	208
時刻を調べる 基準時計・世界時計	208
時計を合わせる	時刻設定 ... 209
基準時計の都市を変える	基準都市 ... 209
世界時計の都市を変える	世界都市 ... 209
毎日同時刻にアラームを鳴らす	デイリーアラーム 210
サマータイムをセットする	サマータイム 210

電 卓

計算する	211
------------	-----

データを整理する/探す/編集する

情報ファイル

いろいろなデータを集める	整 理 ... 214
新しいファイルを作る	新規作成 ... 214
1.各機能からデータを集める	登 録 ... 215
2.「未分類データ」ファイルからデータを集める	移 動 ... 216
ファイルを開き、データを見る ... 表 示 ...	217
3.各ファイル内で、機能ごとに絞り込んで表示するには	219
ファイルに整理したデータを各機能から見る	220
集めたデータを別のファイルに移動・複製する	221
データを別のファイルに移動する	221
データを別のファイルに複製する	222

ファイル・情報ファイルのデータを除外するとき は	222
ファイルを編集する	223
ファイルの位置を変える	移動 223
ファイルの中身を含めて複製を作る	複製 223
ファイルを削除する	削除 224
ファイルのタイトル名や縦書き/横書き、色を変える	ファイルタイトル変更 224
ファイル・情報ファイルに整理したデータについ て	225
ファイル・各機能で、情報ファイルに分類されている データをまとめて削除する	225

現在の日付・時刻を入力する	日付スタンプ・時刻スタンプ 238
複写・切り取り・貼り込み	239
文字列を移動・複写する	239
1データを移動・複写する	240
各機能間でのデータの移動・複写について	241
複製	241
他機能の数字を使って電卓で計算する	242
データの修正・削除	244
データの修正	244
データの削除	244

データを管理/設定する

アクションプランナー

関連するデータを選び出す	226
指定した語句に関連するデータを抽出する	226

検索/絞り込み

データの探しかた	229
各機能ごとの検索	230
絞り込み	233
アドレス帳、スケジュールで絞り込む	233
なぞってキーワード検索	234

データ編集

操作メニューを使った文字の変換	235
旧字体などに変換する	異体字変換 235
ひらがな→カタカナに変換する	ひら→カタ変換 235
全角→半角に変換する	全角→半角変換 236
郵便番号を住所に変換する	郵便番号変換 237
入力している住所から郵便番号を調べる	郵便番号逆変換 238

ユーザー設定

使いやすい設定に変える	ユーザー設定 245
フロントライト/自動節電機能を設定する	フロントライト/省電力設定 246
タッチ音などを入/切する	サウンド設定 247
タッチパネルを調整する	タッチパネル調整 248
ツールパレットの消しかたを設定する	ツールパレット設定 249
メール着信時の通知のしかたを設定する	メール着信通知設定 250
使用するメモリーカードを設定する	カード設定 251

メモリー管理

メモリー使用量と登録件数を確かめる	252
メモリーがいっぱいになると	254
さらにデータを入れられるようにする	メモリー整理 255

すべてのデータを消去する	全データ消去 ... 256
シークレットデータを消去する	シークレットデータ消去 ... 256

シークレット/全機能ロック

データを秘密にする	シークレット機能 ... 257
パスワードを登録する	シークレット設定 ... 257
データをシークレットにする	シークレットデータ ... 259
シークレットデータを見るようにする	259
一時的にシークレットデータを見る	一時解除 ... 259
データのシークレットを解除する	260
一時的に解除したシークレット機能をもう一度設定する	260
ㄗㄏ・メモリーカードのデータをシークレットにしたいときは	261
この製品を他人が使えないようにする	全機能ロック ... 262
全機能ロックを設定する	全機能ロック設定 ... 262
全機能ロックしたこの製品を使う	一時解除 ... 264
全機能ロックを解除する	264
パスワードを変更・消去する	265
ㄗㄏ・パスワードを忘れてしまったときは	265

データを保存する

カード

インターネットスロットへのカードの取り付け/取り外し	267
コンパクトフラッシュメモリーカードなどを取り付ける	267
コンパクトフラッシュメモリーカードなどを取り外す	268
エンターテインメントスロットへのカードの取り付け/取り外し	269
SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を取り付ける	269
SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を取り外す	270
本体のメモリーを拡張する	271
データの登録先を切り替える	271
本体のデータをバックアップしたり、カードに複製する	273
カードデータロック機能について	274
カードデータロック機能とは	274
カードデータロックの状態と解除方法	275

バックアップ/リストアとカード複製

全データをカードへ保管(バックアップ)する	277
全データをカードにバックアップする	バックアップ ... 278
バックアップしたデータを呼び出す	リストア ... 279
ほかのMI-E1へ全データを送信する	280
機能別にカードへデータを複製する	機能別複製 ... 281
本体のデータをカードに複製する	本体→カード ... 281
カードのデータを本体に複製する	カード→本体 ... 282

ほかの機器と通信する

パソコンとの連携(PCリンク)

通信方法について	284
Powerリンク、PowerPIMMリンクを使う	285
通信時のご注意などについて	288
パソコンリンクを使う	289
PC送信箱/PC受信箱を使う	291
PC送信箱にデータを入れる	291
PC受信箱で受信したデータを確認する	292

データ交換

通信方法、通信できる機種	293
光通信でほかのザウルスなどと通信する	295
光通信のしかた	295
ザウルスどうして光通信する	296
ザウルスと通信するときの制限事項	299
液晶パッドPA-Z900と光通信する	303
IrTran-P方式で光通信する	304
通信する範囲と開始画面	305
ケーブルでほかのザウルスと通信する	307
接続のしかた	307
オプションポート16の条件を設定する	307
通信のしかた	308
「書院」と通信する	309
フォトメモリーのデータを転送する	309
エラーについて	310

パソコンデータの読み込み(インポート)と 送り出し(エクスポート)

読み込み(インポート)と送り出し(エクスポート)について	311
データのやり取り	311
扱えるデータ形式	312
取り込んだデータを読み込む(インポート)	312
作成したデータを送り出す(エクスポート)	314
パソコンデータ画面で受信・削除する	315

付 録

買い替えのお客様へ

PIシリーズのザウルスからデータを移すには	316
MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズからデータを移すには	319
すべての機能のデータを受信したいとき	320
特定の機能のデータのみを受信したいとき	323

付 録

異常が起きたとき	324
プログラム実行中に異常が発生したとき	324
リセット操作	325
データ異常と初期化	325
初期化する	326

もくじ

もくじ

充電電池を充電する	328	補足説明	373
充電電池を充電する時期	328	「ボスマガビューア」MOREソフトを利用する	373
充電電池の残量を確認する	328		
充電電池 (AD-T51BT) を充電する	329		
充電電池について	332		
充電電池の交換手順	335		
手書認識について	336		
ローマ字→かな変換表	341		
キーボード、タイプライターボード	341		
手書認識できる文字の表	342		
手書認識できるJIS第2水準漢字	342		
手順作成用コマンドについて	346		
記述のしかた	346		
コマンドリファレンス	346		
仕様	348		
さくいん	353		
アフターサービスについて	359		
困ったときは	360		
Arcstar internetFAX (旧称テガルス) を使って FAX送信する	363		
キー操作一覧	364		
各機能共通	364		
メール	366		
その他の機能	372		

● 買い替えのお客様へ

今までほかのザウルスやコミュニケーションパルをお持ちになっている場合、それらに入力しているデータをこの製品に移して使用することができます。

本書の「買い替えのお客様へ」(☞316ページ)をご覧ください。

買い替えのお客様で、MI-P10などですでに使っていたコンパクトフラッシュメモリーカードをこの製品に装着してお使いになる場合、「ユーザー設定」の「カード設定」で「CFメモリーカード」に指定してください。「カード設定」については、251ページをご覧ください(工場出荷時、「カード設定」で指定しているメモリーカードは、「CFメモリーカード」になっています)。

● この製品をお使いになって

この製品をお使いになって、「インターネットに接続できない」や「メールの送受信ができない」など困ったときは、『取扱説明書(通信ガイド)』の「よくあるお問い合わせ」、「困ったときは」(☞『取扱説明書(通信ガイド)』205～225ページ)および本書の「困ったときは」(☞360～362ページ)をご覧ください。

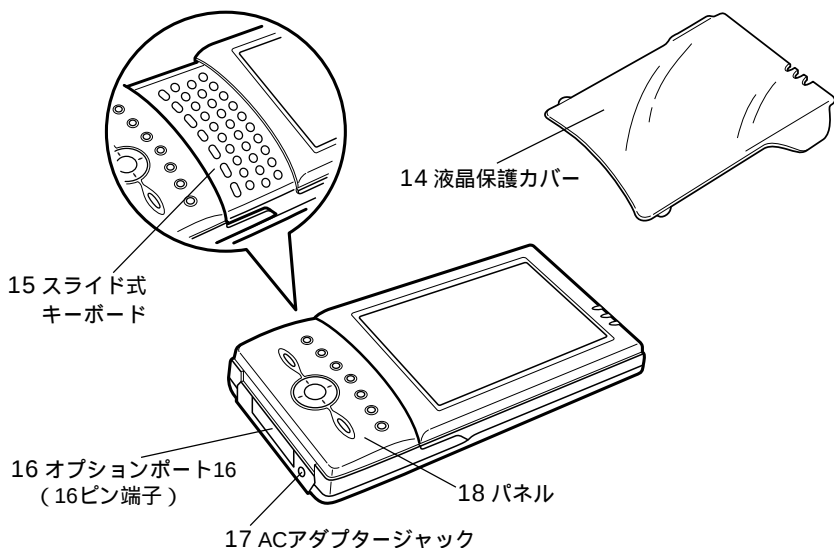
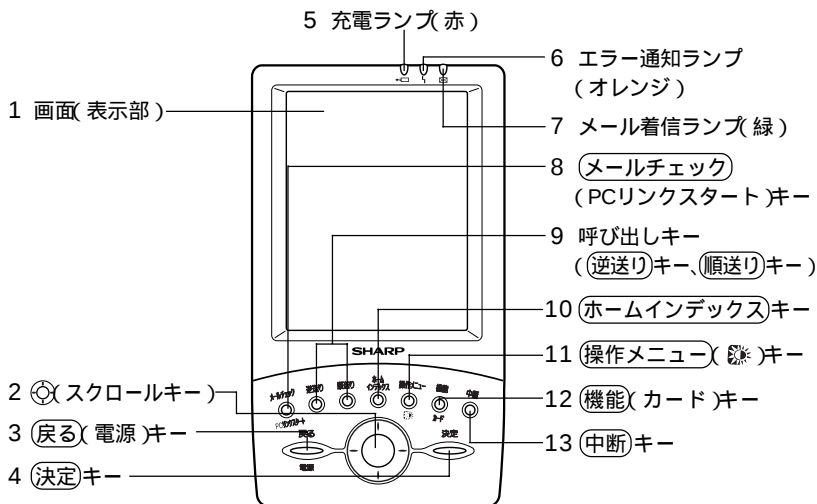
基本的な使いかた

基本的な
使いかた

...

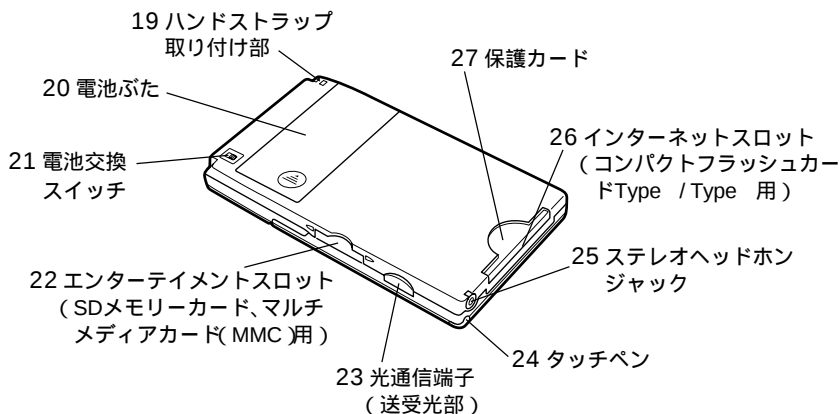
各部のなまえとはたらき

各部のなまえとその働きを覚えましょう。



基本的な
使いかた

基
本



- 1 : 画面(表示部)
選んでいる機能などが表示されます
(240×320ドット)。
- 2 : (スクロールキー)
一覧画面でデータをスクロールしたり、
詳細表示画面でデータをめくりま
す(☞61ページ)。
- 3 : (戻る)(電源)キー
1つ前の画面に戻ります。また、イン
デックス画面を切り替えます。
電源が入っていない状態で押すと、電
源が入ります。電源が入った状態でし
ばらく押すと、電源が切れます。
- 4 : (決定)キー
一覧画面で選んだデータの詳細画面を
表示します。
- 5 : 充電ランプ(赤)
この製品とACアダプターを接続し、
充電が始まると点灯します。満充電に
なると消えます(☞32ページ)。
- 6 : エラー通知ランプ(オレンジ)
圏外などで、メールの送受信に失敗し
たときなど通信エラーになった場合に
点灯します。
- 7 : メール着信ランプ(緑)
メールを受信すると点灯します。受信
したメールを確認すると消えます。
- 8 : (メールチェック)(PCリンクスタート)キー
電源が入っていない状態で約0.5秒押
すと、電源が入り未読のメールを受信
します。電源が入っていない状態でパ
ソコンと接続ケーブルで接続し、しば
らく(約2秒)押すと電源が入り、デー
タを送受信します。
- 9 : 呼び出し(逆送り)(順送り)キー
前後のデータを呼び出したり、一覧画
面で1つ上や下のデータを選びます
(☞66ページ)。
- 10 : (ホームインデックス)キー
ホームインデックス1画面などを表示
します。
- 11 : (操作メニュー)(機能)キー
操作メニューを表示します(☞45ペー
ジ)。
しばらく押すと、フロントライトが点
灯します。もう1度しばらく押すと、
消灯します。
- 12 : (機能)(カード)キー
特別な働きを利用するときに、画面
上のボタンと組み合わせで使います。
当社推奨のコンパクトフラッシュメモ
リーカードまたはSDメモリーカード
などを取り付けたときしばらく押すと、
本体メモリーとカードメモリーを切り
替えます。

- 13 : (中断) キー
データ通信中などに通信などを途中で
中断します。
- 14 : 液晶保護カバー
画面を保護するためのカバーです(27
次ページ)。
- 15 : スライド式キーボード
パネルを引くと、文字入力用のキー
ボードを使うことができます(27
ページ)。
- 16 : オプションポート1(16ピン端子)
デジタル携帯電話接続ケーブル(CE-
DT1)などを接続する端子です。
- 17 : ACアダプタージャック
ACアダプターを取り付けます。
- 18 : パネル
Ⓐ(スクロールキー)や(決定)キーな
ど、よく使うキーがあります。開くと
スライド式キーボードが使えます。
- 19 : ハンドストラップ取り付け部
ハンドストラップを取り付けることが
できます(27次ページ)。
- 20 : 電池ぶた
充電電池を取り付ける/取り外すときに
開けます。
- 21 : 電池交換スイッチ
充電電池を取り付ける/取り外すときに
切り替えます。
- 22 : エンターテイメントスロット
(SDメモリーカード、マルチメ
ディアカード(MMC)用)
当社推奨のSDメモリーカードまたは
マルチメディアカード(MMC)を使う
とき、ここに入れます。
- 23 : 光通信端子(送受光部)
光通信でデータをやり取りするとき、
ほかの機器の光通信端子と対向させま
す(295ページ)。
- 24 : タッチペン
画面にタッチしたり文字を書いたりす
るとき使います。
- 25 : ステレオヘッドホンジャック
別売のリモコン付ステレオヘッドホン
(CE-RH1)や市販のステレオヘッドホ
ンを使用するときに使います。
- 26 : インターネットスロット
(コンパクトフラッシュカード
Type 1/Type 用)
別売のデジタルカメラカード(CE-
AG06)、当社推奨のデータカード型
PHSやコンパクトフラッシュメモ
リーカードなどを使うとき、ここに入
れます。
- 27 : 保護カード
当社推奨のコンパクトフラッシュメモ
リーカードなどを取り外したときに装
着しておくカードです。

基本的な
使いかた

基
本

フロントライトについて

- ・フロントライトを点灯して操作していると、画面にタッチしたときに画面が少し暗くなりますが、故障ではありません。フロントライトの「明るさ」を「最大」より一段低い設定にすると(246ページ) 明るさの変化が目立たなくなります。
- ・フロントライトを点灯して使用すると、表示部(画面)の右側付近があたたかくなりますが、故障ではありません。

液晶保護カバーの取り外し / 取り付け

液晶保護カバーを正しく取り外し/取り付けしましょう。

基本的な
使いかた

基
本

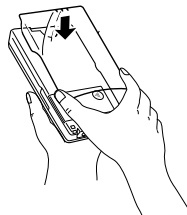
取り外す

液晶保護カバー

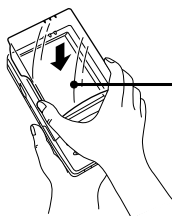
液晶保護カバー
ロック部分



取り外した液晶保護カバーは本体裏面
に取り付けることもできます



取り付ける



液晶保護カバーを奥までしっかり取り付ける
(注) テーブルなどの上に置いたときは、上か
ら強く押さえないでください。



ご注意

- 持ち運ぶときは
画面保護のため必ず液晶保護カバーを取り付けてください。液晶保護カバーを取り
付けずに持ち運ぶと、画面(表示部)を傷つけたりガラスが割れることがあります。
- 液晶保護カバーの液晶保護カバーロック部分を押さえた状態で取り外し/取り付
けはできません。
- 液晶保護カバーを本体裏側に取り付けて机の上に置いたり、硬いものなどといっ
しょにバッグに入れたりすると、液晶保護カバーに傷がつきます。
- 液晶保護カバーを取り外すとき、下にスライドさせて外さないでください。本体
やキーに液晶保護カバーが当たり破損の原因になります。

ハンドストラップ取り付け部には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドス
トラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられ
ない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入くだ
さい。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回し
たり、ハンドストラップを強く引っばるなどハンドストラップ取り付け部に過重がかか
る行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

スライド式キーボードを開く / 閉じる

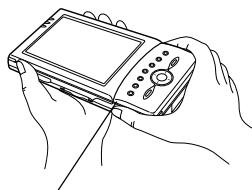
スライド式キーボードを正しく開きます。また、閉じます。

(戻る) (電源) キーや (ホームインデックス) キーなどを使う場合、スライド式キーボードの開閉はロックがかかるまで開いたり閉じたりしてから行ってください。

基本的な
使いかた

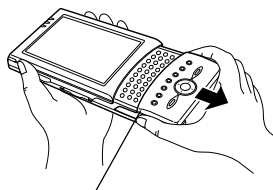
基
本

閉じたとき



ロックがかかるまで閉じる

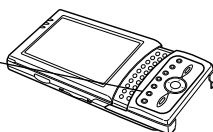
開いたとき



ロックがかかるまで開く

ご注意

途中まで開いた状態では、(戻る) (電源) キーや (ホームインデックス) キーなどは、働きません。



ご注意

- 持ち運ぶときは必ずスライド式キーボードを閉じてください。スライド式キーボードを開いたまま持ち運ぶと、破損の原因になります。
- パソコン接続ケーブル (CE-170TS) などを接続するときはスライド式キーボードを開いたままにすると、オプションポート16にパソコン接続ケーブル (CE-170TS) などを接続することはできません。パソコン接続ケーブルなどを接続するときは、必ずスライド式キーボードを閉じてください。また、スライド式キーボードを開くときは、パソコン接続ケーブルなどを取り外してから開いてください。
- パネルの開け/閉めは、ロックがかかるまで行ってください。開けるときは最後にロックがかかるまでまっすぐ引いてください。閉めるときは最後にロックがかかるまでしっかり押し込んでください。
- スライド式キーボードを開いたとき、パネル裏面の接点部には指などで触れないでください。
- スライド式キーボードで文字入力中について文字入力中や (決定) キー、(戻る) キーなどを押すときにパネル部に強い力を加えないように注意してください。強い力が加わると破損の原因になります。



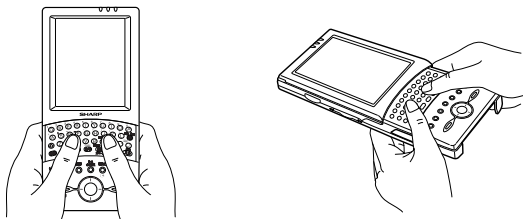
コラム

キー操作をするときの持ちかたについて

この製品を使って文字入力や登録したデータを見るためにキー操作などを行うとき、下図のように両手でこの製品を下から支えるようにして持つことをおすすめします。

基本的な
使いかた

基
本



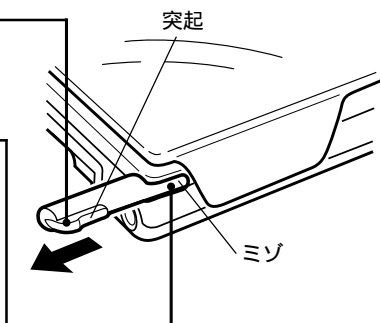
タッチペンの取り出し / 取り付け

タッチペンを正しく取り出します。また、取り付けます。

- 1** この製品の後面に取り付けられているペンをまっすぐ引き出す

- 2** ペンを取り付けるときは、この製品のミゾとペンの突起部分が合うように、ゆっくり奥まで入れる
ペンがロックされ、出てこないことを確かめる

(注) 向きを誤って、むりやり差し込むと取り出せなくなることがあります。

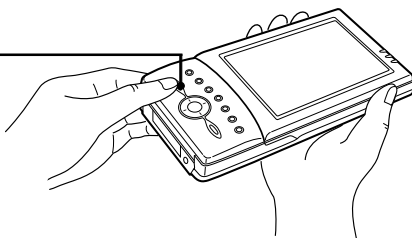


電源の入 / 切

電源を入/切しましょう。電源の入/切は、次のようにします。

- ・電源を入れる (戻る)(電源)キーを押す
- ・電源を切る (戻る)(電源)キーをしばらく押す

- 1** (戻る)(電源)キーを押す
(戻る)(電源)キーは奥まで
しっかり押してください。
軽く、またはすばやく押して
離れたときには電源が入ら
ないことがあります。



ホームインデックス1画面が表示される



- 2** 電源を切るときは、(戻る)(電源)キー
をしばらく押す



- ・この製品では、画面にタッチしても電源は入りません。
- ・電源が入らないときは
次のことを確かめてください。
 - ・電池ふたが開いていませんか(☞24ページ)。
電池ふたが開いていると、(戻る)(電源)キーを押しても電源が入りません。
 - ・充電電池が消耗していませんか。
「ACアダプターを接続して充電してください」のメッセージが表示されて電源
を切ると、電源が入らないことがあります。
ACアダプターをこの製品に接続して、約3分以上充電電池を充電した後、電源が
入るかどうかを確かめてください。

基本的な
使いかた

基
本



- 電源を入れたとき、メモリー整理を実行するかどうかのメッセージが表示されたときは電源を入れたとき、メモリー不足についてのメッセージが表示され、「メモリー整理」を実行するかどうか聞いてくる場合があります。そのときは「はい」を選択し、「決定」キーを押してメモリー整理を実行してください。メモリー整理を行うとメモリーの断片化が解消され、通常、使用できる空きメモリー領域が増えます。次に電源を入れたときも同じメッセージが表示されたときは、「いいえ」を選択し、「決定」キーを押して不要なデータを削除してください。
メモリー整理については、255ページをご覧ください。



- 電源を入/切するときの音は
電源を入/切するとき、小さな音がしますが、故障ではありません。
- 電源を切ったとき
電源を切るときは、「ピッ」と音が鳴るまで「戻る」(電源)キーをしばらく押します。音が鳴った後しばらくして画面が消えて、電源が切れます。メモリーカードなどを取り外したり、再度電源を入れるときは、画面が消えてから数秒お待ちください。
また、この音を鳴らす/鳴らさないの設定は、オープニング音の入/切と連動しています(オープニング音の入/切については、247ページをご覧ください)。
- しばらく画面にタッチしないと(自動節電機能)
通常約10分間(注) キーを押したり画面タッチ操作をしないと、自動的に電源が切れます。ただし、使用状況により電源が切れるまでの時間が短くなることがあります(たとえば、長い通信終了直後に電源が切れるなど)。自動節電機能により電源が切れたときは、入力中であっても電源が切れる前のデータを保持しますが、入力ボードの入力行に入っている文字など、採用されていない(未確定)文字は保持されません。その場を離れる場合などには、必ず採用しておいてください。自動的に電源が切れるまでの時間は、「ユーザー設定」の「フロントライト/省電力設定」(☞246ページ)で設定できます。
(注)「ユーザー設定」の「フロントライト/省電力設定」で、「オートパワーオフ時間」を「しない」にすると、自動的に電源は切れません。
- コンパクトフラッシュメモリーカードなどが装着されているときの起動時間について
本体にコンパクトフラッシュメモリーカードやSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)が装着されていると、カードが装着されていないときと比べて起動時間が長くなります。これは、起動時に、装着されているカードをシステムがチェックするためです。
また、オープニング画面に非常に大きなサイズのJPEG画像を使用したときにも、起動時間が長くなります。
- 異常ありのメッセージが表示されたら
メッセージの内容によって「異常が起きたとき」(☞324ページ)をご覧ください。
- 通信中などでは、電源が切れません。「中断」キーを押して中止してから電源を切ってください。「中断」キーは、通信などが中止されるまで、押したままにしてください。
- この製品の使用中、特にデータカード型PHS、コンパクトフラッシュメモリーカードやSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を使用すると、この製品の温度が上がって温かくなりますが、故障ではありません。



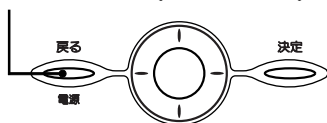
• フロントライトについて

- 周囲が暗いところでこの製品を使用する場合など画面が暗く見えにくいときは、**操作メニュー** () キーをしばらく押してフロントライトを点灯すると画面を明るくできます(フロントライトの明るさの調整は、246ページをご覧ください)。
- 購入時の状態では(充電電池での使用時) 約2分間、キーを押したり画面タッチ操作をしないと、自動的にフロントライトは消灯します。フロントライトを点灯したままにするには「ユーザー設定」の「フロントライト/省電力設定」をご覧ください。
- フロントライトを点灯したまま使用していると、電池の消耗が早くなります。また、フロントライトの「明るさ」を最大にして使用すると、「明るさ」を最小にしたときよりも使用時間が半分以下になります。フロントライトの「明るさ」を最小にしたり、必要なとき以外はフロントライトを消して使用することをおすすめします。
- ステータス表示の電池のマークが赤色の枠になった場合や充電電池の充電をうながすメッセージが表示された場合、フロントライトは「最小」の明るさで点灯します。
- フロントライトを点灯させたとき、周囲の温度が低い場合、輝度が安定するまで少し時間がかかります。
- フロントライトを点灯して操作していると、画面にタッチしたときに画面が少し暗くなりますが、故障ではありません。フロントライトの「明るさ」を「最大」より一段低い設定にすると( 246ページ) 明るさの変化が目立たなくなります。
- フロントライトの特性上、フロントライト点灯時には濃淡のラインが見えますが故障ではありません。
- フロントライトを点灯して使用すると、表示部(画面)の右側付近があたたかくなりますが、故障ではありません。
- コンセントの電源電圧が低い場合、フロントライトの明るさを「最大」にして動画データを再生したりすると、ACアダプターを接続していても充電電池が消耗することがあります。このような場合は、フロントライトの明るさを下げてご使用ください。

ACアダプターの接続と充電について

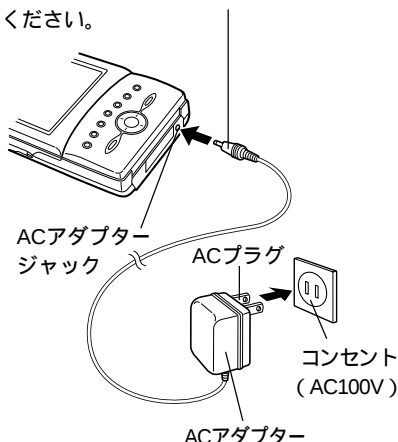
この製品の使用中、充電電池が消耗すると、「ACアダプターを接続して充電してください」のメッセージが画面に表示されます。このときは、すぐに付属のACアダプターを使って充電電池を充電してください。

- 1** 戻る(電源)キーをしばらく押して電源を切ります(☞29ページ)。



抜き差しは、この部分を持って行ってください。ケーブルを引っばって抜かないようにしてください。

- 2** 付属のACアダプターを、右図のようにこの製品のACアダプタージャックとAC100Vのコンセントに接続します。充電ランプが赤く点灯して、充電が始まります。
満充電になると、充電ランプが消え、充電が完了します(通常、約3時間かかります)。



- 3** ACアダプターを取り外します。



- ACアダプターは、この製品(本体)に充電電池が装着されている状態で接続してください。充電電池がこの製品に装着されていない場合、ACアダプターを接続しても動作しません。
- 充電中はこの製品が多少温かくなりますが、故障ではありません。
- この製品に電源が入っている状態でACアダプターを接続したときは、充電ランプが点灯してACアダプターから電源が供給されていることを示します(このとき充電ランプは消えません)。
- ACアダプターを接続したままこの製品を使用しても差し支えありません。ただし、この場合、充電電池の充電が完了するまでに長い時間がかかります。充電電池を充電するときは、この製品の電源を切っておくと、早く充電できます(通常、約3時間。ただし、使用温度、使用状態によって充電が完了するまでの時間は変わります)。



- ACアダプターおよび充電電池について
くわしくは328、332ページをご覧ください。
- 充電時のご注意
充電電池をこの製品に装着して充電する場合、ACアダプターのコードに足を引っかけてこの製品を高い場所から落としたりしないようご注意ください。
- 充電時の電池がたと電池交換スイッチについて
充電電池を充電するときには、電池がたとを取り付け、電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にしておいてください。

基本操作

基本操作

どのようにして操作するの？

この製品を操作するには、次の2つの方法があります。

- ・スライド式キーボードのキーや $\odot$ (スクロールキー)などを使って操作する
- ・付属のタッチペンで画面の各部にタッチする

ここでは、この製品の基本的な操作方法を説明します。

初めに、次の項目をお読みになり、本書でよく使う操作方法を覚えましょう。

- ・「インデックス画面の表示と機能を選ぶ」(このページ)
- ・「キーのはたらき」(42ページ)
- ・「操作メニューを使う」(45ページ)

この後、すぐに使ってみたい方は「文字入力」の章へお進みください。

インデックス画面の編集や画面各部のなまえなど、くわしい操作説明は47ページ以降をご覧ください。

これ以降、スライド式キーボードは、キーボードと表記します。

基本操作

基本

インデックス画面の表示と機能を選ぶ

この製品が持っている機能(アイコン)を集めた画面をインデックス画面と呼び、全部で7つあります。

機能(アイコン)を集めた画面はホームインデックス1画面、システム設定画面などとそれぞれ名前がついています。

ここでは、これらインデックス画面の概要や表示方法、各機能の選びかたについて説明します。

- ・ホームインデックス1画面 メールやスケジュールなど、よく使う機能をまとめています。
- ・ホームインデックス2画面 よく使う機能ごとに「書く」、「見る」などの目的別のボタンやよく使う機能のアイコンが表示され、行いたい操作をすばやく簡単に実行できます。
- ・システム設定画面 この製品のメモリー使用量を調べたり、タッチ音の入/切など、各種設定を変更したりする機能をまとめています。

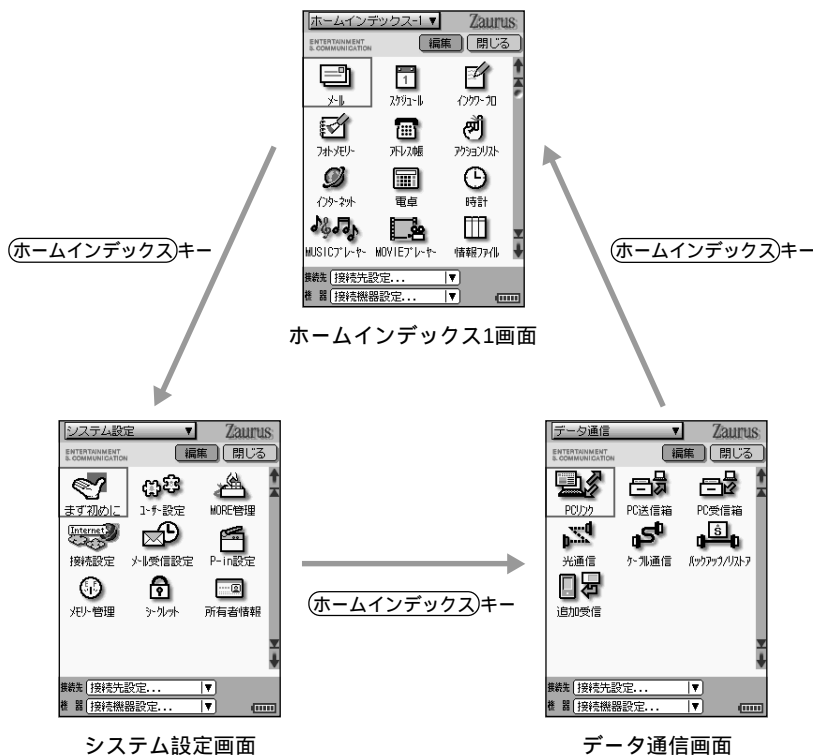
- データ通信画面 パソコンやほかのザウルスと通信したり、データのバックアップをする、データを送信する機能をまとめています。
- オリジナルインデックス画面 ... よく使うアイコンを登録し、自分で使いやすいオリジナルインデックスを作ることができます。
- MOREインデックス画面 この製品で使うことができるMOREソフトなどのアイコンがまとめられています。
- 本体機能インデックス画面 ... MOREインデックス画面に表示されているアイコン以外のアイコンがすべて表示されます。このインデックス画面には、**メール作る** など目的別アイコンがあり、1回の操作で目的の機能を実行できます。ホームインデックス1画面に追加したり、オリジナルインデックス画面に登録して使うと、大変便利です。



- ホームインデックス1画面、ホームインデックス2画面、システム設定画面、データ通信画面、オリジナルインデックス画面には、機能(アイコン)を追加したり隠したりして、自分なりのインデックス画面に変えることができます(☞47ページ)。
- 別売のデータカード型PHSを取り付けているときは画面下のステータス表示に受信レベル表示する**71**と、タイマー受信設定(☞取扱説明書(通信ガイド)の54ページ)をオンにするとメールを自動受信することを示す**72**が表示されます。

インデックス画面の切り替え

(戻る) (電源) キーを押して電源を入れます。お買いあげ直後は、ホームインデックス1画面が表示されます。(ホームインデックス) キーを使ったインデックス画面の切り替えの流れを説明します。



- お買いあげ直後、電源を入れるとホームインデックス1画面が表示されます。電源を入れたときに表示される画面を変えるには、50ページをご覧ください。
- お買いあげ直後、(ホームインデックス) キーを押して表示される画面は、上の3つですが、これ以外のホームインデックス2画面、オリジナルインデックス画面、本体機能インデックス画面、MOREインデックス画面を表示する方法は、51ページ、次ページの「コラム」をご覧ください。
- (戻る) キーを押すと、上の(ホームインデックス) キーを押したときと同様の順にインデックス画面が切り替わります。

基本操作

基本



コラム

メニューでインデックス画面を変えるには

(ホームインデックス) キーや、(戻る) キーを押す方法以外でも、インデックス画面を変えることができます。

インデックス画面(ホームインデックス1画面など)が表示されているとき、画面左上の「ホームインデックス-1▼」などにタッチするとメニューが表示されます。表示されたメニューのインデックス名を選択するとその画面に変わります。画面の「閉じる」にタッチすると、インデックス画面を閉じ、直前の状態に戻ります。

基本操作

基本

①ここにタッチする

②切り替えるインデックス画面にタッチする

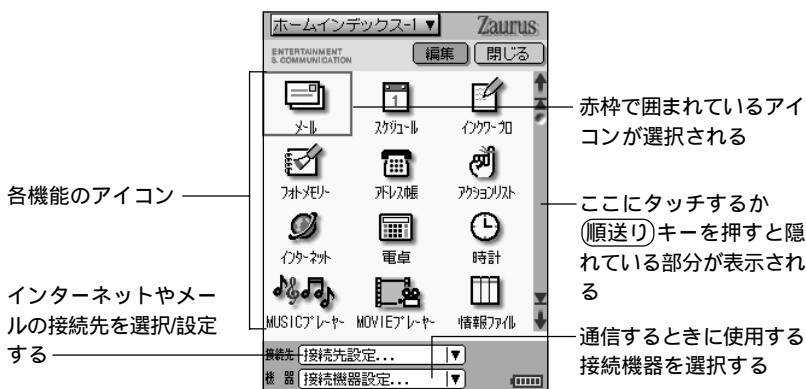
7つのインデックス画面の名称が表示される



インデックス画面を閉じ、直前の機能に戻る

ホームインデックス1画面

ホームインデックス1画面では、**メール**アイコンなどよく使う機能を表示するアイコンがまとめられています。
機能アイコンは各機能を実行するときに使います。



基本操作

基本

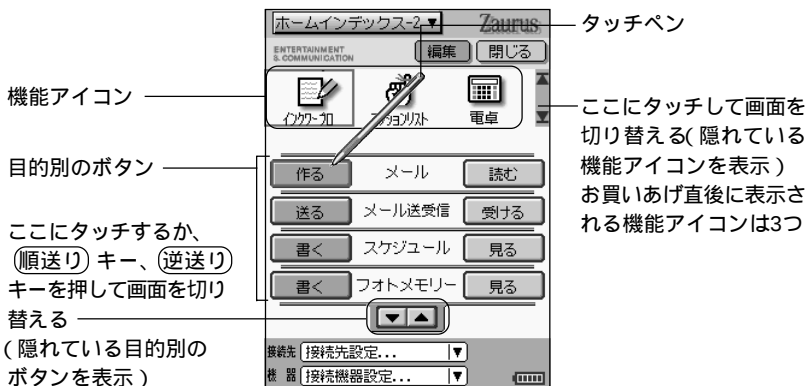
	メール メールトップ画面を表示し、メールの送受信や表示ができる(『取扱い説明書(通信ガイド)』36、140ページ)
	スケジュール 予定を登録し、スケジュールを管理する(『213ページ』)
	アドレス帳 文書を手書きのまま入力したり、後でまとめてテキスト文字に変換できる(『189ページ』)
	フォトメモ 手書きで自由にメモしたり、イラストや地図を描ける(『166ページ』)
	アドレス帳 会社や自宅の住所やメールアドレスを登録し、表示する(『109ページ』)
	アドレス帳 行うべき用件にランクをつけて入力し、整理できる(『161ページ』)
	インターネット インターネットトップ画面を表示し、いろいろなホームページを見ることができる(『取扱い説明書(通信ガイド)』66ページ、170ページ)
	電卓 電卓として10桁までの計算ができる(『211ページ』)
	時計 現在の時刻や世界各地の時刻を調べることができる(『208ページ』)

	パソコンなどからカードに取り込んだMP3データを再生できる(『取扱い説明書(AVガイド)』ミュージックプレイヤー)
	別売のCE-VR1からカードに取り込んだMPEG-4データを再生できる(『取扱い説明書(AVガイド)』ムービープレイヤー)
	各機能で登録した関連のあるデータを1つのファイルにまとめることができる(『213ページ』)
	別売のデジタルカメラカードで写真を撮影する(『取扱い説明書(AVガイド)』デジタルカメラ)
	別売のCE-VR1で録画するときの予約ができる(『取扱い説明書(AVガイド)』ムービープレイヤー)
	関連するデータを抽出し、1つの情報ファイルにまとめられる(『226ページ』)
	Sharp Space Townから取り込んだ文庫データを読む(『取扱い説明書(通信ガイド)』24ページ)
	Sharp Space Townから取り込んだマンガデータを読む(『取扱い説明書(通信ガイド)』34ページ)

* ゲームソフト(MOREソフト)のアイコン(3つ)も表示されます。

ホームインデックス2画面

この画面には、機能ごとに目的別のボタンが表示され、行いたい操作をすばやく実行できます。「スケジュール」の「書く」、「見る」などのボタンを $\odot$ (スクロールキー)を押して選択し(決定)キーを押したり、タッチペンでタッチして目的の操作を簡単に行うことができます。



メール(『取扱説明書 通信ガイド』p36ページ、140ページ)

- 作る 送信する電子メールを作る
- 読む 受信した電子メールを読む

メール送受信(『取扱説明書 通信ガイド』p36、140ページ)

- 送る まだ送っていない電子メールを送信する
- 受ける 電子メールを受信する

スケジュール(『137ページ)

- 書く 新しい予定を入れる
- 見る 予定をカレンダーなどで見る

フォトメモリー(『166ページ)

- 書く 手書きで自由にメモやイラストを作る
- 見る 作ったデータを見る

アドレス帳(『109ページ)

- 書く 知人・友人などの電話番号や住所などを新しく入れる
- 見る 登録した電話番号や住所などを見る

インターネット(『取扱説明書 通信ガイド』p66ページ、170ページ)

- つながる インターネットに接続する
- 読む 録画したページや接続して登録したページをインターネットに接続しないで読む

インターネット録画(『取扱説明書 通信ガイド』p174ページ)

- 録画する 好きなホームページを予約録画(登録)する
- 予約する 番組表などから見たいページを選び予約する

インクワープロ アイコン、アクションリスト アイコン、電卓 アイコンについては、前ページをご覧ください。



- 取扱説明書では、ホームインデックス2画面の目的別のボタンを「スケジュール」の「書く」などと機能名をつけて表記します。

システム設定画面

システム設定画面では、この製品のメモリー使用量を調べたり、サウンド音の入/切など各種設定の変更や、インターネットへの接続設定やユーザー登録、Sharp Space Townへの入会が簡単にできる機能などがまとめられています。



基本操作

基本



オンラインでユーザー登録できる
(『はじめにお読みください』)



サウンドの入/切などを、使いやすく
設定できる

1-9設定 (『245ページ』)



MOREソフトを展開したり削除する
(『201ページ』)

MORE管理



インターネットへの接続設定を簡単
に行える
接続設定 (『取扱説明書 通信ガイド』12ページ)



設定した時刻に自動的にメールを受
信できる
メール受信設定 (『取扱説明書 通信ガイド』54ページ)



別売のデータカード型PHS「P-in Com
p@ct (NTTドコモ製)」の設定ができる
(『取扱説明書 通信ガイド』119ページ)



本体やカードで使用しているメモ
リーの使用量を確認できる
(『252ページ』)



この製品をほかの人が使えなくした
り、データをシークレットにできる
(『257ページ』)



自分の名前や連絡先を登録できる
(『105ページ』)

所有者情報

データ通信画面

データ通信画面では、この製品とほかのザウルスやパソコンとデータのやり取りをしたり、バックアップする機能がまとめられています。

基本操作

基本



PCリンク

パソコンと接続し、データをやり取りできる
(☞283ページ)



PC送信箱

パソコンに送るデータをPC送信箱へ入れる
(☞291ページ)



PC受信箱

パソコンから送られてきたデータがPC受信箱に入る
(☞292ページ)



光通信

MOREソフトなどのデータを光通信でほかのザウルスなどと送受信できる
(☞295ページ)



ケーブル通信

MOREソフトなどのデータをケーブル通信でほかのザウルスなどと送受信できる
(☞307ページ)



バックアップ/リストア

本体の全データを当社推奨のメモリーカードにバックアップできる
(☞276ページ)



追加受信

ほかのザウルスなどからデータを追加受信できる
(☞319ページ)

MOREインデックス画面

この製品で使えるMOREソフトがアイコンで表示されます。MOREソフトとは、ザウルス用に開発されたアプリケーションソフトウェアの総称です。ゲームやビジネスソフトなどのMOREソフトが用意されており、これらを利用するとこの製品の機能を広げることができます。この製品には、あらかじめいくつかのMOREソフトが入っています。また、Sharp Space TownやパソコンからほかのMOREソフトを読み込んで使うこともできます。



MOREソフトを実行したりできる
(⇒201ページ)



Sharp Space Townに接続してサービスを受けることができる
(⇒『取扱説明書 通信ガイド』p77ページ)

文庫読むアイコン、**マンガビューア**アイコン、**録画予約**アイコンについては37ページを、**まず初めに**アイコン、**接続設定**アイコンについては39ページをご覧ください。
また、ゲームソフトなどがいくつか入っています。
「ポスマガビューア」については、373ページをご覧ください。

基本操作

基本

本体機能インデックス画面

この画面には、**メール作る**アイコンのような目的別のアイコンと、MOREソフトやクイックパス以外のすべてのアイコンが表示されます。目的別のアイコンは、「メールを受ける」「メールを読む」などの操作が1回の操作で実行でき大変便利です。ホームインデックス1画面に追加したり、オリジナルインデックス画面に登録するなどして活用しましょう。それ以外のアイコンはホームインデックス1画面、システム設定画面、データ通信画面に表示されるアイコンと同じです。それぞれのアイコンについては37～40ページのアイコンの説明をご覧ください。



送信する電子メールを作る



受信した電子メールを読む



まだ送っていない電子メールを送信する



電子メールを受信する



インターネットに接続し、ホームページを表示する



インターネットで取り込んだページをゆっくり見ることができる



オフラインでURLを選択したり直接入力できる



指定した時間にホームページを録画する



ホームページから取り込んだ画像などが入る

キーのはたらき

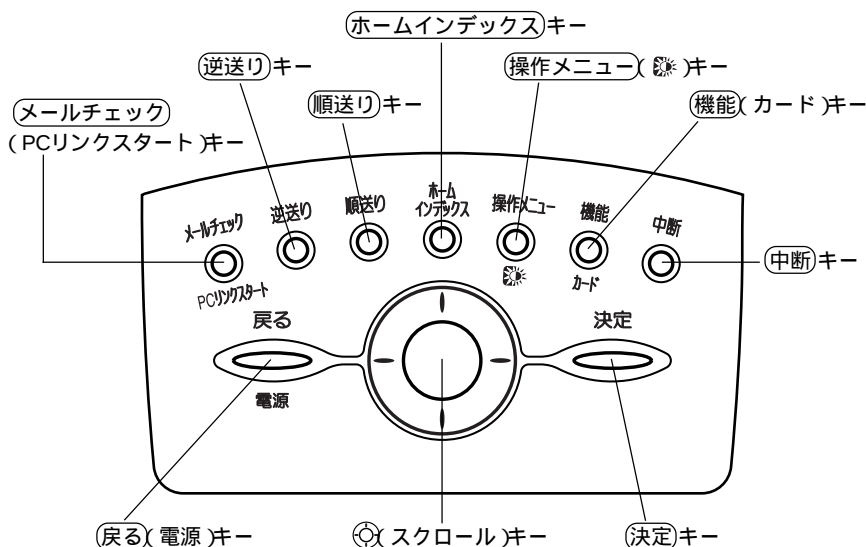
この製品には、文字を入力するためのスライド式キーボードと画面を切り替えたりするパネルがあります。スライド式キーボードは文字入力のために使い、隠したり/出したりすることができます(27ページ)。

ここでは、パネルの各キーの概要について説明します。スライド式キーボードを使った文字入力については、79ページをご覧ください。

このボードのキーを使うと、表示するデータを切り替えたり、1つ前の画面を表示するなど、この製品を持ったまま手軽に操作できます。

キーを使った操作については、61～67ページをご覧ください。

なお、スライド式キーボードは、キーボードと表記します。



各キーのはたらき

キーを使うには、使いたいキーを軽く1回押します。⊙(スクロールキー)は、上下左右に押すことができます。

電源(電源を切る)、⊙、カード、PCリンクスタートの機能はしばらく押し続けることによって動作します。

⊙(スクロールキー)くわしくは61ページ)

⊙(スクロールキー)を押すとホームインデックス1画面などにあるアイコンを選んだり、ホームインデックス2画面の項目を選択することができます。また、一覧画面や詳細表示画面でスクロールすることができます。

⊙(スクロールキー)のくわしい使いかたについては、61ページをご覧ください。

決定 キー(くわしくは64ページ)

(決定) キーを押すと、次の操作を行います。

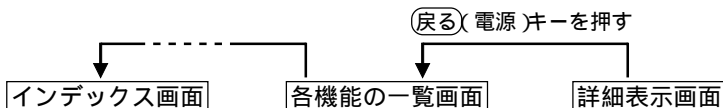
- ・ 一覧画面 データが選択されているとき、1日表示画面や詳細表示画面などを表示する
- ・ インデックス画面、メール トップ画面 ... ボタンやアイコンを選択した場合は、選択したボタンやアイコンの機能を実行する
インターネット トップ画面
- ・ 操作メニュー表示状態 選択しているメニューを実行する(☞45ページ)

基本操作

基本

戻る(電源)キー

- ・ 電源OFFの状態で、(戻る)(電源)キーを押すと、電源が入りインデックス画面が表示されます。また電源ONの状態で、しばらく(戻る)(電源)キーを押したままにすると電源が切れます。
- ・ 画面表示しているときは、操作中に表示している画面の1つ上の階層に戻ります。
また、インデックス画面では、ホームインデックス1画面→システム設定画面→データ通信画面に切り替えます。



- ・ 機能によっては、戻る画面が異なる場合があります。
- ・ (戻る)(電源)キーを押して切り替えることができるインデックス画面の順番は、インデックス設定画面で変更することができます(☞50ページ)。

メールチェック(PCリンクスタート)キー

- ・ 未読のメールを受信します。電源OFFの状態で(メールチェック)(PCリンクスタート)キーを約0.5秒押すと、電源が入り未読のメールを受信します。
くわしくは、『取扱説明書(通信ガイド)』の「メール(1)」の章をご覧ください。
- ・ パソコンと接続し通信できる状態で(メールチェック)(PCリンクスタート)キーをしばらく(約2秒)押すと、PCリンクが始まります。
くわしくは、「PCリンク」の章をご覧ください。

逆送り キー、順送り キー(くわしくは66ページ)

詳細表示画面で、前後のデータ呼び出します。

インターネットに接続してホームページを表示中は、前ページ、次ページを表示します。

ホームインデックス キー(くわしくは35ページ)

インデックス画面では、ホームインデックス1画面→システム設定画面→データ通信画面の順に切り替えます。アドレス帳などの機能を使っているときに、**ホームインデックス** キーを押すとホームインデックス1画面を表示します(⇒35ページ)。

操作メニュー(☼)キー(くわしくは次ページ)

- 操作メニューを表示します。削除や検索、通信など、画面上のボタン以外の機能は、操作メニューにあります。アドレス帳などの機能では、「編集」、「操作」、「通信」というグループにまとめられ、タブとして表示されます(⇒次ページ)。
- 操作メニュー**(☼)キーをしばらく押すと、フロントライトを点灯します。フロントライトが点灯した状態で、**操作メニュー**(☼)キーをしばらく押すとフロントライトが消灯します。



- 購入直後の状態では、2分間キー操作や画面にタッチしないとフロントライトは自動的に消灯します(充電時)。フロントライトの明るさや自動消灯の設定は、ユーザー設定で変更できます(⇒246ページ)。

機能(カード)キー

- 修正画面で**機能**(カード)キーを押した後、画面の**登録**にタッチして登録するとそのデータを残したまま修正したデータを登録できるなど、ほかの機能と組み合わせて使います(この操作は、キーボードの**機能**キーでもできます)。
- コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどを取り付けているときに**機能**(カード)キーをしばらく押すと、本体とカードのデータ表示を切り替えます。

中断 キー

データ通信中などに、通信などを途中で中断します。



- 取扱説明書での表記
取扱説明書では、パネルのキーを**決定**キーなどと「キー」をつけて表記します。スクロールキーは、⬆と表記します。また、電源を入れたり、カードを使用したりするときに、キーの下に刻印されている機能を使いますが、その場合は**戻る**(電源)キーや**機能**(カード)キーなど、カッコで使用する機能名を表記します。
また、スクロールキーは1つのキーで上下左右に押せます。「左右の⬆を押すと」などの表記はスクロールキーの中の左側と右側を押すことを表しています(⇒61ページ)。

操作メニューを使う

画面上のボタン以外の機能は、操作メニューにあります。操作メニューの内容は、各機能や画面によって異なりますが、基本的には「編集」、「操作」、「通信」というグループにまとめられ、タブとして表示されています。操作中の画面によって、表示されないタブや機能が違うと同じタブでも表示される内容が違う場合があります。

基本操作

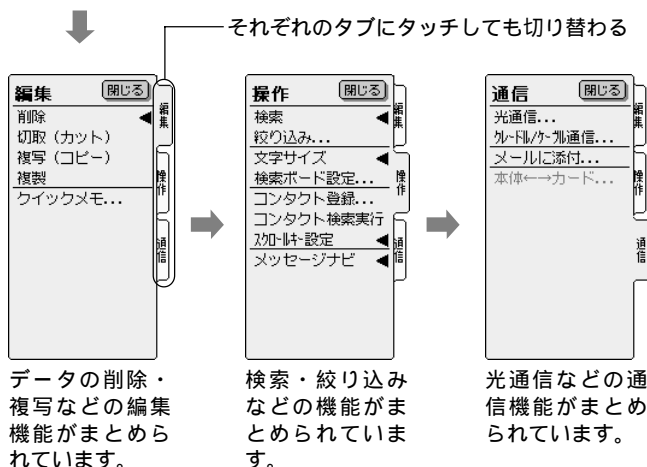
基本

アドレス帳などでの操作メニュー

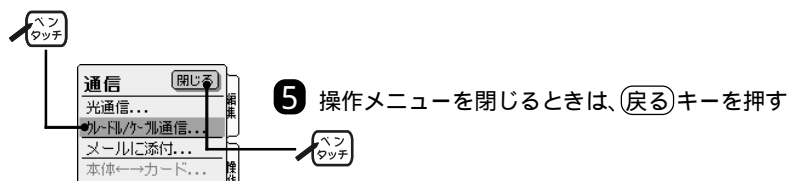
ここでは、アドレス帳機能の操作メニューのタブの切り替えと、機能を選択し、実行する方法について説明しています。

- 1 アドレス帳の画面を表示する
- 2 「操作メニュー」キーを押して操作メニューを表示する
- 3 左右の⊕を押すと、「編集」タブ、「操作」タブ、「通信」タブが切り替わる

押すたびにタブが切り替わる



- 4 上下の⊕を押して、実行する機能を選択し「決定」キーを押す





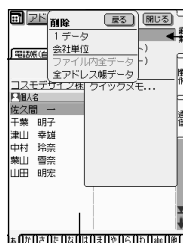
- 操作メニューの中には動作しないメニュー(たとえば **貼込(ペースト)** など)は薄文字で表示されます。



- メニューの表示は

- 削除** などのようにメニューの一部に **◀** が表示されるものには、さらにメニューがあることを示しています。
- メニュー名の後ろに「...」が表示されるものは、選択すると設定などを行う画面が表示されます。
- メニューの前に **✓** が表示されるときは、そのメニューが選択されていることを示しています。

さらにメニューがあることを示す



この部分にタッチしても、メニューが消える

- 取扱説明書での表記

削除 などのメニューを、取扱説明書では **削除** と表記しています。

切取(カット) など、タブにある機能を選択する操作を、「**操作メニュー**」キーを押し、**編集** タブ、**切取(カット)** を選択し **(決定)** キーを押す」と表記しています。また **削除** などさらにメニューがある機能を選択する操作を、「**操作メニュー**」キーを押し、**編集** タブ、**削除**、**(決定)** キー、**1データ**、**(決定)** キーと操作する」と表記しています。

- オリジナルのメニューを作るには(お好みメニュー設定)

編集 タブの **削除** の **1データ** などよく使うメニューをお好みメニューに登録すると、1つのメニューにまとめることができます。タブの選択やサブメニューを表示する手間が省けて便利です(☞59ページ)。

- 操作メニューのタブは、**操作メニュー** キーを押して切り替えることもできます。
- パソコンやマンガビューアなどのMOREソフトでは **操作メニュー** キーを押したとき、タブが表示されないものがあります。

すぐ使ってみたい方は、70ページの「文字入力」の章へお進みください。

インデックス画面を編集する

ホームインデックス1画面などでアイコンを追加・隠す・並び順の変更をしたり、ホームインデックス1画面などとは別によく使うアイコンなどを登録したインデックス画面(オリジナルインデックス画面)を作ったり、自分なりのインデックス画面を作ることができます。

基本操作

基本

インデックス画面でアイコンを追加・隠す・移動する

ホームインデックス1画面、ホームインデックス2画面、システム設定画面、データ通信画面でアイコンを追加・隠したりアイコンの並びを替えて、アイコンを探しやすくすることができます。

アイコンを追加する

1 インデックス編集画面を表示します。

- 1 ホームインデックス1画面などを表示する

- 2 **編集** にタッチする



上部は、ホームインデックス1画面

ここにタッチしてシステム設定などを選ぶ

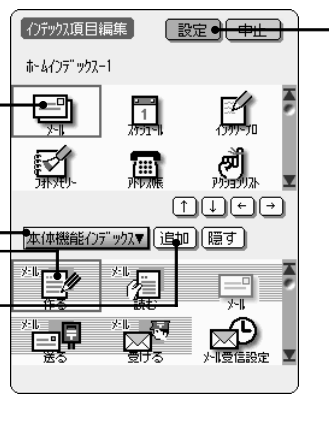
下部は、追加できる機能(アイコン)



インデックス項目編集画面

2 アイコンを追加します。

- 1 追加するアイコンの位置を決める —
選択したアイコンの後ろに追加される
- 2 ここにタッチし、表示されたメニューから追加したい機能(アイコン)があるインデックス画面名にタッチする
- 3 追加したい機能(アイコン)にタッチする
- 4 **追加** にタッチする —
この例では **メール** アイコンの後ろに **メール作る** アイコンを追加
- 5 **設定** にタッチする —



- 追加したいアイコンを選択したとき、すでに上部に同じアイコンがあるときは追加することができません。

アイコンを隠す・移動する

- ・アイコンを隠す場合

インデックス項目編集画面で隠したい上部のアイコンを選択し、**隠す**にタッチします。ホームインデックス1画面などからアイコンが隠されます。

- ・アイコンを移動する場合

インデックス項目編集画面で移動したいアイコン(上部にあるアイコン)を選択し、**↑****↓****←****→**にタッチしてアイコンを移動させます。



- ・購入直後の状態にアイコンを戻すには

ホームインデックス1画面、システム設定画面、データ通信画面などで、アイコンを購入直後の状態に戻すには、**操作メニュー**キーを押し、**機能**タブ、**順番を元に戻す**を選択し**決定**キーを押します。

- ・ホームインデックス2画面で項目の並び順を変えるには

「スケジュール」など(**書く** スケジュール **見る**)の「スケジュール」にしばらくタッチし、表示されたメニューから機能名を選ぶと、選択した機能と入れ替わります。項目の並び順を購入直後の状態に戻すには、表示されたメニューから**購入直後の状態に戻す**にタッチします。

基本操作

基本
本

オリジナルインデックス画面を作る

よく使うアイコンだけを登録したインデックス画面を作ることができます。

- 1 ホームインデックス1画面などで、画面左上の**ホームインデックス-1▼**などにタッチし、表示されたメニューから**オリジナルインデックス**を選択し、オリジナルインデックス画面で**編集**にタッチします。

前項の「アイコンを追加する」と同じ方法で、オリジナルインデックス画面に入れたいアイコンを選択し、**追加**にタッチします。お買いあげのとき、オリジナルインデックス画面にはアイコンは入っていません。

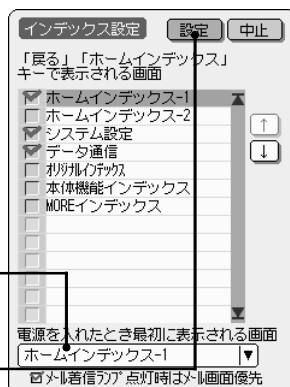
電源を入れたときや **ホームインデックス** キーを押したときの画面を変更する

電源を入れたときに表示される画面を変えたり、**戻る**キーや**ホームインデックス**キーを押したときに表示される画面を変更することができます。

電源を入れたときに表示される画面を変更する

お買いあげ時、電源を入れるとホームインデックス1画面が表示されます。これを電源を切る前の画面などに変更することができます。

- 1 **ホームインデックス** キーを押し、ホームインデックス1画面などを表示する
- 2 **操作メニュー** キーを押し、**機能** タブ、**設定...** を選択し **決定** キーを押す
- 3 ここにタッチし、表示されたメニューから、電源を入れたときに表示される画面を選択する
- 4 **設定** にタッチする



インデックス設定画面



- インデックス設定画面の「電源を入れたとき最初に表示される画面」で「電源を切る前の画面」を選択した場合、電源を切る前に使用していた画面が表示され、電源を切る直前の画面データなどを保持しています。ただし、充電池が完全に消耗したときは、これらの内容を保持できなくなります。

戻るキー、ホームインデックスキーで表示する画面を変更する

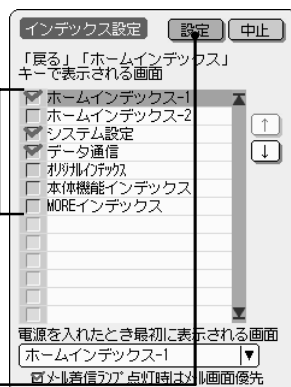
ホームインデックスキーや戻るキーを押して表示されるインデックス画面を変更できます。

- 1 ホームインデックス1画面などで、
操作メニューキーを押し、機能タブ、
設定...を選択し決定キーを押す



- 2 表示する画面を選択する
☒ または ☐ にタッチすると切り替わる
☒ で選択される(表示される)
☐ で選択されていない(表示されない)

- 3 設定にタッチする



インデックス設定画面

インデックス設定画面の説明

「戻る」「ホームインデックス」キーで表示される画面

戻るキーやホームインデックスキーを押したときに表示される画面を設定します。チェックがついているものが表示されます。表示される順番は、このリストの上から順に表示されます。



ホームインデックスキーを押したときに表示される画面の順番を変更できます。左のリストから上に移動したい画面を選択し、↑にタッチします。下に移動したいときは、↓にタッチします。

電源を入れたとき最初に表示される画面
電源を入れたとき最初に表示される画面を設定します(前ページ)。

ホームインデックス-1などにタッチして表示されたメニューから選択します。

メール着信ランプ点灯時はメール画面優先

チェックを入れた場合、メール着信ランプ(緑)点灯時に電源を入れると、メールの受信簿画面を表示します。

基本操作

基本

文字を拡大して表示する

一覧画面や詳細表示画面で文字を拡大して表示することができます。
文字の大きさを変更する操作は、機能によって次のように分かります。

● (操作メニュー) キーで拡大・縮小する

アドレス帳、スケジュール、アクションリスト

詳細表示画面または一覧画面で、(操作メニュー) キーを押し、[操作] タブ、
[文字サイズ]、(決定) キーを押し、[大] または [標準] を選択し (決定) キーを押すと、
2段階に切り替えることができます。

インターネット、インターネットライブラリ、メール、インクワープロ

詳細表示画面では、(操作メニュー) キーを押し、[操作] タブ、[文字サイズ]、(決定)
キーを押し、[大]、[標準]、[小] を選択し (決定) キーを押すと、3段階に切り替える
ことができます。

一覧画面では、(操作メニュー) キーを押し、[操作] タブ、[文字サイズ]、(決定) キー
を押し、[大] または [標準] を選択し (決定) キーを押すと、2段階に切り替えること
ができます。

● 画面上の [文字 大] で拡大する

アドレス帳、スケジュール、アクションリスト

詳細表示画面または一覧画面で、[文字 大] と [文字標準] にタッチして2段階に
切り替えることができます。

メール、インクワープロ

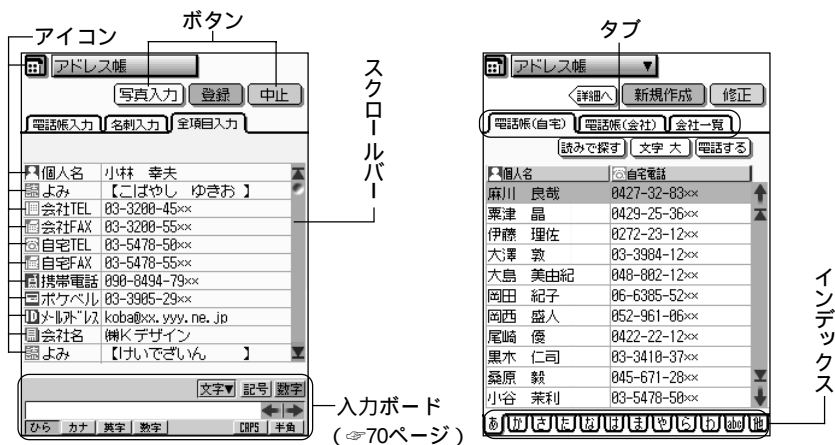
詳細表示画面では、[文字 大]、[文字標準]、[文字 小] にタッチして3段階に切り替
えることができます。一覧画面では、[文字 大] と [文字標準] にタッチして2段階
に切り替えることができます。

メール、インクワープロでは、操作メニューからも文字サイズを切り替えることができます。

画面各部のなまえと操作

画面には、いろいろな動きや表示を示すアイコンやボタンなどがあります。これらのアイコンやボタンなどの役割を知っておくと、簡単に操作できたり、その意味がわかります。

ここでは、画面の各部に表示されるアイコンなどをまとめて説明します。画面操作はペンタッチを中心に説明しています。キーを使って画面を操作するには61～67ページをご覧ください。



● アイコン

アイコンには、次のようなものがあります。

 など ... 各項目の前でその内容を示すアイコン

 など ... 画面の左上で、操作中の機能を示すアイコン



- アイコンの種類は機能によって違います。
また、「個人名の読み」や「会社名の読み」などのアイコンは、新規作成画面や修正画面では表示されますが、それ以外の画面では表示されません。

- アイコンの表示は

アイコンやボタンには、表示によって状態を示すものがあります。

 ... 選択できる状態

 ... 選択できない状態 (薄い)



... シークレットがかかっている



... シークレットがかかっていない

基本操作

基本

● ボタン

ボタンには、次の3種類があります。

- 作業を実行する
- ◀ 画面を切り替える
- ▼ メニューを表示する

また、ボタンの色で次に行う操作を指し示すものがあります。

- 登録(緑色) など ... データなどを入力した後、次にタッチする必要があるボタンを示す

緑色のボタンにタッチしていくと、データの登録など一連の作業を終了できる

- 中止(黄色) など ... 緑色のボタンの動きとは違う動きを示すボタン

(注)スケジュール、アドレス帳、メールなどの機能では、ボタンの色で次に行う操作を指し示します。

ボタンにタッチすると、ボタンの中にかかれている機能や作業が実行されます。ボタンは、操作中の画面で選べるものだけが表示されます。



- 登録、中止の動きは

- 登録 新規作成中や修正中のデータを登録します。
- 中止 作業を中止します。

● インデックス

データを名前の読みなどで分類したものを、インデックスと呼びます。

移動	文字▼	記号	数字
飲食	h	後退	削除
受付			改行
打ち合わせ			入力
あ か さ た な は ま や ら わ			



海外	文字▼	記号	数字
会議	h	後退	削除
会議室			改行
回収			入力
あ か さ た な は ま や ら わ			

か にタッチする

尾崎 俊	0422-22-12xx
黒木 仁司	03-3418-97xx
森原 鯨	045-671-28xx
小谷 栄利	03-5478-50xx
あ	か



竹宮 凉子	043-247-27xx
田山 盛人	03-3483-56xx
千葉 明子	03-3414-52xx
辻井 章	03-3456-78xx
あ	か

左右の⊖(スクロールキー)を押す、またはか にタッチ

● タブ

タブとは、表示中の内容を示すものです。タッチすると、ほかのタブに切り替えることができます。

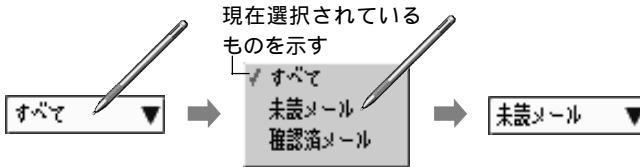
機能 キーを押した後、左右の⊖(スクロールキー)を押す

ペンタッチ 各タブにタッチ

アドレス帳 ▼	
詳細へ	新規作成 修正
電話帳(自宅)	電話帳(会社) 会社一覧
読みで探す 文字 大 電話する	
個人名	自宅電話
麻川 良哉	0427-32-83xx
栗津 晶	0429-25-36xx
伊藤 理佐	0272-23-12xx

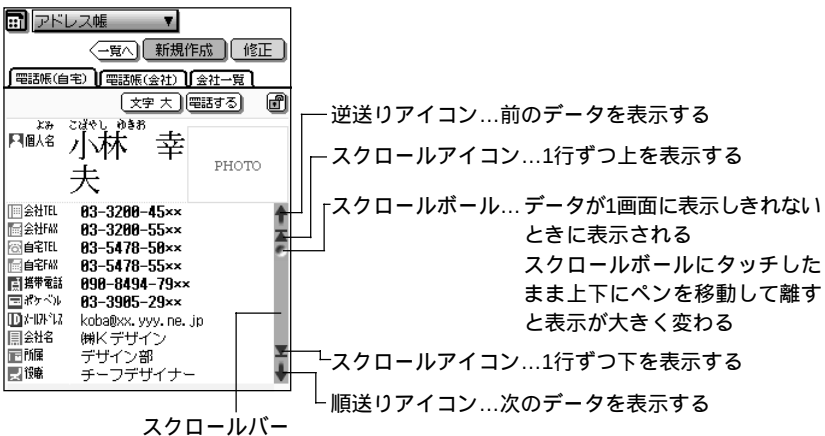
● ポップアップメニュー

すべて ▼ などのように右端に▼が表示されているボタンがあります。このボタンにタッチすると縦に並んだポップアップメニューが表示され、タッチして目的の機能に切り替えることができます。ポップアップメニューの内容は、ボタンによって違います。



● スクロールバー

1画面に表示しきれない内容を表示するときに、スクロールバーを使います。スクロールバーに  が表示されたときは、1画面分以上のデータがあります。



- ・ 上下のスクロールアイコンにタッチすると、1行分ずつ上下に表示を送ります。
- ・ スクロールボールの上または下のスクロールバーにタッチすると、1画面分表示を送ります。



- ・ 表示するデータ量が多いと画面の切り替えに時間がかかることがあります。
- ・ 区切り線がスクロールバーに重なっているとスクロールバーにタッチしているつもりが、誤って区切り線にタッチしてことがあります(「区切り線」130ページ)。そのときは、画面がスクロールしません。なるべく、スクロールバーの右側寄りをタッチするようにしてください。

● 前後のデータの呼び出し、ページめくり

前後のデータを呼び出したり、リストのページをめくるときは、

(逆送り)キー、(順送り)キーを押したり  にタッチします。

- (逆送り)キー  前のページや、表示中のデータより一覧で上に位置するデータを呼び出す
- (順送り)キー  次のページや、表示中のデータより一覧で下に位置するデータを呼び出す



ここにタッチして前後のページやデータを表示できる



- (順送り)キーを押したときの順番は

例：

- フォトメモリー、インターネットライブラリ
.....日付の新しいものから順に表示
- スケジュール
.....予定時刻順に表示
- アドレス帳
.....個人名や会社名の読みの順 (50音順)に表示

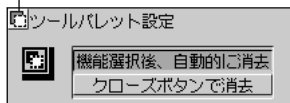
● [閉じる] ボタン、クローズボタン

ホームインデックス1画面などに表示される[閉じる]ボタンや設定画面(たとえばツールパレット設定画面)などで表示されるクローズボタンにタッチすると、その画面が閉じます。

閉じる ボタン



クローズボタン



● 一覧画面でのデータの選択

一覧画面でデータを選んで内容を表示したりするときは、次のように操作します。

🔍 スクロールキー)と(決定)キーを使うとき

🔍 スクロールキー)を使ってデータを選択し、(決定)キーを押します。

タッチペンを使うとき

- ・ 選択されているデータ(オレンジ色などで表示) ... 1回タッチする
- ・ 選択されていないデータ 2回タッチする

選択されているデータを
表示させるときは、1回
タッチ

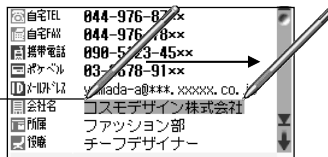


選択されていないデータ
を表示させるときは、2回
タッチ

● ペンでなぞる

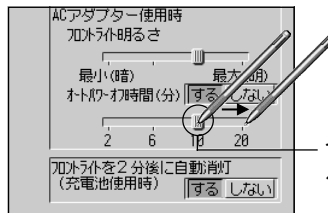
選び始めの文字にタッチし、タッチしたまま最後の文字までスライドさせてオレンジ色に表示することを「ペンでなぞる」といいます。なぞって選んだ後、いずれかの文字にタッチすると、選択が解除されます。

タッチしたままなぞっ
て文字を選択



● つまみの移動

オートパワーオフ時間などをつまみで設定するときは、つまみにタッチしたままスライドして移動します。



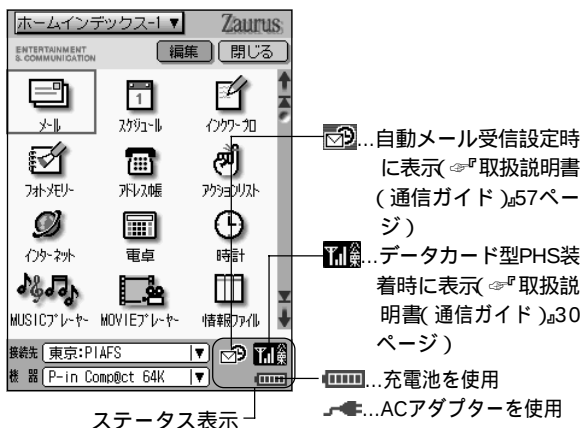
つまみ
タッチしたままスライド
して移動する

● ステータス表示

充電電池/ACアダプターの使用を確かめるときなどは、インデックス画面の右下にあるステータス表示で確かめます。データカード型PHSを装着しているときは、電波の受信レベルを示すアイコンが表示されます。またメールの自動受信を設定しているときは、自動メール受信を示すアイコンが表示されます。

基本操作

基本



- ステータス表示は、インデックス画面に表示されます。アドレス帳やスケジュール機能などでは表示されません。
- 充電電池の使用時、「」のマークが黄色や赤色の枠だけになると、充電電池が消耗しています (329ページ)。

お好みメニューを設定する

よく使うメニューをお好みメニューに登録すると、簡単に操作できるようになります。編集タブの削除の1データや、通信タブの光通信...など、ご自分でよく使う機能を1つのメニューにまとめることができます。タブの選択やサブメニューを表示する手間が省けて便利です。

お好みメニューは、アドレス帳などの各機能ごとに1つずつ設定することができます。

ここでは、アドレス帳のお好みメニューを設定します。

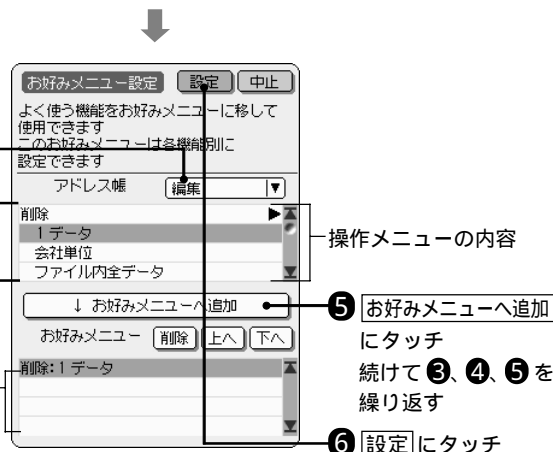
お好みメニューにメニューを登録する

- ① お好みメニューを設定する機能のデータを表示(ここでは、アドレス帳のリスト画面)
- ② 画面左上の各機能アイコン( など)にタッチし、表示されたメニューからお好みメニュー設定...を選択

- ③ ここにタッチし、表示されたメニューから登録する機能のあるタブ名を選択

- ④ 登録するメニュー名にタッチして選択

お好みメニューリスト
お好みメニューに設定する
内容が表示される



お好みメニュー設定画面



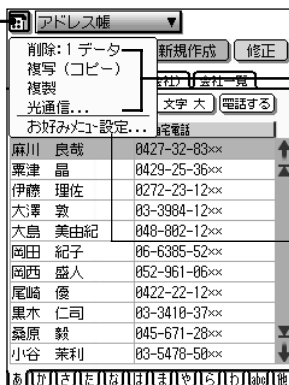
- 画面左上の機能アイコンにタッチし「お好みメニュー設定...」が表示されない機能では、お好みメニューを設定することはできません。
- お好みメニューに登録できるメニュー数は、最大20個です。
- お好みメニューに追加した機能を削除するには、画面下側のお好みメニューリストで削除するメニューを選択し、「削除」にタッチします。
- メニューの位置を変えるには
お好みメニューリストで位置を変えるメニューを選択し、「上へ」「下へ」にタッチすると、選択したメニューが上下に移動します。
- お好みメニューでは、削除メニューのサブメニュー(「1データ」など)が「削除:1データ」などと「:」で区切って表示されます。

お好みメニューを使う

- ① お好みメニューを設定した機能を表示



- ② 画面左上の機能を示すアイコンにタッチ



- ③ 表示されたメニューから実行する機能にタッチ

お好みメニュー設定画面へ



- お好みメニューを修正するには
画面左上の機能を示すアイコンにタッチし、表示されたメニューから
お好みメニュー設定...にタッチします。お好みメニュー設定画面で機能を追加・
削除し、**設定**にタッチします。

基本操作

基本

(スクロールキー)を使う

インデックス画面のアイコンを選択(赤枠)したり、一覧画面でデータを選択(オレンジ色など)するには、 (スクロールキー)を使って行います。

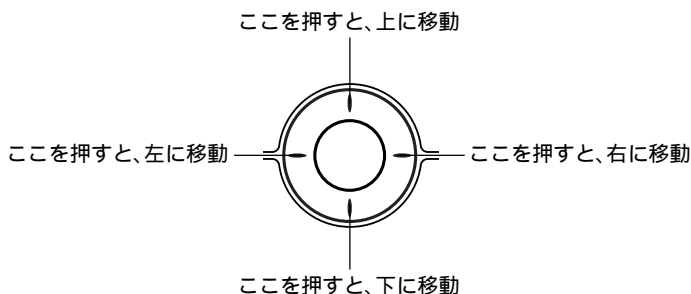
上下左右の (スクロールキー)を使って選択する

ホームインデックス1画面などのインデックス画面、カレンダー画面、フォトメモリーの一覧画面などで、アイコン、データを選択するには、上下左右の  を押します。押し続けると、次のアイコンやデータが選択されます。画面に表示されている最後のデータを選択した後は、次の画面を表示したり、ページをめくります。

上下左右の  を押すと、
選ばれるアイコンが変わる



上下左右の  を押すと、
選ばれる日付が変わる



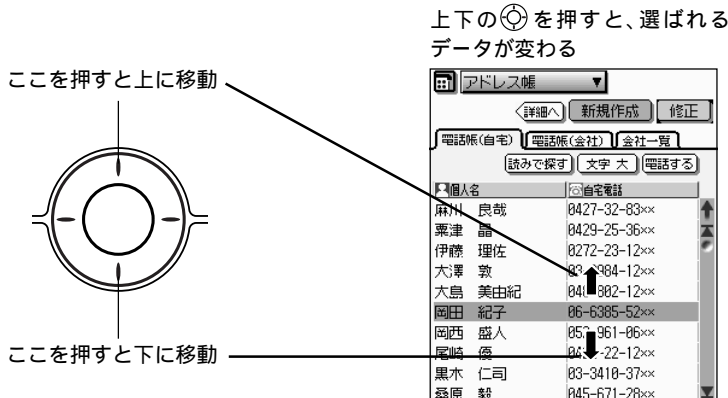
基本操作

基本
本

上下の⊕(スクロールキー)を使って選択する

●一覧画面で選択する

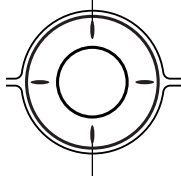
スケジュールの週間表示画面・日表示画面、アドレス帳やアクションリストの一覧画面、メールの送信簿/受信簿一覧画面などでデータを選択したり、画面をスクロールするには、上下の⊕を押します。画面に表示されている最後のデータを選択した後は、見えない次のデータを表示します。



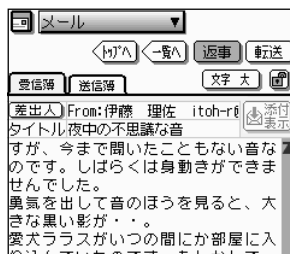
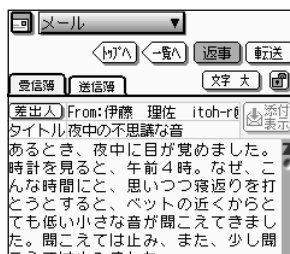
●詳細表示画面でスクロールする

アドレス帳、スケジュールなど各機能の詳細表示画面で、隠れている部分を表示するには、下の⊕を押します。下まですべてを表示した後は、次のデータを表示したり、ページをめくります。

1回押すと、上にスクロールする(戻る)
上まで戻った後、もう一度押すと前のデータを表示する



1回押すと、下にスクロールする
下まですべてを表示した後、もう一度押すと次のデータを表示する



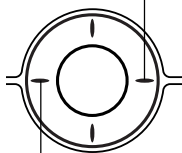
受信メールの詳細表示画面

タブを切り替える

左右の $\odot$ (スクロールキー) を使って、タブを切り替えます。

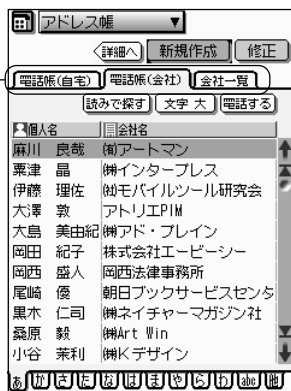
- ・アドレス帳の50音インデックスを切り替えるには左右の $\odot$ を押す。
電話帳(自宅)タブ/電話帳(会社)タブ/会社一覧タブを切り替えるには、(機能)キーを押した後、左右の $\odot$ を押す
- ・スケジュールのカレンダータブ/一日タブ/週間タブを切り替えるには、(機能)キーを押した後、左右の $\odot$ を押す
- ・メールの送信簿タブ/受信簿タブを切り替えるには、左右の $\odot$ を押す
- ・操作メニューの編集タブ/操作タブ/通信タブなどを切り替えるには、左右の $\odot$ を押す

1回押すと右のインデックスに切り替わる



1回押すと左のインデックスに切り替わる

(機能)キーを押した後、左右の $\odot$ を押すと、切り替わる

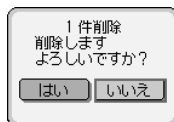


- ・スケジュール、アドレス帳では、 $\odot$ スクロールキー を押したときの働きを設定できます。スケジュール、アドレス帳の一覧画面で(操作メニュー)キーを押し、操作タブ、スクロールキー設定、(決定)キー、働きを選択、(決定)キーと操作します。

ボタンを選択する

左右の $\odot$ (スクロールキー) を使って、はい、いいえやTO:、CC:を選択します。

- ・確認のメッセージなどのはい、いいえの選択(赤枠)状態を変えるには、左右の $\odot$ を押す



- ・メール(宛先選択)画面のTO:、CC:、BCC:を切り替えるには、キーボードの $\uparrow$ キーを押したまま左右の $\odot$ を押す



横画面で (スクロールキー) を使う

● 横画面で (スクロールキー) を使う

フォトメモリー画面やインターネットライブラリー一覧画面などの横画面で上下のアイコンなどを選ぶときは、 が左側にある状態で上下の  を押します。横画面のとき( が左側にあるとき)の上下の  と、縦画面( が下側)での上下の  は同じキーではなく、画面表示の状態によって左右上下は変わります。



- 機能や画面によっては、左右の  を押してもタブが切り替わらないことがあります。

決定 キーを使う

一覧画面で選択したデータを表示したり、インデックス画面で選択したアイコンを実行するには、**決定** キーを押します。

アイコンの機能を実行する

ホームインデックス1画面などのインデックス画面などで選択しているアイコンの機能を実行します。

選択 (赤枠) する



インデックス画面

選択した機能の画面が表示される

決定 キーを押す



各機能の画面

データを表示する

スケジュールのカレンダー画面・週間表示画面・日表示画面、アドレス帳やアクションリスト、フォトメモリー、インクワープロの一覧画面、メールの送信簿/受信簿一覧画面などで選択されたデータを詳細表示画面に表示します。

選択(オレンジ色など)する

一覧画面

選択したデータの内容が表示される

詳細表示画面

決定 キーを押す



データをチェックする

メール選択送信画面、メール選択受信画面、メール選択削除画面でデータを選択(オレンジ色)して決定 キーを押すと、 (チェックマーク) がつき、選択状態になります。もう一度決定 キーを押すと になり、チェックが外れます。

選択(オレンジ色など)する

決定 キーを押す



選択した項目にチェックが入る

選択しているボタンを実行する

確認のメッセージなどで選択(赤枠)されている はい / いいえ、確認、実行のボタンを実行します。

決定 キーを押すと、赤枠で選択されている方が実行される

決定 キーを押すと、確認画面が消える (確認 にタッチと同じ)

条件設定などを実行する

- 各種設定画面(たとえば、メール条件設定画面)などで、決定 キーを押すと、設定 ボタンを実行します。
- 新規情報ファイル作成画面などの文字入力などがある画面では、機能 キーを押した後、決定 キーを押すと、実行 ボタンなどを実行します。また、メール(宛先選択)画面で機能 キーを押した後、決定 キーを押すと、宛先設定完了 ボタンを実行します(367ページ)。

戻る(電源)キーを使う

1つ前の画面に戻るだけでなく、確認のメッセージや操作メニュー、メールの添付データ表示画面や電卓など画面上に小さく表示されるウィンドウを閉じます。

また、各機能で[中止]などにタッチしたときと同じ働きをします。

電源の入っていないときに[戻る(電源)]キーを押すと電源が入ります。また電源が入っているときに[戻る(電源)]キーをしばらく押すと、電源が切れます。

基本操作

基本

順送り キー、逆送り キーを使う

一覧画面で画面単位でデータを呼び出したり、詳細表示画面で前後のデータを表示します。

インターネットに接続してホームページを表示中は、前ページ、次ページを表示します。

前後のデータを表示する

● 一覧画面で画面単位でデータを呼び出す

スケジュールの週間表示画面・一日表示画面、アドレス帳やアクションリストの一覧画面、メールの送信簿/受信簿一覧画面などで画面単位でデータを表示するには、[順送り]キー、[逆送り]キーを押します。

[順送り]キーを押すと、表示中の画面の次の画面を表示し、[逆送り]キーを押すと、1つ前の画面を表示します。

● 詳細表示画面でデータを呼び出す

アドレス帳、スケジュールなど各機能の詳細表示画面で、前後のデータを表示するには、[順送り]キー、[逆送り]キーを押します。

[順送り]キーを押すと、表示中のデータより一覧上で下に位置するデータ(次のデータ)を表示します。[逆送り]キーを押すと、表示中のデータより一覧上で上に位置するデータ(前のデータ)を表示します。

ページをめくる

カレンダー画面などで、前後のページをめくります。

■にタッチしたときと同じ働きをします。

キーボードから操作する

キーボードのキーを使って、データの新規作成や修正を行います。

新しくデータを入力する

各機能の新規作成画面を表示します。各機能で(機能)キーを押した後、(N)新規作成)キーを押します。

(新規作成)にタッチするのと同じ働きをします。

登録したデータを修正する

一度登録したデータの修正画面を表示します。各機能で修正するデータの詳細表示画面を表示するか、一覧画面で修正するデータを選択し、(機能)キーを押した後、(M)修正)キーを押します。

(修正)にタッチするのと同じ働きをします。

新規作成・修正データを登録する

新規作成または修正したデータを登録します。各機能の新規作成/修正画面でデータを入力し、(機能)キーを押した後、(入力)登録)キーを押します。

(登録)にタッチするのと同じ働きをします。

(機能)キーを押した後、
(N)新規作成)キーを押す
(新規作成)にタッチと
同じ)

詳細表示画面

(機能)キーを押した後、
(M)修正)キーを押す
(修正)にタッチと同じ)

(機能)キーを押した後、
(入力)登録)キーを押す
(登録)にタッチと同じ)

新規作成/修正画面



- キーボードの(機能)キーの代わりに、パネルの(機能)キーを押しても操作できます。

次に行う操作を教えてくれる

この製品では、メール、スケジュール、アドレス帳などで次に何の操作をすればよいのかを教えてくれます。

次に行う操作を教えてくれる

基本操作

基本

メール機能

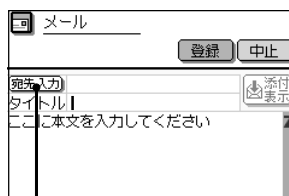
ボタンのまわりに赤枠が点滅して、次にタッチするボタンを教えてくれます。

- 1 メール トップ画面で $\odot$ を使って
[作る] アイコンを選択し、[決定] キーを押す

ペン
タッチ [作る] アイコンにタッチ

- 2 $\uparrow$ キーを押したまま、[入力] キーを押す

ペン
タッチ



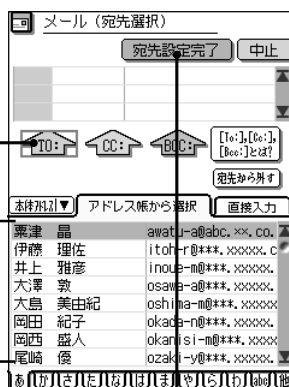
- 3 宛先にする $\uparrow$ が赤枠で囲まれ、このボタンを選択すればよいことを教えてくれる

- 4 上下の $\odot$ を使って下のリストから宛先を選択して[決定] キーを押す

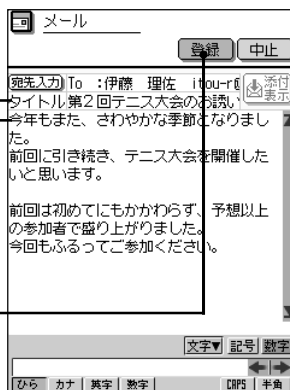
ペン
タッチ 宛先にタッチし、 $\uparrow$ にタッチ

- 5 宛先が決まると、[宛先設定完了] が赤枠で囲まれる(点滅)。[機能] キーを押した後、[決定] キーを押す

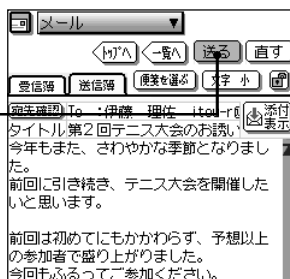
ペン
タッチ



- ⑥ タイトル、本文を入力する
- ⑦ **登録** が赤枠で囲まれる(点滅)。
(機能) キーを押した後、(入力)(登録) キーを押すと新しく作ったメールが登録される



- ⑧ (機能) キーを押した後、(決定) キーを押してメールを送信する



- 手順⑤、⑦でボタンを囲む点滅する赤枠は、しばらくすると消えます。
 - スケジュール、アドレス帳では、文字などを入力した後、**登録**が赤枠で囲まれ(点滅)次の操作を教えてください。
- この点滅する赤枠も、しばらくすると消えます。

メッセージで教えてくれる

この製品では、操作を迷いやすいところではメッセージを表示して今行っている操作を教えてください。ナビゲーションしてくれる操作として、次のようなものがあります。

- タブ(54ページ)やボタンなどを選択すると、選択したタブやボタンの意味を教えてください。
- 入力できない画面に手書きをすると、まちがっていることを教えてください。



- メッセージナビが表示される機能は、スケジュール、アドレス帳、メールです。
- メッセージナビの表示/非表示は、(操作メニュー)キーを押し、(操作)タブ、(メッセージナビ)、(決定)キー、(表示する)または(表示しない)、(決定)キーと操作します。各機能でそれぞれ設定します。
- メッセージナビを(表示しない)にしても、新規作成中に(戻る)キーを押したり、画面の(中止)にタッチした場合などは、確認のメッセージが表示されます。

文字入力

文字入力

ここでは、文字の入力方法を説明します。文字を入力するには、次の2つの方法があります。

- ・スライド式キーボードを使って入力する
- ・タッチペンを使って入力する

基本的な文字の変換や修正の方法は、スライド式キーボードを使って説明しています。タッチペンを使うと、手書きで文字を入力したり、50音で入力することができます。ご自分で入力しやすい入力方法を選んでお使いください。

スライド式キーボードは、キーボードと表記します。

文字入力

基
本

入力ボードの種類

文字は、キーボードやタッチペンを使って入力ボードから入力します。入力ボードは、機能にあわせて、縦画面用の入力ボードと横画面用の入力ボードがあります。入力のしかたや入力する文字によって自由に選ぶことができます。

入力ボードの概要

縦画面用の入力ボード

インターネットとフォトメモリー以外の機能は、縦に表示されます。縦画面用の入力ボードは、7つあります。

●キーボード用入力ボード(☞79ページ)

キーボードのキーを押して入力します。ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力します。



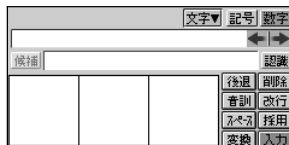
通常の新規作成/修正画面で表示される



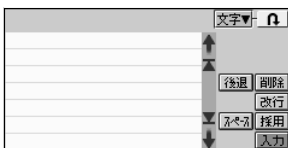
タイトル入力画面などで表示される

●手書認識ボード(☞91ページ)

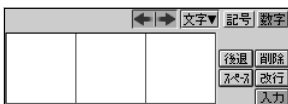
付属のペンを使って、手書きで入力します。ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力できます。



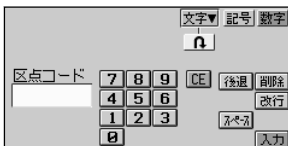
- **インクワープロ参照ボード** (⇨103ページ)
インクワープロで入力した文字をアドレス帳などの新規作成画面で入力できます。



- **インク文字ボード** (⇨191ページ)
インクワープロで手書きしたインク文字を入力できます。



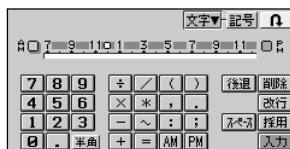
- **区点入力ボード** (⇨104ページ)
4桁の区点コードで文字を入力できます。



- **記号入力ボード** (⇨99ページ)
全角記号、半角記号、絵記号を入力できます。



- **数字入力ボード** (⇨98ページ)
入力ボード上の数字や記号を入力できます。



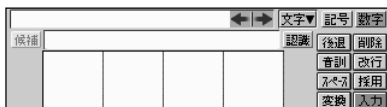
文字入力

基本

横画面用の入力ボード

インターネットとフォトメモリーは、横画面で表示されます。この2つの機能で使える入力ボードは、8つあります。横画面のときは、キーボード用入力ボードを表示することはできません。

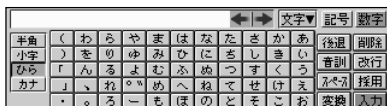
- **手書認識ボード** (⇨91ページ)
付属のペンを使って、手書きで入力します。ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力できます。



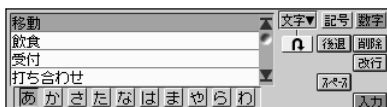
- **タイプライターボード** (⇨101ページ)
英文タイプライターと同じキー配列でローマ字変換ができます。ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字などを入力できます。



- **50音ボード** (⇨100ページ)
50音の読みでひらがな・カタカナ・漢字などを入力できます。



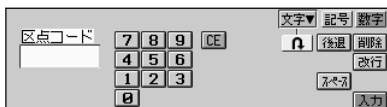
- **常用語ボード** (⇨104ページ)
よく使う語句を入力できます。



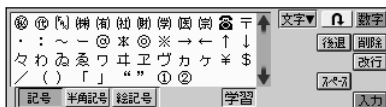
- インクワープロ参照ボード(⇒103ページ)
インクワープロで入力した文字を入力できます。



- 区点入力ボード(⇒104ページ)
4桁の区点コードで文字を入力できます。



- 記号入力ボード(⇒99ページ)
全角記号、半角記号、絵記号を入力できます。



- 数字入力ボード(⇒98ページ)
入力ボード上の数字や記号、文字を入力できます。



入力できる文字と入力ボード

入力できる文字は、入力ボードによって次のように異なります。

入力ボード	入力できる文字 ^(*)						
	ひらがな	カタカナ	漢字	英字	数字	記号	絵記号
キーボード	○	○	○	○	○	○ ^(*)2)	
手書認識ボード	○	○	○	○	○	○ ^(*)3)	
50音ボード	○	○	○				
タイプライターボード	○	○	○	○	○	○ ^(*)4)	
インクワープロ参照ボード	○	○	○	○	○	○	○
インク文字ボード	インク文字(インクワープロでのみ使用できる)						
区点入力ボード	○	○	○	○	○	○	○
数字入力ボード					○	○ ^(*)4)	
記号入力ボード						○	○
常用語ボード	常用語						

*1：ひらがな・漢字・絵記号・記号の一部は全角文字で、カタカナ・英字・数字・記号の一部は全角・半角の両方で入力できます。

機種名がPI-8000などのPIシリーズザウルスで入力できた半角ひらがな、1文字で濁点や半濁点を含んだ半角のカタカナ(「ダ」など)は入力できません。

*2：キーボード上の記号を入力できます。

*3：一部の記号を入力できます(⇒344ページ)。

*4：ボード上の記号を入力できます。なお、各ボードのボタンに表示される記号は、それぞれ入力できます。

スライド式キーボードでひらがな、カタカナを入力するときは、ローマ字かな変換で行います。

入力ボードの切り替え

入力ボードを切り替えます。

入力ボードは新規作成画面・修正画面などで表示されます。

例 キーボード用入力ボードから手書認識ボードなどに切り替える場合

1 キーボード用入力ボードを表示します。

ここでは、アドレス帳の新規作成画面を表示し、キーボード用入力ボードを表示します。

1 ホームインデックス)キーを数回押す

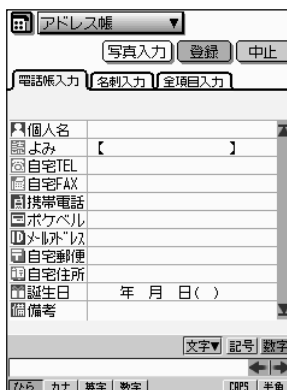
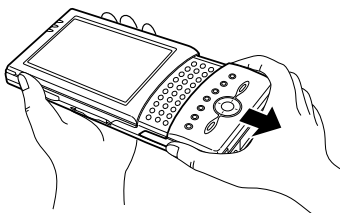


2 ④を使って「アドレス帳」アイコンを選択し、決定)キーを押す



ホームインデックス1画面

3 キーボードを開く



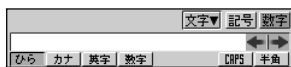
文字入力

基本

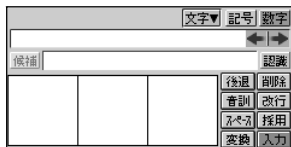
2 入力ボードを切り替えます。

キーでの切り替え

- 1 **機能** キーを押した後、**(?)** () キーを押す
この操作を繰り返すたびに切り替わる



キーボード用入力ボード



手書認識ボード

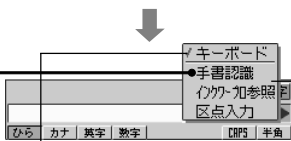
ペンでの切り替え

- 1 **文字** ▼ にタッチし、入力ボード切り替えメニューを表示する



キーボード用入力ボード

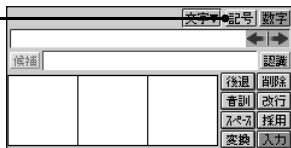
- 2 **手書認識** にタッチし、手書認識ボードに切り替える



現在表示されている
入力ボードを示す

入力ボード切り
替えメニュー

- 3 **記号** にタッチし、記号入力ボードに切り替える



手書認識ボード

直前に表示していた入力ボードに戻る
(この場合は、手書認識ボードに戻る)



記号入力ボード



- 入力項目とは

たとえばアドレス帳機能には、名前を入れる項目、電話番号を入れる項目などがあります。これらデータを入力する項目を、入力項目といいます。

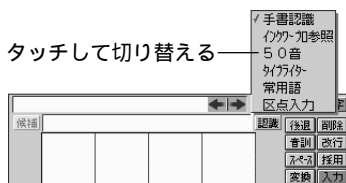
- 縦画面で入力ボード切り替えメニューを使って入力ボードを切り替えるには
縦画面で、各ボードに切り替えるには、入力ボードの「文字▼」にタッチし、表示された入力ボード切り替えメニューから、

「**キーボード**」、「**手書認識**」、「**インクワープ参照**」、「**区点入力**」を選択します。

- 横画面用の入力ボードを切り替えるには

手順 2 の「ペンでの切り替え」と同じようにして切り替えます。

各ボードを切り替えるには、入力ボードの「文字▼」にタッチし、表示された入力ボード切り替えメニューから、「**手書認識**」、「**インクワープ参照**」、「**50音**」、「**タイプライター**」、「**常用語**」、「**区点入力**」を選択します。



- 数字入力ボード、記号入力ボードに切り替えるには
入力ボードの右上の「**数字**」、「**記号**」にタッチします。

- 直前に表示されていた入力ボードに戻るには

「**戻る**」にタッチします。

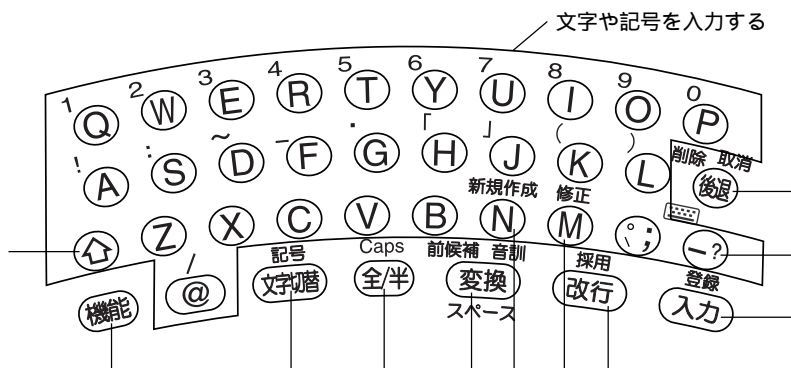
- 切り替えを中止するには

表示中の入力ボードにタッチすると、入力ボード切り替えメニューが消えます。

キーボードの基本操作

パネルを引く(☞27ページ)と、キーボードが表示されます。文字や記号はキーを押して入力します。キーには、文字・記号を入力するキーと、漢字に変換したり入力モードを切り替えるなどの役割をするキー(紫色)があります。

ここでは、キーボードの基本的な取り扱いやキーの役割などを説明します。文字入力については、79ページをご覧ください。



キーの役割

漢字に変換したり、データを登録するなどの役割をするキーをまとめて説明します。これ以外のキーは文字や記号を入力するキーです。

(後退)(取消/削除)

- 文字の入力中、変換中でないときは、入力項目でカーソルの前(左側)の文字を削除します。文字の入力中は、入力行でカーソルの前(左側)の文字を削除します。
- 漢字に変換中、(後退)(取消)キーを押すと、変換が取り消され、元のひらがなに戻ります(☞89ページ)。
- (機能)キーを押した後、(後退)(削除)キーを押すと、文字の入力中はカーソルの後ろ(右側)の文字を削除します。(☞84ページ)。

(-?)()

(機能)キーを押した後、(-?)()キーを押すと、キーボードとタッチペンで入力する入力ボード(手書認識ボードなど)を切り替えます。

(入力)(登録)

- 入力行に文字があるときは(変換中、未変換にかかわらず)それらの文字をすべて入力項目に採用します。入力行に文字がないときは、次の項目にカーソルを移動します。

- ・**機能**キーを押した後、**入力**(登録)キーを押すと、新規作成/修正中のデータが登録されます(☞82、114ページ)。

改行(採用)

- ・入力行に文字がないときは、改行します。
- ・入力行に変換中の文字があるときは、先頭の文節を採用します(☞86ページ)。
- ・入力行に文字(ひらがな、数字など)があるときは、それらの文字を入力項目に採用します(☞80ページ)。

M(修正)

機能キーを押した後、**M**(修正)キーを押すと、表示されているデータや選択されているデータの修正画面を表示します(☞121ページ)。

N(新規作成)

機能キーを押した後、**N**(新規作成)キーを押すと、各機能で新規作成画面(データを新しく作成する画面)を表示します。

変換(前候補/音訓/スペース)

- ・入力中のひらがなを漢字に変換します。
- ・入力行に文字がないときは、スペースを入力します。
- ・**機能**キーを押した後、**変換**(音訓)キーを押すと、入力中のひらがなを音読み/訓読みから漢字に変換します(☞88ページ)。
- ・漢字変換中に、**変換**キーを押すと、次の候補が選択されます。**⇧**キーを押したまま、**変換**(前候補)キーを押すと、1つ前の候補が選択されます(☞83ページ)。

全/半(Caps)

- ・カタカナまたは英数字を半角で入力できる状態と、全角で入力できる状態を交互に切り替えます(☞次、81ページ)。
- ・**機能**キーを押した後、**全/半**(Caps)キーを押すと、英字を大文字で入力できる状態と、小文字で入力できる状態を交互に切り替えます(☞次ページ)。

文字切替(記号)

- ・ひらがな/カタカナ(ローマ字入力モード)や英字・数字を入力できる状態を切り替えます(☞次ページ)。
- ・**機能**キーを押した後、**文字切替**(記号)キーを押すと、文字の入力中に記号入力ボードを表示します(☞99ページ)。

機能

- ・キーの上の緑色の文字の機能を実行します。**機能**キーを押した後、該当するキーを押します(☞次ページ)。
- ・キーの上側に書かれている文字や記号を入力したいときは、**機能**キーを押した後、該当するキーを押します(☞次ページ)。

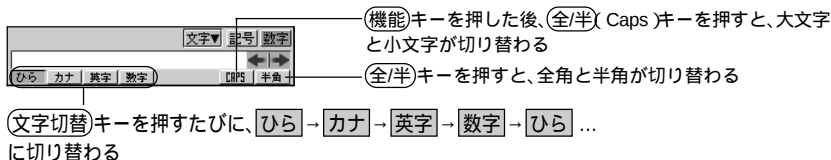
⇧(シフト)

英数字入力の際に**⇧**キーを押したまま文字のキーを押すと、**[CAPS]**のときは小文字が入力され、**[CAPS]**のときは大文字が入力されます。

基本的な操作

● 入力モードの切り替え

キーボードは、選択されている入力モードにより、入力できる文字が変わります。入力モードは(文字切替)キーを押すたびに次のように変わります。



● 文字や記号を入力する

キーの左上にある記号は(機能)キーを押した後、該当するキーを押すと、文字や記号を入力できます。

ひらがな入力モード、カタカナ

入力モード、英字入力モードの場合

(機能)キーを押した後、キーを押したときに入力できる



数字入力モードの場合

キーを押したときに入力できる

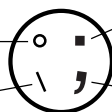


ひらがな入力モード、

カタカナ入力モードの場合

⬆️キーを押したまま、キーを押したときに入力できる

キーを押したときに入力できる



英字入力モードの場合

⬆️キーを押したまま、キーを押したときに入力できる

キーを押したときに入力できる

● キーの上の緑色の文字の機能を実行する(「新規作成」、「登録」など)

キーの上の緑色の文字の機能を実行するには、キーボード上の(機能)キーを押した後、該当するキーを押します。

(機能)キーを押した後、キーを押すと実行できる

画面上の「新規作成」ボタンにタッチしたのと同じ動きをする



- キーボード上の(機能)キーは、パネルの(機能)キーと同じ役割をします。ただし、パネルの(機能)カードキーを押すと、本体とカードのデータを切り替えることができますが、キーボード上の(機能)キーを押しても切り替えることはできません。
- 取扱説明書では、キーボードのキーを(入力)キーと「キー」をつけて表記します。キーの上側の緑色の文字の機能を実行するときは、(入力)登録キーとカッコで表記します。
- 各機能のキー操作については「付録」の「キー操作一覧」をご覧ください(☞364ページ)。

キーボードで入力する

キーボードを使って文字を入力します。

ここでは、文字の入力・変換について、次の順番で説明しています。

- ・ローマ字でひらがなや漢字を入力する
...基本的な漢字変換や英数字の入力を説明しています。
- ・連文節を変換し別の漢字に変換する
...2文節以上の連文節変換と、同じ読みで別の漢字への変換を説明しています。
- ・文節の区切りを変えて変換する
...文節をまちがって変換したときなどに、変換する文節範囲を変えて変換する方法を説明しています。
- ・音読み/訓読みから漢字に変換する
...通常の変換で目的の漢字が見つからないとき、音読み/訓読みから漢字に変換する方法を説明しています。

文字入力

基
本

ローマ字でひらがなや漢字を入力する

ローマ字でひらがなを入力し、漢字に変換します。また、カタカナ・英数字を入力します。

例 「浅尾浩二」「あさおこうじ」「デザイナーSMA55所属」をキーボードを使って入力する場合

- 1 73ページと同様にして、アドレス帳の新規作成画面にキーボード用入力ボードを表示します。

- 1 キーボード用入力ボードが表示され、**ひら**が選択(オレンジ色)されていることを確認する

ひら以外が選択されているときは、**文字切替**キーを押して**ひら**(選択状態)にする

キーボード用入力ボード

新規作成画面

2 ひらがなを入力し、漢字に変換します。 ここでは、「浅尾浩二」と入力します。

1 (A) (S) (A) (O) キーを押す

入力行に「あさお」が表示される
漢字に変換しないで、ひらがなのまま入力するときは、入力行にひらがなが表示されているときに(改行)(採用)キー、または(入力)キーを押す

カーソル



2 (変換) キーを押し、漢字に変換する 表示された漢字が正しいときは(改行) (採用)キー、または(入力)キーを押す



3 もう一度(変換)キーを押し、候補メニューを表示する

候補メニュー
10候補ずつ表示される
上下の(上/下)を押すと選択が変わる
候補メニューを消すには(下)下記の2つ目の「メモ」
選択した候補の順番
候補総数



4 目的の漢字がないので、(順送り)キーを押して次の候補メニューを表示する

5 下の(上/下)を押して目的の漢字を選択し、(決定)キーを押す 選択している漢字が、入力項目(ここでは、個人名)に入る

ペン
タッチ



- 手順 2 の 5 で(決定)キーの代わりに(改行)(採用)キーを押しても入力項目に入ります。
- 変換したい文字がまちがっているときなど、候補メニューを消したいときは、(後退)(取消)キーを押します。

- ⑥ (K) (O) (U) (J) (I) キーを押し、手順②～⑤と同じようにして漢字に変換して入力する

名前と名前の読みが自動的に入力される
入力された読み(ここでは「あさおこうじ」)を確かめ、必要に応じて修正する
修正するには85ページの「コラム」をご覧ください

- ⑦ (入力) キーを数回(ここでは10回)押し、カーソルを「備考」項目に移動する



3 カタカナと英数字などを入力します。 ここでは、「デザイナーSMA55所属」を入力します。

- ① (文字切替) キーを押し、**カナ**(選択状態)にする

- ② (D) (E) (Z) (A) (I) (N) (A) (-?) キーを押し、(入力) キーを押す
「デザイナー」が入力される

- ③ (文字切替) キーを押し、**英字**(選択状態)にする

- ④ (機能) キーを押した後、(全/半) (Caps) キーを押し、**CAPS**(選択状態)にする

- ⑤ (全/半) キーを押し、**半角**(選択状態)にする

- ⑥ (S) (M) (A) キーを押す
「SMA」が直接、備考項目に入力される

- ⑦ (文字切替) キーを押し、**数字**(選択状態)にする

- ⑧ (T) (5) (T) (5) キーを押す
「55」が直接入力される

文字入力

基本

9 (文字切替)キーを押し、(ひら) (選択状態)に戻した後、「所属」と入力する

10 ここでは、データを登録しないので(戻)キーを押し中止する。
データを登録するときは、(機能)キーを押した後、(入力)登録)キーを押す

The screenshot shows a software window with a list of suggestions on the left and a form on the right. The suggestions include '自宅AX', '携帯電話', '固定電話', 'メールアドレス', '自宅郵便', '自宅住所', '誕生日', and '備考'. The form has fields for '年 月 日' (Year, Month, Day) and 'デザイナー-SMA55所属' (Designer-SMA55 Affiliation). At the bottom, there are buttons for '文字' (Text), '記号' (Symbol), and '数字' (Number), and a status bar showing 'ひら カナ 英字 数字' and 'CPRS | 半角'.

これで、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字の入力を終わります。
次に、連文節の変換を説明します。



- 候補メニューの漢字を選択するには
上の(上)を押すと前(上)の候補、下の(下)を押すと次(下)の候補が選択されます。
- 候補メニューを切り替えるには
(順送り)キーを押すと次の候補メニュー、(逆送り)キーを押すと前の候補メニューが表示されます。候補メニューには最大10候補ずつ表示されます。
- 入力をまちがえたときは
84ページのコラム「入力中の読み(ひらがな)を修正するには(入力行での修正)」をご覧ください。
- 入力行にある文字を入力項目に採用するには
次の方法があります(どちらの方法も、入力項目に入力されカーソルは移動しません)。
 - (改行)採用)キーを押す、または(決定)キーを押す: 変換中の文字(青色に反転している文字)を採用します。
 - (入力)キーを押す: 入力行にある文字(変換中、未変換にかかわらず)のすべてを採用します。
- 入力行に文字がないとき(入力)キーを押すと
入力行に文字がないとき(入力)キーを押すと、カーソルは次の項目に移動します。
- ひらがなを漢字に変換せずに入力するには
80ページの手順2の①で入力行にひらがなを入力した後、(改行)採用)キー、(決定)キーまたは(入力)キーを押します。
- (変換)キー以外での変換について
80ページの手順2の②で(変換)キーの代わりに下の(下)を押しても同じように漢字に変換できます。
- 入力行のカーソルとは
入力行に表示されるカーソル(|)は、この後(右)に文字が入力されることを示しています。
- 数字入力について
数字入力モード(数字)が選択状態で(Q)(1)キーを押すと「1」、(W)(2)キーを押すと「2」が入力されます(☞78ページ)。
スケジュールで時刻を入力するときも同じようにして入力します(☞139ページ)。
- 変換した漢字を取り消すには
入力行にある変換した漢字を取り消しひらがなに戻すには、(後退)(取消)キーを押します(☞89ページ)。



- **英字**、**CAPS**(選択状態)では

入力モード	入力文字
英字 、 Caps (選択状態)	• 文字キーを押すと英大文字を入力 • ⇧キーを押したまま文字キーを押すと、英小文字を入力
英字 、 Caps (選択解除)	• 文字キーを押すと英小文字を入力 • ⇧キーを押したまま文字キーを押すと、英大文字を入力

- **半角**(選択状態)では
カタカナ、英字、数字、記号は半角で入力されます。ひらがなは**半角**でも全角で入力されます。
- **⇧**キーの押しかたのご注意
キーの文字や英大文字を入力するときなど、**⇧**キーを押したまま文字キーを押す場合は、文字キーを**⇧**キーより先に離してください。文字キーより**⇧**キーを先に離すと、**⇧**キーを押さずに入力したときの文字が続けて入力されます。
- 文字キーなどを押したままにしたとき
一部のキーを除き、文字キーなどのキーを押したままにすると、そのキーが連続して何度も押された場合と同じように、続けて文字が入力されます。
- 以前別の漢字で変換していると、同音語学習機能により最初に表示される漢字が違ふことがあります。
- 同音語学習機能とは
一度選んだ漢字を優先して採用できるようにする機能です。いったん採用した漢字は、同じ読みで変換すると、最初の候補として表示されます。
- 「0 (ゼロ)」と「O (オー)」の違いは、画面上では数字のゼロ「0」は0、英字のオー「O」はOと区別して表示されます。
- 半角のひらがなは入力できません。
- 漢字変換中に次候補、前候補を選択するには
漢字変換中に上下の**⇅**キーを押すと、前の候補や次の候補が選択されます。また、**(変換)**キーを押すと、次の候補が選択されます。
⇧キーを押したまま、**(変換)**(前候補)キーを押すと、1つ前の候補が選択されず。



- 入力行に表示できる文字数

入力ボードの入力行には40文字まで表示できますが、40文字を超えて入力した文字は取り込まれません。長い文を書く場合でも、数文字から10数文字を入力行に入力した後、**(改行)**採用)キーまたは**(入力)**キーを押して採用し、入力行を空にすることをおすすめします。

文字入力

基本



コラム

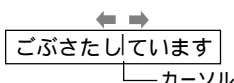
入力中の読み(ひらがな)を修正するには(入力行での修正)

入力行に入力された読みを修正するには、カーソルを修正する文字の前後に移動し、**(後退)**キーを押すか、**(機能)**キーを押した後、**(後退)(削除)**キーを押して削除して、新しい読みを入力します。漢字に変換した場合は、**(後退)(取消)**キーを押して読み(ひらがな)に戻してから修正してください。

■ カーソルを移動する

左右の $\odot$ を押してカーソルを移動します。

左の $\odot$ を押すと左に移動 右の $\odot$ を押すと右に移動



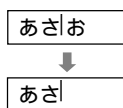
■ 削除する

(後退)キーを押すとカーソルの前(左)の文字、**(機能)**キーを押した後、**(後退)(削除)**キーを押すとカーソルの後ろ(右)の文字を削除します。

- **(後退)**キーを押す



- **(機能)**キーを押した後、**(後退)(削除)**キーを押す

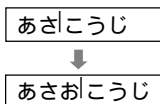


■ 連続して文字を削除する

- **(後退)**キーを押し続けるとカーソルの前(左)の文字が続けて削除されます。
- **(機能)**キーを押した後、**(後退)(削除)**キーを押し続けるとカーソルの後ろ(右)の文字が続けて削除されます。

■ 入力中に文字を挿入する

挿入したい位置にカーソルを移動し、文字を入力します。挿入した後は、カーソルをもとの位置に戻します。

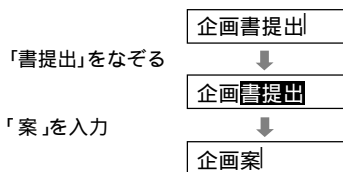


- 入力行に文字がないときは、**(後退)**キーを押すか、**(機能)**キーを押した後、**(後退)(削除)**キーを押すと、入力項目の文字が削除されます。
- 入力行の文字をタッチペンでなぞって**(後退)**キーを押すか、**(機能)**キーを押した後、**(後退)(削除)**キーを押すと、まとめて削除できます。
- カーソルは、ある文字に直接タッチするか、 $\blacktriangleleft\blacktriangleright$ にタッチしても左右に移動します。

(続き)

■ 別の文字に書き換える

例:「企画書提出」を「企画案」に修正するとき



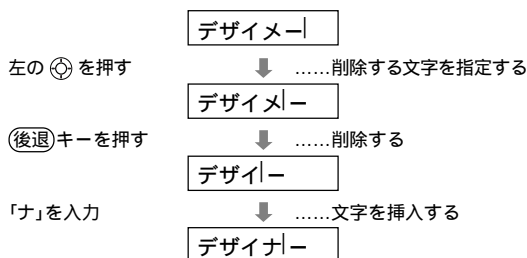
採用した文字を修正するには(入力項目での修正)

採用して入力項目に入力した文字の修正は、入力行での修正と同じです(前ページ)。

入力項目 —

所属	ファクション部
役職	チーフデザイナー

例:「デザイナー」の「メ」を「ナ」に修正するとき



- カーソルを移動するには
左右の を押します。
- 文字を削除するには
(後退) キーを押すとカーソルの前(左)の文字、(機能) キーを押した後(後退) 削除 キーを押すとカーソルの後ろ(右)の文字が削除されます。
- 文字を挿入するには
挿入したい位置にカーソルを移動し、文字を入力し採用します。
- 入力行に文字があるときに、入力項目の文字を修正するには
入力行に文字があるときに、(後退) キーを押すか、(機能) キーを押した後(後退) 削除 キーを押すと、入力行の文字が削除されます。入力項目の文字を削除するには、次のようにします。
 - 1 入力項目で削除する文字を、なぞって選択します。
 - 2 (操作メニュー) キーを押した後、[編集] タブ、[削除] を選択し(決定) キーを押します。
 - 3 左右の を押して、カーソルを入力行にある文字の採用位置に移します。
- スケジュールやアクションリストの日付や時刻などの入力項目では、入力項目の左のアイコン(や)にタッチすると、入力されている内容が消去されます。アドレス帳の誕生日を消去するときは、内容をなぞって選択し、(機能) キーを押した後(後退) 削除 キーを押してください。

文字入力

基本

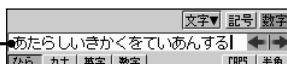
連文節を変換し別の漢字に変換する 連文節変換

この製品では連文節変換ができます。複数の文節の読みを入力して変換し、正しく変換された場合は(入力)キーを押してまとめて採用します。
正しく変換されないときは、(改行)採用)キーを押して先頭の文節から採用し、変換し直す文節を入力行の先頭に表示し、もう一度変換します。
変換する文節の区切りを変えるときは、次ページをご覧ください。

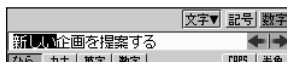
例 「あたらしいきかくをていあんする」を「新しい規格を提案する」に変換する場合

1 ひらがなの読みを入力し、漢字に変換します。

- 読み「あたらしいきかくをていあんする」を入力する

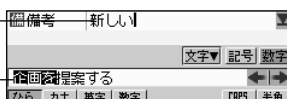


- (変換)キーを押す



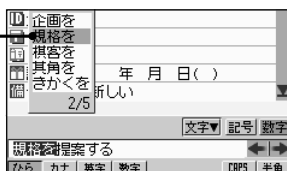
2 文節(青色)ごとに変換した漢字を採用します。

- (改行)採用)キーを押し、正しく変換された文節「新しい」を採用する



- (変換)キーを押し、候補メニューを表示する

- 下の⊕を押し、正しく変換された文節「規格を」を選択し、(決定)キーを押す



変換中の文節が採用される



- 同じようにして残りの文節も変換し採用する(ここでは、「提案する」は正しいので(入力)キーを押す)



- 手順 2 の ③ で(決定)キーの代わりに(改行)採用)キーを押しても、選択した文節が採用されます。また(入力)キーを押すと、選択した文節と入力行に残っている文字がすべて採用されます。

文節の区切りを変えて変換する

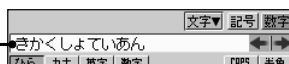
文節区切り変換

文節の区切りをまちがえて変換したときは、変換する読みの範囲を変えて変換します。

例 「きかくしよていあん」と入力して変換した「企画諸提案」の文節区切りを変え、「企画書提案」に変換する場合

1 ひらがなの読みを入力し、漢字に変換します。

- ① 読み「きかくしよていあん」を入力する



- ② **変換** キーを押す



2 選択(青色)された文節の区切りをのぼし、変換し直します。

- ① 右の⊕を1回押し、ひらがなにして文節をのぼす

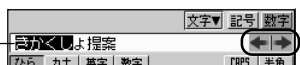
選択した文節が変わると、自動的に変換される

文節を縮めるには左の⊖を押す

変換したい文節まで選択範囲をのぼす

ペンタッチ ➡ にタッチ

文節を縮めるときは ⬅ にタッチ



- ② もう1回、右の⊕を押す

- ③ **改行**(採用) キーを押し、正しく変換された文節「企画書」を採用する

- ④ 同じようにして残りの文節も区切りを変更し、変換し採用する(ここでは、「提案」は正しいので**入力**キーを押す)



- 以前区切りを変えて変換していると、最初に表示される文節が違うことがあります。これは、一度区切りを変えて変換した文節を優先して採用できるようにしているためです。いったん採用した文節は、同じ読みで変換すると、最初の候補として表示されます。

文字入力

基本

音読み/訓読みから漢字に変換する

音訓変換

〔変換〕キーを押しても入力したい漢字が見つからないときは、〔機能〕キーを押した後、〔変換〕(音訓)キーを押して音訓変換します。

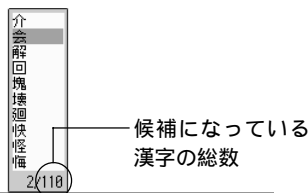
例 「かい」を入力し「改」に音訓変換する場合

1 漢字の音読み/訓読みを入力し、漢字に変換します。

- 1 ひらがな「かい」を入力し、〔機能〕キーを押した後、〔変換〕(音訓)キーを押す



- 2 もう一度〔機能〕キーを押した後、〔変換〕(音訓)キーを押して候補メニューを表示する



- 3 〔順送り〕キーを押して、次の候補メニューを表示する
〔逆送り〕キーを押すと、1つ前の候補メニューが表示される
- 4 上下の○を押して「改」を選択し、〔決定〕キーを押す



- 以前別の漢字で変換していると、同音語学習機能により最初に表示される漢字が違います(⇒83ページ)。
- 手順 1 の 4 で〔決定〕キーの代わりに〔改行〕(採用)キーを押しても同じ動作をします。

文字入力

基本



コラム

漢字変換中に修正するには

漢字変換中に修正するには、次の方法があります。

- 変換を取り消して読みに戻す

変換を取り消し読みに戻すには、漢字の変換中に(後退)(取消)キーを押します。

例:「店頭」と入力するところを、「てるとう」と入力して変換したとき

「てるとう」を入力し、(変換)キーを押す

照る等

(後退)(取消)キーを押す

↓.....読みに戻す

てるとう

左の(左)を2回押す

↓.....削除する文字を指定する

てるとう

(後退)キーを押す

↓.....削除する

てとう

「ん」を入力

↓.....文字を挿入する

てんとう

(変換)キーを押す

↓.....漢字に変換する

店頭



- 変換するひらがなとカーソル位置は
カーソルがどこにあっても入力行のひらがなを変換します。

文字入力

基
本



コラム

変換できない漢字(固有名詞など)を音訓変換する

固有名詞などの漢字を変換できないときは、音訓で変換して採用することができます。

- 1 (後退)(取消)キーを押す
もとのひらがなに戻る
- 2 (機能)キーを押した後、(変換)(音訓)キーを押す
もう一度(機能)キーを押した後、
(変換)(音訓)キーを押し候補メニューを表示する
- 3 上下の $\odot$ を使って、目的の漢字を選択して、(決定)キーを押す
- 4 変換されていないひらがなが入力行に残るので、(機能)キー、(変換)(音訓)キーの操作を2度繰り返す
- 5 目的の漢字を選択して、(決定)キーを押す
ひらがなが長いときは手順④、⑤
と同じようにして変換する

文字▼ 記号 数字			
ぎほん			
ひら	カナ	英字	数字
			CRPS 半角



文字▼ 記号 数字			
偽 備 慈 宣 戯 技 擬 欺 構 疑 5/43 漢			
ひら	カナ	英字	数字
			CRPS 半角



文字▼ 記号 数字			
ほん			
ひら	カナ	英字	数字
			CRPS 半角



文字▼ 記号 数字			
奔 鉄 翻 反 振 煽 煽 膝 體 端 2/28 漢			
ひら	カナ	英字	数字
			CRPS 半角

文字入力

基
本

手書認識ボードで入力する

この製品では、キーボードから文字を入力する以外に、ほかのザウルスと同じように手書認識による文字入力ができます。付属のタッチペンを使って手書認識ボードから手書きで文字を入力します。

文字を手書きする

手書きで漢字、ひらがな、カタカナ、英数字を入力します。

ここでは、縦画面の手書認識ボードの例で説明します。インターネットやフォトメモリーで手書認識ボードを使うときは、横画面で手書きします。記入枠は4つになりますが、操作は、縦画面の手書認識ボードと同じです。

例 「大木浩二」「おおきこうじ」「デザイナーSMA55所属」を手書きして入力する場合

- 1 73ページと同じ手順で、アドレス帳の新規作成画面に手書認識ボードを表示します。

- 1 手書認識ボードが表示されていることを確認する

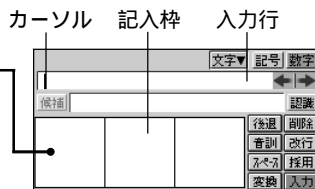
手書認識ボード以外が表示されていたら、入力ボードの「文字▼」にタッチし、表示されたメニューから「手書認識」にタッチして手書認識ボードを表示する(74ページ)



- 2 手書きで漢字を入力します。
ここでは、「大木浩二」を手書きします。

- 1 1枠に1文字ずつ(「大木浩二」)手書きする

3個の枠のどこに書いてもかまわない



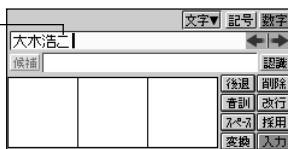
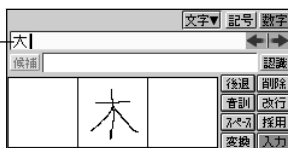
文字入力

基本

枠に文字を書いてしばらくすると、入力行に表示される

手書き文字の入力について
(94～95ページの「メモ」)

「二」が「こ」に似ているため、まちがって認識された



3 まちがって認識された場合は、正しい文字に変えます。 この後、文字を採用します。

1 正しい文字に変えたい文字(「こ」)に
タッチする

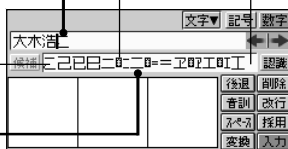
候補文字表示窓に「こ」に似た文字が表示される

2 正しい文字(「二」)にタッチし選択する

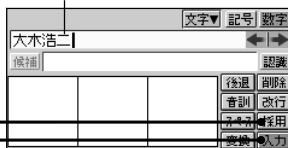
3 [採用] にタッチし、「個人名」項目に採用する

4 [入力] にタッチし、カーソルを「よみ」項目に移動する

左側に「二」のついた文字は
半角 横幅が漢字の半分の文字)
候補文字表示窓



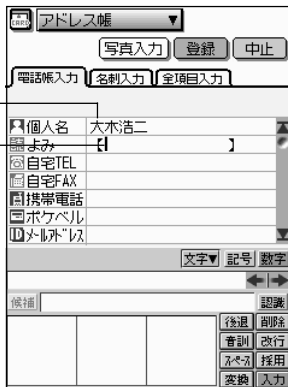
「二」が選択されている



採用した漢字が表示される

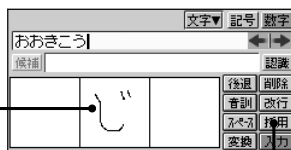
カーソルがここに移動する

[認識]、[候補]、[採用]、[入力]、[削除]について
(94ページの「メモ」と97ページの「コラム」)



- 4 手書きでひらがなを入力します。
ここでは、「おおきこうじ」を手書きします。

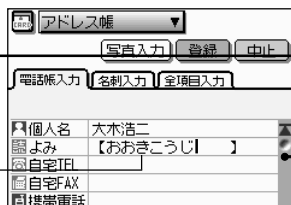
- ① ひらがな(「おおきこうじ」)を手書きする



- ② [採用] にタッチする

- 5 カーソルを「備考」項目に移動します。

- ① ここにタッチし、下に隠れている画面を表示する



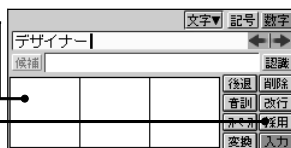
採用したひらがなが表示されている



- ② ここにタッチし、カーソルを「備考」項目に移動する

- 6 手書きでカタカナと英数字などを入力します。
ここでは、「デザイナーSMA55所属」を手書きします。

- ① カタカナ(「デザイナー」)を手書きする

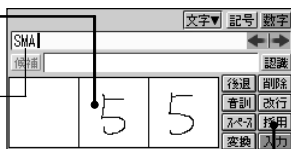


- ② [採用] にタッチする



- ③ 英数字(「SMA55」)を手書きする

英数字を手書きすると、入力行に半角で表示される



- ④ [採用] にタッチする

5 「所属」を手書きし、「採用」にタッチする

6 ここでは入力した内容を登録しないので「中止」、「はい」にタッチする。
登録するときは「登録」にタッチする

アドレス帳

写真入力 登録 中止

電話帳入力 名刺入力 全項目入力

携帯電話番号

ポケベル

メールアドレス

自宅郵便

自宅住所

誕生日 年 月 日

備考 デザイナー SMA55所属

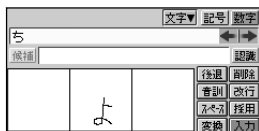
これで、手書きでの漢字、ひらがな、カタカナ、英数字の入力を終わります。
次に、手書きでひらがなを入れ、漢字に変換する方法を説明します。



- 入力行のカーソルとは
入力行に表示されるカーソル(|)は、この後ろ(右)に文字が入力されることを示しています。
- 手書き文字での入力は
 - ・筆順や画数をあまり気にしないで書くことができます。もし書いた文字がほかの文字になったときは、筆順どおりに正しく書くか、楷書でていねいに書いてください。
 - ・きちんとした楷書でなく、少々続け字になっても、多くの場合、認識できます。漢字の場合、「へん」と「つくり」を続けたり、「かんむり」と「あし」の間を続けても、多少ならば認識できます。
 - ・行書体で書くと、認識できない場合があります。
- 手書きして「認識」にタッチすると、手書き文字を認識します。また、空白の記入枠に次の文字を書き始めるか、約2秒経過すると、自動的に認識されます。
- 入力行に表示される文字の順番は
枠に書いた順に入力行に表示されます。枠の位置に関係なく、空いた枠に続けて書いてください。
- 表示される候補が候補文字表示窓に表示しきれないときは
「候補」が濃く表示されます。「候補」にタッチすると、次の候補が表示されます。
- 候補に目的の文字がないときは
「削除」にタッチして削除(97ページ)し、もう一度文字の特徴をはっきりと書いてください。
- 候補文字表示窓に表示される文字は
カーソルの後ろ(右)の文字の候補が表示されます。
- 入力中の文字の修正は84ページをご覧ください。
- 入力する文字を採用する方法は
82ページをご覧ください。
- おことわり
人によって手書き文字の筆跡が異なっていることにより、認識された文字が本書に記載の例のとおりでなかったり、候補文字が違っていたりする場合があります。

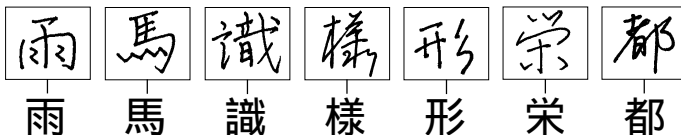


- 半角のカタカナを入力するときは
カタカナの手書き文字はすべて全角になりますので、半角にしたい文字にタッチして候補の中から選んでください。ただし、半角文字の直後に同じ種類の文字を入力したときは半角で入力されます。違う種類の文字を入力したときや採用後は、全角の文字が入力されます。
- 濁点・半濁点を含む半角カタカナについて
候補の中には、1文字で濁点、半濁点を含んだ半角カタカナが表示されますが、入力行や項目に表示されるときは、半角カタカナ文字(「ザ」は「サ」+「゜」)の形となります。
- 小文字の入力は
「っ」「ゃ」「ょ」などの小文字は、普通の文字より小さく書きます。



- 全角の英字・数字を入力するときは
英字・数字の手書き文字は、すべて半角になります。全角にしたい文字にタッチして候補の中から選んでください。
- 「0 (ゼロ)」と「O (オー)」の違いは、画面上では数字のゼロ「0」は「0」、英字のオー「O」は「O」と区別して表示されます。
- 半角のひらがなは入力できません。
- 手書きでの文字の書きかた
次のことに注意して書いてください。
 - 枠全体を使って、枠からはみ出さないように大きく書く(ただし、ひらがな・カタカナの小文字は小さく書く)
 - なるべく、正しい筆順で書く
 - なるべく、楷書で書く(下記の例のように、少々ならば続け字になってもかまわない)
 - 文字の1画(線)が途切れないように書く
 - 傾きすぎないように書く
 - はね、かざりをつけすぎないようにする

文字の書きかたと認識については、336ページを参照してください。



- 入力行に表示できる文字数
入力ボードの入力行には40文字まで表示できますが、40文字を超えて入力した文字は取り込まれません。長い文を書く場合でも、数文字から10数文字を入力行に入力した後、**採用**にタッチして採用し、入力行を空にすることをおすすめします。

手書きのひらがなを漢字や連文節などに変換する

手書認識ボードから、入力行に入っているひらがなや文章を

- ・漢字に変換
- ・連文節変換
- ・文節区切り変換

できます。

これらの変換は、キーボードを使った方法と同じようにして変換することができます。くわしくは、79～90ページをご覧ください。

入力中の文字の修正(入力行での修正)や採用した文字の修正(入力項目での修正)はキーボードを使った文字入力と同じようにしてできます(⇒84、85ページの「コラム」)。

手書認識ボード上のボタンとキーボード上のキー(変換)キー、(改行)(採用)キーなど)の関係については、次ページの「コラム」をご覧ください。



コラム

採用されたひらがなを漢字にする

手書認識ボードを使うと、次のようなことができます。

採用した「てんとう」を漢字に変換するには、次のようにします。

- ① 入力行に文字がまったく表示されていないことを確認(入力行に文字があるときは、採用または削除する)



- ② 漢字に変換するひらがなをなぞって選択

- ③ 変換にタッチし、漢字に変換

- ④ この後、目的の漢字を選び、採用にタッチし、入力項目に採用



- ・ キーボードを使って同じ操作を行うと、なぞって選択した文字(この例では「てんとう」)は、スペースに置き換わりますのでご注意ください。



コラム

文字変換時のキーボードのキーと手書認識ボードのボタン
文字の変換中でのキーボードのキーと手書認識ボードのボタンの対応は、次のようになります。

機 能	キーボード	手書認識ボード
入力行のひらがなを漢字に変換する	(変換) キー 前候補 音訓 (変換) スペース	変換
入力行の文字をすべて採用する (入力行に文字がないときは、 カーソルが次項目に移動)	(入力) キー 登録 (入力)	入力
入力行の先頭の文節を採用する	(改行)(採用) キー(*1) 採用 (改行)	採用
行の改行 (入力行に文字がないときに改 行する)	(改行) キー 採用 (改行)	改行(*2)
音訓変換する	(機能) キーを押した後、 (変換)(音訓) キー 前候補 音訓 (機能) (変換) スペース	音訓
入力行や入力項目でカーソルの 前(左)の文字を削除する	(後退) キー 削除 取消 (後退)	後退
入力行や入力項目でカーソルの 後ろ(右)の文字を削除する	(機能) キーを押した後、 (後退)(削除) キー 機能 削除 取消 (後退)	削除
変換中の漢字をひらがなに戻す	(後退)(取消) キー(*1)(*3) 削除 取消 (後退)	取消
漢字変換中に、1つ前の候補の 漢字を選択する	(↑) キーを押したまま (変換)(前候補) キー 前候補 音訓 (変換) スペース	前候

* 1: 採用、取消、スペースはそのキー単独で働きます(機能) キーなどを押してからその
キーを押す必要はありません。

* 2: 入力行に文字があるときは入力行の文字を採用します。

* 3: 変換中の文字がないときは、(後退) キーと同じ働きをします。

文字入力

基
本

数字入力ボードで入力する

数字入力ボードを使って数字などを入力します。

数字入力ボードでは、数字とボタンの記号や文字を入力できます。

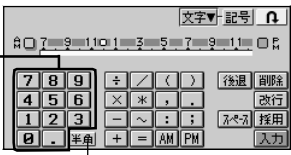
ここでは、数字や時刻などの入力を縦画面の例で説明します。

- 73ページと同じ手順で、アドレス帳などの新規作成画面を表示し、数字入力ボードに切り替え、数字などを入力します。

1 「数字」にタッチし、数字入力ボードに切り替える



2 ボタンにタッチし、数字などを入力する



「半角」(選択状態)では、半角数字などを入力
「半角」では、全角数字などを入力

- 時間帯を入力します。
ここでは、30分単位の時間帯を入力するのに便利なバーチャートを使います。

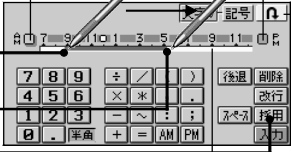
時間帯の切り替え

タッチ スライド 離す

1 開始時刻にタッチ

2 タッチしたままスライドさせ、終了時刻で離す

3 「採用」にタッチし時間帯を入力項目に採用する



バーチャート

直前の入力ボードに戻る



- バーチャートの表示や入力される時刻の時間制(12時間制、24時間制)は、時計機能で設定した時間制と同じです。
- バーチャートの時間帯には2種類あり、バーチャートの左右いずれかの「横画面では」にタッチして切り替えます。「5:00AM～6:00PM(5:00～18:00)」など2つのバーチャートにまたがる時間帯は数字キーで入力してください。
- インターネットやフォトメモリーで数字入力ボードを使うときは、横画面で入力します。年月など数字入力がよく使う語句を入力できるボタンがあるほかは、縦画面の数字入力ボードと同じです。

記号入力ボードで入力する

記号入力ボードを使って、記号、絵記号を入力できます。

ここでは、縦画面の例で説明します。

- 1 73ページと同じ手順で、アドレス帳などの新規作成画面を表示し、記号入力ボードに切り替え、記号を入力します。

- 1 (機能) キーを押した後、(文字切替) (記号) キーを押し、記号入力ボードに切り替える



直前の入力ボードへ戻る

- 2 入力する記号・絵記号の種類 (記号、半角記号、絵記号) にタッチして選択する

- 3 記号、絵記号にタッチして入力する
↑↓にタッチまたは、(逆送り) キー、
(順送り) キーを押すとページをめくることができる



- (機能) キーを押した後、(文字切替) (記号) キーを押して最初に表示される画面 (学習画面) は、最近選んだ記号が、新しい順に表示されます。よく使う記号が選びやすくなります。
- 入力ボードの [記号] にタッチしても、記号入力ボードを表示することができます。
- インターネットやフォトメモリーで記号入力ボードを使うときは、横画面で入力します。操作は、縦画面の記号入力ボードと同じです。
- 記号入力ボード表示中、(機能) キーを押した後、(文字切替) (記号) キーを押すと、もとの入力ボードに戻ります。

文字入力

基本

50音ボードで入力する

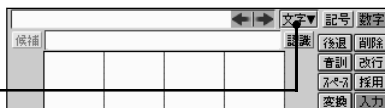
50音ボードを使って文字を入力します。50音ボードは横画面でのみ使用できます。

50音ボードでは、ひらがな、カタカナ、漢字などを入力できます。ひらがなを漢字に変換する方法は手書認識ボードと同じです。くわしい変換方法は、91ページをご覧ください。

例 ひらがなとカタカナを入力する場合

1 インターネットライブラリやフォトメモリーのタイトル入力画面などを表示し、50音ボードに切り替え、ひらがな、カタカナを入力します。

1 文字▼にタッチし、表示されたメニューから「50音」を選択し、50音ボードに切り替える

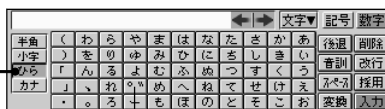


2 ひらがなを入力するときは「ひら」にタッチし「ひら」(選択状態)にする。

カタカナを入力するときは「カナ」にタッチし「カナ」(選択状態)にする。

必要に応じて「小字」、半角」にタッチする

カーソルの直前の文字を濁音・半濁音にする



3 ボタンにタッチし、ひらがなやカタカナを入力する。

ひらがなを入力したときは、必要に応じて「変換」にタッチして漢字に変換し「採用」にタッチする

● 入力方法

入力文字	入力方法	入 力 例
ひらがな	「ひら」(選択状態)、文字入力	やま → ひら やま
カタカナ	「カナ」(選択状態)、文字入力	イカ → カナ いか
濁音(が、ガ)	文字入力後、「ㇿ」にタッチ	ずが → ひら すㇿ かㇿ
半濁音(ば、パ)	文字入力後、「ㇿ」に2回タッチ	ババ → カナ はㇿㇿ はㇿㇿ
小文字(っ、ッ)	「小字」(選択状態)、1文字入力	かつき → ひら が 小字 つき
半角(ア)	「半角」(選択状態)、文字入力	xE → カナ 半角 めも
長音符(ー)	「ー」	ハーフ → カナ はーふ
句読点(、。)	「、」。	、。 → 、。



- カタカナの入力はひらがなを変換してカタカナにできます。また「カナ」にタッチして「カナ」にし、50音で直接入力項目に入力することもできます。
- 半角文字は、「半角」(選択状態)で連続して入力できます。全角文字に戻すには、「半角」にタッチし、選択状態を解除します。
- 半角のひらがな、1文字で濁点や半濁点を含んだ半角のカタカナ(「ダ」など)は入力できません。

タイプライターボードで入力する

タイプライターボードを使って文字を入力します。タイプライターボードは横画面でのみ使用できます。

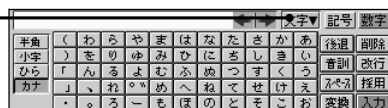
タイプライターボードでは、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字などを入力できます。ひらがな、カタカナはローマ字入力で入力します。ひらがなを漢字に変換する方法は手書認識ボードと同じです。くわしい変換方法は91ページをご覧ください。

例 ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号を入力する場合

1 インターネットライブラリやフォトメモリーのタイトル入力画面などを表示し、タイプライターボードに切り替え、文字を入力します。

① 「文字▼」にタッチし、表示されたメニューから

「タイプライター」を選択し、タイプライターボードに切り替える



② 入力する文字の種類(ひらがな、カタカナ、英数字、半角、小文字)にタッチして選択する

「半角」(選択状態)...

半角文字を入力できる

「小字」(選択状態)...

英字、ひらがな、カタカナの小文字を入力できる

「ひら」(選択状態)...

ひらがなを入力できる

「カナ」(選択状態)...

カタカナを入力できる

「英字」(選択状態)...

英数字を入力できる



③ ボタンにタッチし、ひらがな、カタカナ、英数字などを入力する。

この後、必要に応じて「変換」にタッチして漢字に変換し「採用」にタッチして入力項目に採用する

くわしくは次ページの「入力方法」をご覧ください

文字入力

基本

● 入力方法

入力文字	入力方法	入 力 例
英字	英字 (選択状態)、英字入力	WHO → 英字 W H O
英小文字	英字 小字 (選択状態)、英字入力	box → 英字 小字 B O X
数字	数字入力	987 → 9 8 7
ひらがな	ひら (選択状態)、ローマ字入力	うみ → ひら U M I
カタカナ	カナ (選択状態)、ローマ字入力	イス → カナ I S U
小文字(っ ツ)	小字 (選択状態)、ローマ字入力	おっ → ひら O 小字 T U
長音符(ー)	ひら カナ (いずれか選択状態) ー	スー → カナ S U ー
半角文字、数字	半角 (選択状態)、文字・数字入力	Is → カナ 半角 I S U
		DOG → 英字 半角 D O G
		345 → 半角 3 4 5
ハイフン	英字 (選択状態) ー	ー → 英字 ー
句読点(、。)	ひら カナ (いずれか選択状態) 、 。	、。 → 、 。



- 半角文字は、**半角** (選択状態)で連続して入力できます。全角に戻すには、**半角** にタッチし、普通の表示に戻します。
- 英小文字は、**小字** (選択状態)で連続して入力できます。大文字に戻すには、**小字** にタッチし、普通の表示にします。ひらがな・カタカナの小文字は、1文字ずつ **小字** にタッチして入力します。
- 半角のひらがな、1文字で濁点や半濁点を含んだ半角のカタカナ(「ダ」など)は入力できません。
- **(機能)** キーを押した後、数字などにタッチすると、次のように記号を入力できます。

(機能) キーを押した後 にタッチするボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	ー	@	;	:	,	.	/
入力される記号	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	=	`	+	*	<	>	?

- ローマ字かな変換について
 - ・ ローマ字のつづりは、「付録」の章、「ローマ字→かな変換表」(341ページ)を参照してください。
 - ・ 「ん」は、**N** の後に **X** にタッチ、または **N** に2回タッチします。
 - ・ **L** に続けて **A** や **I** にタッチすると、小文字の「あ」や「い」が入力されます。「う」「え」「お」「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」「わ」「か」「け」も同様です。

その他の入力ボードで入力する

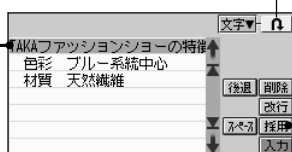
インクワープロ参照ボード

インクワープロで作成したテキスト文字を参照して、コピーする感じで入力できます。

ここでは、縦画面の例で説明します。

- ①  にタッチし、参照するインクワープロのデータを表示
 にタッチして入力するテキスト文字を表示

- ② 入力するテキスト文字
をなぞって選択



直前の入力ボードへの切り替え

- ③ 採用または入力に
タッチ



- インクワープロ参照ボードには、テキスト文字のみが表示されます。インク文字は、あらかじめ清書してテキスト文字にしてください。
- インクワープロ参照ボードを表示したときに表示されるテキスト文字は、インクワープロの詳細表示画面に表示されているテキスト文字、または一覧画面で選択されているデータのテキスト文字です。また、 にタッチすると、別のデータに入っているテキスト文字が表示されます。
- インターネットやフォトメモリーでインクワープロ参照ボードを使うときは、横画面で入力します。操作は、縦画面のインクワープロ参照ボードと同じです。

インク文字ボード

インクワープロ機能で使います。インク文字ボードを使ったインク文字の入力は、191ページをご覧ください。

文字入力

基
本

区点入力ボード

区点コードから文字・記号・絵記号が入力できます。読みのわからない漢字などを入力するときに使います。

4桁の数字(区点コード)を入れると、対応する文字などが入力されます。

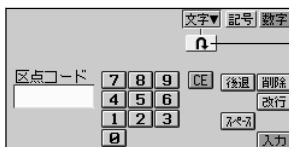
ここでは、縦画面の例で説明します。

文字入力

基本



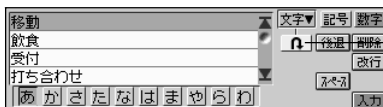
- インターネットやフォトメモリーで区点入力ボードを使うときは、横画面で入力します。操作は、縦画面の区点入力ボードと同じです。



直前の入力ボード
へ切り替える

常用語ボード

よく使う語句を簡単に入力できます。入力したい語句を表示させ、タッチします。常用語ボードは、横画面でのみ使用できます。



直前の入力ボード
へ切り替える

所有者情報



所有者情報を登録すると、この製品が自分の物であることを確かめることができます。

 所有者情報

修正

お名前

井上 雅彦

PHOTO

会社TEL

03-3284-12xx

会社FAX

03-3284-34xx

自宅TEL

03-3478-91xx

自宅FAX

03-3478-92xx

携帯電話

090-8123-45xx

ポケベル

03-3456-78xx

Eメール

inoue-m@***.xxxxx.co.jp

会社名

コスモデザイン株式会社

所属

商品企画部

役職

セールスマネージャー

会社郵便

169-0075

会社住所

東京都新宿区高田馬場1-×

自宅郵便

157-0066

自宅住所

東京都世田谷区成城5-6-×

誕生日

1975年 9月15日(月)

備考

はじめて、商品の販売促進に関する責任者の井上です。
POP(店頭)宣伝とMC(マスコミ)宣伝については何でもお聞きください。



所有者情報

基本



- 「まず初めに」ソフトを使ってユーザー登録の途中で所有者情報を登録するように指定したときは、その内容が所有者情報にすでに入っています。
- 所有者情報を登録すると
メール送信では、個人名が送信者名になります。

所有者情報を登録する

ここでは、必要な項目のみを入力してもかまいません。
入力しない項目は、何も入力しないで(入力)キーを押します。
ただし、個人名と会社名は必ず入力してください。

1 所有者情報の新規入力画面を表示します。

- 1 (ホームインデックス) キーを数回押し、システム設定画面を表示する



- 2 (決定) キーを使って [所有者情報] アイコンを選択し、(決定) キーを押す



- Sharp Space Townへユーザー登録した場合は、上記の手順 ② でユーザー登録時に入力した内容が入った状態になっています。この内容を追加/修正したい場合は、(機能) キーを押した後、(M) (修正) キーを押して内容を追加/修正します。

2 自分の名前と読みを入力します。

- 1 キーボードで自分の名前を入力する

- 2 (入力) キーを押し、「個人名」項目に自分の名前を入力する

所有者情報の新規入力画面



- 3 読みを確認し、必要に応じて8文字以内のひらがな・カタカナ・英字などで修正し〔入力〕キーを押す

カーソルが移動したことを確認

個人名の「よみ」項目にひらがなが8文字以内で表示される

- 3 会社の電話番号、会社のFAX番号、自宅の電話番号、自宅のFAX番号、携帯電話の番号、ポケベルの番号、メールアドレス、会社名、会社名の読み、所属、役職を入力します。

- 1 各項目に入力する



基本

- 4 会社の郵便番号、会社の住所などを入力します。

- 1 会社の郵便番号を入力し〔入力〕キーを押し、郵便番号変換画面を表示する

- 2 複数の住所が表示されたときは、上下の①を使って入力したい住所を選択し、〔決定〕キーを押す

- ペンタッチ 入力したい住所に1回または2回タッチ

入力した郵便番号の住所が表示される

〔順送り〕キー、〔逆送り〕キーを押すと、別の住所が表示される

郵便番号変換画面

- 3 住所の続きを入力し、**(入力)** キーを押す

役職	セールスマネージャー
会社郵便	169-0075
会社住所	東京都新宿区高田馬場1-×
会社住所	東京都新宿区高田馬場1-×

5 自宅の郵便番号と自宅の住所を、会社の郵便番号と会社の住所と同じ方法で入力します。

また、誕生日を西暦で入力します。必要に応じて備考を入力します。入力が終わったら、登録します。

- 1 各項目に入力する
- 2 **(機能)** キーを押した後、**(入力)** (登録) キーを押す



役職	セールスマネージャー
会社郵便	169-0075
会社住所	東京都新宿区高田馬場1-×
自宅郵便	157-0066
自宅住所	東京都世田谷区成城5-6-××
誕生日	1975年 9月15日(月)
備考	はじめまして、商品の販売促進に関する責任者の井上です。POP(店頭)宣伝とMC(マスコミ)宣伝については何でもお聞かせください。



- 読みを入れるには
「個人名」を漢字で入力中に姓と名の間にスペースを入れると、「よみ」項目にもスペースが入ります。不要な場合は削除してください。
- 顔写真を付けるには
別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)を装着し、データ入力途中で**写真入力**にタッチして自分の写真を撮ると、直接所有者情報に写真を貼り込むことができます。ユーザー登録をした場合はCE-AG06を装着し、**(機能)**キーを押した後、**(M)** (修正) キーを押し、修正画面で**写真入力**にタッチします。
- 誕生日の入力をまちがえたときは
まちがえた数字にタッチした後、数字を入れ直してください。
- 所有者情報の修正は
106ページの手順 1の操作をして表示された所有者情報画面で**(機能)**キーを押した後、**(M)** (修正) キーを押して修正画面にします。内容を修正したら、**(機能)**キーを押した後、**(入力)** (登録) キーを押して登録します。

アドレス帳



.....

アドレス帳では、何ができるの？

友人や知人の住所や電話番号、メールアドレスなどを登録できます。また、名刺をもとに仕事関係の人の連絡先なども登録できます。登録した人の電話番号などは、自宅用や会社用に分けてすばやく探せます。メールアドレスは、メールやお知らせメールの宛先として使えます。

アドレス帳では、電話をかける約束などを登録しておく、スケジュール画面で電話番号などを見てすぐ電話できます。また、別売のデジタルカメラカード (CE-AG06) で撮影した写真を取り込み、顔写真つきのアドレス帳を作ることができ便利です。年賀状やお中元などの季節のやり取りをチェックした情報を個人のデータに登録することもできます。



アドレス帳

情報
を
管
理
/
活
用
す
る

始めましょう

「始めましょう」(☞109～121ページ)は、アドレス帳を初めて使われる方を対象に、基本的な使いかたをやさしく説明しています。さらにくわしい操作方法や「始めましょう」に含まれていない機能については、122ページ以降をご覧ください。

ここでは、

- ・アドレス帳の入力方法
- ・入力したアドレス帳を確認する方法
- ・まちがえて入力したデータを修正する方法
- ・いらなくなったデータを削除する方法

を具体的にやさしく説明しています。操作手順に従って操作してみましょう。

アドレス帳にデータを入れる

アドレス帳に住所や電話番号などの情報を入れましょう。アドレス帳では、個人の情報を自宅関連と会社関連に分けて入れます。

ここでは、名刺をもとに会社関連の住所や電話番号などを入れます。

1 アドレス帳の新規作成画面を表示します。

- ① **ホームインデックス** キーを数回押す



- ② **ペン** キーを使って **アドレス帳** アイコンを選択し **決定** キーを押す
または、ホームインデックス2画面で「アドレス帳」の **書く** を選択し **決定** キーを押す



新規作成画面以外の画面が表示されたときは、**機能** キーを押した後、**(N)** 新規作成 キーを押す



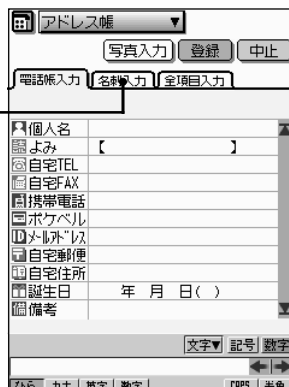
新規作成 にタッチ



ホームインデックス1画面



- ③ **名刺入力** タブに切り替える



新規作成画面



情報を管理 / 活用する

2 登録する人の名前(個人名)と読みを入力します。個人名は必ず入力します。

読みを入れるには(☞115ページの「メモ」)

- 1 個人名(ここでは、山田 明宏)を入力し、**(入力)**キーを押す

- 2 個人名の読み(ここでは、やまだ あきひろ)を確かめ、必要に応じて修正する

3 会社の電話番号、会社のFAX番号、携帯電話番号、ポケベル番号を入力します。わかっている項目のみを入力してください。

- 1 入力する項目にカーソルを移動し、内容を入力する

- 2 タッチしてカーソルを「メールアドレス」に移動する

4 メールアドレスを入力します。

「携帯電話」項目に電話番号が入力されていると、確認メッセージが表示され、**(決定)**キーを押すと、携帯電話用メールアドレスを設定する画面が表示されます(携帯電話用メールアドレスは、デジタル携帯電話、PHS電話機などにインターネットメールを送るメールアドレスです)。手順①～⑤に従って相手のメールアドレスを入力します。

「携帯電話」項目に電話番号が入力されていないときは、携帯電話用メールアドレスを設定する画面は表示されません。メールアドレスの項目に相手のメールアドレスを入力します。

タッチするとスクロールする

- 1 上下の $\odot$ を使って利用するメールサービスを選択する

- 2 **(決定)**キーを押す

- 3 確認メッセージで**(決定)**キーを押す

確認にタッチ

携帯電話番号の後に手順②で選択したメールアドレスがつく

お知らせメールの設定について
(『取扱説明書(通信ガイド)』
146ページ)

個人名	山田 明宏
よみ	【やまだ あきひろ】
会社TEL	03-3204-12xx
会社FAX	03-3204-34xx
携帯電話	090-5123-45xx
ポケベル	03-3678-91xx
メールアドレス	090512345xx@docomo.ne.jp

④ 1行目に本文メールアドレスを入力し、(改行)キーを押す

メールアドレスは半角英数字で入力する

⑤ 下の☉を使って次の項目に進む

個人名	山田 明宏
よみ	【やまだ あきひろ】
会社TEL	03-3204-12xx
会社FAX	03-3204-34xx
携帯電話	090-5123-45xx
ポケベル	03-3678-91xx
メールアドレス	yamada-a@***.xxxxx.co.jp
☉	090512345xx@docomo.ne.jp



情報を管理 / 活用する



● 携帯電話用メールアドレスについて

デジタル携帯電話、PHS電話機などにインターネットメールを送るときは、それぞれのメールアドレスが必要です。ほとんどの電話会社では、「電話番号@..(電話会社固有のアドレス)」でメールを送ることができます。この製品では、利用するメールサービスを選択すると、携帯電話の項目に入力された番号をもとにメールアドレスを作成します。

- ・ 電話番号を利用しないメールサービスもあります。このときは、キーボードで@より前の「ニックネーム」の文字列を消して、メールアドレスを入力してください。

(注)相手の電話機がインターネットメールを受信できる手続きがされていることを確認してください。手続きがされていない場合は、相手側はメールを受信できません。

● 複数の携帯電話番号が入力されているときは

「携帯電話」項目の1行目に入力されている番号が、携帯電話用メールアドレスとして自動的に指定されます。2行目などに入力している番号に変更するときは、携帯電話用メールアドレス設定画面で、電話番号が表示されている部分にタッチして選択します。

● 「お知らせメールアドレス」として利用するには

携帯電話用メールアドレスを「お知らせメールアドレス」として利用することができます(2行目に入力したメールアドレスが「お知らせメールアドレス」に設定されます)。ほかのザウルスやパソコンなどにインターネットメールを送ったとき、その相手のデジタル携帯電話、PHS電話機などにメールを送信したことを通知するものです。「お知らせメールアドレス」について、くわしくは『取扱説明書(通信ガイド)』146ページをご覧ください。



- 携帯電話用メールアドレス設定画面にデータを追加・修正するにはこの製品にあらかじめ登録されているメールサービスの情報は、2000年11月現在のデータです。これらのデータを追加・修正するには、携帯電話用メールアドレス設定画面で「リストの編集」にタッチします。データを追加するときは、「新規入力」にタッチし、「サービス名」、「メールアドレス」を入力し、「登録」にタッチします。データを修正するときは、「修正」にタッチし、「サービス名」、「メールアドレス」を変更し、「登録」にタッチします。追加・修正後「閉じる」にタッチして携帯電話用メールアドレス設定画面に戻ります。
- 「携帯電話用メールアドレス」を変更したいときは、修正画面などで「メールアドレス」項目のアイコンにタッチし、「確認」にタッチして、携帯電話用メールアドレス設定画面を表示させて行います。

5 会社名、会社名の読み、所属、役職を入力します。

読みを入れるには(☎115ページの「メモ」)

- ① 入力する項目にタッチしてカーソルを移動し、内容を入力する



情報を管理／活用する

6 会社の郵便番号、会社の住所などを入力します。 終わったら登録します。

- ① 「会社郵便」項目にタッチし、郵便番号を入力し、「入力」キーを押し、郵便番号変換画面を表示する



ここにタッチすると閉じる

- 2 複数の住所があるときは、上下の○
を使って選択し、**決定**キーを押す

ペン
タッチ 1回または2回タッチ

入力した郵便番号の住所が表示される

順送りキー、**逆送り**キーを押すと、別の
住所が表示される

郵便番号変換 表示制限解除 閉じる

県名採用 する しない

169-0075

東京都新宿区高田馬場

住所採用 番号採用 住所&番号採用

郵便番号変換画面



- 3 住所の続きを入力する

- 4 必要に応じて誕生日(西暦)備考を入力する

- 5 **機能**キーを押した後、**入力**(登録)
キーを押す

ペン
タッチ

アドレス帳 写真入力 登録 中止

電話帳入力 名刺入力 全項目入力

090512345xx@docomo.ne.jp

会社名 コスモデザイン株式会社

読み方 【コスモデザインか】

所属 ファッション部

役職 チーフデザイナー

会社郵便 169-0075

会社住所 東京都新宿区高田馬場1-2-XX

誕生日 1962年10月29日(月)

備考



アドレス帳

情報を
管理 /
活用する



- 自宅の住所や電話番号を入れるときは
新規作成画面の「電話帳入力」タブに切り替えます。自宅と会社の住所や電話番号を入れるときは、「全項目入力」タブに切り替えます。
- 読みを入れるには
 - 全角のひらがな・カタカナ・英字などを8文字以内で入力します。8文字を超えて入力しても、9文字目以降は入力されません。また、個人名や会社名にかな漢字変換で入力したときや、読みに入力できるひらがなや英字などの文字を入力したとき、「よみ」項目にもひらがなや英字などが入力されます。
 - 個人名の読みを入れずに登録すると、そのデータは電話帳(自宅)一覧画面で「他」のインデックスに入ります。
- 郵便番号で住所を入力するには
7桁以内の郵便番号を入力した後、「(入力)」キーを押したり、「会社住所」項目や「自宅住所」項目や項目のアイコン()にタッチすると郵便番号変換画面が表示されます。
住所などは次の方法で入力できます。

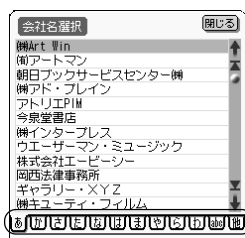
- 住所と郵便番号の入力 ... 住所を選択し「決定」キーを押すか、
「住所&番号採用」にタッチする。または、選択されている住所に1回、選択されていない住所に2回タッチする。
- 住所のみ入力 住所を選択し「住所採用」にタッチする。
- 郵便番号の入力 「番号採用」にタッチする。

なお、「県名採用」の「する」が選択されていると都道府県名も入力されます。

「しない」では、都道府県名を除いて入力されます。

また、住所から郵便番号を入力したり、5桁の番号を自動的に7桁の番号に変換させることもできます(☞「郵便番号逆変換」129ページ)。

- 家族や同じ会社の人のデータを入れるには
個人名や所属などを少し変えるだけのデータは、複製を使うと、簡単に入力できます(☞241ページ)。
- 前に入力した会社名を利用して入力するには



新規作成/修正画面で会社名のアイコン()にタッチすると、前に入力した会社名の一覧が表示されます。会社名を選択し「決定」キーを押すと、会社名と読みを入力できます。

—— 会社名の読みで50音順に分類・収録されている



アドレス帳

情報
を
管理
/
活用
する

アドレス帳のデータを見る

個人名や会社名から、電話番号や住所などを見ましょう。

個人の電話番号などを見る方法には、次の3つがあります。

- ・ 個人名から個人の電話番号などを見る(⇒このページ)
.....電話帳(自宅)一覧画面→詳細表示画面
- ・ 個人名から会社の電話番号などを見る(⇒118ページ)
.....電話帳(会社)一覧画面→詳細表示画面
- ・ 会社名から個人の電話番号などを見る(⇒119ページ)
.....会社一覧画面→会社別個人一覧画面→詳細表示画面

ここでは、上記の3つの方法を順番に説明します。

個人名から個人の電話番号などを見る

個人名から個人の電話番号などを見ましょう。

ここでは、名前の読みを指定して、見たい人のデータを表示します。



情報を管理／活用する

1 電話帳(自宅)一覧画面を表示します。

- ① (ホームインデックス)キーを数回押す



- ② ①を使って「アドレス帳」アイコンを選択し(決定)キーを押す



ホームインデックス1画面



詳細表示画面が表示されたときは(戻る)キーを押して一覧画面を表示する

読み検索ボード
個人名の読みで検索する

電話帳(自宅)一覧画面

2 見たい人のデータを表示します。

- 1 見たい個人名の読みを入力する
「山田 明宏(やまだ あきひろ)」さんでは、「や」「ま」「だ」を入力するたびに、一覧画面の表示が変わり、絞り込まれる

- 2 上下の○を使って見たい人のデータを選択し(決定)キーを押す

ペンタッチ 1回または2回タッチ

選択しているデータを詳細表示する

閉じる

一覧画面へ戻る

(順送り)キー、(逆送り)キーを押すと、個人名の読み順にデータが表示される

上下の○を押すと、隠れている部分が表示された後、前後のデータを表示できる(→62ページ)

スクロールバー
タッチすると隠れている部分を表示できる

詳細表示画面



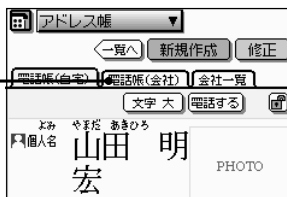
情報を管理/活用する

個人名から会社の電話番号などを見る

個人名から会社の電話番号などを見ましょう。

1 電話帳(会社)一覧画面を表示します。

① 電話帳(会社)タブに切り替える



② 見たい人の読みを入力する

③ 上下の○を使って見たい人のデータを選択し(決定)キーを押し、詳細表示画面を表示する



1回または2回タッチ

電話帳(会社)一覧画面



情報を管理 / 活用する

会社名から個人の電話番号などを見る

会社名から個人の電話番号や住所などを見ましょう。

1 会社別個人一覧画面を表示します。

① 「会社一覧」タブに切り替える



② 会社の読みを入力する

③ 上下の○を使って見たい会社名を選択し「決定」キーを押す



1回または2回タッチ

会社一覧画面

会社名が表示される

選ばれている会社の個人名が一覧表示される

④ 上下の○を使って見たい人のデータを選択し「決定」キーを押し、詳細表示画面を表示する



1回または2回タッチ

会社別個人一覧画面



情報を管理／活用する



・読み検索ボードについて

読み検索ボードは、電話帳(自宅)一覧画面と電話帳(会社)一覧画面、会社一覧画面で表示され、個人名または会社名の読みを検索します。また、電話帳(自宅)一覧画面と電話帳(会社)一覧画面、会社一覧画面で表示される読み検索ボードは、詳細表示画面に移ると消えます。詳細表示画面で<一覧へ>にタッチし、一覧画面に戻ると、読み検索ボードが表示されます。

・読みで検索するとき

入力する読みは、1字でも検索できます。たとえば、「や」と入力すると、や行の読みの先頭データが選択されます。

・読み検索ボードを常に表示しないようにするには

[操作メニュー]キーを押し、[操作]タブ、[検索ボード設定...]、[決定]キー、[しない]、[決定]キーと操作します。

・50音順に読みを分類・収録したインデックスを利用するには

読み検索ボードの[閉じる]にタッチし、左右の⊕を使って[あ]~[他]のインデックスを選択します。再び読み検索ボードを表示するときは、[読みで探す]にタッチします。

・インデックスの[あ]~[他]とは

データを個人名や会社名の読みで分類・収録しているインデックスです。[あ]~[わ]を選択すると、選択したインデックスを先頭に、それ以降のデータも表示されます。たとえば、[あ]が選択されているときは、あ行以降のデータ、[た]ではた行以降のデータが表示されます。登録されているデータ件数が少ないときには、指定のインデックスより前のデータが表示されることがあります。[他]には、個人名や会社名の読みの1文字目に、空白・記号・数字のあるデータが入ります。

・⊕の動きを、インデックスまたはタブの切り替えにするには

左右の⊕を押したときタブを切り替えるようにするときは、[操作メニュー]キーを押し、[操作]タブ、[スクロールキー設定]、[決定]キー、[タブ]、[決定]キーと操作します。50音のインデックスを切り替えるようにするときは[タブ]の代わりに[50音]を選択します。

・データの数が少ないと

読み検索ボードに読みを入れたり、インデックスを選択しても一覧の内容が変わらないことがあります。

・写真ありの詳細表示画面で、個人名は大きな文字で表示されます。ただし、個人名が全角で9文字以上になると、通常の文字の大きさで表示されます。

・情報ファイルに分類したアドレス帳のデータを表示するには

アドレス帳から情報ファイルに分類されたデータを表示するには、画面左上の[アドレス帳▼]にタッチして、目的のファイル名を選択します。情報ファイルについては、213ページをご覧ください。

・詳細表示画面で項目を多く表示するには

「顔写真」欄「PHOTO」を表示しない設定にすると、「個人名」などの項目を多く表示することができます。[操作メニュー]キーを押し、[操作]タブ、[表示切替]、[決定]キー、[写真無し]、[決定]キーと操作します。もとに戻すには、[写真無し]の代わりに[写真有り]を選択します。

・文字を拡大して見るには

[操作メニュー]キーを押し、[操作]タブ、[文字サイズ]、[決定]キー、[大]、[決定]キーと操作します。または画面の[文字大]にタッチします。もとの文字サイズに戻すには、[大]の代わりに[標準]を選択するか、画面の[文字標準]にタッチします。



アドレス帳

情報を管理 / 活用する

データを修正する

登録したデータを修正します。

- 1 修正したいデータを表示します。
電話帳(自宅)一覧画面と電話帳(会社)一覧画面では、上下の⊙を使って修正したいデータを選択します。
- 2 **機能**キーを押した後、**(M)**(修正)キーを押して、修正画面でデータを修正します。

 修正したいデータにタッチ

 **修正**にタッチ

- 3 **機能**キーを押した後、**(入力)**(登録)キーを押して、修正したデータを登録します。

 **登録**にタッチ



- 修正前と修正後の2つのデータの登録は手順 3で**機能**キーを押した後、画面の**登録**にタッチします。修正前のデータはそのまま残ります。



情報
を管理
/ 活用
する

データを削除する

登録したデータを削除します。

- 1 電話帳(自宅)一覧画面または電話帳(会社)一覧画面で、上下の⊙を使って削除したいデータを選択します。
- 2 **操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**削除**を選択して**(決定)**キーを押し、削除メニューを表示します。

 削除したいデータにタッチ

- 3 削除する範囲を選択し、**(決定)**キーを押します。
確認メッセージで**はい**を選択し、**(決定)**キーを押して削除します。



- 詳細表示画面での削除は
削除したいデータを表示した後、**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**削除**を選択し**(決定)**キーを押します。
- 会社単位の削除は
会社一覧画面、会社別個人一覧画面で削除できます。
なお、会社一覧画面では、1データの削除はできません。
- シークレット機能が設定されているときは
1データの削除以外はできません。シークレット機能を解除してから削除してください(☞259ページ)。

ここからは、くわしい説明

122～136ページは、「始めましょう」よりくわしい操作説明や、「始めましょう」に含まれていない機能について説明しています。

アドレス帳機能について、便利な機能が使えるようになります。

連絡をとる予定と連絡先を入れる CONTACT登録

たとえば、Aさんの自宅に電話する予定をスケジュール機能で入力するには、アドレス帳に切り替えて電話番号を確かめる必要があります。

ところが、CONTACT登録を行うと、スケジュール機能に連絡する相手と電話番号などを登録することができ、スケジュールを見るだけですばやく連絡がとれます。

CONTACT登録では、電話する、FAXする、会う、メールするの4つの連絡方法で予定を入れることができます。

連絡をとる予定を入れる

ここでは、アドレス帳から相手の会社に電話する予定(スケジュール)を入れます。

- ① 連絡をとる相手のデータを詳細表示画面に表示、または一覧画面で選択
- ② **操作メニュー**キーを押し、**操作**タブ、**CONTACT登録...**を選択し**決定**キーを押す

- ③ **電話**にタッチ

数字入力ボード

The screenshot shows the 'CONTACT' screen for a contact named '山田 明宏'. At the top, there are buttons for '登録' (Register) and '中止' (Cancel). Below the name, there are icons and labels for '電話' (Phone), 'FAX', '会う' (Meet), and 'メール' (Email). The '電話' icon is highlighted. Below these are fields for 'CONTACTする日時' (Date and time to contact), showing '2002年 5月 4日 (土)'. To the right is a '日付入力' (Date input) section with a calendar for May 2002. The date '2002年 5月 11日' is selected. Below the calendar is a '数字入力ボード' (Numeric input board) with digits 0-9, AM, and PM. At the bottom, there are fields for various phone numbers: '会社TEL 03-3204-12xx', '自宅TEL 044-976-87xx', '携帯電話 090-5123-45xx', and 'ポケベル 03-3678-91xx'.

FAXする

会う

メールする

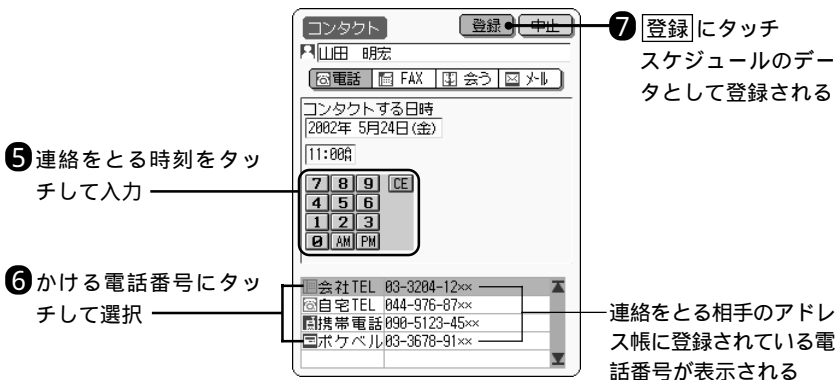
- ④ 連絡をとる日付にタッチして選択
左側の数字入力ボードにある数字にタッチしても入力できる

CONTACT画面



アドレス帳

情報を管理 / 活用する

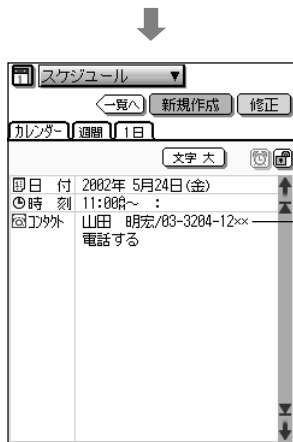


⑤ 連絡をとる時刻をタッチして入力

⑥ かける電話番号にタッチして選択

⑦ 登録にタッチ
スケジュールのデータとして登録される

連絡をとる相手のアドレス帳に登録されている電話番号が表示される



スケジュールの詳細表示画面



情報を管理／活用する



- FAXやメールする予定を入れるには
「FAX」を選んだときは、手順⑥でFAX番号が表示され、「メール」を選んだときは、メールアドレスが表示されます。それぞれの中から選んでください。
- 会社に連絡をとる予定を入れるには
会社一覧画面で、会社を選択し、「操作メニュー」キーを押し、「操作」タブ、「コンタクト登録...」を選択し「決定」キーを押すと、会社に連絡をとる予定を入れることができます。
このとき表示される「会社TEL」、「会社FAX」は、電話帳(会社)一覧画面の一番初めに登録されている人の内容が表示されます。
- 連絡をとる日時を修正するには
修正する日付や時刻の欄にタッチしてカーソルを表示し、数字入力ボードの「CE」にタッチして日付や時刻を消し、入力し直します。
また、日付や時刻の一部を修正するときは、修正したい数字にタッチしてカーソルを移し、入力し直します。

スケジュール画面で連絡をとる内容を見る

コンタクト登録で登録した内容をスケジュール画面で見ます。

- ① スケジュールの1日表示画面やカレンダー画面を表示

電話する
連絡のとりかたがアイコンで表示される



- ② 連絡をとる予定を確認

コンタクトする予定



- ・コンタクトデータの表示や修正・削除はスケジュール画面では、通常のスケジュールと同じように表示や修正・削除ができます。
- ・コンタクトデータのアイコンは
・電話..... ・FAX..... ・会う..... ・メール.....

連絡をとった履歴を見る

コンタクト登録で登録した履歴を見ます。

- ① 履歴を見たい人のアドレス帳のデータを詳細表示画面に表示

- ② (操作メニュー) キーを押し「操作」タブ、
「コンタクト検索実行」を選択し(決定)キーを押す



コンタクト登録した履歴



- ③ 上下の⬆⬆を使って見たいコンタクトデータを選択し、(決定)キーを押してスケジュールの詳細表示画面にデータを表示



情報を管理／活用する

メールアドレスを入力する メールアドレス

アドレス帳の「メールアドレス」項目にメールアドレスを入力しておくと、メール機能のメール(宛先選択)画面の宛先選択で自動認識されて表示されます。まちがえて入力すると、自動認識されなかったり、うまく送信できません。次の方法で、正しく入力してください。

ここでは、次の2つの入力方法について説明しています。

- ・2種類以上のメールアドレスを入力する
- ・複数のメールアドレスをグループ登録する

2種類以上のメールアドレスを入力する

ここでは、次の3種類のメールアドレスを入力します。

2行目には、お知らせメールアドレスとして使用するメールアドレスを入力しておくと、メール機能でお知らせメールの設定をするときに自動認識されて便利です。

お知らせメールについては「取扱説明書(通信ガイド)」146ページをご覧ください。

suzuki-n@***.sharp.co.jp メールアドレス1

090212345XX@docomo.ne.jp ... メールアドレス2(お知らせメールアドレス)

suzuki-n@***.***.ne.jp メールアドレス3

① アドレス帳の新規作成画面、または修正画面を表示

② 個人名、個人名の読みなどを入力

③ メールアドレスを入力

「メールアドレス」項目

メールアドレス入力後、必ず
(改行)キーを押してから次の
メールアドレスを入力する

新規作成/修正画面

1行目のメールアドレス

2行目にはお知らせメールアドレス

3行目以降には3つ目以降のメールアドレス

④ ほかの項目にも入力

入力が終わったら、(機能)キーを押した後、(入力)(登録)キーを押す



アドレス帳

情報を管理 / 活用する



- メールアドレスの入力について
 - ・英字の大文字/小文字を区別して正しく入力してください。
 - ・インターネットメール用のメールアドレスの記述に使用できる文字は次のとおりです(いずれも半角文字)。

0~9、a~z、A~Z、!# \$ % & ' * + - . / = ? @ ^ _ ` { | }

- 前ページの方法で入力されたメールアドレスは、メール機能で自動的に認識されます。なお、@nifty(元NIFTY SERVE会員)の利用者ID番号については、「ABC012 * *」と入力しておくだけで、メール(宛先選択)画面で「ABC012 * * @nifty.ne.jp」と下線の部分が自動的につきます。その他の通信サービス用の利用者ID番号は自動的に認識されません。
- メールアドレスの中に名前や通信サービス名などのコメントを入れるときはコメントを半角カッコでくくり、末尾に入力します。メールの宛先には、それらのコメントは入力されません。コメントの途中には、改行コードやスペースを入れないでください。

例：suzuki-n@* * *.sharp.co.jp(鈴木直子)

この製品では、MI-10から移されたアドレス帳データに書き込まれている、頭にコメントがついたメールアドレスも扱えます。

- お知らせメールアドレスについて
 - ・メール機能でお知らせメール設定を行うとき、2行目に入力したメールアドレスが自動的に「お知らせメールアドレス」として入力されます。
 - ・「お知らせメールアドレス」は、デジタル携帯電話、PHS電話機などのインターネットメールサービスに限定されていません。本文(通常のメール)は自宅のパソコンにメールを送り、お知らせメールの内容は会社のパソコンに送るなどの使いかたもできます。
- 1行目に通常のメールを送るメールアドレスを入力し、改行して2行目にお知らせメールの送り先アドレスを入力します。



アドレス帳

情報を
管理/
活用する

複数のメールアドレスをグループ登録する

複数のメールアドレスをグループとして登録すると、送信メールの宛先にグループ名を選択するだけで、登録している人全員のメールアドレスに同じメールを送信できます。

例 3人のメールアドレスを、「友人」という名前でグループ登録する場合

① アドレス帳の新規作成画面または修正画面を表示



② 「個人名」項目にグループ名と、「よみ」項目にグループ名のよみを入力

③ メールアドレスをコンマ(,)で区切って入力

④ コメントをつけたい場合には、コメントの文字列を半角カッコでくり、各メールアドレスの末尾に入力(必ず末尾に入ってください)
コメントの途中で改行コードやスペースを入れないでください



情報を管理/活用する

⑤ ほかの項目を入力

入力が終わったら、**(機能)**キーを押した後、**(入力)**(登録)キーを押す



- メールアドレス欄に複数のメールアドレスを指定する場合の文字数は、半角で1192文字以内です。
- メールアドレスのグループ登録はメール機能のメール(宛先選択)画面から行うこともできます(『取扱説明書(通信ガイド)』152ページ)。

住所や郵便番号を調べる

この製品の郵便番号辞書は7桁の郵便番号に対応しています。

住所や郵便番号を調べて入力するには、次の2つの方法があります。

- ・郵便番号項目に入力した郵便番号から住所を入力する ... 郵便番号変換
(☞このページ、237ページ)
- ・住所項目に入力した住所から郵便番号を入力する 郵便番号逆変換
(☞次ページ、238ページ)

郵便番号から住所を入力する

郵便番号変換

入力した郵便番号から住所を入力します。

- 1 アドレス帳の新規作成画面や修正画面の郵便番号項目で、郵便番号を入力または変更します。
- 2 **(入力)**キーを押します。
郵便番号変換画面が表示されます。
- 3 入力する住所を選択し、**住所採用**または**住所&番号採用**にタッチします。
住所が入力されます。



- ・住所項目にすでに文字(住所)が入力されていて、その文字を残して新しい住所を挿入する場合は、**アイ**アイコンにタッチし郵便番号変換画面を表示し、手順3で**(機能)**キーを押した後、**住所採用**にタッチします。
- ・この製品の郵便番号辞書は7桁の郵便番号に対応しています。5桁の郵便番号を入力して**(入力)**キーを押した場合も、郵便番号変換画面では近い7桁の郵便番号が表示されます。
表示されている郵便番号以外の番号と住所を見るには、**(順送り)**キー、**(逆送り)**キーを押します。変換したい郵便番号や住所を表示した後、**住所&番号採用**などにタッチします(郵便番号辞書について☞237ページの「メモ」)。
- ・郵便番号がはっきりしないときは、近い番号を入力して変換し、**(順送り)**キー、**(逆送り)**キーを押して目的の住所を探します。

アドレス帳

情報を管理／活用する

住所から7桁の郵便番号を入力する 郵便番号逆変換

入力されている住所を使って郵便番号を5桁から7桁へ変えます。

- ① アドレス帳で、5桁の郵便番号になっているデータを修正画面に表示



- ② 郵便番号アイコン () にタッチ



この7桁の郵便番号に置き換わる

- ③ 番号採用 にタッチ



情報を管理 / 活用する



- 郵便番号変換画面で住所にタッチするか、**住所&番号採用** にタッチすると、郵便番号と住所が両方置き換わります。番地などはあらためて入力し直してください。
- 入力されている住所によっては(たとえば、「府中市」や「京都市上京区仲之町」など)、複数の郵便番号が合致していることがあります。このような場合は、**順送り** キー、**逆送り** キーを押して、ほかの郵便番号を表示します。

該当する郵便番号の数



ほかの住所で、郵便番号を調べる場合は、**表示制限解除** にタッチして絞り込みを解除して、**順送り** キー、**逆送り** キーを押します。

- 住所がはっきりしない場合などは
わかる範囲の住所を入力し、郵便番号変換画面で**表示制限解除** にタッチした後、**順送り** キー、**逆送り** キーを押して目的の住所を探します。
- うまく郵便番号逆変換ができない場合は
入力している住所に誤りがないか確認してください。住所に誤りがあると、郵便番号逆変換ができないことがあります。

一覧画面で表示項目や項目の表示幅を変える

一覧画面に表示される項目と項目の表示幅を変更することができます。

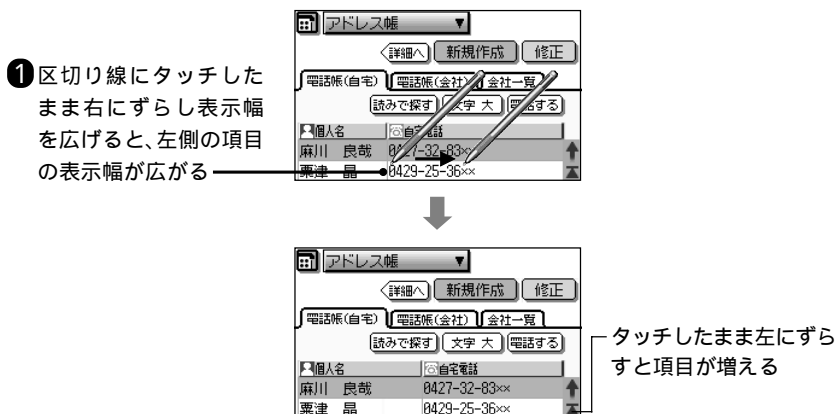
表示する項目を変える

例 電話帳(自宅)一覧画面で「自宅電話」項目を「自宅住所」項目に変える場合



項目の表示幅を変える

例 電話帳(自宅)一覧画面で「個人名」項目の表示幅を広げる場合



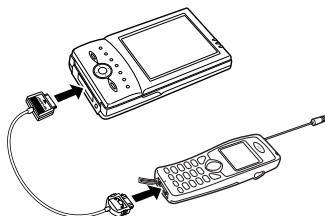
- 一覧画面の先頭の項目を変更することはできません。また、各一覧画面では、項目一覧に表示されない項目に切り替えることはできません。たとえば、電話帳(自宅)一覧画面では、会社名や会社電話などの会社関連の項目に切り替えられません。
- 項目は、電話帳(会社)一覧では6つまで、それ以外の一覧では5つまで表示できます。
- 区切り線の表示は
区切り線を一番右にずらすと、その区切り線の右にある項目が表示されなくなります。

アドレス帳から電話をかける

デジタル携帯電話、ドッチーモ、PHS電話機を使って、アドレス帳に登録した電話番号に直接電話をかけることができます(cdmaOne方式のデジタル携帯電話を使って直接電話をかけることはできません)。

使用できるデジタル携帯電話とPHS電話機などの機種は、Sharp Space Town のホームページ(<http://zaurus.spacetown.ne.jp/>)をご覧ください(2000年12月現在)。

- 1 この製品とデジタル携帯電話などを接続します(『取扱説明書(通信ガイド)』28 ~ 29ページ)。



イラストはデジタル携帯電話と接続ケーブルで接続するときの例

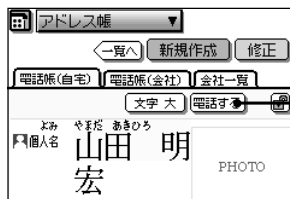


アドレス帳

情報を管理 / 活用する

- 2 アドレス帳のデータを表示し、電話をかけます。

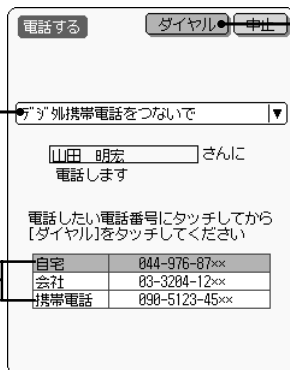
- 1 電話する相手のデータを
詳細表示画面に表示



- 2 電話する にタッチ



- 3 ここにタッチし、表示されたメニューから電話をかける方法を選択



- 5 ダイヤル にタッチ

- 4 電話する電話番号に
タッチし選択



選択した電話番号にダイヤルされる

この後、画面に表示されるメッセージに従って操作する



- 相手に電話番号を知らせたくないときは

この機能を使って電話をかける際、MI-E1側で自動的に発信者番号通知が「ON」になります。「ON」にしたいときは、相手の電話番号の前に「184」を入力しておいてください。



- 電話をかける番号は、「自宅TEL」「会社TEL」「携帯電話」の項目に入力している数字(0~9)と*、#(半角、全角どちらも可)です。

電話をかける際、

(ハイフオン) スペース、(、)

の記号は無視されてダイヤルされます。

また、これら以外の記号や文字(ひらがな、漢字など)が入力されていると、その記号や文字の直前までの番号をダイヤルします。

例：03-1234-XXXX(大代表) (“031234XXXX”がダイヤルされます)

- 1つの項目(「自宅TEL」など)に複数の電話番号を続けて入力していると(間に改行などを入れずに、複数の電話番号をスペースで区切って入力している場合など)複数の電話番号を一度にダイヤルして電話がかからなくなりますので、1つ1つの電話番号の末尾には改行を入れてください。このとき、ダイヤルする番号は、項目の1行目にある番号です。

例：03-2345-XXXX 03-1234-XXXX (“032345XXXX031234XXXX”とダイヤル)

例：03-1234-XXXX(5678) (“031234XXXX5678”とダイヤル)

このような場合は、各電話番号の末尾に改行を入れたり、03-1234-XXXX(内線5678)のように全角文字を入力してください(03-1234-XXXX(内線5678)の場合は、“031234XXXX”をダイヤルします。「内」以降は無視されます)。

- 電話番号以外の数字は併記しないようにしてください。ダイヤルをまちがえます。
- 一覧画面で上下の⦿を使って電話をかけたい相手のデータを選択し「電話する」にタッチしても、電話する画面を表示できます。



アドレス帳

情報を管理／活用する

写真をつける

アドレス帳の個人名項目には、別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)で撮った写真をフォトメモリー機能から貼り込むことができます。

フォトメモリーから写真を貼り込む

フォトメモリーのデータから取り込みたい写真を切り出すには、次の2つの方法があります。

- ・顔切り出し.....**顔切り出し...**を選び、切り出したい顔の内側をペンで丸く囲む
- ・写真切り出し.....**矩形切り出し...**を選び、切り出したい部分を四角に囲む

顔切り出しをうまく行うには、できるだけ正面を向いた顔写真をお使いください。

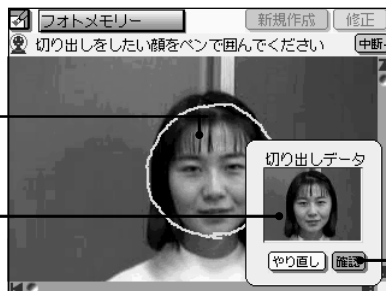
例 顔切り出しを使って顔の内側をペンで丸く囲んで切り出す場合

1 貼り込む範囲を指定して写真を複写します。

- ① フォトメモリーに移り、貼り込む写真(フォトメモリーのデータ)を表示(➡ 170ページ)
- ② **操作メニュー** キーを押し、**操作** タブ、**顔切り出し...** を選択し **決定** キーを押す

- ③ 切り出したい顔の内側で、**両目と口を囲むような感じで丸く線を引く**

- ④ 切り出したデータを**確認**



フォトメモリーの顔切り出し画面

顔写真の切り出しを中止する

- ⑤ **確認** にタッチ切り出した部分の写真が複写される。
やり直すときは、**やり直し** にタッチする(➡ 次ページの「メモ」)



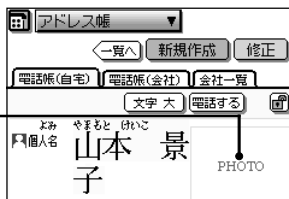
アドレス帳

情報を管理 / 活用する

2 アドレス帳のデータに貼り込みます。

① 写真を貼り込むアドレス帳のデータを詳細表示画面に表示

- ② 個人名欄右端の
「PHOTO」と表示された
枠内にタッチ
枠がオレンジ色に選択
される



- ③ (操作メニュー) キーを押し、[編集] タブ、[貼込(ペースト)] を
選択し(決定) キーを押す



複写した写真が貼り込ま
れる



- 顔の切り出しをやり直すときは
顔の外側を囲むようにペンでなぞって線を引くと、うまく切り出すことができません。
手順 1の ⑤ で[やり直し]にタッチした後、もう一度切り出したい顔の内側で、両目と口を囲むように丸く線を引きます。
- 四角に囲んで切り出すには
手順 1の ② で(操作メニュー)キーを押し、[操作]タブ、[矩形切り出し...]を選択し(決定)キーを押した後、四角に切り出したい部分の頂点付近にペンを当て、斜めにスライドして四角の点線枠を表示させて位置決めし、ペンを画面から離します。四角の点線枠の縦横比は3:4と一定です。切り出したデータの確認画面が表示されます。[確認]にタッチした後、続けて手順 2以降の操作を行います。
- すでに貼り込まれた写真があるときは、新しく貼り込んだ写真に置き換えられます。
- 顔写真の「顔切り出し」がうまく行かないときは
顔写真つきアドレス帳をフォトメモリーの顔切り出し機能を使って作るとき、パソコンのフォトタッチソフトで色調などを修正した写真を使用すると、顔切り出し機能が正常に動作しないことがあります。
顔切り出しがうまく行かないときには、矩形切り出し機能(四角に囲んで切り出す)を使ってください。



アドレス帳

情報を管理 / 活用する

アドレス帳に貼り込まれた写真を見る

- 1 写真が貼り込まれているデータを詳細表示画面に表示します。
- 2 **操作メニュー**キーを押し、**操作**タブ、**表示切替**、**決定**キー、**写真有り**、**決定**キーと操作します。
個人名の右に写真が表示されます。



- 写真を削除するには
詳細表示画面に写真ありのデータを表示し、写真にタッチして選択し、**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**削除**を選択し**決定**キーを押します。

季節のやり取りを記録する チェックリスト

年賀状・お歳暮などのやり取りをチェックリストに記録することができます。
年賀状などのやり取りの記号(○、×、△、?)は、下記のようにあらかじめ使いかたを決めておいてください。

- 1 チェックするアドレス帳のデータを、詳細表示画面に表示
- 2 **操作メニュー**キーを押し、**操作**タブ、**表示切替**、**決定**キー、**チェックリスト**、**決定**キーと操作する

○は送り、いただいた
×は送らなかったが、いただいた

△は送り、いただかなかった
記号によって、あらかじめ使いかたを決めておく

順送りキー、**逆送り**キーを押すと、前後の人のチェックリストが表示される

- 3 登録する記号にタッチ

チェックリスト画面



- 年賀状などを送った人を調べるには(絞り込み)
絞り込み条件設定画面で**チェックリスト**タブに切り替えた後、年賀状などの項目で **○** などにタッチし、**実行**にタッチします。条件に合うデータが表示されます。絞り込みを解除しないで電話帳(自宅)一覧画面などを表示すると、年賀状を送った人の一覧が表示されます。



アドレス帳

情報
を
管理
／
活用
する

会社名を変える

会社名変更

登録した会社名をまとめて変更します。会社名を変更すると、その会社に勤務している個人データの会社名は、すべて変更後の会社名に書き換わります。

- ① 会社一覧画面で、上下の
⦿を使って変更する会社名を選択し「決定」キーを押し、会社別個人一覧画面を表示

- ② 会社名にタッチ。
確認画面で
会社名を変更する
にタッチ

- ③ 「会社名」と「よみ」を変更

- ④ 変更 にタッチ



- シークレット機能が設定されていると変更できません。解除してください(☞259ページ)。
- 情報ファイルに分類されているデータの会社一覧が表示されているときは、画面左上のファイル名にタッチし、**全アドレス帳**を選択して全アドレス帳データの表示に切り替えた後、**会社一覧**タブに切り替えてください。



アドレス帳

情報を管理 / 活用する

スケジュール



スケジュールでは、何ができるの？

ある日の予定や、何日かにまたがる予定を登録できます。登録した予定は、スケジュールと連動した1カ月カレンダーで、予定のつまり具合などを一目で確認できます。また、詳細表示・1日表示・週間表示・週間グラフで多角的に見ることができます。また、予定の開始時間前にアラームを鳴らし、大切な約束を確かめることができます。

この製品には、あらかじめ国民の祝日(⇒154ページの「メモ」)のデータが入っています。

始めましょう

「始めましょう」(137～146ページ)は、スケジュール機能を初めて操作される方を対象に、基本的な使いかたをやさしく説明しています。さらにくわしい操作方法や「始めましょう」に含まれていない機能については、147ページ以降をご覧ください。ここでは、

- ・ 予定の入力方法
- ・ 入力した予定をいろいろな画面で見える方法
- ・ まちがえて入力したデータを修正する方法
- ・ いらなくなったデータを削除する方法

を具体的にやさしく説明しています。操作手順に従って操作してみましょう。



情報を管理
/ 活用する

予定を入れる



ある日の予定

日をまたがる予定

スケジュールでは、予定を次の2つのタイプに分けています。

- ・ ある日の予定
- ・ 日をまたがる予定
- ...何日かにまたがる予定

予定を入れるときは、その予定が何日かにまたがるかどうかを確かめ、予定のタイプを決めてください。

ある日の予定を入れましょう。その後、日をまたがる予定を入れます。

ある日の予定を入れる

次の予定を入れましょう。「2002年5月15日午後3時～5時の「新企画検討会議」」

1 スケジュールの新規作成画面を表示します。

① **ホームインデックス** キーを数回押す

② **スケジュール** アイコンを選択し、**決定** キーを押す

ホームインデックス1画面

3 **機能** キーを押した後、**(N)** (新規作成) キーを押す

カレンダー画面

4 **予定を入れる** タブが選択されていることを確認する

カーソル
(文字などを入力する位置を示す)

日付には、今日の日付またはカレンダー画面などで選んでいた日付が入っている

ミニカレンダーが表示されている

新規作成画面

2 ミニカレンダーで予定の日付を入力します。

- ① を使って予定の日付を選択し、**(決定)** キーを押す

**ペン
タッチ**

月を変えるときは、 にタッチして
前月、 にタッチして翌月に切り替
える



3 予定の開始時刻と終了時刻を入力します。

ここでは、午後3時(15時00分)~5時(17時00分)を入力します。

- ① キーボードを使って予定の開始時刻
を入力する

午後3時では**(1)(5)(0)(0)**キーを押す

12時間制で入力するときの「AM」「PM」
の指定については、次ページの2つ目の
「メモ」をご覧ください。

時刻の入力について

(☞次ページの「メモ」)

入力した日付が表示される



1
スケジュール

情報を管理 / 活用する

- ② 予定の終了時刻を入力する

午後5時では**(1)(7)(0)(0)**キーを押す

時刻を入力し直すときには にタッチ
する

入力された開始時刻



- ③ **(入力)** キーを押す

4 予定の内容を入力します。すべてを入力したら、予定を登録します。

- ① 入力ボードを使って、予定の内容を入力する

入力した時刻が表示される

- ② (機能) キーを押した後、(入力) (登録) キーを押す



入力ボード

入力ボードの使いかたは、70ページをご覧ください



- ・時刻の入力について

- ・開始時刻のみや、時刻を入力しなくても予定を登録できます。

時刻の入力を途中でやめたり、時刻を入力しないときは、「内容」欄にタッチしカーソルを内容欄に移動して予定の内容を入力してください。

時刻は数字を直接「01」、「02」のように2桁の数字で入力します。

- ・時刻は、数字入力ボードを使って時間のバーチャートから入力することもできます。前ページの手順 3 の ① で「数字」にタッチして数字入力ボードを表示します。98ページの手順 2 をご覧になりバーチャートを使って時間帯を入力します。

数字入力ボード

- ・12時間制で時刻を入力するときの「AM」、「PM」の指定について
「AM」は、(機能) キーを押した後、(A) キーを押します。
「PM」は、(機能) キーを押した後、(P) キーを押します。
たとえば、「午後3時」と入力するときは、(3)(0)(0) キー、(機能) キーを押した後、(P) キーを押します。
- ・12時間制で正午 (12:00) を入力するには、時刻の項目に「12:00」を入力し、(機能) キーを押した後、(P) キーを押します。
- ・日付や時刻を修正するときは
「日付」の左の (日付アイコン) や「時刻」の左の (時刻アイコン) にタッチすると、表示されている日付や時刻が消えます。日付や時刻を入力し直してください。また、日付や時刻の一部を修正するときは、修正したい数字にタッチしてカーソルを移動し、入力し直します。
- ・予定を入力できる日は
1901年1月1日から2099年12月31日までの任意の日に入力できます。

日をまたがる予定を入れる

ある日の予定を入れたら、今度は日をまたがる予定(5月17日午前9時～22日午後5時までの視察旅行)を入れてみましょう。

1 日をまたがる予定の新規作成画面を表示します。

- ① **機能** キーを押した後、**(N)** (新規作成) キーを押す



- ② **日をまたがる予定を入れる** タブに切り替える

- ③ **決定** キーを押す



- ④ 予定の開始日や開始時刻、終了日や終了時刻を入力する

入力方法は138ページの「ある日の予定を入れる」と同様にして入力する

2 予定の内容を入力します。終わったら、登録します。

- ① 予定の内容を入力する

- ② **機能** キーを押した後、**(入力)** (登録) キーを押す



- 開始時刻と終了時刻について

必要に応じて入力してください。入力の方法は139ページの手順 3 と同じです。

2 予定を確かめたい日を表示します。

- ① ④を使って予定を確かめたい日を選択し、(決定)キーを押す

ペンタッチ 1回または2回タッチ

選択されている日の予定

ここを選ぶと、選択している日の予定を見ることができる

カレンダー 週間 1日

2002年 5月 文字大 客月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	

15日(水)

期間: 02/ 5/15 販売強化期間

10:00 権山氏来社予定。その

山田 明宏<ya> 今日の打ち合わせに

3 1日表示画面では、その日の予定を一覧できます。確認したら、確かめたい予定の内容を表示します。

- ① 上下の④を使って予定を選択し、(決定)キーを押す

ペンタッチ 1回または2回タッチ

選択した予定の詳細表示画面へ

今日の1日表示画面へ

日をまたがる予定の内容

日をまたがる予定であることを示す

この日に送信/受信したメール

ミニカレンダーの日付にタッチすると、その日の1日表示画面になる

予定の開始時刻と終了時刻

アクションリストのデータ

未処理データで、■にタッチすると処理済みデータになる

スケジュール

2002年 5月 15日(水)

期間: 02/ 5/15 販売強化期間

10:00 権山氏来社予定。その

山田 明宏<ya> 今日の打ち合わせに

11:00-12:00 フレゼン露棟討

山田 明宏<ya> 3-3204

3:00-5:00 新企画検討会議

期限: 02/ 5/15 M/D 権山氏来社

1日表示画面

予定の内容

4 詳細表示画面では、予定の詳細を確認します。確認したら、次の予定に切り替えます。

- ① 内容を確認する
- ② (順送り)キー、(逆送り)キーを押して次の予定に切り替える

スケジュール

2002年 5月 15日(水)

時刻 3:00~ 5:00

内容 新企画検討会議

詳細表示画面

1
スケジュール

情報を管理 / 活用する

5 1週間の予定表を表示します。

① 週間タブに切り替える



6 週間表示画面では、1週間の予定を一覧できます。

確認したら、日をまたがる予定を表示します。

① 上下の○を使って予定を選択し、 (決定)キーを押す

1回または2回タッチ

今週へ

年月日指定画面に移る(149ページ)

日付にタッチすると1日表示画面へ

送信/受信したメールが表示される
予定の開始時刻と内容が表示される

日をまたがる予定
(開始時刻の表示がない)

選択した予定の詳細表示画面へ
タッチした週の週間表示画面へ



週間表示画面



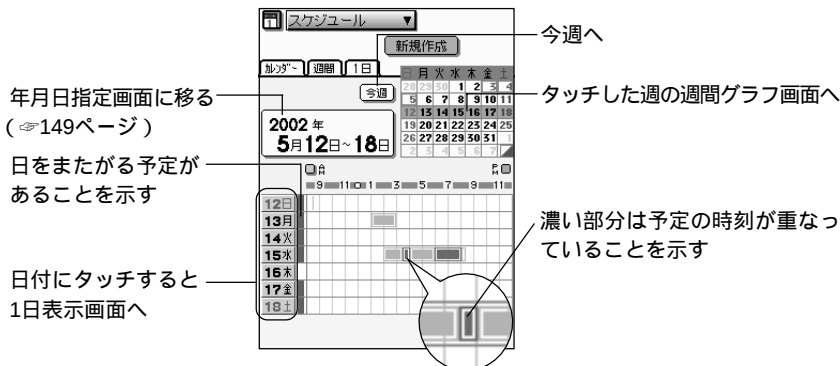
- (逆送り)キー、(順送り)キーでの表示切り替えについて
詳細表示画面で、(逆送り)キーを押すと1つ前のデータ、(順送り)キーを押すと1つ後のデータが表示されます。また、1日表示画面では前日・翌日、カレンダー画面では前月・翌月、週間表示/週間グラフ画面では前週・翌週が表示されます。
- 情報ファイルに分類したスケジュールデータを表示するときは
[スケジュール▼]にタッチして、目的の情報ファイル名を選択します。情報ファイルについては、213ページをご覧ください。
- 予定の表示件数は
1日表示画面では500件以内、週間表示画面では1000件以内を表示できます。



コラム

1週間のつまり具合を見るには(週間グラフ画面)

カレンダー画面、週間表示画面、一日表示画面、詳細表示画面のいずれかで**操作メニュー**キーを押し、**操作**タブ、**週間グラフ**を選択し**決定**キーを押します。1週間の予定のつまり具合がグラフでビジュアルに確認できます。



予定を修正する

一度登録した予定を修正します。

- 1 修正したい予定を詳細表示画面に表示します。
- 2 **機能**キーを押した後、**(M) 修正**キーを押して、修正画面を表示します。
- 3 内容を修正します。
- 4 **機能**キーを押した後、**(入力) 登録**キー押し、修正した予定を登録します。

修正にタッチ

登録にタッチ



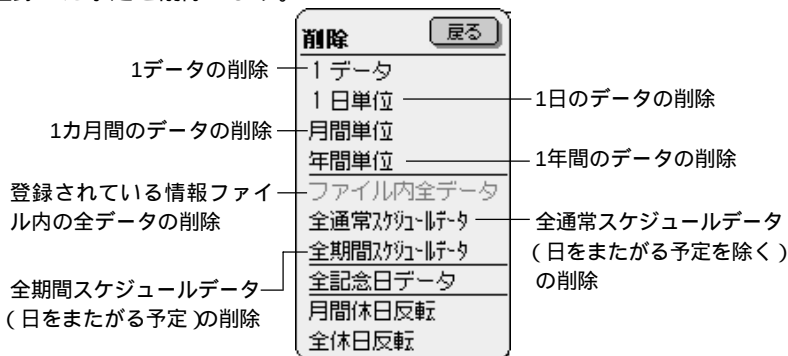
- 1日表示画面・週間表示画面からの修正は
修正したい予定を選択し、**機能**キーを押した後、**(M) 修正**キーを押します。
- 修正前と修正後の2つのデータを登録するには
手順 4で**機能**キーを押した後、画面の**登録**にタッチします。修正前の予定はそのまま残ります。



情報を管理 / 活用する

予定を削除する

登録した予定を削除します。



削除メニュー

- 1 削除したい予定のある1日表示画面、週間表示画面を表示します。
- 2 上下の⊕を使って削除したい予定を選択します。
ペンタッチ 削除したい予定にタッチ
- 3 (操作メニュー) キーを押し、[編集] タブ、[削除] を選択し [決定] キーを押して、削除メニューを表示します。
- 4 上下の⊕を使って削除する範囲を選択し [決定] キーを押します。
確認のメッセージで [はい] を選択し [決定] キーを押し、削除します。



- カレンダー画面での削除は
カレンダー画面の削除メニューの [月間単位] を選択すると、表示されている月の予定 (日をまたがる予定を除く) と、アドレス帳に登録したコンタクトのデータを削除できます。[全通常スケジュールデータ] ではすべての予定 (日をまたがる予定を除く) とアドレス帳に登録したコンタクトのデータ、[全期間スケジュールデータ] ではすべての期間スケジュール (日をまたがる予定)、[年間単位] では1年間のすべての予定 (日をまたがる予定を除く) と、アドレス帳に登録したコンタクトのデータを削除できます。
- 詳細表示画面での削除は
削除したい予定が表示されている画面で、(操作メニュー) キーを押し、[編集] タブ、[削除] を選択し [決定] キーを押します。
- 1週間のデータを削除するには
1日表示画面または週間表示画面で、(操作メニュー) キーを押し、[編集] タブ、[削除]、[決定] キー、[週間単位]、[決定] キーと操作します。
- シークレット機能が設定されているときは
1データの削除以外ではできません。シークレット機能を解除してから削除してください(☞259ページ)。
- 各画面で手順 3で表示される削除メニューの中で、薄い文字になっているものは選択できません。たとえば、週間グラフ画面では、1データ、1日単位、週間単位は選択できません。

ここからは、くわしい説明

147～160ページでは、「始めましょう」よりくわしい操作説明や「始めましょう」に含まれていない機能について説明しています。
スケジュール機能について、便利な機能が使えるようになります。

簡単に同じ予定を作る

同じ予定を決まった日に入れる

繰り返し

毎日、数日おき、毎週、毎月、毎年など同じ時刻に同じ予定を入れます。

例 2002年5月10日(金)の予定を、2002年7月31日まで、1週間おきの金曜日に繰り返し入力する場合(金曜日が休日のときは木曜日に入力する)

① 繰り返ししたい予定を表示

② [操作メニュー] キーを押し、[操作] タブ、
[繰り返し登録...] を選択し
[決定] キーを押す

③ ここにタッチし、繰り返し
しかたを選択

繰り返しの設定画面

④ 繰り返しする期間または
回数を入力

「繰り返し期間」と
「繰り返し回数」は入
力項目にタッチして
カーソルを移動さ
せ、下の数字入力
ボードから入力

⑤ 休日など、繰り返し
し入力する予定が重
なったときの設定を
選択

⑥ [設定] にタッチし、確
認のメッセージで
[確認] にタッチ



情報を管理 / 活用する



- 繰り返しで登録できるデータは
予定(日をまたがる予定を除く)、アドレス帳のコンタクトデータ、アクションリス
トデータです。アクションリストデータの期限日は入力されずに登録されます。
- 繰り返ししたい予定の曜日や日付は、繰り返ししかたのメニューに反映されます。た
とえば、繰り返ししたい予定が月曜日のものときは、繰り返ししかたのメニューに
「毎週月曜日」、「1週間おきの月曜日」のように表示されます。
- 8月31日など月末の予定を繰り返し登録するときは、「月末」を選んでください。
30日までの月は「30日」に、31日までの月は「31日」に登録されます。
「毎月31日」を選ぶと、「31日」がない月を飛ばして登録されます。「31日」のみに
登録したいときは、「毎月31日」を選んでください。
- 繰り返し登録した予定を取り消すときは、1件ずつ削除します。繰り返し回数が
多い予定を登録するときは、[設定] にタッチする前に、指定にまちがいがいいか
ご確認ください。

同じような予定を作る

「複製」を使って、同じデータをもう1つ作ります。

- 1 1日表示画面でもとになるデータを選択します。
- 2 (操作メニュー)キーを押し、[編集]タブ、[複製]を選択し、[決定]キーを押します。選択したデータと同じデータが登録されます。
- 3 複製したデータを選択し、(機能)キーを押した後、(M) (修正)キーを押します。修正画面が表示されます。
- 4 日付など、データを修正し、(機能)キーを押した後、(入力) (登録)キーを押します。データが登録されます。



- 手順 1で詳細表示画面に予定を表示し、(操作メニュー)キーを押し、[編集]タブ、[複製]を選択し、(決定)キーを押しても複製できます。
- もとになるデータの修正画面で、(機能)キーを押し、画面の[登録]にタッチすると、もとのデータを残したまま、修正後のデータを別に登録できます。また、「複製(コピー)」と「貼込(ペースト)」を使ってもう1つのデータを作することもできます (☞240ページ)。

1

スケジュール

情報を管理 / 活用する

データを移動・複写する

スケジュールやアクションリストのデータを、スケジュールの1日表示画面、週間表示画面で移動・複写できます。

- 1 1日表示画面、週間表示画面で、移動したいデータを選択。選択したデータにタッチしたままにする。しばらくすると、データが浮き出てくる
 - 2 タッチしたまま、ミニカレンダー上の移動する日までペン先を移動し、離す
- ミニカレンダー
— 浮き出たデータを移動させる
- 1日表示画面



- データを複写するには
手順 ①で(機能)キーを押した後、データにタッチしたままペン先を移動します。
- データを移動すると
スケジュールデータの日付や未処理のアクションリストの期限日が自動的に変わります。なお、スケジュールデータに設定されているアラームは解除されます。
- 別の月にデータを移動するには、データにタッチしたままミニカレンダー下の 、 に合わせると、前月・翌月が表示されます。タッチしたままペン先をいったん 、 から外し、再び 、 に合わせると、さらに前月・翌月が表示されます。

年月日を指定して予定を表示する 年月日指定

年月日を指定して予定を表示します。表示していた画面(カレンダー画面、週間表示画面、1日表示画面、週間グラフ画面)に、指定した日のデータやその日を含むデータが表示されます。カレンダー画面の場合は、指定した月のカレンダーが表示され、指定した日が選択された状態になります。

- ① 年月日表示にタッチ
カレンダー画面では
2002年 5月にタッチ



年月日表示

- ② 年月日を西暦で入力



- ③ 実行にタッチ

年月日指定画面



- 年月日をすべて入力しなくても、指定した年または年月の画面を表示することができます。年だけを指定するとその年の1月1日、年月を指定するとその年月の1日が指定されたものとみなされます。



スケジュール

情報を管理 / 活用する

休日を設定/解除する

休日を設定/解除するには、次の2つの方法があります。

- ・ 毎週ある曜日を休日に設定/解除する(曜日単位)
- ・ ある日を休日に設定/解除する(1日単位)

毎週ある曜日を休日に設定/解除する

曜日単位

ある曜日をすべて休日にします。また、休日の設定を解除します。

例 土曜日を休日に設定し、カレンダーでの土曜日の表示を赤くする場合

- 1 カレンダー画面などで
操作メニュー キーを押
し、操作 タブ、
スケジュール/休日設定...
を選択し(決定)キーを押
す

3 設定 にタッチ

- 2 ここにタッチし 有 を
表示

スケジュール/休日設定画面



- ・ 曜日単位で設定した休日を解除するには(曜日単位解除)
スケジュール/休日設定画面で、普通表示にしたい曜日の「有」にタッチして「無」に変えます。あらかじめ「日」(日曜日)が「有」(休日)に設定されています。日曜日が休日でないときは、「有」にタッチして「無」にします。
- ・ 曜日単位の休日を1日だけ解除するには
通常は休みの日曜日なのに、その日だけ出勤というようなときは、1日単位で休日を解除してその日の表示を青色にします(次ページの1つ目の「メモ」)。1日単位の休日設定と曜日単位の休日設定が重なると、休日設定が解除された表示(黒色または青色)になります。なお、休日設定が重なっている日は、どちらか一方の休日設定を解除すると、再び赤色表示になります。
また、曜日単位の休日と記念日の休日が重なったときは、赤色表示のままです。

ある日を休日に設定/解除する

1日単位

ある日を休日にします。また、1日単位で設定した休日を解除します。

- 1 カレンダー画面で、を使って休日
にしたい日を選択します。
- 2 **操作メニュー**キーを押し、**操作**タブ、**休日設定/解除**を選択し**決定**キーを押します。
選択した日が赤く表示されます。



- 1日単位で設定した休日を解除するには(1日単位解除)
カレンダー画面で解除する日を選択し、**操作メニュー**キーを押し、**操作**タブ、**休日設定/解除**を選択し**決定**キーを押します。
- 1日単位で設定した休日をまとめて1カ月分取り消すには
休日を取り消したい月のカレンダー画面で、**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**削除**、**決定**キー、**月間休日反転**、**決定**キーと操作します。
- 1日単位で設定したすべての休日を取り消すには
カレンダー画面で、**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**削除**、**決定**キー、**全休日反転**、**決定**キーと操作します。
- **月間休日反転**、**全休日反転**で解除するときは
 - 曜日単位や記念日で設定した休日は解除されません。
 - 曜日単位や記念日で設定した休日を、1日単位で解除して普通表示に戻したとき、**月間休日反転**や**全休日反転**で解除すると、曜日単位や記念日で設定した休日に戻ります。



情報
を管理
/ 活用
する

表示を変える

月曜日を週の始まりにする

カレンダー 開始曜日

週の始まりの曜日を日曜日から月曜日に変えます。

- 1 カレンダー画面で、**操作メニュー** キーを押し、**操作** タブ、**スケジュール/休日設定...** を選択し **決定** キーを押します。
スケジュール/休日設定画面(☞150 ページ)が表示されます。
- 2 「カレンダー開始曜日」の **月曜日** にタッチし、**設定** にタッチします。
週の始まりが月曜日になったカレンダー画面が表示されます。



- 週の開始曜日を変更すると
週間表示画面、週間グラフ画面の開始曜日も変わります。
また、スケジュールの週間単位の削除の範囲が、開始曜日が月曜日のときは月曜日～日曜日に変わります。ご注意ください。

アクションリストのデータを表示/非表示にする

カレンダー画面や1日表示画面などにアクションリストのデータを表示するか、表示しないかを切り替えることができます。

- 1 カレンダー画面で、**操作メニュー** キーを押し、**操作** タブ、**スケジュール/休日設定...** を選択し **決定** キーを押します。
スケジュール/休日設定画面(☞150 ページ)が表示されます。
- 2 「表示データ選択」で表示/非表示にするデータの **要** または **否** にタッチし、**設定** にタッチします。
アクションリストデータの表示/非表示が切り替わります。



- 開始日や期限日を指定する必要のないアクションリストのデータをスケジュールの画面に表示しないようにするには、そのデータの開始日をしばらく先の日付に変えます。
- 週間表示画面でのアクションリストのデータの表示は
未処理データは期限日に表示されます(期限日なしの未処理データは表示されません)。処理済みデータは処理日に表示されます。
- アクションリストのデータは
未処理データは開始日が来ると、処理するまで毎日、今日の1日表示画面、詳細表示画面に表示されます(期限日とは関係ありません)。
また、今日処理したデータも今日の1日表示画面、詳細表示画面に表示されず。



スケジュール

情報を管理/活用する

メールのデータを表示/非表示にする

カレンダー画面などに送受信したメールのデータを表示するか、表示しないかを切り替えることができます。

- 1 カレンダー画面で、**操作メニュー**キーを押し、**操作**タブ、**スケジュール/休日設定...**を選択し**決定**キーを押します。
スケジュール/休日設定画面(☞150ページ)が表示されます。
- 2 「メールデータ」で表示するときは**要**、表示しないときは**否**にタッチし、**設定**にタッチします。
送受信したメールデータの表示/非表示が切り替わります。



- 未送信メールはスケジュール機能には表示されません。また、スケジュールの詳細表示画面で未読メールのデータを表示しても、既読メールにはなりません。
- 受信メールは、スケジュール機能では受信した日に表示されますが、メール機能ではそのメールが送信された日付が受信簿に表示されます。メールを探すときなどご注意ください。



スケジュール

情報
を
管
理
/
活
用
す
る

記念日を登録する

記念日

スケジュールとは別に、特定の日を記念日として登録できます。

・誕生日、設立記念日など毎年決まった日(記念日(月日))..... [月日] で登録

・母の日(5月第2日曜日)のように、

ある月の何週目の何曜日(記念日(月/週/曜)) [月/週/曜] で登録
登録した記念日はすべての年に設定されます。

毎年決まった日を記念日にする

記念日(月日)

毎年決まった日を記念日として登録します。

例 6月23日の開校記念日を休日で登録し、カレンダー画面に表示する場合

- ①** [操作メニュー] キーを押
し、[操作] タブ、
[記念日設定...] を選択し
[決定] キーを押す

- ②** [機能] キーを押した
後、[N] (新規作成) キーを押す

記念日設定画面

- ③** [月日] タブが選択されて
いることを確認
④ ミニカレンダーで入力す
る日付にタッチ
または数字入力ボードか
ら日付を入力

- ⑥** ここにタッチし、表示
されたメニューから
[休日にする] を選択
⑦ ここにタッチし、表
示されたメニューか
ら [カレンダーに表示する]
を選択
⑧ [登録] にタッチ

- ⑤** 内容を入力

記念日設定(月日)新規作成画面



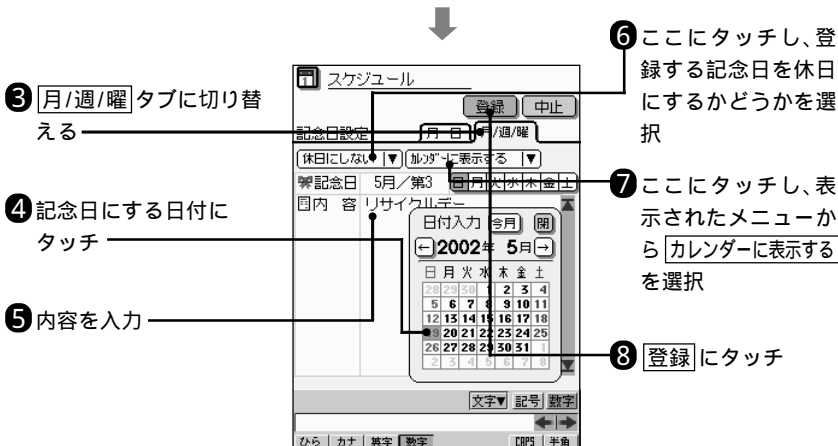
- ・春分の日や秋分の日などの国民の祝日は
この製品には、2000年現在の国民の祝日などがあらかじめ登録されています。
ただし、「春分の日」、「秋分の日」は年によって変わるので、登録されていま
せん。ご使用になる年の暦に合わせて登録や変更を行ってください。また、2001
年以降に施行される新設の祝日などは、新たに登録してください(「成人の日」と
「体育の日」は1999年までと2000年以降の両方のデータが入っています)。
なお、振替休日の機能はありません。ご使用になる年の暦に合わせて登録や変更
を行ってください。
- ・記念日を休日にするには
[休日にする] に設定すると、毎年その日が休日として登録されます。

ある月の何週目の何曜日を記念日にする 記念日(月/週/曜)

何月、何週目の何曜日を記念日として登録します。

例 5月第3日曜日を「リサイクルデー」として登録し、カレンダー画面に表示する場合

- ① (操作メニュー) キーを押し、[操作] タブ、[記念日設定...] を選択し (決定) キーを押す
- ② 記念日設定画面(← 前ページ)で (機能) キーを押した後、(N) (新規作成) キーを押す



記念日設定(月/週/曜)新規作成画面



- 月/週/曜日を入力するには
ミニカレンダーで記念日にする日付にタッチするか、スライド式キーボード(数字入力モードの状態)や数字入力ボードで1月は「01」と2桁の数字で、週は第何週目かを1~5の数字で入力します。スライド式キーボード(数字入力モードの状態)や数字入力ボードで入力した場合は、曜日は曜日の一覧にタッチして入力します。
- 記念日を休日するには
[休日にする]に設定すると、毎年その日が休日として登録されます。



スケジュール

情報を管理 / 活用する

登録した記念日データだけを見る/削除する

記念日を見る

表示

記念日は、カレンダー画面とスケジュール画面に表示されます。

- ・ カレンダー画面 日付が赤い枠で囲まれます。
- ・ スケジュール画面 ... 1日表示画面や週間表示画面で1日の最初のデータとして表示されます。

詳細表示画面で予定と同じように表示されます。

- ① (操作メニュー) キーを押
し、操作 タブ、
記念日設定... を選択し
(決定) キーを押す



記念日(月日)と記念日
(月/週/曜)の表示を切り
替える



記念日(月/週/曜)詳細表示画面

- ② 記念日(月/週/曜)画
面に切り替えるとき
は、月/週/曜 タブに
タッチして切り替え
る

- ③ (逆送り) キー、(順送り)
キーを押して前また
は次の記念日を表示



- ・ カレンダー画面に記念日を表示しないときは
カレンダーに表示する にタッチし、表示されたメニューから
カレンダーに表示しない を選択します。その記念日の日付から赤い枠が消えま
す(ただし、カレンダーの下に表示される記念日データは、そのまま残ります)。
- ・ 休日に設定された記念日は、日付が赤色の文字で表示されます。
- ・ 記念日データを修正するには
スケジュールの1日表示画面や週間表示画面、詳細表示画面でも、予定と同じよ
うにして記念日を修正できます。また、記念日の詳細表示画面で(機能)キーを押
した後、(M)(修正)キーを押しても修正できます。



情報
を管理
/ 活用
する

記念日を削除する

削除

記念日を削除します。

- ① 記念日(月日) 詳細表示画面や記念日(月/週/曜) 詳細表示画面で、削除する記念日データを表示
- ② (操作メニュー) キーを押し、[編集] タブ、[削除] を選択し (決定) キーを押す



- ③ 削除するデータの範囲を選択し (決定) キーを押す

削除	
戻る	
1 データ	表示したデータを削除
全(月日)データ	月日で指定したデータを削除
全(月週曜)データ	月/週/曜で指定したデータを削除
全記念日データ	すべての記念日データを削除



- ④ 確認のメッセージで、を使って [はい] を選択し (決定) キーを押す



- 「全(月日)データ」などで記念日を削除すると、あらかじめ登録されている内容も削除され、もとに戻せなくなります。



- シークレット機能が設定されているとき
1データの削除以外はできません。シークレット機能を解除してから削除してください(259ページ)。
- 1日表示画面や週間表示画面、詳細表示画面でも、予定の1データ削除と同じようにして記念日を削除できます。
- 記念日の全データを削除するには、次の方法もあります。
カレンダー画面で、(操作メニュー) キーを押し、[編集] タブ、[削除]、(決定) キー、[全記念日データ]、(決定) キーと操作します。



情報を管理 / 活用する

時刻前にアラームを鳴らす

スケジュールアラーム

会議や打ち合わせなどの前に、アラームが鳴るように設定します。

アラームを設定する

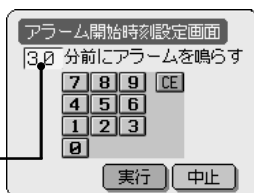
アラームを設定します。

例 会議の30分前にアラームを鳴らす場合

① アラームを設定する予定を表示

②  にタッチ

③ アラーム時刻を入力
0～99分前に設定できる



アラーム開始時刻設定画面

30 分前にアラームを鳴らす

7 8 9 CE
4 5 6
1 2 3
0

実行 中止

④ **決定** キーを押す

アラーム開始時刻設定画面

アラームを設定すると  が
 (オレンジ色) になる



スケジュール

← 一覧へ 新規作成 修正

カレンダー 週間 1日

文字 大

印 付 2002年 5月10日 (金)

時刻 3:00P ~ 5:00P

アラーム 2:30P

設定されたアラーム時刻

設定後の詳細表示画面



- アラームを設定するとき
 - 日をまたがる予定以外の予定とコンタクト登録したデータ(☞122ページ)に設定できます。なお、開始時刻のない予定には、アラームを設定できません。
 - 過去の予定には、アラームを設定できません。
 - アラーム開始時刻を「00」にすると、開始時刻にアラームが鳴ります。
 - データの入力、修正中に  にタッチしたときは、**機能** キーを押した後、**入力**(登録)キーを押してデータを登録した後、アラーム開始時刻設定画面が表示されます。
- アラームのみを設定するとき
予定の開始時刻を入力し、内容にスペースを入力します。予定内容のないスケジュールを登録でき、アラームが設定できます。
- データ通信を行っているときなどではアラーム時刻になっても鳴りません。



- オートパワーオフの設定
充電電池使用時は、オートパワーオフの設定は、**する** にすることをおすすめします(オートパワーオフの設定については246ページをご覧ください)。オートパワーオフの設定を **しない** にすると、本体の電源がオフの状態からアラームによって自動的に電源が入り、音が鳴るなどした後も電源が入ったままになり、充電電池の消耗が早くなります。

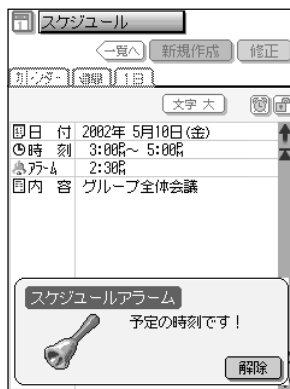
1
スケジュール

情報を管理 / 活用する

アラームの時刻になると

ユーザー設定のサウンド設定画面(☞247ページ)で「アラーム音」が「入」に設定されているとき、設定した時刻になると、アラームが鳴り、アラームメッセージとそのデータが表示されます。

- ① 設定した時刻になると、アラームが鳴り、アラームメッセージとスケジュールデータを表示



アラーム音は、数秒経つと自動的に鳴りやむ(アラーム音によって長さが異なる)

- ② 「戻る」キーを押すと解除される



- シークレットデータにアラームが設定されているとき
シークレット機能が設定されているときは、データの内容は表示されず、「予定の時刻です! (シークレットデータ)」というメッセージが表示されます。
- 電源が切れているとき
アラーム時刻になると、自動的に電源が入り、メッセージが表示されます。
デیلیーアラームも同様です(☞210ページ)。



情報を管理 / 活用する

アラーム音を一時的に鳴らさないようにする

会議中などでアラーム音を鳴らしたくないときは、アラームの設定を解除しないで、一時的にアラーム音を鳴らないようにすることができます(アラームメッセージの表示は行います)。

- 「ホームインデックス」キーを数回押し、システム設定画面で「設定」を使って「ユーザー設定」アイコンを選択し「決定」キーを押します。
- 上下の「設定」を使って「サウンド設定」を選択し「決定」キーを押します。
サウンド設定画面(☞247ページ)が表示されます。
- 「アラーム音」の「切」にタッチします。
- 「設定」にタッチしてサウンド設定画面を閉じます。



- アラーム音を切ると
アラームが設定されているすべてのスケジュールのアラーム音が鳴りません。
一時的に切った後は、サウンド設定画面で「入」にタッチしてアラーム音が鳴るようにしてください。
- アラーム音の鳴る/鳴らないの設定は、デイリーアラームの鳴る/鳴らないには影響しません。デイリーアラームについては、210ページをご覧ください。

アラーム音を変える

アラーム音を4種類の中から選ぶことができます。なお、デイリーアラームのアラーム音は変わりません。

- 1 カレンダー画面で「操作メニュー」キーを押し、「操作」タブ、「スケジュール/休日設定...」を選択し「決定」キーを押します。
スケジュール/休日設定画面(☞150ページ)が表示されます。
- 2 「アラーム音」でアラーム音を選び、「設定」にタッチします。
「アラーム音」の「1」～「4」にタッチすると、各番号に設定されているアラーム音が流れます。

1

スケジュール

情報を管理／活用する

アラームを解除する

アラームを解除します。アラーム設定の解除は、スケジュールの入力、修正中でもできます。

- 1 アラームの設定を解除するデータを詳細表示画面に表示します。
- 2 にタッチします。
アラームの設定が解除されます。また、アラーム時刻が消えます。

アクションリスト



アクションリストでは、緊急な用件や重要な用件にランクをつけて登録・整理できます。ランクづけした用件は緊急なものや重要なものから片付けられます。処理した用件はすばやくチェックでき、処理済みの用件として分けることができます。また、未処理の用件は一覧で整理できます。処理しなければならない順に並べたり、処理済みの用件だけを日付順に並べて確認できます。

用件にランクをつけ登録する

新規作成

重要な用件から処理できるように、用件を入力しランクをつけます。

- ① (ホームインデックス) キーを数回押し、ホームインデックス1画面で (アクションリスト) アイコンを選択し、(決定) キーを押す

- ② (機能) キーを押した後、(N) (新規作成) キーを押す

- ③ 「開始日」項目にタッチ

開始日(←次ページ)

期限日(←次ページ)

ミニカレンダー

④ 開始日にタッチ

⑤ 期限日にタッチ

新規作成画面



アクションリスト

情報を管理 / 活用する

⑥ここにタッチし、重要度
を選択

⑦「アクション」項目に
タッチし、用件を入力

アクションリスト

登録 中止

⑧登録にタッチ

開始日 2002年 5月 5日(日)~

期限日 2002年 5月15日(水)

処理日 年 月 日()

重要度 緊急

アクション MD 榊山氏来社



・開始日、期限日とは

・開始日とは、用件の処理を始める日、または用件を処理する予定日です。必ず入力します。アクションリストの画面で(機能)キーを押した後、(N)新規作成)キーを押すと、新規作成画面の開始日には今日の日付が自動的に入ります。

・期限日とは、用件に「～日まで」と期限をつけるときに入れます。期限がないときは空欄にします。

・開始日などの年月日の修正は

「開始日」などの右の年月日の欄にタッチすると、ミニカレンダーが表示され、入力し直すことができます。また、年月日の一部を修正するときは、修正したい数字にタッチしてカーソルを移し、入力し直します。

・重要度の順番は

「緊急」→「A」→「B」→「C」の順。後で重要度を変えることもできます。



アクションリスト

情報を管理／活用する

未処理の用件を確かめチェックする

未処理の用件(まだ処理が終わっていない用件)を確かめ、処理済みの用件をチェックします。

1 未処理の用件を表示します。

①アクションリストの一覧画面を表示



②左右の⊕を押して
未処理)タブに切り替え
て、未処理一覧を表示

③重要度順▼にタッチ
し、重要度順などを選択
チェックボックス

アクションリスト

<詳細へ> 新規作成 修正

未処理 処理済 今日

文字 大

並び順 重要度順

並び順	重要度	期限日	アクション	開始日
02/ 5/15	MD	榊山氏来	02/ 5/ 5	
02/ 5/18	F A	手配につ	02/ 5/18	
02/ 5/25	展示会の打ち	02/ 5/ 8		
02/ 5/21	アルバイトの	02/ 5/11		

④上下の⊕を使って見
たいデータを選択し
(決定)キーを押す

未処理一覧画面

2 処理が終わった用件を処理済みにします。

- ① チェックボックスに
タッチ
☐ または ☒ が ☒ となる
☒ は処理済みを示す

アクションリスト		
一覧へ	新規作成	修正
未処理	処理済	本日
重要度	チェック	重要度 緊急
開始日	2002年 5月 5日 (日) ~	
期限日	2002年 5月 15日 (水)	
アクション	M D 種山氏来社	

詳細表示画面



- チェックボックスの表示について
☐ ... 未処理を示します。
☒ ... 処理済みを示します。
☒ ... 期限日が過ぎた未処理のデータを示します。期限日が過ぎると ☐ が ☒ に自動的に変わります。タッチすると、☒ (処理済み) になります。
- チェックすると
処理済みのチェックが入り、詳細表示画面では期限日が処理日に変わり、チェックした日付が自動的に入ります。この後、ほかの画面に移ると、チェックした用件は処理済一覧に移ります。
- チェックの取り消しは
☒ にタッチして ☐ や ☒ に戻します。「処理日」が「期限日」になり、期限日の日付に戻ります。
- 詳細表示画面で「**順送り**」キーを押すと
一覧画面のチェックボックスの上に表示されている順番にデータが呼び出されます。たとえば、「未処理」タブで「重要度順」と表示されているときは、未処理データが重要度順に呼び出されます。未処理データを期限日順に呼び出したいときは、いったん「未処理」タブに切り替えた後、期限日順の未処理一覧を表示し、**<詳細へ** にタッチします。
- スケジュールの1日表示画面でチェックするには
アクションリストの未処理データはスケジュールの1日表示画面に表示することができます(☞143ページ)。表示すると、未処理データにチェックすることもできます。
- 未処理データの移動は
スケジュールの1日表示画面では、スケジュールデータと同じようにアクションリストの未処理データを移動できます(☞148ページ)。移動すると期限日が自動的に移動した日になります。
- 情報ファイルに分類したアクションリストデータを表示するときは
画面左上の「アクションリスト▼」にタッチして、目的の情報ファイル名にタッチします。情報ファイルにデータを分類する方法は216ページをご覧ください。
- 文字を拡大して見るときは
画面上の「文字大」にタッチします。もとに戻るときは、「文字標準」にタッチします。



アクションリスト

情報を管理／活用する

一覧画面について

一覧画面では、目的別にデータの並び順を替えることができます。

● 処理済一覧画面

処理済みのチェックをした用件の一覧。

処理済 タブに切り替え则表示されます。

並び順	処理日	アクション	開始日
処理日	02/ 5/ 8	フアッション	02/ 4/22

● 開始日順の未処理一覧画面

未処理の用件を開始日順に表示する一覧。未処理一覧画面で**開始日順**を選択すると表示されます。

並び順	開始日	アクション	期限日
開始日順	02/ 5/ 5	MD 横山氏来	02/ 5/15

開始日が同じときは、重要度順に表示される

● 期限日順の未処理一覧画面

未処理の用件を期限日順に表示する一覧。

未処理一覧画面で**期限日順**を選択すると表示されます。

並び順	期限日	アクション	開始日
期限日順	02/ 5/15	MD 横山氏来	02/ 5/ 5

期限日が同じときは、重要度順に表示される

● 本日一覧画面

開始日が今日以前の未処理の用件を表示する一覧。

本日 タブに切り替え则表示されます。

重要度順	期限日	アクション	開始日
重要度順	02/ 5/15	MD 横山氏来	02/ 5/ 5

本日(今日)チェックして処理済みとなったデータも、本日は表示されたままになる

画面の説明

未処理 タブ

まだ処理が終わっていない用件が表示されます。重要度順、期限日順、開始日順に表示することができます。

処理済 タブ

処理済みのチェックをした用件を表示します。

本日 タブ

開始日が今日以前の未処理の用件が表示されます。本日(今日)チェックして処理済みとなったデータも、本日は表示されたままになります。

<詳細>

一覧画面で選択されたデータを詳細表示画面に表示します。

並び順

重要度順

未処理データが重要度順に並び、同じ重要度では、期限日の新しいものから順に表示されます。

期限日順

未処理データが期限日の新しいものから順に並び、同じ期限日では、重要度順に表示されます。

開始日順

未処理データが開始日の新しいものから順に並び、同じ開始日では、重要度順に表示されます。



コラム

一覧画面の「アクション」項目で文字数を増やして見やすくする
未処理一覧画面などで、表示する項目数を2つにして、「アクション」項目に表示される文字数を増やして見やすくすることができます。

- ① 未処理一覧画面などで、**操作メニュー**キーを押し、**操作**タブ、**一覧表示設定**を選択し**決定**キーを押す
- ② 表示されたメニューから $\odot$ を使って**2列表示**を選択し、**決定**キーを押す
もとに戻すには、**3列表示**を選択し**決定**キーを押す

重要度	期限日	アクション
市	02/ 5/15 MD	横山氏来社
市	02/ 5/18 F A	手配について
市	02/ 5/25	展示会の打ち合わせ
市	02/ 5/21	アルバイトの面接

一覧画面で表示される項目
数が2つになる

未処理タブ、**処理済**タブなどどれか1つの一覧画面で項目数を変えると、他のタブも同じように変わります。



アクションリスト

情報
を
管理
／
活用
する

フォトメモリー



フォトメモリーの画面は、横表示になります。

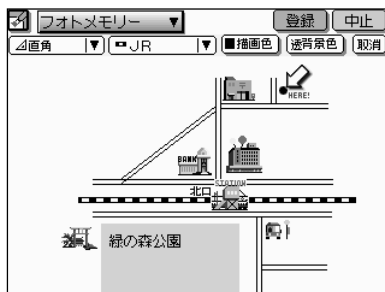
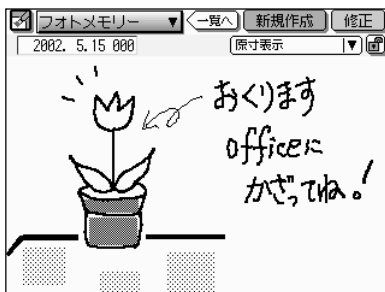
フォトメモリーで、何ができるの？

ふと思いついたことなどを手軽に手書きでメモすることができます。

また、楽しくカラフルな地図などを簡単に描けます。

地図には、鉄道や道路の線を引き、建物のスタンプを貼りつけ、見やすくできます。

この製品には、あらかじめ路線図(地下鉄)や出口案内のデータが入っていますので、地下鉄の路線図を確認するときなどに活用することができます。



フォトメモリーで作ったデータを電子メールに添付して送ることもできます。

さらに、画像をパラパラめくるスライドショー機能を使うと、プレゼンツールとして活用できます。

画像を取り込んで利用できるの？

別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)で撮影した画像や、別売のパソコン連携キット(CE-PCK1)を使ってパソコンから取り込んだ画像を利用することができます。

また、インターネットに接続して画像を取り込むこともできます。

取り込んだ画像には、コメントをつけ、表現力の高い情報に仕上げるすることができます。



フォトメモリー

メモする／記録する

始めましょう

「始めましょう」(167~171ページ)は、初めてフォトメモリーを使われる方を対象に、基本的な使いかたをやさしく説明しています。さらに詳しい操作方法や「始めましょう」で説明していない機能については、172ページ以降をご覧ください。

ここでは、手書きでメモし、タイトルをつけて登録したり、登録したデータを見たりします。

手書きでメモを書く

新規作成

手書きでメモを書きましょう。

1 白紙の新規作成画面を表示します。

- ① (ホームインデックス)キーを数回押し、ホームインデックス1画面で (決定) を使って **フォトメモリー** アイコンを選択し、(決定) キーを押す

 ホームインデックス1画面で **フォトメモリー** アイコンにタッチ



データがまったくないときに新規作成画面が表示される

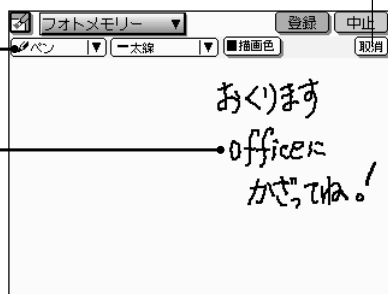
 **新規作成** にタッチ

2 手書きでメモを書きます。

- ①  が表示されていることを確認する

- ② タッチペンでメモを手書きする

取消 にタッチすると、直前に操作した作業を取り消すことができる



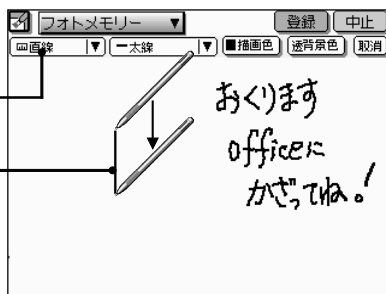
新規作成画面



メモする / 記録する

3 直線を描きます。

- 1 ここにタッチし、表示されたメニューから **直線** を選択する
- 2 タッチペンでなぞって直線を描く



4 線の太さと色を変えて、直線を描きます。

- 1 **ペン** に戻してフリーハンドで描く
- 2 ここにタッチし、表示されたメニューから **極太** を選択する
- 3 ここにタッチし、表示されたカラーパレットから色を選択する
- 4 なぞって直線を描く



5 消しゴムで余分な線を消します。終わったら、登録します。

- 1 ここにタッチし、表示されたメニューから **消しゴム** を選択する
- 2 タッチペンで、消しゴムのようになぞって消す
- 3 網などを入れた後、**登録** にタッチし登録する

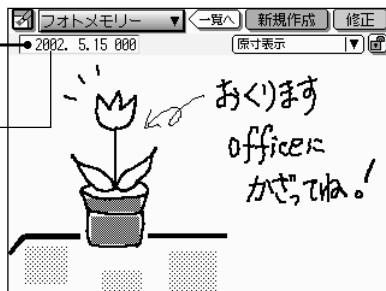


メモする／記録する

6 タイトルをつけます。

① この枠内にタッチする

描いた日付と連番が自動的についている
連番はその日に入力した順番につく



詳細表示画面



② この欄の文字を削除し、タイトルを入力する

タイトル入力/日付変更

タイトル 2002. 5. 15 000

日付 2002年 5月15日 (水) 時刻 2:40PM

実行 中止

③ 決定 キーを押す



- 手書きで入力したフォトメモリーデータのサイズは320×200ドットです。



メモする
／
記録する

メモを見る

登録したメモを見ましょう。

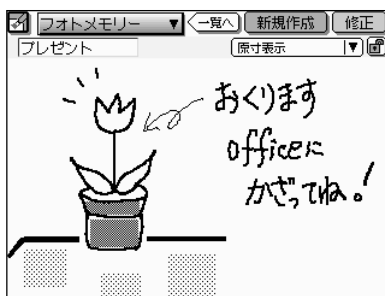
1 データを表示します。

- ① **ホームインデックス** キーを数回押してホームインデックス1画面を表示し、**決定** キーを使って、**フォトメモリー** アイコンを選択し、**決定** キーを押す

 **ペンタッチ** ホームインデックス1画面で **フォトメモリー** アイコンにタッチ

- ② **決定** キーを使って、見たいデータを選択し、**決定** キーを押す

 **ペンタッチ** 1回または2回タッチ



メモする／記録する

データを修正する

登録したデータを修正します。

- 1 修正したいデータを表示(一覧画面では、修正したいデータを選択)、**修正**にタッチします。
- 2 修正画面でデータを修正し、**登録**にタッチして、修正したデータを登録します。



- フォトメモリーの縮小表示で表示しているデータを修正画面で登録すると、元データの画像サイズが1/4に縮小されます。
- フォトメモリーの640×480ドットを超えるデータを修正画面で登録すると、一部が消去されます。

データを削除する

登録したデータを削除します。

- 1 削除したいデータを表示(一覧画面では、削除したいデータを選択)、**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**削除**を選択し**決定**キーを押します。
- 2 詳細表示画面では、確認メッセージで**はい**にタッチします。一覧画面では、「1データ」や、「全フォトメモリーデータ」にタッチし、確認メッセージで**はい**にタッチして削除します。



- シークレット機能が設定されているときは1データの削除以外はできません。シークレット機能を解除してから削除してください(☞259ページ)。



- 全フォトメモリーデータを削除するとクイックメモのデータもすべて削除されます。ご注意ください。
- クイックメモのデータを削除するとクイックメモのデータを削除すると、そのデータを添付しているデータのクイックメモを表示しようとしてにタッチしても表示できなくなります。ご注意ください。
- フォトメモリーのデータを本体メモリーからカードへ、またはカードから本体メモリーへ移すときは、操作メニューの**通信**タブの中にある**本体↔カード...**の機能をご利用ください。くわしくは、281～282ページをご覧ください。使用するメモリーカードの指定は、カード設定(☞251ページ)をご覧ください。なお、操作メニューの**編集**タブの中にある**切取(カット)**と**貼込(ペースト)**の機能を使って移すことはできませんのでご注意ください。



メモする／記録する

ここからは、くわしい説明

172～184ページは、「始めましょう」よりくわしい操作説明や、「始めましょう」に含まれていない機能について説明しています。

フォトメモリーについて、便利な機能が使えるようになります。

ツールを使う

ここでは、メモや地図を描くとき、直線を引く/四角を描くなど便利なツールについて説明します。

- 1 フォトメモリーの一覧または詳細画面を表示
- 2 「新規作成」にタッチ
- 3 ここにタッチして描くツールを選択
くわしくは、このページと次ページ
- 4 ここにタッチして種類を選ぶ
- 5 ここにタッチしてカラーパレットを表示し、色を変える
くわしくは、次ページ
- 6 手書きする
- 7 「登録」にタッチ



メモする／記録する

画面の説明



描くためのツールを選びます。

ペン フリーハンドで線を描けます。線の太さは3種類あります。

直線 タッチした始点とペンを離した終点を結ぶ直線を引きます。線は12種類あります。

直角 水平線や垂直線を引きます。線は12種類あります。

四角 タッチした始点とペンを離した終点を結ぶ四角形の枠を描きます。線は9種類あります。

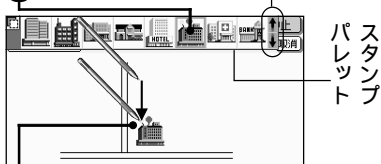
四角 タッチした始点とペンを離した終点を結ぶ四角形を描き、四角形の内部を選択したパターンで塗りつぶします。パターンは10種類あります。

画面の説明

消しゴム... 図形を消します。消しゴムの太さは2種類あります。

スタンプ... 表示されたスタンプパレットからスタンプを選び貼り込みます。

1 タッチして選択 パレットの切り替え



2 画面にスタンプを表示し、スタンプにタッチしたままペンを移動し、貼り込みたい位置で画面からペンを離す

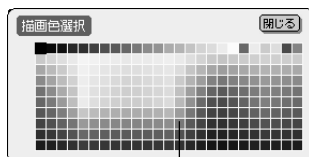
範囲 範囲編集メニューを使って、図形を編集します (☞174、175ページ)。

—太線— など

左端の欄で選んだペンなどのツールの太さや種類を選びます。

■ 描画色

左端の欄で選んだペンなどのツールの色をカラーパレットから選びます。



描きたい色にタッチする

■ 背景色

直線、**直角**、**四角** では、点線などの線と線の間の色をつけることができます。**四角** では、網や模様のない部分に色をつけることができます。

取消

直前に操作した作業を取り消します。



- 斜め線を描くと
画面はドットで構成されているため、斜め線などは正確な直線になりません。
- クイックメモのデータは、フォトメモリーで表示・編集することができます。
- タイトルを変えるには
一覧画面で変更するデータを選択し、**タイトル入力** にタッチするか、詳細表示画面では**操作メニュー** キーを押し、**編集** タブ、**タイトル入力...** を選択し**決定** キーを押します。表示されたタイトル入力/日付変更画面でタイトルを変え、**決定** キーを押します (☞169ページ)。
- フォトメモリーからほかの機能に切り替えるときは
フォトメモリーからほかの機能に切り替えるときは、新規作成中または修正途中のデータをできるだけ登録または中止してから行うことをおすすめします。新規作成中または修正途中で別の機能に切り替えると、時間がかかります。



メモする / 記録する

データを編集する

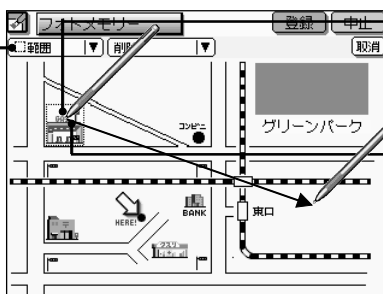
指定した範囲のデータを移動・複写・回転・反転します。また、文字を入力します。データの編集は、新規作成・修正画面で、編集範囲(編集枠)を指定してから行います。編集した直後に「取消」にタッチすると、もとの状態に戻ります。

指定した範囲のデータを移動・複写・削除する

指定した範囲のデータを移動・複写・削除します。

ここでは、データの一部を移動します。

- ① データを新規作成・修正画面に表示
- ② ここにタッチし、**範囲**を選択
- ③ 移動させる部分をなぞって編集枠で囲む
- ④ 編集枠内にタッチし、そのまま移動する位置までスライドし、ペンを離す



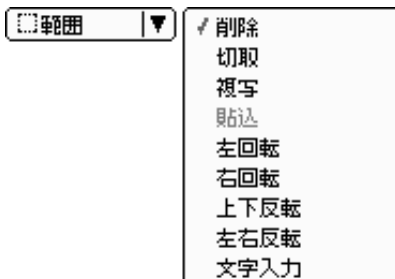
- データの一部分を複写するには
手順④で(機能)キーを押した後、続けて編集枠内にタッチし、そのまま複写する位置までスライドして離します。
また、次のようにして「複写」と「貼込」を使って複写することもできます。
 - 1 **範囲**を選択して複写させる部分を編集枠で囲み、**範囲**の右の枠内にタッチし、表示された範囲編集メニュー(次ページ)から**複写**を選択します。
 - 2 貼り込む場所を編集枠で囲みます。
 - 3 範囲編集メニューの**貼込**を選択します。
- データの一部分を削除するには
手順④で範囲編集メニューの**削除**を選択します。
- 編集枠の囲みかたをまちがえたときは
取消にタッチした後、もう一度編集枠で囲みます。
- 画像の一部を切り取るときは
手順④で範囲編集メニューの**切取**を選択します。切り取ったデータはなくなります。
- ほかのフォトメモリーのデータに複写・移動するときは
複写・切取・貼込機能を使います。
手順④で範囲編集メニューの**複写**または**切取**を選択します。**登録**または**中止**にタッチし、いったん終了させ、この後、複写・移動先のフォトメモリーのデータを表示させ、**修正**にタッチし修正画面にします。**範囲**を選択し、貼り込む場所を編集枠で囲み、範囲編集メニューの**貼込**にタッチします。



メモする／記録する

指定した範囲のデータを回転・反転させる、文字を入力する

データの一部を回転・反転させたり、文字を入力するときは、**ペン▼**などにタッチした後、**範囲**を選択し、編集枠で囲みます。この後、**範囲**の右の枠内にタッチして表示される範囲編集メニューを使って編集します。



範囲編集メニュー

範囲編集メニューの説明

削除

指定した範囲のデータを削除します。

切取

指定した範囲のデータを切り取ります。
一時的にメモリーに記憶されます。

複写

指定した範囲のデータを複写します。一時的にメモリーに記憶されます。

貼込

切取・複写したデータを貼り込みます。

左回転、**右回転**

指定した範囲のデータを、左に90°回転または右に90°回転します。

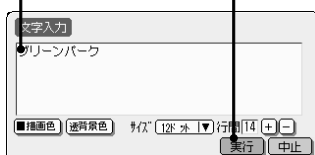
上下反転、**左右反転**

指定した範囲のデータを、上下/左右に反転させます。

文字入力

指定した範囲に文字を入力します。

- 1 文字を入力
- 2 **実行**にタッチ



■ **描画色**

文字色を指定します。タッチすると、カラーパレットが表示されます。

■ **背景色**

文字の背景の色を指定します。タッチすると、カラーパレットが表示されます。**透明**を選ぶと、背景に色がつかず、下にある図形などと重なった部分が表示されます。

サイズ

右の枠内にタッチし、表示されたメニューから文字の大きさ(8、12、16ドット)を選択します。

行間

文字の行間を指定します。**+****-**にタッチすると、左の枠の数値が変わります。



メモする / 記録する



- 文字入力について
 - 指定したサイズや行間は、表示されている文字入力画面に入力した文字すべてに適用されます。一部の文字のサイズを変えるときは、別々に文字入力します。
 - フォトメモリーの画像に入力された文字は、すべて図形として扱われますので、文字として検索したり、編集したりできません。
 - 文字入力画面の1画面の行数を超えて文字を入力したときは、文字入力の枠内にタッチしたまま枠外へ上下にペンをずらすと、画面がスクロールします。
 - 挿入する位置にカーソルを戻し文字を入力すると、新しい文字に上書きされません(カーソル位置に文字を挿入することはできません)。

写真などの画像をアドレス帳に貼る

アドレス帳の顔写真付きのデータや所有者情報に、別売のデジタルカメラカードで撮影した画像を切り出して貼り込みます。

写真の切り出しとアドレス帳への貼り込みは、「アドレス帳」の章、「写真をつける」(133ページ)をご覧ください。所有者情報への貼り込みは、アドレス帳と同じように操作できます。

画質を調整する

画像調整・減色・画像効果

画像の明るさやコントラストなどを調整します。また、編集できる色数を減らすことができます。色鉛筆タッチやセピア色タッチなど、データの感じをいろいろ変えることもできます。

- 1 画質を調整するデータを表示します。
- 2 **修正** にタッチします。
- 3 **操作メニュー** キーを押し、**編集** タブに切り替え、**画像調整...** または **減色**、**画像効果** を選択し **決定** キーを押します。
- 4 **画像調整...** を選択したときは、画像調整画面で明るさなどを調整し、**決定** キーを押します。
減色 を選択したときは、すぐに減色されます。
画像効果 を選択したときは、画像効果の種類を選択します。



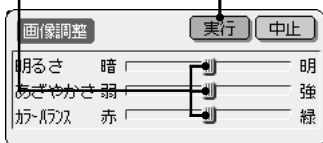
メモする／記録する

メニューの説明

画像調整

400×300ドット以下の大きさの画像データの明るさやコントラストなどを調整します。

- 1 つまみにタッチし、左右に移動
- 2 **実行** にタッチ



明るさ

明るさを調整します。

あざやかさ

あざやかさを調整します。

カラーバランス

赤や緑を強調し、カラーバランスを調整します。

減色

640×480ドット以下の大きさの画像データの編集できる色数を、約65000色から256色に変えます。

画像効果 ▼

400×300ドット以下の大きさの画像データをセピア色などの画像に変えます。画像効果には15種類あり、それぞれに応じてもとの画像が変更されます。



- 画像調整や画像効果は、何回でも調整・変更できます。このときは、調整・変更後の画像を基準にしてさらに調整・変更されます。
- 画像効果の確認画面で **いいえ** を選択し、**(決定)** キーを押すと、変更する前の画像に戻ります。ただし、確認画面で **はい** を選択して **(決定)** キーを押し、**登録** にタッチすると、変更する前の画面には戻りませんのでご注意ください。



- 別売のデジタルカメラカードで撮影した画像データをフォトメモリーで加筆・修正すると
 - 画像が粗くなる場合があります。大切なデータを編集するときは、あらかじめデータを複製し、複製したデータを編集してください。
 - データのサイズが増えて126KB以上になり登録できない場合があります。その場合は、登録をいったん中止し、加筆・修正の量を減らすか、必要な部分だけを切り取って、再度登録してください。
- 画像データを減色しても、一般にデータのサイズは小さくなりません。



メモ
する
/
記録
する

表示を変える

フルスクリーン表示・縮小表示にする

データは次の3つの状態を切り替えて表示できます。

- ・ 原寸表示 画像の原寸で表示
- ・ 縮小表示 画像を1/4に縮小して表示
画像サイズが320×200ドットより大きいと、縮小表示できる
- ・ フルスクリーン表示 ... タイトルやボタンなど画像以外の部分を消して画像だけを表示
また、画面サイズより大きい画像は、画像全体を表示できるように縮小して中央に表示(周りは黒く表示)

- ① フルスクリーンで表示するときは、ここにタッチし、表示されたメニューから「フルスクリーン表示」にタッチ。
縮小表示するときは、表示されたメニューから「縮小表示」にタッチ

- ② (中断) キーを押し、もとに戻す



原寸表示



フルスクリーン表示



- ・ 画像サイズが画面サイズよりも大きいと、スクロールバーが表示されます。画面にペンをタッチして動かすか、を使って画面をスクロールします。
- ・ VGAなど大きなサイズの画像データをフルスクリーン表示中に、(順送り)キーや(逆送り)キーを押したとき、画面が変わるまで時間がかかります(「お待ちください」のメッセージは表示されません)。



フォトメモリー

メモする／記録する

スライドで連続して見る

スライドショー

手書きした地図や別売のデジタルカメラカードで撮影した写真などをスライドショーにして見ることができます。

スライドショーを見るには、次の流れで操作します。

- ① スライドショーで見るデータを情報ファイルのファイルに集める
- ② スライドショーを実行する



- スライドショーで見るデータは情報ファイルの1つのファイルに入っているフォトメモリーのデータです。スライドショーで見る前に情報ファイルに集める必要があります。情報ファイルについては213ページをご覧ください。

スライドショーで見るデータを情報ファイルのファイルに集める

スライドショーで見たいフォトメモリーのデータを情報ファイルのファイルに集めます。

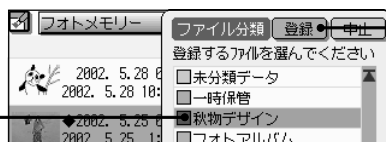
- ① 214ページの手順で、情報ファイルの新規ファイルを作る
すでにファイルが作ってあるときは、新しく作る必要はない
- ② フォトメモリーの一覧画面を表示

- ③ を使って、スライドショーで見るデータを選択



- ④ ここにタッチし、表示されたメニューから「ファイルに分類...」にタッチ

- ⑤ スライドショー用のファイル(ここでは、「秋物デザイン」)にタッチ



- ⑥ 「登録」にタッチ

- ⑦ ほかのフォトメモリーのデータも、③ ~ ⑥ を繰り返して集める

フォトメモリー
メモする / 記録する

スライドショーを実行する

① 一覧画面を表示し

フォトメモリー▼
に、タッチし、表示
されたメニューからスライドショー
用のファイル名を
選択

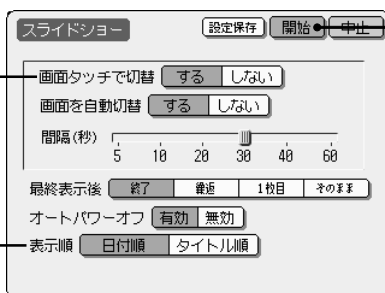


② 操作メニュー

キーを押し、
操作 タブ、
スライドショー...
を選択し、決定
キーを押す

③ 各項目を設定

(設定の内容は次
ページの「画面の説
明」)



④ 開始 にタッチ。
設定に従ってス
ライドショーが
始まる

⑤ スライドショーを終了させるときは、(中断) キーを押す



メモする／記録する

画面の説明

画面タッチで切替

スライドショー実行時、画面タッチでめくる/めくらないを指定します。

する 画面にタッチすると次の画面に切り替わります。

しない ... **(順送り)**キーまたは**(逆送り)**キーを押して画面を切り替えます。
(順送り)キーでは次の画面に移り、**(逆送り)**キーでは1つ前の画面に戻ります。
スライドショーを終了するには、**(中断)**キーを押します。

画面を自動切替

画面を自動的に切り替えるか切り替えないかを指定します。

する 自動的に画面を切り替えます。切り替えの間隔は「間隔(秒)」の右ので調整できます。

しない ... 「画面タッチで切替」の設定に合わせて、画面タッチまたは**(順送り)**キーを押すと次の画面に移ります。

画像データによっては、表示するまでに数秒かかる場合があります。画面タッチなどによって次の画面を表示するまでに数秒かかったり、「間隔(秒)」で設定した時間よりも長くなることがあります。



- スライドショーを終了させるにはスライドショー実行中や終了後、スライドショーの画面が表示された状態から一覧画面に戻るには、**(中断)**キーを押します。

最終表示後

最後のスライドを表示した後の動きを指定します。

終了 スライドショーが終了すると、一覧画面に戻ります。

繰返 1枚目から再度スライドショーを繰り返します。

1枚目 ... 終了するとスライドショーの1枚目を表示したままにします。

そのまま ... 終了した画面を表示したままにします。

オートパワーオフ

スライドショー実行中のオートパワーオフ(自動節電機能)の動きを指定します。

有効 設定している時間になるとオートパワーオフが働きます。

無効 オートパワーオフが働かなくなります。

なお、オートパワーオフになる時間の設定は、246ページをご覧ください。

表示順

スライドショーで表示するデータの順番を指定します。

日付順 ... 選択した情報ファイルのファイル内のデータの日付順に表示されます。

タイトル順 ... タイトルのシフトJISコード順に表示されます。

設定保存

スライドショーの設定を保存します。



メモ
する
/
記録
する

路線図、出口案内のデータを利用する

路線図(地下鉄)、出口案内のデータを利用すると、必要な部分をコピーしてメモ書きなどをしたオリジナルのデータを作ることができます。

路線図(地下鉄)のデータには、次のものがあります。

- ・東京、大阪、札幌、仙台、横浜、名古屋、京都、神戸、福岡

出口案内のデータには、次のものがあります。

- ・大手町、霞ヶ関、永田町/赤坂見附、日本橋、銀座、日比谷/有楽町、新宿西口、新宿東口、渋谷、横浜駅、名古屋駅、梅田、難波

ここでは、出口案内から新しいオリジナルのデータを作ります。

- ① 一覧画面を表示し、**オリジナル▼**にタッチし、表示されたメニューから**路線図**または**出口案内**にタッチ
- ② 一覧画面で $\odot$ を使って活用したいデータを選択し、**(決定)**キーを押す



- ⑤ **登録**にタッチすると、もとの出口案内から新しいオリジナルのデータが作れる



- ・路線図(地下鉄)、出口案内のデータ自体を修正することはできません。路線図(地下鉄)は2000年1月(東京のみ2000年9月 現在、出口案内は2000年1月(一部2000年6月) 現在のものです。
- ・部分的に使いたいときは
手順④で、**ペン▼**などにタッチした後、**範囲**を選択して使いたい範囲を編集枠で囲み、範囲編集メニューの**複写**を選択します。この後、**中止**、**新規作成**にタッチして新規作成画面にし、**ペン▼**などにタッチした後、**範囲**を選択します。貼り込む場所を編集枠で囲み、範囲編集メニューの**貼込**を選択して貼り込んだ後、文字などを入力します。

フォトメモリー

メモする／記録する

オープニング画面にデータを表示する

フォトメモリーのデータをオープニング画面に表示できます。

オープニング画面とは、**(戻る)**(電源)キーを押して電源を入れたときに表示される画面です。

- 1 一覧画面または詳細表示画面で、**(操作メニュー)**キーを押し、**(操作)**タブ、**(オープニング設定...)**を選択し、**(決定)**キーを押します。
- 2 オープニング画面に設定したいデータを選択し、**(決定)**キーを押します。確認メッセージが表示されます。
- 3 **(はい)**を使って**(はい)**を選択し、**(決定)**キーを押します。終了の確認メッセージが表示されます。
- 4 **(決定)**キーを押します。選択したフォトメモリーのデータの複製がパソコンデータに保管されます。



- オープニング画面に設定したフォトメモリーのデータの複製は、パソコンデータに保管されます。オープニング画面に指定されているデータは、パソコンデータ画面に斜体の青文字で表示されます。
- オープニング画面を初期の設定に戻すには、パソコンデータのリスト画面で、指定しているオープニング画面のデータを削除します。
- オープニング画面に表示できるデータは1つです。別のデータがオープニング画面に表示されているときは、新しく指定したデータに置き替わります。



フォトメモリー

メモ
する
/
記録
する

フォトメモリーでの画像データの扱いについて

インターネットブラウザや別売のデジタルカメラカードで撮影した画像データなど、フォトメモリーではさまざまな画像データを扱うことができます。これらのデータの扱いや制限については次のようになります。

フォトメモリーでは、次のサイズの画像データを扱うことができます。

- ・ GIF形式 2048×2048ドット以下
- ・ JPEG形式(*)..... 2000×2000ドット以下

* : フルカラー(この製品では約65000色 が表示できる画像データの形式のことで、インターネットなどからダウンロードしたりすることができます。

フォトメモリー機能で手書きしたデータは、GIF形式で登録されます。デジタルカメラカード(CE-AG06)で撮影したデータは、JPEG形式で登録されます。これらのサイズのデータをフォトメモリーで加筆・修正などの編集を行うと、修正後の画像サイズは次の表のようになります。

	もとのデータのサイズ		
	640×480ドットを超える画像	640×480ドット以下で320×200ドット以上の画像	320×200ドットより小さい画像
加筆・修正を行った後に登録した場合の画像サイズ	640×480ドット (注1)	もとのデータの画像サイズで登録される	320×200ドット (注2)

(注1) : 登録したときに画面に表示されていた部分を含めて、640×480ドットのサイズに切り取られて登録されます。なお、どの範囲が切り取られるかについては、登録の前に、タッチペンで画面にタッチしたままスライドさせることにより確認することができます。

(注2) : 画像は、320×200ドットの領域の中央に配置されます。

実際に加筆・修正を行わなくても、**修正**にタッチして修正画面にした後に登録すると、登録後の画像サイズは上の表のようになります。

表示するだけの場合、あるいは、修正画面で加筆・修正せずに**戻る**キーを押した場合には、もとの画像のサイズは変わりません。



- ・ この製品に取り込まれているカラーの画像データを、パソコン連携ソフトやメールを使ってこの製品以外の機種に転送したとき、転送先の機種でその画像を表示させると、色再現などが同じにならないことがあります。
- ・ 非常に大きいJPEG画像のスクロールについて
インターネットからダウンロードした写真データなど640×480ドットを超える大きいJPEG画像をフォトメモリーで表示させると、スクロールがうまくできなかったり、画像の表示が乱れたりする場合があります(この場合でも、もとのデータは壊れてはいません)。



メモする / 記録する

クイックメモ



クイックメモの画面は、横表示になります。

クイックメモを使うと、急ぎの用件などが発生したとき、手書きですばやくメモできます。手書きしたメモは、表示中のスケジュールなどのデータに貼りつけることができます。また、パソコンから読み込んだ画像や作成した地図、デジタルカメラで撮影した画像などを貼りつけることもできます。

新しくクイックメモを書く

急ぎの用件を手書きでメモし、表示中のデータに貼りつけます。

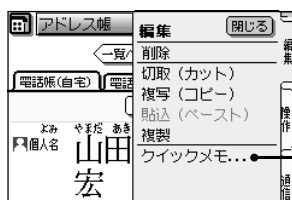
クイックメモは、次の画面で書くことができます(新規作成画面や修正画面、データが登録されていない日のカレンダー画面や1日表示画面では使えません)。

- ・スケジュールのカレンダー画面、1日表示画面、詳細表示画面、記念日詳細表示画面
- ・アドレス帳、アクションリスト、インクワープロの一覧画面、詳細表示画面

また、フォトメモリーで作成したデータを上記の各機能のデータに貼りつけることもできます。

クイックメモの入力画面は、フォトメモリーと同じように横画面で表示されます。書きかたはフォトメモリーの描きかたと同じです(⇒167ページ)。また、クイックメモを登録すると、フォトメモリーのデータとして登録されます。

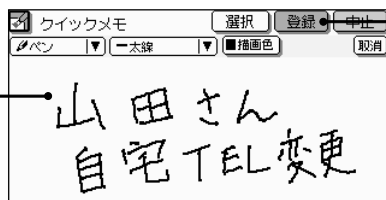
- ① クイックメモを貼りつけるデータを表示。
カレンダー画面や一覧画面では、貼りつけるデータを選択



- ② 操作メニューキーを押し、[編集]タブ、**クイックメモ...**を選択し**[決定]**キーを押す



- ③ メモを手書きする
フォトメモリーの描きかたと同じようにして書く



- ④ **登録** にタッチ

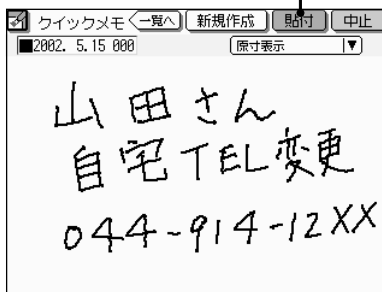
クイックメモの画面(横画面)



クイックメモ

メモする / 記録する

5 貼付 にタッチ



- クイックメモの画面は、横表示の画面になります。
- 登録済のデータを貼りつけるには
すでに登録したクイックメモのデータや、フォトメモリーで作成した地図や画像などを貼りつけることができます。
 - ① クイックメモを貼りつけるデータを表示するか、一覧画面でデータを選択します。
 - ② (操作メニュー) キーを押し、[編集] タブ、[クイックメモ...] を選択し (決定) キーを押します。
クイックメモの画面が表示されます。
 - ③ [選択] にタッチします。一覧画面が表示されます。
 - ④ 貼りつけるデータにタッチして選択し、[貼付] にタッチします。

クイック
メモ

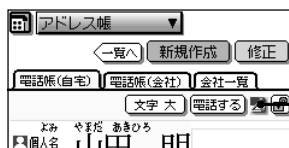
メモする
／記録する

クイックメモを見る

貼りつけたクイックメモを見ます。

クイックメモが貼りついているデータには、が表示されます。

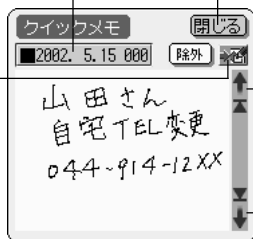
- 1 クイックメモが貼られているデータを表示



- 2  にタッチ

フォトメモリーの詳細表示画面へ移り、もとの大きさで表示

タイトル名



クイックメモ画面

クイックメモを閉じる

クイックメモが複数貼りつけられているときは、(逆送り)キー、(順送り)キーを押すか、 にタッチしてページをめくる



- 同じデータに複数貼りつけられたクイックメモをリスト画面から選択するには、クイックメモ画面のタイトル名( 2002. 5.13 000 など)にタッチします。タイトル名にタッチすると、下のリスト画面が表示されます。このリスト画面で見たクイックメモのタイトルに1回または2回タッチすると、クイックメモが表示されます。

クイックメモのデータ

フォトメモリーのデータ



タイトル名
日付と連番が表示される。
連番はその日に登録した順に「000」からつけられる

- MI-600シリーズなどとデータ交換を行うと
クイックボイスやボイスメモが貼りついているデータもこの製品の各機能に入ります。クイックボイスのみが貼りついている場合は 、クイックメモとクイックボイスの両方が貼りついている場合は  のアイコンが表示されます。また、クイックメモのリスト画面で、「●」がついているものはクイックボイス、何もついていないものはフォトメモリーまたはボイスメモを表しますが、クイックボイスとボイスメモはこの製品で再生できません。また、MI-600などで写真を貼りつけているデータを取り込んだ場合、クイックメモのリスト画面を表示すると、写真には「」がついて表示されます。

クイックメモ

メモする / 記録する

クイックメモを取り除く・修正・削除

貼りつけられているクイックメモを取り除くには、クイックメモ画面で「除外」に続けて「はい」にタッチします。

リスト画面では、クイックメモを選択し「除外」に続けて「はい」にタッチします。クイックメモのデータは、フォトメモリーに残ります。

クイックメモは、フォトメモリーのデータとして登録されます。このためクイックメモを修正・削除するときは、フォトメモリーで行います。

データから取り除かずにクイックメモを削除した後、クイックメモを表示しようとすると、タイトルのみが表示されます。データの内容は表示されません。



- クイックメモのデータをフォトメモリーで削除すると、そのデータが貼りつけられているすべてのデータで、そのクイックメモを表示することができなくなります。



- すべてのフォトメモリーのデータを削除すると
フォトメモリー機能で全データの削除を行うと、クイックメモのデータもすべて削除されてしまいますのでご注意ください。

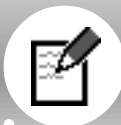


- 貼りつけられたクイックメモやフォトメモリーのタイトルを変更すると
クイックメモやフォトメモリーを貼りつけた後、フォトメモリー機能でタイトルを変更すると、などにタッチしてもクイックメモの内容を表示できなくなります。貼りつけたデータのタイトルは変更しないでください。
- 貼りつけたデータと同じタイトルのクイックメモやフォトメモリーがあるときは、新しい方のデータが表示されます。
- 貼りつけたデータにシークレットをかけると、クイックメモを表示しようとしたとき、タイトルのみが表示されます。データの内容は表示されません。シークレットを解除して表示してください。

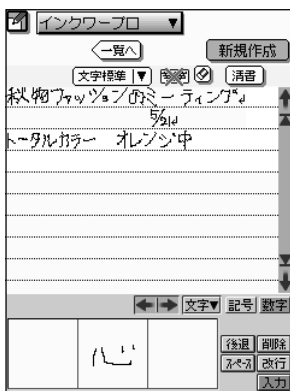
クイック
メモ

メモする
／
記録する

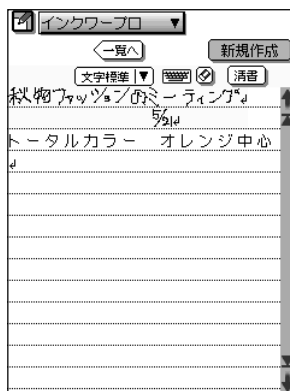
インクワープロ



インクワープロを使うと、会議や打ち合わせの最中に、すばやく手書きで文章を入力できます。この後、まとめてテキスト文字に変換して手軽にレポートを作ることができます。入力ボードを使って通常のテキスト文字を入力することもできます(キーボードからテキスト文字を入力することもできます)。



文字を手書きすると、そのまま入力される。すばやく入力できる



手書きした文字(インク文字)をテキスト文字に変換できる(清書)

手書きでメモを書く

インクワープロでメモを手書きするには、次の2つの方法があります。

- 画面に直接手書きする(⇒次ページ)
.....すばやく手書きでメモするとき
- インク文字ボードから手書きする(⇒191ページ)
.....インク文字ボードで手書きした文字(インク文字)を後で清書してテキスト文字にするとき



- インクワープロで手書きする方法は
画面に直接手書きするか、インク文字ボードから手書きするか、いずれか一方を使います。インク文字ボードの表示中は、直接画面に手書きすることはできません。
- 新規作成画面で、**(機能)**キーを押した後、**(-?)**()キーを押すと、インク文字ボードなどの入力ボードを表示したり消したりできます(⇒190ページ)。
また、一覧画面から新規作成画面を表示したとき、インク文字ボードなどの入力ボードの表示/非表示は、最後に使っていたときの状態が維持されます。
- 手書き認識ボードとキーボード用入力ボードの切り替えは、**(機能)**キーを押した後、**(↑)**キーを押したまま**(-?)**()キーを押します。

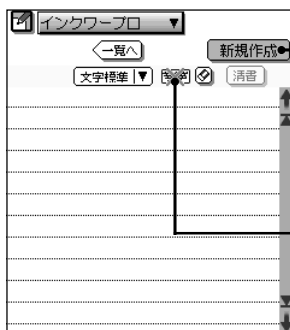


メモ
する
／
記録
する

画面に直接書く

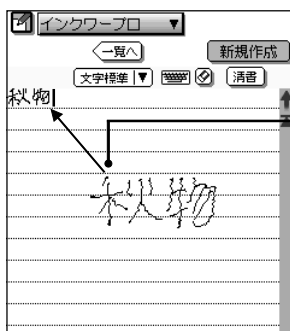
画面に直接手書きしてメモを書きます。

- ① (ホームインデックス) キーを数回押し、ホームインデックス1画面で $\odot$ を使って「インクワープロ」アイコンを選択し、(決定) キーを押す



② すでに入力されたデータが表示されたときは、「新規作成」にタッチし、新しいページを表示

③ ✕ にタッチし、画面に直接手書きできる状態 ✎ にする



2行にまたがって書いてもかまわない
1文字の高さは、3行の幅(文字サイズ:標準)におさまるように書く

④ 画面に直接、文字を書く
しばらくすると、カーソル位置に入力される

入力した文字は電源を切ったり、画面を切り替えると、自動的に登録される
さらに情報ファイルの「未分類データ」ファイルに登録される

● 文字の書きかた

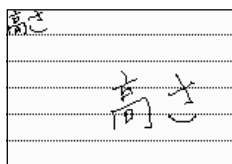
ペン以外が画面に触れないように書いてください。1文字ずつ、単語ごと、文節単位など自由に書きます。入力された単位が1つのブロック(1度にした文字のまとまり)となります。削除などの編集はこのブロックごとに行われます。また、1つのブロックが1行におさまらないようなときは、次の行に入力されます。



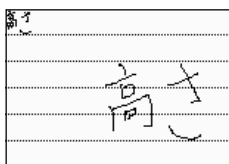
メモする / 記録する

●書いた文字と入力されるサイズ

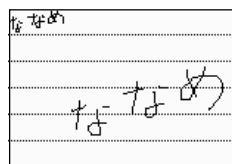
書いた文字は、1つのブロックごとに、1行に入る高さまで縮小されます。何文字かを1ブロックで書くとき、斜めに書いたり縦に書いたりすると、1字1字が小さくなりすぎて読めなくなります。なお、行の高さよりも小さく書いた文字ブロックは、そのままの大きさで入力されます。1字1字の大きさをそろえ、まっすぐ横に書くようにしてください。



高さが同じ



高さが異なる



斜め書き

●書いた文字の大きさ

1つ1つの文字は、高さが3行の幅(文字サイズ: 標準)におさまるように書いてください。大きな文字を書いた場合、文字が分離して入力される場合があります。

例: あ → ー (の



- 文字を入力する位置は
入力したい位置にチョンとタッチしてカーソルを移動し、文字を書きます。
- 1行の半分を超える長さで文字などを2行にわたって書いた場合、1行ずつが別々のブロックとして入力されます。
- 句読点、小文字(っ、ゃ)などを入力するには
小文字などを単独で書くと正しく入力されません。ほかの文字と一緒に書いてください。なお、句読点のみを書くと、カーソル移動のジェスチャーと見なされる場合があります。



ご注意

- メモリーがいっぱい近くまで使用されていると、インクワープロのデータが記憶されないことがあります。
事前にメモリー使用量(⇄252ページ)を確認し、メモリーがいっぱい近くまで使用されているときは、不要なデータを削除した後、メモリー整理を実行したり、コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどに登録したりして、メモリーを空けてください。
- インク文字ボードなどの入力ボードを表示しているとき(入力ボードから文字を入力中)は、直接、画面に文字を書くことはできません。入力ボードを消した後、画面に文字を書いてください。



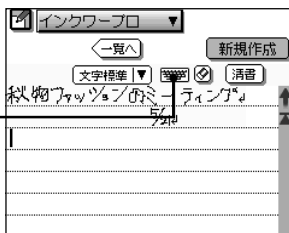
インクワープロ

メモする / 記録する

インク文字ボードから手書きする

インク文字ボードとは、書いた文字を認識しないで次々とカーソル位置に入力する、インクワープロ専用の入力ボードです。インク文字ボードを使って手書きした文字(インク文字)は、後で清書してテキスト文字にできます。インク文字ボードは、ほかの機能では表示されません。また、インク文字ボードなどの入力ボード表示中には、画面に直接手書きできません。

- 1  にタッチし、インク文字ボードから手書きできる状態()にする



カーソル位置に文字が入力される

- 2 1枠に1文字ずつ手書きする

インク文字ボード



上下の  を使うと、画面が送られる



- インク文字ボード以外の入力ボードから入力するときは、インク文字ボードの **文字** にタッチし、ほかの入力ボードを選択し、入力します。インク文字ボードに戻るときは、**文字**、**インク文字** にタッチします。

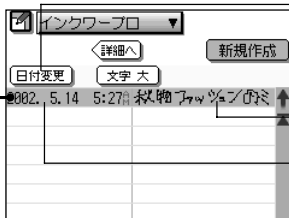
データを見る

インクワープロのデータを見ます。

- 1 インクワープロの一覧画面を表示
詳細表示画面が表示されたら **一覧へ** にタッチし、一覧画面を表示



- 2 上下の  を使って見たいデータを選択し、**決定** キーを押す



ここにタッチすると、日付や時刻を修正できる

1行目の内容を表示

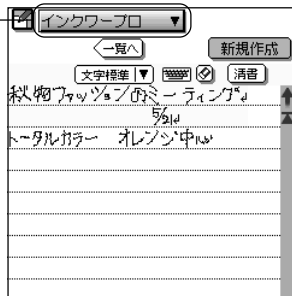
日付の新しい順に表示

一覧画面



メモする／記録する

「インクワープロ▼」にタッチするとインクワープロのある情報ファイルのファイルが表示される
ファイル名を選択すると、そのファイルに入っているインクワープロのデータだけが一覧画面に表示される



「逆送り」キー、「順送り」キーを押すと、前後のページを見ることができる

上下の⌂を使うと、画面が送られ、隠れた内容を見ることができる

詳細表示画面



- 文字の大きさを変える

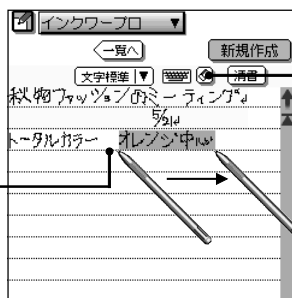
「操作メニュー」キーを押し、「操作」タブ、「文字サイズ」、「決定」キー、「大」または「小」、「決定」キーと操作します。または「文字標準▼」にタッチし、表示されたメニューから「文字大」や「文字小」を選択します。

データを編集する

文字やブロックを削除する

文字やブロックの削除は、を使います。

- 削除したい文字やブロックの先頭にしばらくタッチしたまま選択（オレンジ色に表示）し、タッチしたまま削除したい最後のブロックまでなぞって選択



- このにタッチすると、選択したブロックなどが削除される



メモする／記録する



- 手書きで入力した文字の削除・複写などの編集は、ブロック単位で行われます。ブロック内の文字を分けたり、ブロック内の一部を消すことはできません。
- ブロックなどを選択した状態では削除ジェスチャーなど、動かないジェスチャーがあります。次ページの「メモ」をご覧ください。

ジェスチャーを使う

ジェスチャー

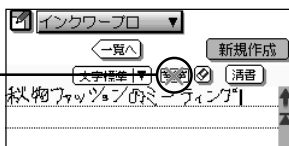
ジェスチャーとは、ペンを使って、カーソルの移動、文字の挿入、削除、改行などの編集を行うことです。ジェスチャーは画面に書きます。ジェスチャーを画面に書ける状態には、次の2つがあります。

- ・ジェスチャーモード.....ジェスチャーだけが使える
- ・直書きモード.....文字の入力とジェスチャーが使える

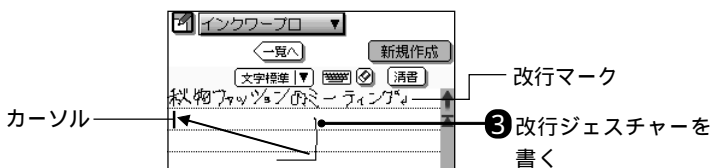
ジェスチャーの書きかたは、ジェスチャー設定で変更できます(⇒198ページ)。

ここでは、改行ジェスチャーを例に説明しています。ほかのジェスチャーについては、これ以降で説明しています。

- ①入力ボードが表示されているときは、にタッチしにする



- ②操作メニューキーを押し、操作タブ、ペン動作、決定キー、ジェスチャー、決定キーと操作する



- ・文字を選択(オレンジ色に表示)している状態で、「削除ジェスチャー」「改行ジェスチャー」「スペース挿入ジェスチャー」は働きません。文字を選択していない状態でのみ、これらのジェスチャーが働きます。

カーソルを移動する.....カーソル移動ジェスチャー

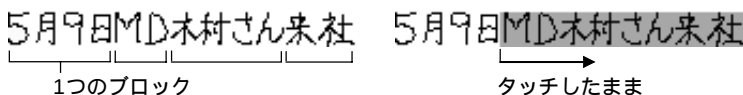
カーソルを移動したい位置にチョンと1回タッチします。文字などが無い位置では、その前にスペースや改行が挿入されます。ブロック上でタッチすると、そのブロックの前にカーソルが移動します。インク文字ボードの使用中は、にタッチしてもカーソルを移動できません(ブロック単位で移動)。

文字を挿入する

挿入位置にカーソルを移動し、文字を書きます(文字を書くときは、直書きモードにします)。ブロックの途中には入りません。

編集する範囲を指定する.....領域指定ジェスチャー

指定したい範囲の先頭のブロックにタッチしたまま最後のブロックまでなぞります。



メモする／記録する

領域指定した後、移動・複写(⇒次ページ)などができます。選択を解除するときは、選択したブロックの上に軽くタッチします。



- インク文字を選択しているときにインク文字を書くと、選択している部分に上書きされ、選択部分が消えてしまいます。ご注意ください。

● 文字やブロックを削除する……削除ジェスチャー



5月9日MD木村さん来社



5月9日MD来社

削除したい文字や1ブロックの上から削除ジェスチャーを書き始めると、その文字または1ブロックが削除されます。

(注)ブロックを選択した状態(オレンジ色に表示した状態)では、削除ジェスチャーは働きません。

直書きモードで文字を書いているにもかかわらず削除ジェスチャーになってしまうときは、ジェスチャー設定画面で削除ジェスチャーを直書きモードでは無効に設定してください(⇒199ページ)。削除ジェスチャーがジェスチャーモードでしか働かないようになります。

● 改行する……改行ジェスチャー



直角に書く

改行する位置にカーソルを移動し、改行ジェスチャーを書きます。

● スペースを挿入する……スペース挿入ジェスチャー

スペースは、次のように書いて入力します。スペースは と の長さになります。



この幅だけスペースが挿入される



● インク文字を太く/細くする



太くする



細くする

太さを変えるインク文字を選択し、上のジェスチャーを書きます。また、

(操作メニュー)キーを押し、(操作)タブ、(インク太さ)、(決定)キー、
(太い)(細い)、(決定)キーと操作しても変更できます。



メモする / 記録する

●ブロックを移動・複写する……移動・複写

5月9日MD木村さん来社 ➡ MD木村さん来社5月9日

選択した後、ブロックをスライドして移動する

移動したいブロックにタッチして選択した後、いったんペンを離します。再び選択したブロックにタッチし、そのままスライドして移動します。

複写するときは、ブロックを選択した後、**機能**キーを押し、再び選択したブロックにタッチしたままスライドします。



- ・選択したブロックを行末に移動できないときは、移動させたい行の次の行の先頭までペン先を移動し、ペンを離してください。
- ・ブロックの複写・移動は、ブロックを選択し**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**切取(カット)**、**複写(コピー)**、**貼込(ペースト)**を選択し**決定**キーを押してもできます(☞239ページ)。
- ・インク文字の削除・複写などの編集は、ブロック単位で行われます。ブロック内の文字を分けたり、ブロック内の一部を消すことはできません。

文字に下線・色をつける

下線・カラー

文字に下線をつけたり、文字の色をつけたりできます。

1 下線や色をつける文字をなぞって選択します。

2 下線をつけるときは、

操作メニューキーを押し、**操作**タブ、**下線**、**決定**キー、**下線有り**、**決定**キーと操作します。

色をつけるときは、

操作メニューキーを押し、**操作**タブ、**ペン色**、**決定**キー、つける色、**決定**キーと操作します。



- ・下線を消すには
手順2で、**操作メニュー**キーを押し、**操作**タブ、**下線**、**決定**キー、**下線無し**、**決定**キーと操作します。
- ・文字を選択していないときに、**下線有り**や**ペン色**を選択すると、この後入力された文字に、設定されている下線や色がつきます。
- ・下線部分やカラー設定された部分の文字に文字を挿入すると、挿入した文字も同じ設定になります。また、下線やカラーが設定されている文字の最後に文字を挿入しても同じように設定されます。なお、下線やカラーが設定されている文字の最後で改行したときも、次の行の先頭では同じ内容が設定されています。次の行から下線やカラーの設定を変えたいときは、上記の操作を行い、表示されたメニューから色などを選択してください。その後、文字を入力します。



メモする／記録する

インク文字をテキスト文字にする 清書

インク文字ボードから入力したインク文字を清書して、テキスト文字にします。画面に直接手書きしたインク文字は、清書の対象として選択してもうまく清書されません。清書する場合は、必ずインク文字ボードを使用してください。

- ① 清書するデータを表示
- ② 清書したいインク文字をなぞって選択。
すべての文字を清書するときは、選択しない
- ③ **清書** にタッチし、清書画面を表示

④ **候補あり清書** にタッチ

⑤ **要** にタッチ
要 では、表示のページを複製し、もとのページと清書したページを作る

⑥ **実行** にタッチし、清書を実行

候補あり清書 では、清書して認識した候補から選択して採用できる
候補なし清書 では、認識した第1候補を自動的に採用する

⑦ 正しくない文字にタッチして選択

⑧ 候補表示欄で正しい文字にタッチして選択

⑨ **終了** にタッチし、データを表示

候補表示欄
選択した文字の候補が表示される

インク文字に戻す

候補表示欄に正しい文字がないとき、**再入力** にタッチして手書き認識ボードなどから入力する



- 清書の結果は
清書した文字は黒、清書できなかったインク文字は赤、清書する前からテキスト文字だった部分は緑で表示されます。
- 途中でめし清書できなかったときは
候補あり清書 で清書すると、メモリーに認識候補を記憶します。このため、長い文章ではメモリーが足りなくなり、途中でめし清書できないときがあります。このときは、清書できなかった部分を選択し、もう一度清書してください。



メモする / 記録する



- 清書のための範囲指定の際のご注意
範囲を選択して清書を行う場合には、範囲の最後の文字をインク文字にするか、行末の文字まで(改行マークの直前まで)を指定するようにしてください。

インクワープロの各種設定

インクワープロの使いかたや、ジェスチャーの書きかたの設定を変更します。

インクワープロの使いかたを設定する インクワープロ設定

- 1 インクワープロ画面で、
[操作メニュー]キーを押し、[操作]タブ、
[設定]、[決定]キー、
[インクワープロ設定...]、[決定]キーと
操作します。
インクワープロ設定画面が表示されます。
- 2 設定を変更し、[決定]キーを押します。

インクワープロ設定画面の説明

縮小待ち時間

文字を書いたから入力されるまでの時間を設定します。

データ圧縮率

書いた文字の圧縮率を設定します。
データ圧縮は、書いた文字がカーソル位置に入力されるときに、設定されている圧縮率で行われます。すでに入力されている文字の圧縮率は変更できません。
「小」...圧縮の度合いを小さくする
「大」...圧縮の度合いを大きくする(インク文字などの精度が少し悪くなる)

ジェスチャーの書きかたを設定する ジェスチャー設定

最初に設定されているジェスチャーが入りにくいときや、直書きモードでほかの文字やジェスチャーに誤認識されるときは、ご自身に合ったジェスチャーに設定してご利用ください。

- 1 インクワープロ画面で、
[操作メニュー]キーを押し、[操作]タブ、
[設定]、[決定]キー、
[ジェスチャー設定...]、[決定]キーと操作します。
ジェスチャー設定画面が表示されます。
- 2 設定を変更し、[決定]キーを押します。



メモする／記録する

ジェスチャー設定画面の説明

削除

削除ジェスチャーを設定します。

「・」はジェスチャーの書き始めの点(始点)です。



2行に渡るように大きく書く
折れ曲る部分は直角に書く



ほとんど横幅がないように書く



ほとんど高さがないように書く

スペース挿入

スペース挿入ジェスチャーを設定します。

挿入されるスペースの長さ(数)は、横に引く幅で調整できます。



から への線を
まっすぐ上を書く
角は直角に書く

領域指定

領域指定ジェスチャーを設定します。

タッチしてから選択されるまでの時間を設定します。



早い 早く選択する



遅い 遅く選択する

改行

改行ジェスチャーを設定します。

かぎカッコの"J"をよく書くとときは、右下のジェスチャーに設定しておく、と、不要な改行が入力されません。



カーソル移動

カーソル移動ジェスチャーを設定します。



1回 移動する位置にチョンと1回タッチします。小さく○を書いてカーソル移動になります。



2回 移動する位置にチョンと1回タッチし、すぐに2回目のタッチをし、タッチしたままにします。カーソルがペンの位置(ブロックの前)に表示されたら、ペンをスライドさせてカーソルを移動させることができます。

1回目と2回目のタッチの間に時間があきすぎると、1回目のタッチが点として入力され、2回目のタッチが領域指定になります。

直書き時

直書きモードでジェスチャーの有効/無効を設定します。

ジェスチャーに似た文字や記号をよく書く場合や、ジェスチャーが働くときと困るような場合は、そのジェスチャーが働かないように設定します。

なお、ジェスチャーモードでは、すべてのジェスチャーが働きます。



有効 直書きモードでジェスチャーが働く



無効 直書きモードでジェスチャーが働かない



メモする / 記録する

清書するときのテキスト文字を設定する 清書機能設定

清書したとき、認識した後のテキスト文字(英字、数字、記号)の候補のうち、全角または半角のどちらを優先的に表示するかを設定します。

- 1 インクワープロ画面で、
操作メニューキーを押し、
操作タブ、設定、決定キー、
清書機能設定...、決定キーと操作
します。
- 2 設定を変更し、決定キーを押しま
す。

清書機能設定画面が表示されます。



インクワープロ

メモ
する
／
記録
する

MORE(モア)ソフトは、ザウルス用に開発されたアプリケーションソフトウェアの総称です。

ゲームやビジネスソフトなどのMOREソフトが用意されており、MOREソフトを利用するとこの製品の機能を拡大することができます。

MOREソフトはSharp Space Townにあります。また、MOREソフトのコンパクトROMカード(別売)もご利用になることができます。

この製品には、いくつかのMOREソフトがあらかじめ入っています。MOREソフトの使いかたについては、それぞれの説明書や説明されている章をご覧ください。

- ・ 文庫 読む 『取扱説明書(通信ガイド)』『ブンコビューア/マンガビューア』の章
- ・ マンガビューア ... 『取扱説明書(通信ガイド)』『ブンコビューア/マンガビューア』の章
- ・ まず初めに 同梱の「はじめにお読みください」
- ・ 利用する 『取扱説明書(通信ガイド)』『インターネット(1)』の章、「コラム Space Townに接続するには?」
- ・ 接続設定 『取扱説明書(通信ガイド)』『インターネット接続設定をしましょう』の章、同梱の「インターネットかんたん接続設定」
- ・ 録画予約 『取扱説明書(AVガイド)』『ムービープレーヤー』の章

その他、ゲームなどがあらかじめ入っています(使いかたについては、ヘルプなどをご覧ください)。

ほかのソフトウェアを利用する MOREソフト

インターネットのSharp Space TownにあるMOREソフトを利用するには、次の方法でMOREソフトを読み込む必要があります。

1. インターネットからMOREソフトを読み込む
2. パソコンからMOREソフトを読み込む

MOREソフトを読み込む

1. インターネットからMOREソフトを読み込む

インターネットのSharp Space Townから直接この製品に読み込みます。パソコンを使わなくても、簡単にMOREソフトを読み込めます。

2. パソコンからMOREソフトを読み込む

MOREソフト用のダウンローダーを使って、パソコンからMOREソフトをこの製品に読み込みます。パソコンから読み込むには、MOREソフトおよびダウンローダーをインターネットのSharp Space Townなどからパソコンにダウンロードする必要があります。

くわしくは、MOREソフト用のダウンローダーまたはMOREソフトの使用説明などを参照してください。なお、この機能はパソコン側でコントロールされます。パソコンから読み込むには、次の2つの通信方法のいずれかを使います。

- オプションポート16を使った通信
- 光通信

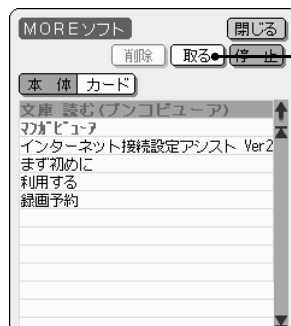
- ① システム設定画面で、を使って「MORE管理」アイコンを選択し(決定)キーを押す

画面例は実際のものと異なります。



MORE
ソフト

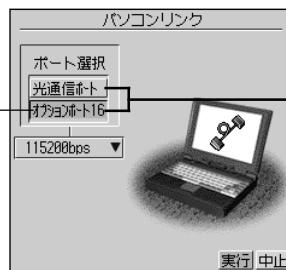
機能
を
追
加
す
る



MOREソフト画面

パソコン連携キットCE-PCK1に付属のUSB接続ケーブルを使った通信の場合は

オプションポート16を選択



5 PCリンクの実行画面を確認し、パソコン側でダウンローダーを操作



- 工場出荷時、この製品には、「録画予約」などのMOREソフトが入っています。
- MI-600/MI-500/MI-100シリーズ用のMOREソフト「10円メール」および「10円メールVer.2.0」をこの製品で使用することはできません。



ご注意

- この製品が使用可能機種になっているMOREソフトをご使用ください。使用可能機種については、Sharp Space TownのホームページまたはMOREソフトの説明書に掲載されています。
- 同じ名称のMOREソフトを、本体メモリーとカードメモリー(コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなど)の両方に読み込まないでください。古いバージョンのMOREソフトがある場合は、それを削除したうえで、新しいバージョンを読み込んでください。同じ名称のMOREソフトで異なるバージョンのものが本体メモリーとカードメモリー(コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなど)の両方に読み込まれていた場合は、そのMOREソフトを実行したとき、起動しなかったり、動作異常が起こったりすることがあります。
- MOREソフトを削除すると(➡206ページ)次から実行できなくなります。確認してから削除してください。

MORE
ソフト

機能
を追
加す
る

MOREソフトを展開する

MOREソフトを使うには、読み込んだMOREソフトを展開する必要があります。

1 MOREソフト画面を表示します
(☞202ページ)。

2 上下の☉を使って、展開したいMOREソフトのタイトルを選択し、**展開**にタッチします。

読み込んだMOREソフトが伸張・展開されます。MOREソフト画面にそのMOREソフトのアプリケーション名が表示され、**展開**が**実行**になります。また、展開したMOREソフトはMOREインデックス画面にアイコンで表示されます。



- カード側のMOREソフトを展開するには
カードを本体に装着した状態で、MOREソフト画面を表示し、**カード**にタッチしてカード側に入っているMOREソフトを表示します。「カード側」とは、カード設定(☞251ページ)で設定したカードのことです。MOREソフトのタイトルを選択し、**展開**にタッチするとカード側のMOREソフトを展開することができます。

MOREソフトを実行する

MOREソフトは、MOREインデックス画面に表示されるMOREソフトのアイコンを選択して実行します。

1 画面左上の

ホームインデックス-1
などにタッチし、
MOREインデックスに
タッチしてMOREイン
デックス画面を表示



画面例は実際のものと異なります。

2 ④を使って実行する
MOREソフトのアイ
コンを選択し(決定)
キーを押す



MOREソフトが起動し、選択したMOREソフトの画面が表示される。
MOREソフトの操作方法是、MOREソフトに付属のヘルプや説明書をお読みください。



- MOREインデックス画面について
MOREインデックス画面は、MOREソフトを実行するための画面です。この画面には、前項の方法で展開したMOREソフトと実行中のMOREソフトの両方がアイコンで表示されます。また、本体とカード設定で指定したカードの両方のMOREソフトが表示されます。
- MOREソフトが実行しているかどうかを確認するには
MOREソフト画面で、赤の太字で表示されるMOREソフトが実行中のものです。黒文字で表示されるMOREソフトは実行されていません。
- 複数のMOREソフトを同時に実行できますが、インターネット接続時など、作業用メモリーが足りないときにはMOREソフトを停止してメモリーを空けてください。MOREソフトの停止の方法は、次項をご覧ください。
- MOREソフト画面からMOREソフトを実行するには
MOREソフト画面で実行するMOREソフトを選択し、(決定)キーを押します。

MOREソフトを停止する

1 MOREソフト画面を表示します
(☞202ページ)。

2 上下の④を使って停止したい
MOREソフトのタイトルを選択し、
[停止]にタッチします。
[停止]が[実行]になります。



- MOREソフトを停止しても、MOREソフトはMOREインデックス画面に残ります。

MORE
ソフト

機能
を追
加
す
る

MOREソフトを削除する

1 MOREソフト画面を表示します
(☞202ページ)。

2 上下の  を使って削除したい
MOREソフトのタイトルを選択しま
す。

3 **削除** にタッチし、確認画面で **はい**
にタッチします。

削除したMOREソフトは、MOREソフ
ト画面から消えます。また、MOREイン
デックス画面からも消えます。



- 実行しているMOREソフトを削除することはできません。いったん停止させてか
ら削除してください。

MOREドライバーを組み込む

MOREドライバーとは、MOREソフトのうち、本体機能に組み込まれて実行されるものを指します。パソコンにおけるデバイスドライバーのような機能を持ちます。

あらかじめ読み込んだMOREドライバーを本体に組み込みます。

1 MOREソフト画面を表示します
(☞202ページ)。

2 上下の⊕を使って組み込みたい
MOREドライバーを選択します。
実行が組み込みになります。

3 組み込みにタッチします。
確認メッセージが表示され、MOREド
ライバーが組み込まれます。
組み込まれたドライバー名は青の太文
字で表示されます。



- MOREドライバーは、必ず本体メモリーで展開し、組み込みを行ってください。
MOREドライバーをカード側に読み込み、展開しないでください。



- MOREドライバーを組み込んだでも、MOREインデックス画面には、MOREドライ
バーのアイコンは表示されません。
- MOREドライバーの情報を見るには
MOREソフト画面で、⊕を使って情報を見たいMOREドライバーを選択し、
(決定)キーを押します。MOREドライバーの組み込み/取り外しに関係なく表示で
きます。情報を表示した後、(決定)キーを押します。
- MOREドライバーを本体に組み込んだ場合、メモリー管理画面(☞252ページ)の
「MOREソフト」の件数には数えられませんが、メモリー使用量のグラフには表示
されます。

MOREドライバーを取り外す

1 MOREソフト画面を表示します
(☞202ページ)。

2 上下の⊕を使って、取り外したい
MOREドライバーを選択します。
実行が取外しになります。

3 取外しにタッチします。
確認メッセージが表示され、MOREド
ライバーが取り外されます。



- MOREドライバーを削除するには
MOREドライバーを削除するときは、いったん組み込みを解除(取り外し)してか
ら削除してください。組み込んだままでは削除できません。

MORE
ソフト

機
能
を
追
加
す
る

時計



時計機能では、海外で使用するときに基準時計の都市を変えることができます。また、毎日同じ時刻にアラームを鳴らすことができます。

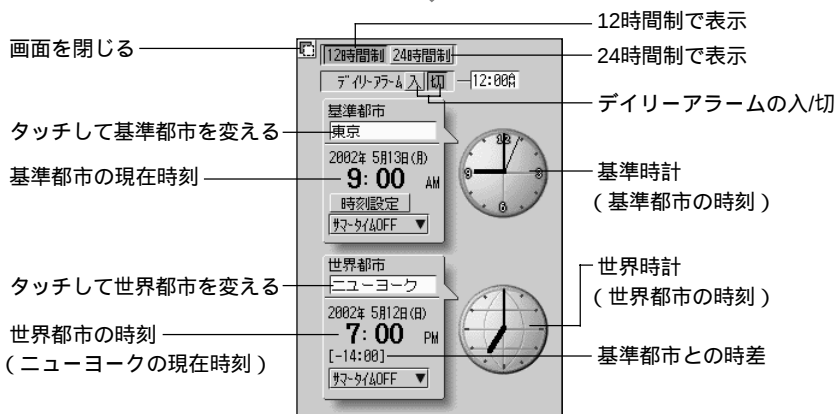
時計を使う

時刻を調べる

基準時計・世界時計

時刻を調べます。

- ① (ホームインデックス) キーを数回押し、ホームインデックス1画面で (時計) アイコンを選択し、(決定) キーを押す



時計画面



時計
時計 / 電卓を使う



- 基準都市とは
世界時計を正しく動かすための基準になる都市です。基準都市を設定し、その都市(地域)の時刻に時計を合わせると、時差から世界都市の時刻を表示します。通常日本で使うときは、「東京」または「大阪」にします。
- 基準時計とは
世界時計やカレンダー/スケジュールの表示、アラームの動作、日付スタンプや時刻スタンプの入力などの基準になる時計です。正しく合わせてください。
- 世界都市/世界時計とは
この製品に登録されている世界中の都市の中から1つを選択し表示します。また、世界時計はその世界都市の現在時刻を表示します。

時計を合わせる

時刻設定

時計を合わせるには、基準時計を設定します。

- ① 時計画面で「時刻設定」にタッチ



- ② 下の数字ボタンにタッチし、ここに日付や時刻を入力



- ③ 時間制を選択

- ④ 「決定」キーを押す

時刻設定画面



- 年月日は2058年12月31日まで設定できます。

基準時計の都市を変える

基準都市

基準都市の都市を変えます。

- ① 時計画面で、基準都市の都市名にタッチします。
都市変更画面が表示されます。
- ② 上下の⌂を使って変更する都市名を選択し、「決定」キーを押します。
時計画面に戻ります。



- 海外旅行などで時計を現地時間に合わせるには基準都市を変えた後、時刻を合わせてください。基準都市を変更せずに、日付・時刻のみを現地時間に合わせると、世界都市の日付・時刻が正しく表示されません。
- 時計の都市名や国名、時差などは1997年7月現在のデータです。時差はサマータイムを設定しない基本の時刻にもとづいています。

世界時計の都市を変える

世界都市

世界都市の都市を変えます。

- ① 時計画面で、世界都市の都市名にタッチします。
都市変更画面が表示されます。
- ② 上下の⌂を使って変更する都市名を選択し、「決定」キーを押します。
時計画面に戻ります。



時計
／
電卓
を使う

毎日同時刻にアラームを鳴らす デイリーアラーム

毎日同じ時刻にアラームを鳴らすには、デイリーアラームを設定します。

- 1 時計画面で、「デイリーアラーム」の右の[入]にタッチします。
- 2 「デイリーアラーム」の右の時刻欄にタッチします。
デイリーアラーム時刻設定画面が表示されます。
- 3 時刻を入力します。
- 4 [設定]にタッチします。
時計画面に戻ります。



- デイリーアラームの設定を一時的に切るには
明日から数日間だけアラームを止めたいときなどには、時計画面の「デイリーアラーム」の[切]にタッチします。
- デイリーアラームの音を一時的に鳴らないようにするには
ユーザー設定のサウンド設定画面で「デイリーアラーム音」を[切]に設定すると、音を鳴らさないようにすることができます(このとき時計画面の「デイリーアラーム」が[入]になっていると、デイリーアラームのメッセージは表示されます)。
- デイリーアラームが[入]のとき、電源が切れていても、アラーム時刻になると自動的に電源が入り、アラームが鳴ります。
- データ通信を行っているときなどでは、アラーム時刻になっても鳴りません。

サマータイムをセットする サマータイム

サマータイムをセットします。

- 1 時計画面で、[サマータイム OFF ▼]にタッチし、表示されたメニューから[サマータイム ON]を選択します。
1時間プラスした時刻が表示されます。



- サマータイムを表示するには
サマータイムは、表示を1時間プラスするだけで、内蔵時計は変更されません。
また、地域や季節ごとに自動的に設定されません。
サマータイムは、基準都市と世界都市で別々に設定します。
- サマータイムを解除するには
[サマータイム ON ▼]にタッチし、表示されたメニューから[サマータイム OFF]を選択します。



電卓

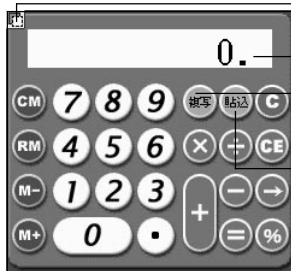


電卓機能では、一般の電卓と同じ操作で10桁までの計算ができます。

計算する

① ホームインデックス

キーを数回押し、ホームインデックス1画面で $\odot$ を使って「電卓」アイコンを選択し、「決定」キーを押す



画面を閉じる

表示窓

表示されている数字を複写する

ほかの機能で複写した数字を貼り込む(242ページ)

	計算例	操作	表示結果
加減乗除	$12 \times 3 + 5 =$	$12 \times 3 + 5 =$	41.
	$(-24) \div 4 - 2 =$	$\text{C} \text{ } - \text{ } 24 \div 4 - 2 =$ 負数計算は負数が最初にくる場合に限り $\text{C} \text{ } -$ と押して計算できます。	- 8.
定数計算	$34 + 57 =$	$34 + 57 =$	91.
	$45 + 57 =$	$45 =$	102.
	$48 - 23 =$	$48 - 23 =$	25.
	$14 - 23 =$	$14 =$	- 9.
	$68 \times 25 =$	$68 \times 25 =$	1'700.
	$68 \times 40 =$	$40 =$	2'720.
	$35 \div 14 =$	$35 \div 14 =$	2.5
パーセント計算	200の10%は?	$200 \times 10 \% =$	20.
	9は36の何%?	$9 \div 36 \% =$	25.
割増 / 割引計算	200の10%増しは?	$200 + 10 \% =$ (または $200 \times 10 \% + =$)	220.
	500の20%引きは	$500 - 20 \% =$ (または $500 \times 20 \% - =$)	400.
べき乗	$(4^3)^2 =$	$4 \times = = \times =$	4'096.
逆数計算	$1 \div 8 =$	$8 \div =$	0.125





- 計算をするときは、**[C]** にタッチしてから始めてください。
- 入力中に数字を入れまちがえたときは、**[←]** にタッチします。直前に入れた数字を右端から1桁ずつ取り消します。また、計算結果が表示されているときに**[←]** にタッチすると、右端の数字が消え、桁数が1つ減ります。

計算例		操作	表示結果
メモリー計算	累計 $25 \times 5 =$ $-) 84 \div 3 =$ $+) 68 + 17 =$ (計) =	計算の前にメモリーを消します。 [CM] 25 [×] 5 [M+] 84 [÷] 3 [M-] [M+] [M-] は [=] 68 [+] 17 [M+] の働きもかねて [RM] います	(*) M 125. M 28. M 85. M 182.
	一時記憶 $(14 - 3 \times 2) \times$ $(52 - 35) =$	[CM] 14 [M+] 3 [×] 2 [M-] 52 [=] 35 [×] [RM] [=]	M 6. M 136.
	定数記憶 $135 \times (12 + 14) =$ $(12 + 14) \div 5 =$	[CM] 12 [+] 14 [M+] 135 [×] [RM] [=] [RM] [÷] 5 [=]	M 26. M 3'510 M 5.2

*:メモリーに0以外の数値が入ると、Mが表示されます。



- メモリーを使う計算では、**[CM]** にタッチして、メモリー内容を消去してから始めてください。

● “E”が表示されたとき

計算の結果 “E” が表示されると、それ以降の計算ができません。

このようなときは、**[C]** にタッチしてください(**[CE]** では、**[CE]** でも解除できません)。

計算結果の整数部が11～20桁になったとき(概算)

例: 4567890123 **[×]** 456 **[=]** 208.2957896 E

このときの答えの小数点は、100億の位を示します。

概数: 2兆829億5789万6000

$(208.2957896 \times 10^{10} = 2,082,957,896,000)$

除数が0の計算をしたとき

例: 5 **[÷]** 0 **[=]**

メモリーの数値の整数部が10桁を超えたとき

例: **[CM]** 9999999999 **[M+]** 1 **[M+]**

計算結果の整数部が21桁以上になったとき

例: 1000000000 **[÷]** 0.000000001 **[%]**



情報ファイル



データを整理する / 探す / 編集する

情報ファイルって何ができるの？

スケジュール、アドレス帳など各機能で登録したデータの中から、プロジェクトごとや得意先ごとなどの関連しているデータだけを1つのファイル(データを整理して保管する入れもののようなもの)にまとめて整理できます。また、各チームごとのスケジュールデータやアドレス帳の得意先データ、報告書など関連するデータを1つにまとめることができます。整理したファイルを開くと、まとめたデータのみが表示され探しやすくなります。



関連のあるデータを1つの
情報ファイルにまとめる

情報ファイル

アドレス帳

スケジュール

インクワープロ

いろいろなデータを集める

整理

新しく作ったファイルに、関連するデータを集めます。

データをファイルに集めるには、次の2つの方法があります。

1. 各機能でデータを表示・選択し、画面左上の「アドレス帳▼」などの機能名の枠にタッチし、表示されたメニューから「ファイルに分類..」を選択してファイルに登録する(⇒次ページ)
2. 自動的に「未分類データ」ファイルに表示されるデータを、整理するファイルに移動する(⇒216ページ)

ここでは、まず新しいファイルを作り、関連するデータを集めます。

新しいファイルを作る

新規作成

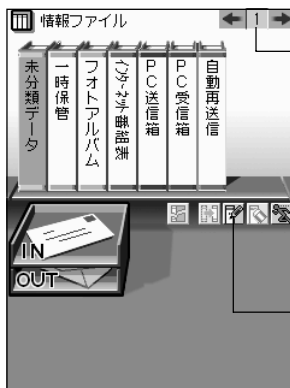
各機能のデータを整理するファイルを新しく作ります。

① ホームインデックス

キーを数回押し、ホームインデックス1画面で

⊙を使って

「情報ファイル」アイコンを選択し、「決定」キーを押す



棚番号

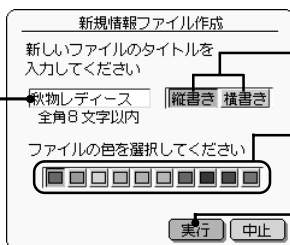
- ② 操作メニュー キーを押し、「編集」タブ、「新規ファイル作成」を選択し「決定」キーを押す

ここにタッチしても新規作成できる

- ③ ファイルのタイトル名を入力

「縦書き」では全角文字のみ入力できる

「横書き」では半角文字も入力できる



- ④ タッチし、タイトルの表示を選択

- ⑤ タッチし、ファイルの色を選択

- ⑥ 実行 にタッチし、新しいファイルを作成

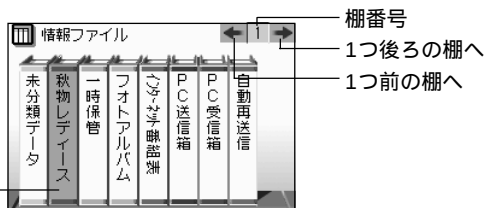
新規情報ファイル作成画面



情報ファイル

データを整理する / 探す / 編集する

新しく作ったファイルは選択されていたファイルの右に表示される。
ファイルの位置は自由に移動できる(☞223ページ)



- ファイルを置く場所について(棚)
ファイルを置く場所を「棚」といいます。1つの棚には9つのファイルを置くことができます。棚がいっぱいになると、次の棚に新しいファイルが作られます。
(順送り)キー、(逆送り)キーを押すと、前後の棚に切り替わります。1(棚番号)にタッチして表示される棚の番号を選んででも切り替えることができます。
- この製品には、「未分類データ」、「一時保管」、「フォトアルバム」、「インターネット番組表」、「PC送信箱」、「PC受信箱」、「自動再送信」ファイルが用意されています。新しいファイルは233個まで作成できます。



データを整理する / 探す / 編集する

1. 各機能からデータを集める

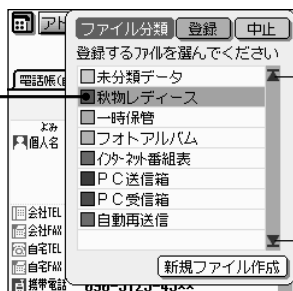
登録

各機能で登録したデータをファイルに集めます。

- 1 ファイルに集めたいデータを各機能の詳細表示画面に表示、または一覧画面で選択
- 2 画面左上の「アドレス帳▼」などの機能の枠にタッチし、表示されたメニューから「ファイルに分類..」を選択し、(決定)キーを押す



- 3 上下の○を使って登録するファイルを選択し、(決定)キーを押す



隠れているファイルを表示するには▲▼にタッチする

ファイル分類画面



- 情報ファイルに登録できるデータは
次の機能のデータを情報ファイルに登録できます。
スケジュール、アクションリスト、アドレス帳、インクワープロ、インターネットライブラリ、メール、フォトメモリー
登録すると、自動的に元データとは別の参照用データが作成されて登録されます。
- ファイル分類画面で新しいファイルを作るには
「新規ファイル作成」にタッチします。表示された新規ファイル作成画面でタイトルを入力して新しいファイルを作ります。

2. 「未分類データ」ファイルからデータを集める 移動

「未分類データ」ファイルのデータを、別のファイルに移して整理します。

「未分類データ」ファイルとは、どのファイルにも登録されていないデータが分類されるファイルです。

通常、アドレス帳などのデータを登録すると、自動的にこの「未分類データ」ファイルに入ります。

① 情報ファイルの画面を表示

② 「未分類データ」ファイルに1回または2回タッチ

③ 移したいデータをリストから探す

④ データにタッチしたまま、四角い枠を表示

⑤ タッチしたまま移動先のファイルまでペンを移動し離す



- 「未分類データ」ファイルのデータを移動するといずれかの情報ファイルに登録すると「未分類データ」には表示されなくなります。登録したファイルから除外すると、再び「未分類データ」に表示されるようになります。したがって、「未分類データ」の内容を除外することはできません。



情報ファイル

データを整理する / 探す / 編集する



- 「未分類データ」ファイルに表示されるデータ
次のデータが「未分類データ」ファイルに表示されます。
 - 次の機能で新規登録したデータ
スケジュール、アクションリスト、アドレス帳、インクワープロ、インターネットライブラリ、メール、フォトメモリー
 - メールに添付されたデータを受信し、登録したとき
 - あらかじめ用意されたファイルについて
「未分類データ」ファイルについては、前項をご覧ください。
- PC送信箱 パソコンに送信したいデータ(別売のパソコン連携キットを使ってパソコンに送信するデータ)をこのファイルに入れる
- PC受信箱 別売のパソコン連携キットを使って、パソコンから取り込んだデータがこのファイルに自動的に分類される
- フォトアルバム ... 別売のデジタルカメラカードで撮影したデータがこのファイルに自動的に分類される
- 自動再送信 通信圏外のため送信できなかったメールで自動再送信に指定したメールが一時的に分類される
- 「PC送信箱」と「PC受信箱」の内容は、データ通信画面の「PC送信箱」アイコン、「PC受信箱」アイコンを選択し、**(決定)**キーを押しても表示することができます。



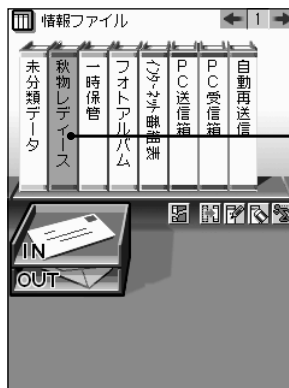
データを整理する / 探す / 編集する

ファイルを開き、データを見る 表示

データを集めたファイルを開き、データを見ます。

1 ファイルを開き、データのリストを表示します。

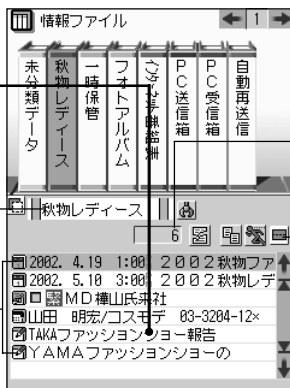
- ① 情報ファイルの画面を表示



- ② 左右の⊕を使って開きたいファイルを選択し、**(決定)**キーを押す

2 データを表示します。

- ① 上下の⊕を使って表示するデータを選択し、**(決定)** キーを押す



リストに表示されているデータ件数

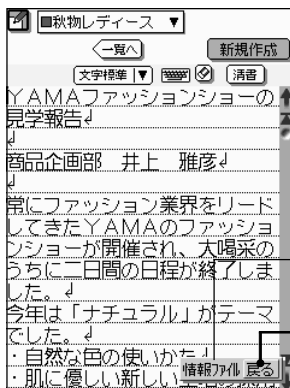
ここにタッチすると、リストが画面全体に広がる
もとに戻すときは  にタッチする

ファイルのタイトル

開いたファイルのデータのリスト

リスト画面

現在開いている情報ファイル内のほかのデータを見るには、**(順送り)** キー、**(逆送り)** キーを押す。このとき、ほかの機能のデータを見ることはできない

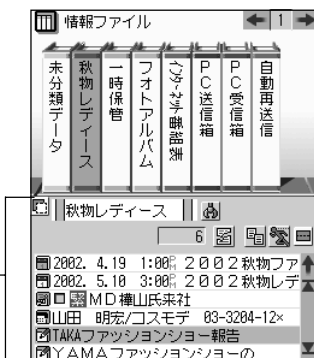


タッチしたまま動かして、移動できる

- ② **(戻る)** にタッチし、リスト画面に戻る

データ確認画面

- ③ **(戻る)** キーを押し、リスト画面を閉じる



リスト画面が閉じる

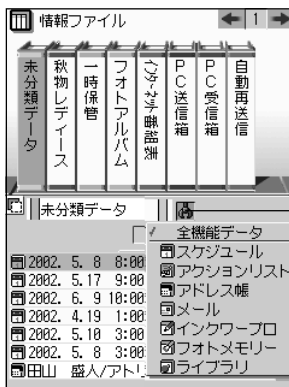


データを整理する / 探す / 編集する



コラム

各ファイル内で、機能ごとに絞り込んで表示するには
ファイルに入っているデータのうち、1つの機能のデータのみを表示させることができます。



ここにタッチし、表示されたメニューから
「アドレス帳」などを選択。
選択した機能のデータのみが表示される



データを整理する / 探す / 編集する

ファイルに整理したデータを各機能から見る



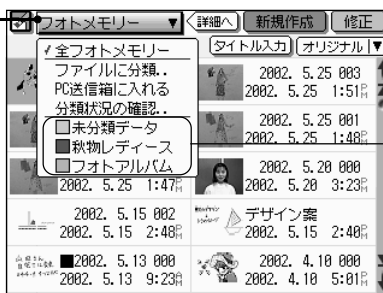
情報ファイル

データを整理する / 探す / 編集する

ファイルに整理したデータは、情報ファイルで見ただけでなく各機能(スケジュール、アドレス帳など)から見るができます。各機能から見ると、整理したファイルに入っているデータのうち、その機能のデータだけを見ることができます。

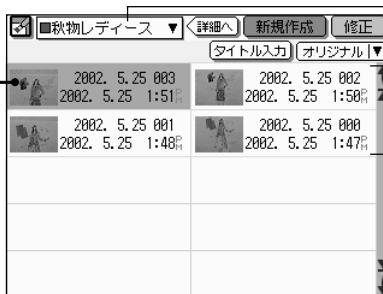
① フォトメモリー▼

にタッチし、表示されたメニューからファイルを選択し
(決定) キーを押す



フォトメモリーのデータが入っている情報ファイルのファイル名が表示される

② 表示するデータを選択し、(決定) キーを押す



情報ファイルのファイル名

画面には、手順 ① で選択した情報ファイル内のデータのみ表示



- ・ **スケジュール▼** または **アクションリスト▼** の機能名を選択すると **スケジュール▼** を選択すると、スケジュールデータやアクションリストデータが入っている情報ファイルのタイトルが表示されますが、タイトルを選択してデータのリストを表示できるのはスケジュールデータの入っている情報ファイルです。 **アクションリスト▼** を選択したときも同様にアクションリストとスケジュールのデータが扱われます。これは、スケジュールデータとアクションリストデータの管理が互いに関連づけられているためです。
- ・ 一覧画面で選択されているデータや詳細表示画面に表示しているデータがどのファイルに分類されているのか確認するには(分類状況の確認) 画面左上の機能名(**アドレス帳▼** など)にタッチし、 **分類状況の確認...** を選択すると、一覧画面で選択されているデータや詳細表示画面に表示しているデータが分類されている情報ファイル名を、ファイル分類状況画面に表示します。

集めたデータを別のファイルに移動・複製する

1つのファイルに集めたデータを別のファイルに移したり、複製します。

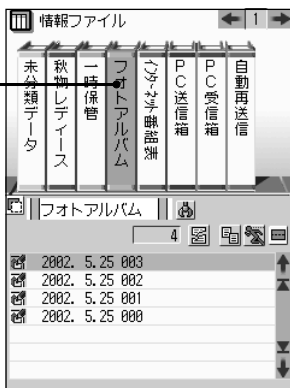


データを整理する / 探す / 編集する

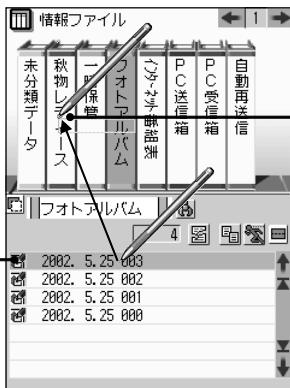
データを別のファイルに移動する

ファイルに入っているデータを別のファイルに移します。

- ① 移したいデータが入っているファイルに1回または2回タッチ



- ② データにタッチしたまま、四角い枠を表示



- ③ タッチしたまま移動先のファイルまでペンを移動し、離す



- ほかのファイルから「未分類データ」ファイルにデータを移動すると同じデータが複数のファイルに登録されているとき、その1つのデータを「未分類データ」ファイルに移動すると、ほかのファイルに登録されている同じデータもそのファイルから除外され、なくなります。

データを別のファイルに複製する

ファイルに入っているデータをそのまま残して、別のファイルに複製します。

- ① 複製したいデータを上の①を使って選択

- ② 左右の②を使って複製先を選択



- ③ **操作メニュー** キーを押し、**編集** タブ、**複製** を選択し **決定** キーを押すと、② で選んだファイルに複製される



- 手順③で **機能** キーを押した後、データにタッチしたまま複製先のファイルまでペンを動かしても、データを複製できます。なお、「未分類データ」ファイル内のデータを複製することはできません。また、複製先を「未分類データ」ファイルにしてデータを複製することもできません。
- 情報ファイルでは、元データを複製することはできません。元データを複製するときは、もとの機能で行ってください。



コラム

情報ファイルのデータを除外するときは

- 情報ファイルのファイルからデータ(参照用データ)を除外しても、データ(元データ)がなくなることはありません。同じデータが複数のファイルにあるときは、1つを除外してもほかのファイルのデータはそのまま残ります。

除外の方法

情報ファイルの画面で行うとき

- ① 情報ファイルのリスト画面で、除外するデータを選択します。
- ② **操作メニュー** キーを押し、**編集** タブ、**削除** を選択し **決定** キーを押します。
- ③ 確認メッセージで、**はい** を選択し、**決定** キーを押します。

各機能で行うとき

- ① 各機能で画面左上の機能名(**アドレス帳** ▼ など)にタッチし、除外したいデータがあるファイル名を選択します。
 - ② 除外したいデータを一覧画面で選択するか、詳細表示画面に表示します。
 - ③ 画面左上の情報ファイル名にタッチし、**ファイルから除外** を選択します。
- 情報ファイルに同じデータがなく、1つのみのときは、そのデータを除外すると、自動的に「未分類データ」ファイルに移動します。
 - 「未分類データ」ファイルに入っているデータは、除外できません。



- 情報ファイルのデータ確認画面で削除すると

情報ファイル 戻る が表示されるデータ確認画面で、**操作メニュー** キーを押し、**編集** タブ、**削除** を選択し **決定** キーを押して削除すると、元データと参照用データの両方が削除されます。**フォトメモリー** ▼ などの各機能名を選択して、データを表示しているときに削除した場合も同様です。

ファイルを編集する

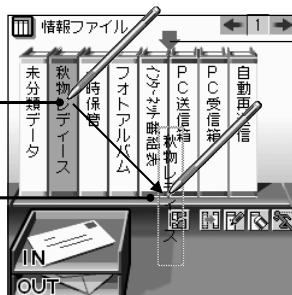
ファイルの位置を変える

移動

ファイルの置き場所を変えます。

- ① 移動するファイルにタッチしたまま、ファイルの枠を表示

- ② 移動する場所までスライドさせ、ペンを離す



↓ で指定した位置に
ファイルが移動する



- 「未分類データ」ファイルは移動できません。

- ほかの棚に移動するときは

手順 ② でタッチしたまま右上の◀や▶に合わせると、前後の棚に移動します。タッチしたまま、ペン先をいったん◀▶から外し、再び◀▶に合わせると、さらに前または次の棚が表示されます。ファイルが1つも置かれていない棚に移動することはできません。

ファイルの中身を含めて複製を作る

複製

すでにあるファイルとその中のデータをまるごと複製します。

- 情報ファイル画面で、複製するファイルを選択した後、**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**複製**を選択し**決定**キーを押します。
情報ファイル複製画面が表示されます。
- 新しいファイルのタイトルを入力し、**縦書き**、**横書き**とファイルの色を選択します。
- 機能**キーを押した後、**決定**キーを押します。



- 手順 1で以下の2つの方法でも情報ファイル複製画面が表示されます。
 - 複製するファイルを選択した後、にタッチする
 - 複製するファイルにタッチしたままにした後、ファイルの枠が浮き出たらまでペン先をスライドする
- 情報ファイルでは、ファイル内のデータの元データを複製することはできません。元データを複製するときは、もとの機能で行ってください。
- 「未分類データ」ファイルの複製は作れません。



データを整理する / 探す / 編集する

ファイルを削除する

削除

ファイルを削除します。ファイルを削除すると、ファイル内のデータも削除されます。ファイル内のデータは、情報ファイルで見えるための参照用データです。参照用データが削除されても、元データは削除されません。

- 1 情報ファイル画面で、削除するファイルを選択した後、**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**削除**を選択し**決定**キーを押します。

確認のメッセージが表示されます。

- 2 を使って**はい**を選択し、**決定**キーを押します。
選んだファイルが削除されます。



- ・「一時保管」、「PC送信箱」、「PC受信箱」、「フォトアルバム」、「インターネット番組表」、「自動再送信」ファイルを削除すると、その中のデータは除外できます。ただし、ファイルそのものは削除されません。
- ・「未分類データ」ファイルそのものは削除されません。また、中のデータは除外できません。
- ・手順 1 で、削除するファイルを選択した後  にタッチする、または削除するファイルにタッチしたままにした後、ファイルの枠が浮き出たら  までペン先をスライドしても、確認のメッセージが表示されます。

ファイルのタイトル名や縦書き/横書き、色を変える ファイルタイトル変更

ファイルのタイトル名や縦書き/横書きの表示、色を変えます。

- 1 情報ファイル画面で、タイトル名や「縦書き」「横書き」、色を変えるファイルを選択した後、**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**タイトル変更**を選択し**決定**キーを押します。
ファイルタイトル変更画面が表示されます。

- 2 新しいタイトル名を入力し、**縦書き**、**横書き**とファイルの色を選択します。

- 3 **機能**キーを押した後、**決定**キーを押します。



- ・手順 1 で以下の操作を行ってもファイルタイトル変更画面が表示されます。
 - ・タイトル名を変えるファイルにタッチしたままにした後、ファイルの枠が浮き出たら  までペン先をスライドする
 - ・タイトル名を変えるファイルを選択し、 にタッチする
- ・「未分類データ」、「一時保管」、「PC送信箱」、「PC受信箱」、「フォトアルバム」、「インターネット番組表」、「自動再送信」のタイトル名は変更できません。
- ・情報ファイルが、情報ファイルに対応しているほかのザウルスに転送された場合、ファイルのタイトルは次のようになります。
 - ・この製品からMI-10以外のザウルスへ
全角文字で書かれた横書きのタイトルは、縦書きとなります。
 - ・MI-10以外のザウルスからこの製品へ
全角文字で書かれた横書きのタイトルは、縦書きとなります。
 - ・この製品からMI-10へ
半角文字は全角文字に変換され、縦書きのタイトルとなります。



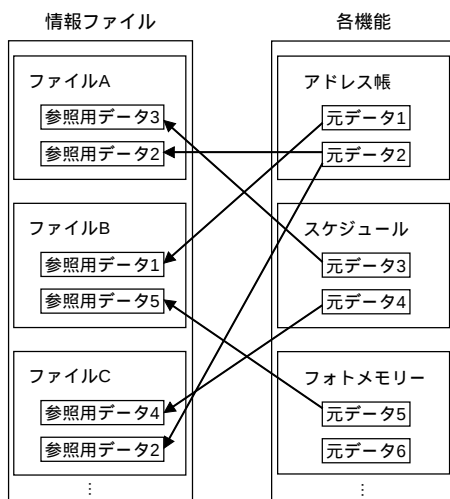
コラム

情報ファイルに整理したデータについて

スケジュールなどのデータを登録すると、自動的にそのデータ(元データ)の参照用(ダミー)データが「未分類データ」ファイルに表示されます。これは、情報ファイルで目的別にデータを整理し、探しやすいするためです。「未分類データ」ファイルなどに入っている参照用データを、別の情報ファイルに移して、目的別に整理できます。

また、1つの元データを複数の情報ファイルに登録することもできます。

「元データ6」はどのファイルにも分類されていないので「未分類データ」ファイルに表示されます。



・参照用データとは

作成したデータを情報ファイルで整理するためのデータ。情報ファイルの参照用データを表示しようとすると、元データが表示されます。なお、元データを削除すると、参照用データも削除されます。



データを整理する / 探す / 編集する



コラム

各機能で、情報ファイルに分類されているデータをまとめて削除する各機能の画面で、すでに各情報ファイルに分類されているその機能の元データだけを削除することができます。

ここでは、情報ファイルに分類されているアドレス帳のデータを確認したのち、そのファイル内のデータをまとめて削除します。

- ① アドレス帳の一覧画面を表示して、画面左上の「アドレス帳▼」にタッチし、表示されたメニューから削除したい情報ファイルを選択します。一覧画面には、削除したい情報ファイルに入っているアドレス帳のデータだけが表示されます。
- ② 内容を確認したい場合は、詳細表示画面にします。
- ③ 画面左上に削除したい情報ファイル名を表示させた状態の一覧画面で、**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**削除**、**決定**キー、**ファイル内全データ**、**決定**キーと操作します。確認の画面で $\odot$ を使って**はい**を選択し、**決定**キーを押します。

これで、表示した情報ファイルに入っているアドレス帳のデータだけが削除されます。別の情報ファイルに入っているデータを削除する場合は、手順①で別の情報ファイルを選択して同様の操作を行います(①、②の操作については、220ページもご覧ください)。

アクションプランナー



データを整理する／探す／編集する

アクションプランナーでは、各機能に別々に登録されているデータから、関連するデータをまとめて選び出すことができます。各機能にまたがって行う検索のようなものです。

関連するデータを選び出す

関連するデータに共通する言葉(関連語)を指定し、その言葉(関連語)を含んだデータを選び出します。

抽出する対象は、次の中から選ぶことができます。

- 本体の各機能(スケジュール、アクションリスト、アドレス帳、メール、フォトメモリー)
フォトメモリーでは、タイトルのみを対象とします。
- カード(本体と同じ機能)

指定した語句に関連するデータを抽出する

関連語(例:「2002秋物」)でデータを抽出し、情報ファイルに登録します。

1 関連語を入力し、データを抽出します。

- ① (ホームインデックス)キーを数回押し、ホームインデックス1画面で $\odot$ を使って「アクションプランナー」アイコンを選択し、(決定)キーを押す
または情報ファイル画面で ACTION PLANNER にタッチ

- ② 関連語を全角10文字以内で入力

関連データ抽出対象	検索対象	本体	カード
ACTION PLANNER スケジュール	要	否	
ACTION PLANNER アクションリスト	要	否	
ACTION PLANNER アドレス帳	要	否	
ACTION PLANNER メール	要	否	
ACTION PLANNER フォトメモリー	要	否	

関連語 2002秋物

カード装着時は、抽出対象を本体か、カードのどちらかを指定する

- ③ 抽出する機能は「要」、抽出しない機能は「否」にタッチ

- ④ 「実行」にタッチし、新規情報ファイル作成画面を表示

- ⑤ 関連語がタイトル名として表示されていることを確認
必要に応じてタイトル名を変更

新規情報ファイル作成

新しいファイルのタイトルを入力してください

2002秋物

縦書き 横書き

全角8文字以内

ファイルの色を選択してください

実行 中止

- ⑥ タイトル名の
縦書き、横書きを
選択

- ⑦ ファイルの色を選択

- ⑧ 実行にタッチ



抽出が始まり、抽出されたデータは情報ファイルにまとめられる

- 2 抽出が終わると、情報ファイルの画面に抽出されたデータが入ったファイルの一覧が表示されます。抽出したデータを表示します。

- ① 上下の⬆️⬆️を使って見たいデータを選択し、決定キーを押す

情報ファイル

未分類データ 2002秋物 一時保管 フォトアルバム ナビ・音楽・映画・書籍 PC送信箱 PC受信箱 自動再送信

2002秋物

6

2002. 4.21 1:00 2002秋物ファ
2002. 5.10 3:00 2002秋物レデ
2002秋物ファッション企画
田山 盛人/アトリエ 03-3403-12x
2002秋物

抽出されたデータの一覧



- 関連語とは

抽出したいデータに共通に含まれている言葉です。全角の場合10文字以内で入力します。文字をなぞって選択した後、(ホームインデックス)キーを数回押し、ホームインデックス1画面で⬆️⬆️を使ってアクションプランナーアイコンを選択し、決定キーを押すと、なぞった言葉が関連語に入力されます。

- シークレットデータの抽出

シークレット機能が設定されていると、シークレットデータは抽出されません。シークレットデータを抽出したいときは、シークレット機能を解除してください(259ページ)。

- 抽出されたデータ

抽出されたデータは情報ファイルにまとめられます。この情報ファイルに入っているデータは参照用データです(225ページ)。元データはもとの機能にあります。参照用データを削除しても元データはもとの機能に残ります。

- 各機能の絞り込みとデータの抽出

絞り込みを行っていても、絞り込んだデータだけでなく、登録されている全データから抽出されます。



データを整
理する / 探
す / 編集す
る



- 抽出したデータを既存のファイルに登録すると
手順 1の ⑤ で指定したタイトル名と同じタイトル名のファイルがあるときは、
抽出したデータが指定したファイルに追加されます。
- アクションプランナーでも、複数のキーワードを **で** または **か** で結んで関連語
として指定することができます。キーワード「A」と「B」の両方を持つデータを抽
出する **で**、キーワード「A」または「B」のどちらかを持つデータを抽出する **か** の
使いかたについては、231ページの「メモ」・「検索語の入力」をご覧ください。



アクション
プランナー

データを整理する / 探す / 編集する

検索/絞り込み



検索語を指定してデータを探すことができます。

アドレス帳やスケジュールなどでは、絞り込みを行ってデータを抽出した状態のまま表示などが行えます。

検索/
絞り込み

データの探しかた

データの探しかたには、次の方法があります。

- ・各機能ごとの検索 各機能内で、指定した検索語に合ったデータを探す
- ・絞り込み(⇒233ページ) ... 機能内で、指定した絞り込みの条件に合ったデータだけを表示する
絞り込んだデータは、一覧表示や詳細表示ができる
- ・なぞってキーワード検索 ... 他機能で指定した検索語を使って、別の機能内(⇒234ページ)で検索する



- ・検索語と検索の結果
あいまいな言葉でも探せるように、検索では、カタカナ、英数字の全角・半角は区別しません。また、濁音、半濁音、清音も区別しません。
さらに、ひらがな・カタカナ、英字の大文字・小文字も区別しません。

データを整理する / 探す / 編集する

各機能ごとの検索

ここでは、アドレス帳での個人名検索を例にあげて、検索のしかたを説明します。

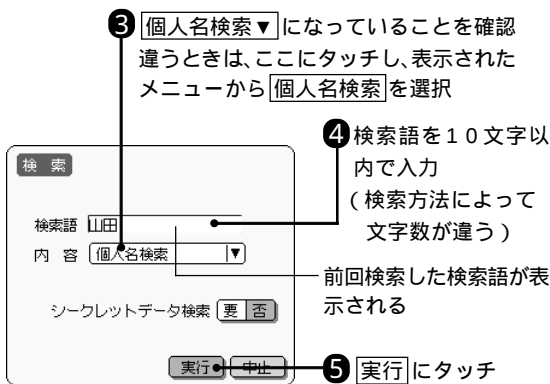
ほかの機能でも同様の操作手順で検索を行います。

各機能の検索方法や検索対象データ、注意事項については、232ページに記載していますので、併せてお読みください。

検索/
絞り込み

データを整理する / 探す / 編集する

- 1 検索する機能のデータを表示
ここではアドレス帳のデータを表示
- 2 操作メニューキーを押し、**操作**タブ、**検索**、**決定**キー、**個人名検索**、**決定**キーと操作する



検索画面



条件に合うデータがないときは、「見つかりません」と表示される

別のデータを検索するとき、**(逆送り)**キー、**(順送り)**キーを押す



検索後の画面

検索画面の説明

検索語

どんな言葉でデータを探すかを指定します
(☞下記の「メモ」の「●検索語の入力」)

内容

検索方法を選択します。検索方法は各機能によって違います。次ページの各機能の表を参照してください。

シークレットデータ検索

[要]では、シークレットデータのみを対象に検索します。シークレット機能を解除してから操作してください(☞259ページ)。表示されている検索語を削除して検索すると、シークレットデータだけを表示できます。



● 検索語の入力

- ・ 1つの検索語を検索するとき

検索画面で検索語を入力します。

データ内の語句を検索語にするときは、語句をなぞって選択します。この後、**[操作メニュー]**キーを押し、**[操作]**タブ、**[検索]**、**[決定]**キー、**[キーワード検索]**などを選択、**[決定]**キーと操作します。なぞった語句が検索語に入力されます。

- ・ 複数の検索語を入力する

検索語として同一項目内の複数の用語を指定して検索することができます。

「A」**[で]**「B」...検索語「A」と「B」両方があるデータを検索

「A」**[か]**「B」...検索語「A」または「B」どちらかがあるデータを検索

検索語「A」を入力した後、記号入力ボードを表示し**[記号]**にタッチします。**[で]**または**[か]**が表示されるまで**[記号]**にタッチします。表示された**[で]**または**[か]**にタッチして入力します。その後、続けて検索語「B」を入力します。

ご注意: 「A」と「B」は同一項目内の用語を指定してください。「A」と「B」が別の項目にある場合、検索できません。

なお、ここで使う**[で]**、**[か]**は、データに入力できません。

- ・ 日付検索では、検索語に年月日を指定します。
- ・ 前回検索していると、検索語には前回検索したときの検索語が表示されます。

検索/
絞り込み

データを整
理する / 探
す / 編集す
る

各機能での検索

	検索方法(内容)	検索対象
アドレス帳	個人名検索	名前の先頭から10文字以内 または、名前の読みの先頭から8文字以内
	会社名検索	会社名の先頭から10文字以内 または、会社名の読みの先頭から8文字以内
	キーワード検索	検索語を含むデータ
	読み検索	(個人名) 個人名の読みの先頭から8文字以内 (会社名) 会社名の読みの先頭から8文字以内
スケジュール	日付検索	(未来へ) 指定した日付以降にスケジュールのある日 (過去へ) 指定した日付以前にスケジュールのある日
	予定内容検索	検索語と同じ文字がスケジュール内容の先頭にあるデータ
	キーワード検索	検索語を含むスケジュールデータ
アドレスリスト	頭文字検索	内容の先頭から10文字以内
	キーワード検索	検索語を含むアクションリストデータ
メモリー	タイトル検索	タイトルに検索語を含み、作成された時刻が最も遅い(最新の)データ
インポート	日付検索	指定した日付で、作成された時刻が最も早いデータ ないときは、検索した日付より後で最も近いデータ



- アドレス帳の読み検索では
条件に合うデータがないとき、並び順が検索語よりも後で最も近い読みのデータが表示されます。
- アドレス帳で簡単に検索するには
アドレス帳の一覧画面では、読み検索ボードを使って簡単に検索することができます。名前の読みを指定すると、文字を入力するたびに一覧画面の表示が変わり、データが表示されます(☞117ページ)。
- スケジュールのキーワード検索での日付や予定時刻の入力
1月4日→0104 8:00AM→0800 3:30PM→1530と入力します。
なお、日付と時刻は、「01040800」(1月4日8:00AM)のように連続した数字で登録されます。数字で検索すると、これらの数字も検索対象になります。
- スケジュールでは
予定、日をまたがる予定、アドレス帳でコンタクト登録したデータが検索の対象となります。アクションリスト、記念日のデータは検索の対象にはなりません。

検索/
絞り込み

データを整理する / 探す / 編集する

絞り込み

絞り込みを行うと、入力した条件に合うデータが抽出されます。

絞り込んだ状態で検索やデータ交換などを行うこともできます(絞り込んだデータのみが対象になります)。

絞り込みが行える機能は、アドレス帳、スケジュールの2つです。アドレス帳、スケジュールは、同様の手順のため、下記の「アドレス帳、スケジュールで絞り込む」でまとめて説明しています。

検索/
絞り込み

データを整理する / 探す / 編集する

アドレス帳、スケジュールで絞り込む

ここでは、アドレス帳を例にして新宿区在住で1975年生まれの人を絞り込みます。スケジュールでの絞り込みも同様の手順で行えます。

① アドレス帳の画面で

「操作メニュー」キーを押
し、「操作」タブ、
「絞り込み...」を選択し
「決定」キーを押す

② 絞り込む条件を入力

(「自宅住所」項目に「新宿区」、「誕生日」項目の「年」に「1975」を入力)

条件に合うデータがないときは、「該当するデータがなく絞り込みできませんでした」と表示される

別のデータを呼び出すときは、「逆送り」キー、「順送り」キーを押す

絞り込み条件設定画面

③ 「実行」にタッチし絞り込む

絞り込み検索後の画面

タッチして移動できる

④ 「解除」にタッチし、絞り込みを解除



• 絞り込み後の操作

絞り込んだ状態で一覧画面を表示したり、検索をすると、絞り込まれたデータだけが対象になります。絞り込んだデータのデータ交換などもできます。なお、絞り込んだ状態で電源を切っても、絞り込んだ状態は解除されません。絞り込みのままでは、絞り込まれなかったデータを見ることができません。絞り込みでの操作が終わったら、絞り込みを解除してください。また、絞り込んだ状態で新たにデータを登録すると、登録したデータは絞り込んだ条件にかかわりなく表示されます。

• アドレス帳のチェックリストで条件を設定するときは

絞り込み条件設定画面で「**チェックリスト**」タブに切り替えます。チェックリストで、☐ ☒ ☐ を選びます。チェックリストで絞り込みの条件にしない項目では、☐ ? を選びます。

• スケジュールでは

スケジュールは予定内容を条件にします。

• 絞り込んだスケジュールデータのみの表示

詳細表示画面で「**機能**」キーを押した後、「**逆送り**」キーまたは「**順送り**」キーを押すと、絞り込み条件を含むデータを表示できます(日をまたがる予定が入力されていた場合、同時にそれらの予定も表示されます)。

• シークレットデータを含む絞り込み

シークレット機能を解除した後(⇒259ページ)、絞り込んでください。

• 条件設定が正しくないとき

「絞り込み条件が正しく設定されていません 再入力してください」とメッセージが表示されます。

検索/
絞り込み

データを整理する / 探す / 編集する

なぞってキーワード検索

なぞってキーワード検索とは、ある機能内の語句を検索語にして別の機能で検索することです。ある機能内の語句をなぞって選択した後、

「**ホームインデックス**」キーを数回押し、ホームインデックス1画面で  を使って検索する機能のアイコンを選択し「**決定**」キーを押すだけで、キーワード検索ができます。



• インクワープロ機能からそれ以外の機能へは、「なぞってキーワード検索」ができませんが、その逆はできません。インクワープロ画面では、テキスト文字からなぞって選択してください。

• 次のときは、「なぞってキーワード検索」はできません。

・スケジュール機能とアクションリスト機能の間で検索

・電卓機能から直前に使用していた機能への検索

• フォトメモリー機能、インターネットライブラリ機能では、タイトル入力画面のタイトルから他機能のデータの「なぞってキーワード検索」ができます。

データ編集



ここでは、基本的なデータの複写や複製のほか、異体字変換や郵便番号変換、電卓を使った便利な操作などを説明しています。

操作メニューを使った文字の変換

旧字体などに変換する

異体字変換

いったん新字体の漢字を採用し、異体字変換で旧字体などに変換します。

例 入力項目に入力した「秋葉」を「穠葉」に異体字変換する場合

「秋」をなぞって選択

(操作メニュー)キーを押し、[編集]タブ、
[異体字変換]を選択し(決定)キーを押す

秋葉



秋葉



穠葉

ひらがな ← → カタカナに変換する

ひら ← → カタ変換

入力項目で変換する

入力項目に入力したひらがな・カタカナをカタカナ・ひらがなに変換します。
変換したい文字は、1項目内で選択してください。

例 入力項目に入力した「ばたん式」を、「ボタン式」に変える場合

カタカナにする部分

「ばたん」をなぞって選択

(操作メニュー)キーを押し、[編集]タブ、
[ひら ← → カタ変換]を選択し(決定)キーを押す

ばたん式



ばたん式



ボタン式



- カタカナをひらがなに変えるときも、上と同じ操作をします。
- ひらがなとカタカナが混在している部分を選択したときは、ひらがなはカタカナに、カタカナはひらがなに変わります。
- ひらがな ← → カタカナ変換できるのは、全角のひらがな・カタカナです。半角のカタカナを変換すると、全角のひらがなになります。

データ
編集

データを整理する / 探す / 編集する

入力行で変換する

入力行に入力したひらがな・カタカナをカタカナ・ひらがなに変換します。キーボード用入力ボード、50音ボード、タイプライターボードで変換できます。

例 入力行のひらがな「こんぺ」を、カタカナの「コンペ」に変える場合



- 50音ボード、タイプライターボードはフォトメモリー、インターネット機能で使
用します。
- カタカナをひらがなに変えるときは、(機能)キーを押した後、[ひら]にタッチし
ます。
- 入力行の文字を部分的に変換するとき
変換したい文字をなぞって選択した後、(機能)キーを押した後、[カナ]または
[ひら]にタッチします。
- 手書認識ボードの表示中は[カナ]や[ひら]が表示されないため、(機能)キーを押し
た後、[カナ]または[ひら]にタッチして変換できません。入力ボードを切り替えて
変換してください。

データ
編集

データ
を整理する / 探す / 編集する

全角 ← → 半角に変換する

全角 ← → 半角変換

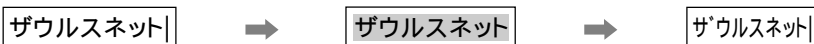
入力項目で全角 ← → 半角変換する

入力項目に入力されたカタカナ・記号は、全角 ← → 半角変換できます。変換し
たい文字は、1項目内で選択してください。

例 入力項目に入力した「ザウルスネット」を、「ザウルスネット」に変える場合

半角にする部分「ザウルスネット」
をなぞって選択

(操作メニュー)キーを押し、[編集]タブ、
[全角 ← → 半角変換]を選択し[決定]キーを押す



- 半角を全角に変えるときも、上と同じ操作をします。
- 全角と半角が混在している部分を選択したときは、全角は半角に、半角は全角に
変わります(漢字は変換されません)。
- 濁音、半濁音を含む全角カタカナを半角に変換すると、「タ」と「*」などと2文字
になります。
- 半角に変換できる記号
記号入力ボードで[半角記号]にタッチして表示される記号です。ただし、一部の
記号は変換できません。

郵便番号を住所に変換する

郵便番号変換

この製品の郵便番号辞書は7桁の郵便番号に対応しています。

入力した郵便番号から住所を入力するには、次の2つの方法があります。

- ・アドレス帳の郵便番号項目に入力した郵便番号から住所を入力するとき
(「アドレス帳」の章、「郵便番号から住所を入力する」)
- ・上記以外の項目に入力した郵便番号から住所に変換するとき

ここでは、スケジュールなどに入力した古い5桁の郵便番号から、新しい7桁の郵便番号と住所に変換します。

- 1 新規作成画面または修正画面で、変えたい古い郵便番号をなぞって選択します。
- 2 **操作メニュー** キーを押し、**編集** タブ、**郵便番号変換...** を選択し **決定** キーを押します。
郵便番号の住所一覧が表示されます。
- 3 上下の **⊕** を使って入力する住所を選択し、**決定** キーを押すか、**住所&番号採用** にタッチします。
なぞって選択した郵便番号が新しい7桁の番号に置き換えられ、住所が入力されます。



- ・「県名採用」の **しない** にタッチすると都道府県名は入力されません。
- ・郵便番号を住所に置き換えるときは、**住所採用** にタッチします。
住所を郵便番号に置き換えるときは、**番号採用** にタッチします。
- ・郵便番号変換画面で表示されている郵便番号以外の番号と住所を見るには、**逆送り** キー、**順送り** キーを押します。変換したい郵便番号や住所を表示した後、**住所&番号採用** などにタッチします。
- ・郵便番号がはっきりしないときは、近い番号を入力して変換し、**逆送り** キー、**順送り** キーを押して目的の住所を探します。
- ・この製品の郵便番号辞書は、郵政省から1998年6月に提供されたデータをもとに株式会社シンフォームが監修した辞書(郵政省 新郵便番号データ準拠 1998年版)を採用しています。

郵便番号および住所については、変更等が考えられますので、ご使用の際は郵政省より発行された郵便番号簿をよくご確認のうえ、ご使用ください。

郵便番号および住所の変更に対して、この製品の辞書内容の更新等は行いませんのであらかじめご了承ください。

郵便番号辞書の内容(郵便番号および住所)に関するお問い合わせはご容赦願います。

データ
編集

データを整理する / 探す / 編集する

入力している住所から郵便番号を調べる 郵便番号逆変換

入力した住所から郵便番号を入力するには、次の2つの方法があります。

- ・アドレス帳の住所項目に入力した住所から郵便番号を入力するとき
(☞「アドレス帳」の章、「住所から7桁の郵便番号を入力する」)
- ・上記以外の項目に入力した住所から郵便番号に変換するとき

ここでは、入力した住所から郵便番号と住所に変換します。

- 1 郵便番号を変えたい住所をなぞって 選択します。
- 2 **操作メニュー** キーを押し、**編集** タブ、**郵便番号変換...** を選択し **決定** キーを押します。
郵便番号と住所一覧が表示されます。
- 3 上下の  を使って住所を選択し、**決定** キーを押すか、**住所&番号採用** にタッチします。
なぞって選択した住所が7桁の郵便番号と住所に置き換えられます。
番地などは、再度入力します。
ほかの郵便番号を表示するときは、**表示制限解除** にタッチして **逆送り** キー、**順送り** キーを押します。



- ・住所を郵便番号に置き換えるときは、**番号採用** にタッチします。
- ・入力されている住所によっては(たとえば、「府中市」や「京都市上京区仲之町」など)、複数の郵便番号が合致していることがあります。このような場合は、**逆送り** キー、**順送り** キーを押して、ほかの郵便番号を表示します(☞「アドレス帳」の章、「住所から7桁の郵便番号を入力する」の2つ目の「メモ」)。
- ・住所がはっきりしない場合などは、わかる範囲の住所を入力し、郵便番号変換画面で **表示制限解除** にタッチした後、**逆送り** キー、**順送り** キーを押して目的の住所を探します。

現在の日付・時刻を入力する 日付スタンプ・時刻スタンプ

今日の日付や現在の時刻を簡単に入力できます。

例 今日「2002/ 5/15」の日付を入力する場合

操作メニュー キーを押し、**編集** タブ、**日付スタンプ** を選択し **決定** キーを押す



2002/ 5/15|



- ・現在の時刻を入力したいときは、**日付スタンプ** の代わりに **時刻スタンプ** を選択します。時刻は、時計の時刻に従って、12時間制のときは12時間制、24時間制のときは24時間制で入力されます。
- ・アクションリストの開始日などは、新規作成画面にすると、自動的に今日の日付が入力されます。

複写・切り取り・貼り込み

文字列やデータを移動するときは、**切取(カット)**と**貼込(ペースト)**を組み合わせます。

また、文字列やデータを複写するときは、**複写(コピー)**と**貼込(ペースト)**を組み合わせます。

文字列を移動・複写する

文字列を移動・複写します。

例 文字列を移動する場合

- ① 新規作成画面や修正画面で移動元の文字列を
なぞって選択

- ② (操作メニュー) キーを押し、**編集** タブ、**切取(カット)**を選択し**(決定)** キーを押す

- ③ ①を使って移動先に
カーソルを移動

- ④ (操作メニュー) キーを押し、**編集** タブ、**貼込(ペースト)**を選択し**(決定)** キーを押す
文字列が貼り込まれる



- 文字列を複写するときは、手順 ② で表示されたメニューの**複写(コピー)**を選択し**(決定)** キーを押します。
- 切り取った文字列や複写した文字列は、電源を切っても残ります。
- 一度切り取った文字列や複写した文字列は、次に切り取りや複写をするまで何回でも同じ文字列を貼り込めます。
- 文字列の切り取り・貼り込みは、新規作成画面や修正画面でのみ実行できます。また、ほかの機能との間でもできます。



- 詳細表示画面で複数画面にまたがる文章を選択するには
選択したい文章の最初の文字にタッチし、そのままゆっくり画面の下端にペンを
ずらすと、スクロールしながら文字が選択されていきます。最後の文字でペンを
離します。



- 切り取り・複写した文字列やデータは、1つしか記憶されません。新たに文字列
やデータを切り取り・複写すると、これまで記憶していた文字列やデータは消
え、新しく切り取り・複写したデータだけが記憶されます。
- メモリーがいっぱい近くまで使用されていると、切り取り・複写を実行しても貼
り込みできないことがあります。
- 詳細表示画面では、文字列を選択しても、切り取りを行うと1データの切り取り
になります。

1 データを移動・複写する

1 データを移動・複写するときは、文字列の移動・複写と同じように、
[切取(カット)]または[複写(コピー)]と、[貼込(ペースト)]を組み合わせで行
います。

- 1 移動したいデータを詳細表示画面に
表示します。一覧画面では、そのデー
タを選択します。
- 2 [操作メニュー]キーを押し、[編集]タブ、
[切取(カット)]を選択し[決定]キーを
押します。
削除する確認メッセージが表示されます。
- 3 左右の⊕を使って[はい]を選択し、
[決定]キーを押します。
移動元のデータが削除され、別に記憶
されます。
- 4 移動したい機能に移り、新規作成画
面を表示します。
登録済みのデータに追加するとき
は、修正画面を表示します。
- 5 [操作メニュー]キーを押し、[編集]タ
ブ、[貼込(ペースト)]を選択し[決定]
キーを押します。
データが貼り込まれます。
- 6 必要ならばデータを修正し、[機能]
キーを押した後、[入力(登録)]キーを
押して登録します。



- 1データを複写するときは、手順 2で表示されたメニューから[複写(コピー)]を
選択し[決定]キーを押します。
- 1データの切り取り・複写は、詳細表示画面または一覧画面で行います。
また、貼り込みは、新規作成画面、修正画面で行います。
- フォトメモリーのデータを複写して貼り込むと、「 PICTURE(タイトル名)」の
みが貼り込まれます。データの内容は貼り込まれません。
- インクワープロにインクワープロデータ1件を貼り込むときは、新しいページを
開いてから実行してください。データが表示されている画面で貼り込むと、表示
データを削除して貼り込みデータに書き換えます。日付や時刻も現在の日付・時
刻に変わります。



- 情報ファイルのファイル間でデータを移動・複製する操作は、221ページをご覧ください。

各機能間でのデータの移動・複製について

各機能間で1データの移動・複製を行うときは、それぞれの項目の内容が違うため貼り込まれる項目や内容が異なります。

- 各機能で入力できる文字数が違うため、データ量が多いと貼り込めないときがあります。
- 日をまたがるスケジュール、コンタクト登録データは、通常のスケジュールデータと同じように移動・複製されます。
- クイックメモ機能で作成されたデータは、フォトメモリーのデータです。
- インクワープロ機能で作成されたデータは、他機能へ貼り込むとテキスト文字のみが貼り込まれます。インク文字はスペースとして貼り込まれます。
- インターネットライブラリのデータを他機能に貼り込むことはできません（インターネットライブラリのデータを貼り込むときは文字列を複製して貼り込みます）。
- 顔写真つきのアドレス帳のデータを、他機能に貼り込むと、テキスト文字のみが貼り込まれます。



- フォトメモリーのデータはほかの機能には貼り込めません。

データ
編集

データを整理する／探す／編集する

複製

個人名だけが違うアドレス帳のデータを作るときなどは、もとなるデータを複製して使います。簡単に同じようなデータを作ることができます。

- 1 複製したいデータを詳細表示画面に表示するか、一覧画面で選択します。
- 2 **操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**複製**を選択し**決定**キーを押します。
この後、修正画面でデータを修正して登録します。



- インクワープロのデータは、一覧画面で操作します。
- もとなるデータが情報ファイルに登録されているときは、複製したデータも同じファイルに登録されます。また、もとなるデータに貼りつけられているクイックメモも複製したデータに貼りつけられます。スケジュールアラームなども複製されます。

他機能の数字を使って電卓で計算する

ほかの機能内の数字を使って電卓で計算できます。また、計算結果をほかの機能に貼り込みます。

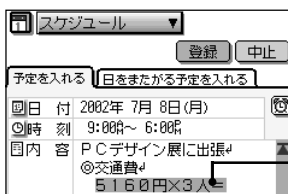
- ほかの機能→電卓...ほかの機能から、数値や計算式などを複写します。
 - 電卓→ほかの機能...計算結果をほかの機能のデータ内に貼り込みます。
- 電卓とデータのやり取りができる機能は、スケジュール、アクションリスト、アドレス帳、インクワープロ(テキストのみ)、フォトメモリー(文字入力)、メール(新規作成/修正画面)です。

データ
編集

データを整理する / 探す / 編集する

ほかの機能から、数値や計算式などを複写する

- ① 他機能の新規作成画面や修正画面を表示



- ② 計算に使う数値や計算式をなぞって選択

- ③ (ホームインデックス)キーを数回押し、ホームインデックス1画面で $\odot$ を使って「電卓」アイコンを選択し、(決定)キーを押す

15480.

— なぞった数値や計算式の結果が表示される

電卓画面



- 電卓への数値の複写

数値や式と見なせない文字や記号は無視され、数値だけが複写されます。

例: $12360円 \times 3人$ → $12360 \times 3 = 37080$

計算に使用できるのは、数字、小数点(.)、四則演算子(+、-、 $\times$ (*)、 $\div$ (/))です。カッコ()は使用できません。

- 電卓に数値を複写するときは、ほかの機能の画面で数値や計算式をなぞって選択し、(操作メニュー)キーを押して、[編集]タブ、[複写(コピー)]を選択し(決定)キーを押した後、電卓画面の[貼込]にタッチしても貼り込むことができます。

計算結果をほかの機能のデータ内に貼り込む

- ① この表示窓内にタッチ
(オレンジ色表示)

15480.



- ② 電卓画面の「複写」にタッチし、(戻る)キーを押す
③ 他機能に移り、計算結果を貼り込む新規作成画面や修正画面を表示



- ④ 計算結果を貼り込む位置にカーソルを移動

スケジュール		登録	中止
予定を入れる 日をもたがる予定を入れる			
日付	2002年 7月 8日(月)		📅
時刻	9:00A ~ 6:00P		
内容	PCデザイン展に出張↓		
	◎交通費↓		
	5160円×3人=15480		

- ⑤ (操作メニュー) キーを押し、編集タブ、貼込(ペースト)を選択し(決定)キーを押す

データ
編集

データを整理する / 探す / 編集する

データの修正・削除

フォトメモリー、アクションリストなどの機能に登録したデータを修正したり削除したりする操作は、次の方法で行います。

データの修正

データの修正は、各機能で同じように操作できます。

- 1 修正したいデータを表示するか、一覧画面で選択します。
- 2 (機能) キーを押した後、(M) (修正) キーを押してデータを修正し、(機能) キーを押した後、(入力) (登録) キーを押します。



- 修正前と修正後の2つのデータを登録するには 手順 2で(機能)キーを押した後、画面の[登録]にタッチします。修正前のデータはそのまま残ります(フォトメモリーは除く)。
- フォトメモリーの縮小表示で表示しているデータを修正画面で登録すると、元データの画像サイズが1/4に縮小されます。また、640×480ドットを超えるデータを修正画面で登録すると、一部が消去されます。

データの削除

データの削除は、各機能で同じように操作できます。

- 1 削除したいデータを一覧画面で選択します。
- 2 (操作メニュー) キーを押し、[編集]タブ、[削除]を選択し(決定)キーを押します。
- 3 削除メニューから削除する範囲を選択します。
確認メッセージで左右の⊕を使って[はい]を選択し、(決定)キーを押して削除します。



- 詳細表示画面での削除は
削除したいデータを表示し、(操作メニュー) キーを押し、[編集]タブ、[削除]を選択し(決定)キーを押します。
- 削除メニューの「ファイル内全データ」とは
画面左上の機能名(アドレス帳▼など)にタッチし、情報ファイル名を選択してその情報ファイルのデータのみ表示しているときに(操作メニュー)キーを押し、[編集]タブ、[削除]、(決定)キー、[ファイル内全データ]、(決定)キーと操作すると、その情報ファイルに分類されているデータがすべて削除されます。
- シークレット機能が設定されているときは
1データ以外の削除操作はできません。シークレット機能を解除してから削除してください(☞259ページ)。

ユーザー設定



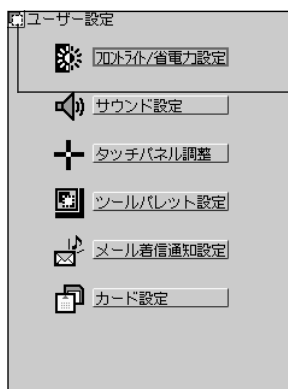
ユーザー設定では、自動節電機能が働くまでの時間を設定したり、メール着信時にランプを点灯/消灯したり、着信音を変えたりして使いやすくなります。

使いやすい設定に変える

ユーザー設定

使いやすくなるための設定は、ユーザー設定画面から機能を選んで行います。

- 1 **ホームインデックス**
キーを数回押し、システム設定画面で $\odot$ を使って**ユーザー設定**アイコンを選択し、**決定**キーを押す



ユーザー設定画面

- (戻る)キーを押して画面を閉じる
ここにタッチしても画面を閉じることができる



ユーザー設定

データを管理/設定する

ユーザー設定画面の説明

フロントライト/省電力設定

フロントライトの明るさを調整し、自動消灯をする/しないを設定します。

また、自動節電 オートパワーオフ 機能が働くまでの時間を設定します(☞次ページ)。

サウンド設定

キータッチ音やアラート音などの入/切を設定します(☞247ページ)。

タッチパネル調整

ペンでタッチした位置と画面の位置がずれているときに、ずれを修正します(☞248ページ)。

ツールパレット設定

ツールパレットの消しかたを設定します(☞249ページ)。

メール着信通知設定

メール着信時に着信ランプの点灯、着信音の入/切を設定します(☞250ページ)。

カード設定

コンパクトフラッシュメモリーカード(CFメモリーカード)とSDメモリーカードなどのどちらを使用するかを設定します(☞251ページ)。

フロントライト/自動節電機能を設定する

フロントライト/省電力設定

フロントライトの明るさや自動消灯する/しない、自動節電(オートパワーオフ)機能が働くまでの時間を設定します。充電地での使用時、ACアダプターでの使用時を別々に設定できます。充電地の消費電力を抑えたいときには、フロントライトをできるだけ暗くして自動消灯するようにし、短時間で自動節電機能が働くように設定します。用途に合わせて時間を設定してください。

① ユーザー設定画面を表示(前ページ)

② 上下の $\odot$ を使って
フロントライト/省電力設定
を選択し、(決定)キーを
押す



③ $\equiv$ にタッチし、スライドさせ設定を変更
設定を変更すると、
すぐに機能が働く

④ 自動消灯する/しない
を選択

省電力設定画面の説明

充電地使用時

充電地で使うときの状態を設定します。

ACアダプター使用時

ACアダプターを使うときの状態を設定します。

フロントライト明るさ

フロントライトの明るさをつまみをスライドさせて設定します。

オートパワーオフ時間(分)

する 自動節電機能が働きます。

しない ... 自動節電機能は働きません。

する に設定した場合、自動節電機能が働くまでの時間をつまみをスライドさせて設定します。

フロントライトを2分後に自動消灯

(充電地使用時)

充電地使用時、キーを押したり、画面にタッチせず2分経過したときに自動的にフロントライトを消灯する/しないを設定します。



• フロントライトの消灯については、44ページもご覧ください。

• オートパワーオフの設定

充電地使用時は、アラームやタイマー受信を利用する場合、オートパワーオフの設定を、**する** にすることをおすすめします。

オートパワーオフの設定を**しない** にすると、本体の電源がオフの状態からアラーム(158ページ)やタイマー受信(取扱説明書「通信ガイド」54ページ)によって自動的に本体の電源が入り、音を鳴らしたりメール受信した後も電源が入ったままになり、充電地の消耗が早くなります。



ユーザー設定

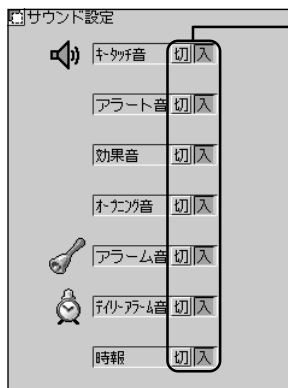
データを管理/設定する

タッチ音などを入 / 切する サウンド設定

サウンド設定では、ペンでタッチしたときの音や、操作中の注意音、オープニング音などを消したり鳴らしたりすることができます。

① ユーザー設定画面を表示 (245ページ)

② 上下の○を使って「サウンド設定」を選択し、「決定」キーを押す



③ 「切」または「入」にタッチし、設定を変更
「入」にすると音が鳴る

サウンド設定画面の説明

キータッチ音

ペンでタッチしたときのキータッチ音を入/切します。

アラート音

操作中のアラート音を入/切します。

アラート音は、次のような場合に鳴ります。

- ・ 検索したデータがないときに「見つかりません」の表示と同時に鳴る音
- ・ スケジュールデータの繰り返し登録を設定したときのデータ件数の表示と同時に鳴る音

効果音

効果音を入/切します。効果音は、次のような場合に鳴ります。

- ・ 「なぞってキーワード検索」を実行開始するときの音など

オープニング音

電源を入れたときの音を入/切します。

アラーム音

スケジュールアラームで設定した時刻に鳴るアラーム音を入/切します。

デイリーアラーム音

デイリーアラームで設定した時刻に鳴るアラーム音を入/切します。

時報

毎正時に自動的に鳴る音を入/切します。



ユーザー設定

データを管理 / 設定する

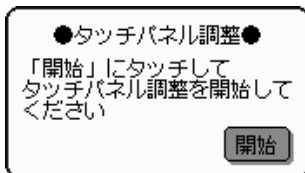
タッチパネルを調整する

タッチパネル調整

ペンでタッチしたとき、ボタンなどが反応しなかったり違うボタンが働くなど、タッチした位置が画面の位置とずれているときは、タッチパネル調整でずれを修正します。

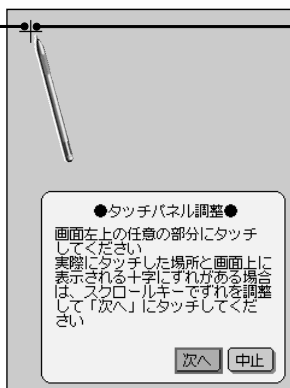
① ユーザー設定画面を表示(⇒245ページ)

② 上下の $\odot$ を使って
「タッチパネル調整」を選択し、「決定」キーを押す



③ 「開始」にタッチまたは、「決定」キーを押す

④ 画面左上の任意の位置にタッチ
黒い十字が表示される。タッチした位置と十字にずれがある場合は、⑤を行います。
タッチした位置と十字がどれくらいずれているか覚えておいてください。ずれていないときは「次へ」にタッチまたは、「決定」キーを押してください。

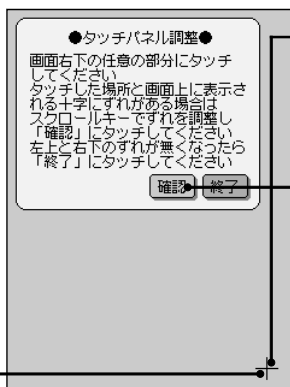


⑤ $\odot$ を使って、覚えておいたタッチ位置に青い十字を移動

⑥ 「次へ」にタッチまたは、「決定」キーを押す

タッチパネル調整画面

⑦ 画面右下の任意の位置にタッチ
黒い十字が表示される。タッチした位置と十字にずれがある場合は、⑧を行います。
タッチした位置と十字がどれくらいずれているか覚えておいてください。
ずれていないときは「終了」にタッチまたは、「決定」キーを押してください。



⑧ $\odot$ を使って、覚えておいたタッチ位置に青い十字を移動

⑨ 調節ができれば「確認」にタッチ
この後、手順④～⑧を繰り返す

⑩ 調整が終わったら「終了」にタッチまたは、「決定」キーを押す

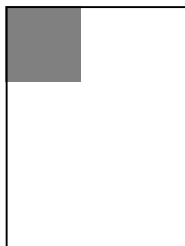


ユーザー設定

データを管理／設定する



- タッチパネル調整画面では、実際にタッチした位置と表示された十字を $\odot$ を使って合わせ、調整します。
- タッチパネル調整画面でタッチする場所によってずれる方向が異なる場合は、画面左上→画面右下を調整し、**確認**にタッチして画面左上→画面右下を調整します。
- 手順④の画面左上の任意の位置とは、画面左上縦100ドット、横100ドットの範囲内です。
また手順⑦の画面右下の任意の位置とは、画面右下縦100ドット、横100ドットの範囲内です。この範囲の外にタッチしても十字は表示されません。



画面左上
縦100ドット×横100ドット



画面右下
縦100ドット×横100ドット



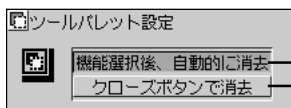
ユーザー設定

データを管理／設定する

ツールパレットの消しかたを設定する ツールパレット設定

ツールパレット設定では、ツールパレットの消去のしかたを設定します。

- ① ユーザー設定画面を表示(245ページ)
- ② 上下の $\odot$ を使って **ツールパレット設定** を選択し、**(決定)** キーを押す



③ タッチし、設定を変更

ツールパレット設定画面の説明

機能選択後、自動的に消去

ツールパレットのメニューを選ぶと、自動的にツールパレットを消します。

クローズボタンで消去

ツールパレットの左上の  ボタンにタッチするまでツールパレットを表示します。

メール着信時の通知のしかたを設定する

メール着信通知設定

メール着信時に、ランプを点灯したり、音を鳴らしたりしてメールの着信を知らせることができます。

① ユーザー設定画面

(245ページ)で上下の○を使って

メール着信通知設定を選択し、(決定)キーを押す



② それぞれの項目で、タッチして設定を変更

③ 設定 にタッチ



ユーザー設定

データを管理 / 設定する

メール着信通知設定画面の説明

メール着信ランプ [緑]

メール着信時にメール着信ランプ(緑)を点灯させる/させないを設定します。

エラー通知ランプ [オレンジ]

メールの送受信時、圏外などで正しく送受信できなかったときエラー通知ランプ(オレンジ)を点灯させる/させないを設定します。

点灯中のエラー通知ランプを消す

[実行]にタッチすると、点灯中のエラー通知ランプ(オレンジ)を消します。

着信音

メール着信時の着信音の入/切を設定します。

着信音選択

着信音を [入] にしたときに、着信音を選択します。 [1] ~ [4] にタッチすると確認の音が鳴ります。

くり返し回数

着信音をくり返し回数を [< >] にタッチして設定します。1 ~ 20回の間で設定できます。

鳴っている着信音を止めるには [中断] キーを押します。

使用するメモリーカードを設定する カード設定

コンパクトフラッシュメモリーカード(CFメモリーカード)と、SDメモリーカード(マルチメディアカード(MMC))のどちらを使用するかを設定します。

- ① ユーザー設定画面
(245 ページ)で上下
の  を使って
カード設定 を選択し、
(決定) キーを押す



- ② 上下の  を使って使用
するカードを選択
し、**(決定)** キーを押す

カード設定画面の説明

SDメモリーカード

当社推奨のSDメモリーカードまたはマルチメディアカード(MMC)を使用できます。

CFメモリーカード

当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードを使用できます。



- データカード型PHS装着時に、SDメモリーカードまたはマルチメディアカード(MMC)を使用するときは、**SDメモリーカード** に設定します。
- SDメモリーカードなどとCFメモリーカード間のデータ交換について
SDメモリーカードなどとCFメモリーカード間でデータを直接やり取りすることはできません。いったん本体メモリーに移動・複写した後、目的のカードに切り替え、本体メモリーのデータを移動・複写してください。
- 別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)や当社推奨のデータカード型PHSなどを利用するときは、**CFメモリーカード** に設定する必要はありません。
- このカード設定は、アドレス帳、メールなどの機能を利用する際、**(機能)** (カード) キーをしばらく押して本体メモリーからカードメモリーに切り替えるときに、CFメモリーカードかSDメモリーカードかを指定するものです。
ミュージックプレーヤーやムービープレーヤーのときは、この設定を変える必要はありません。ミュージックプレーヤーやムービープレーヤーを利用するときのカード切り替えについては、『取扱説明書(AVガイド)』をご覧ください。
- カード設定がまちがっていると、カードメモリーに切り替えることができません。また、メモリー管理画面などで、カードへの切り替えができません。



データを管理 / 設定する

メモリー管理



メモリー管理では、メモリーの使用量や各機能のデータの登録件数を確かめることができます。また、メモリーを整理すると、使えるメモリーが増えます。シークレットデータを消去することもできます。

メモリー使用量と登録件数を確かめる

メモリー管理では、本体やコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)のメモリー使用量や、各機能のメモリー使用量・登録件数を調べることができます。コンパクトフラッシュメモリーカードとSDメモリーカードなどの切り替えは、ユーザー設定のカード設定画面で行います(☞前ページ)。

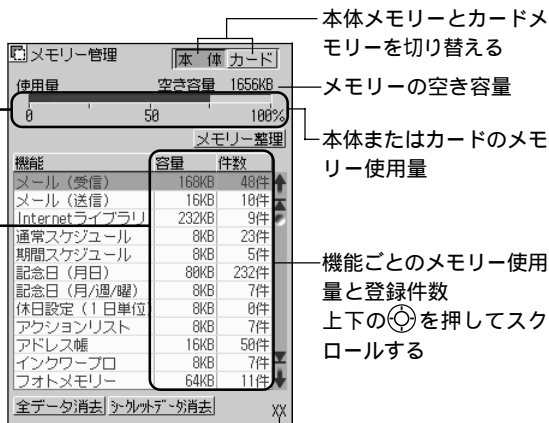


データを管理／設定する

- ① **ホームインデックス** キーを数回押し、システム設定画面で を使って **メモリー管理** アイコンを選択し、**決定** キーを押す



- ② メモリー使用量と登録件数を確認
- ③ **戻る** キーを押し、終了する



メモリー管理画面

メモリー管理画面の説明

本体

本体メモリーの使用量と登録件数の表示に切り替えます。

カード

コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどが装着されているときに選択できます。カード設定画面で設定されているカード(コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなど)のメモリーの使用量などが表示されます。

メモリー管理画面の説明

使用量

本体またはカードで使用しているメモリーの量をグラフで表示します。

青 各機能(アドレス帳、メールなど)のメモリー使用量^(※1)

赤 MP3データ、MPEG-4ファイル、パソコンデータ、WWWブラウザキャッシュのメモリー使用量、バックアップのメモリー使用量(カード選択時のみ表示)

緑 MOREソフトやシステムファイルなどのメモリー使用量^(※1)

グレー ... 不要になったメモリー領域(メモリー整理でなくなる)

※1: 各機能のデータをすべて削除して登録件数が0件のときでも、システムファイルや管理ファイルとして各機能ごとに8KBずつ残ります(棒グラフには、青と緑色の部分が少し残ります)

使用状況によってグラフ表示に若干の差異があります。たとえば、文字列を切取・複写しているとき、メールにデータを添付しているときなどです。

メモリー整理

メモリーの断片化を解消します(☞255ページ)。

機能

メモリーを使用している各機能名を表示します。

容量

各機能で使用しているメモリーの使用量を表示します。

件数

各機能に登録されている件数を表示します。

全データ消去

カードを含めたすべてのデータを消去し、初期化します(☞256ページ)。

シークレットデータ消去

パスワードを忘れたときに、シークレットデータを消去します(☞256ページ)。



- メモリー管理画面の機能名を選択すると、オレンジ色の選択状態になりますが、操作には無関係です。
- こんなときにはメモリー整理を
MOREソフトをカードまたは本体に移動したり、インターネットライブラリなどのタイトルを変更したり、データを削除・修正登録したり、修正途中で別の機能に切り替えたりすると、メモリー使用量のグラフのグレーの部分の増えかたが大きくなります。必要に応じてメモリー整理を行ってください(☞255ページ)。
- この製品のユーザーエリアは約7MBですが、初期化した場合に、メモリー管理画面に表示されるメモリーの「空き容量」は7MBより小さい値になります。これは各機能のデータを格納するためのデータフォーマットにメモリーが使用されているためです。



メモリー管理

データを管理／設定する

メモリーがいっぱいになると

メモリーをいっぱい、またはいっぱい近くまで使用すると、機能が十分に働かないことがあります。

次のような状態になったときは、メモリー整理をするか、不要なデータを削除したうえでメモリー整理を実行してください(⇒次項)。

- データを新規に作成しているときや修正しているときに「メモリーがたりません」と表示されたり、通信などで「メモリー容量不足で……」と表示される
- 各種一覧表示ができない(アドレス帳の会社一覧やアクションリストの未処理一覧など)
- 絞り込みができない
- アクションプランナーが使えない
- 機能切り替え時の状態保持機能が働かない(入力途中のデータが消えるなど)
- 複写、貼込ができない
- メール送信で送信データへのデータの添付ができない
- インクワープロのジェスチャー設定を変えたのに、変更されない
- アドレス帳の会社名変更が途中までしかできない
- 別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)を装着しても、写真を登録することができない
- 画面の切り替えやデータの表示に時間がかかるなど、動作が遅くなる
- データを新規に作成しているときや修正しているときに別の機能に切り替え、もとの機能に戻ってくると、入力・修正途中のデータが消失する
また、電源を切り、再び入れたとき、入力・修正途中のデータが消失する
特にフォトメモリーではその現象が発生しやすくなる
- CookieやSSLに対応したホームページに接続できない
- その他、一部の機能が働かない



メモリー管理

データを管理／設定する

さらにデータを入れられるようにする メモリー整理

この製品では、登録や修正、削除などの操作で、不要になったデータやメモリー管理情報の部分は消去されずに残っています(ここではこれを「メモリーの断片化」と呼びます)。このため、登録したデータの件数に比べて、メモリー使用量が多くなります(メモリー断片化の領域は、メモリー管理画面の使用量を表すバーチャートにグレーで表示されている部分です)。

「メモリー整理」を行うと、不要なデータすべてが消去され、メモリーの断片化が解消し、空いたメモリーを有効に使用できるようになります。

「メモリー管理情報」とは、メモリーの使用状況を管理するための情報です。

1 メモリー管理画面を表示します
(☞252ページ)。

2 メモリー整理 にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

3  を使って 実行 を選択し 決定 キーを押します。

メモリー整理が実行され、グレーの部分が消去されてメモリーが空きます。
本体メモリーの場合、通常約数分かかります。



ご注意

- この製品では、登録されているデータを削除するだけでは、メモリーの空きエリアは増えません。多くのデータを削除したとき、あるいはサイズの大きなデータを削除したときには、必ず「メモリー整理」を実行してください。
- メモリー整理には時間がかかります。通常数分で終了しますが、データの状態で大容量のコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)の場合、1時間以上かかることがあります。ACアダプターを使用してメモリー整理を実行してください。充電池を使わざるを得ないときには、充電池の残量が十分であることをお確かめください。
- メモリー整理の実行中は、途中で電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にして絶対に電池ぶたを開けないでください。また、ACアダプターの使用時は、途中でACアダプターを外さないでください。これらの操作を行うと、データが壊れてしまいます。
- メモリー整理を中断するときは、中断するまで 中断 キーを押し続けてください。



作業用メモリーについて

この製品では、データを記憶しておくフラッシュメモリーとは別に、RAMを作業用のシステムエリアとして使用しています(このエリアを「作業用メモリー」と呼びます)。入力や修正途中のデータなども、この作業用メモリーに書き込まれます。いろいろな作業をしているうちに、作業用メモリーの断片化が進み、「メモリーがたりません」などと表示されたり、電源が切れたりすることがあります。リセット操作(☞「付録」の章、「リセット操作」)をすると、作業用メモリーの断片化は解消され、この製品を使用できるようになります。作業用メモリーの断片化によって電源が切れたときは、再度電源を入れると、自動的にリセットされ、使用できるようになります。



メモリー管理

データを管理 / 設定する

すべてのデータを消去する

全データ消去

カードを含めたすべてのデータを消去します。

- 1 メモリー管理画面を表示します
(☞252ページ)。
- 2 **全データ消去** にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。
- 3 **決定** キーを押した後、メッセージどおりに操作します。
全データが消去されます。
この操作は「初期化」と同じです(☞「付録」の章、「初期化する」)。

シークレットデータを消去する

シークレットデータ消去

パスワードを忘れてシークレットデータを表示できなくなったときは、シークレットデータを消去するしか方法がありません。

- 1 メモリー管理画面を表示します
(☞252ページ)。
- 2 **シークレットデータ消去** にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。
- 3  を使って **はい** を選択し、**決定** キーを押します。
すべてのシークレットデータが消去されます。



注意

- シークレットデータ消去を行うとシークレット機能の設定/解除にかかわらず、すべてのシークレットデータとパスワードが消去されます。
- コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を装着しているときにシークレットデータ消去を行うと本体とカード設定(☞251ページ)で指定したカードのすべてのシークレットデータとパスワードが消去されます。
カードのメモリー管理画面で**シークレットデータ消去** にタッチしても、本体とカード設定で指定したカードのすべてのシークレットデータとパスワードが消去されます。

シークレット/全機能ロック



シークレット機能を使うと、登録したデータや、ID入力ボードに登録したIDやパスワードを他人に見られないようにできます。また、全機能ロックを使うと、この製品を他人が勝手に使えないようにすることができます。シークレットにしたデータを見たり、全機能をロックしたこの製品を使うには、設定したパスワードでシークレットや全機能ロックを解除します。

- シークレット機能を使って、データをシークレットにする流れや、シークレットにしたデータを見る流れは次のようになります。
 - データをシークレットにする流れ (☞257～259ページ)
 - シークレットデータを見る流れ (☞259～260ページ)

1 パスワードを登録し、シークレット機能を設定 (☞このページ)



2 データをシークレットにする (☞259ページ)



シークレットデータが表示されなくなる

1 シークレット機能を一時的に解除 (☞259ページ)



2 通常と同じようにシークレットデータを見る



3 一時解除したシークレット機能を再設定 (☞260ページ)

- 全機能ロックについては、262～264ページをご覧ください。
- ID入力ボードについては、『取扱説明書 通信ガイド』p189ページをご覧ください。



データを管理／設定する

データを秘密にする

シークレット機能

シークレット機能を使うと、登録したデータや、ID入力ボードに登録したIDやパスワードを他人に見られないようにできます。

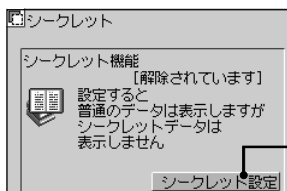
パスワードを登録する

シークレット設定

データをシークレットにしたり、ID入力ボードを表示させないようにするには、パスワードを登録してシークレット機能を設定する必要があります。なお、パスワードを登録すると、全機能ロックを設定できるようにもなります。

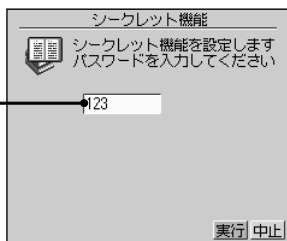
- 1 (ホームインデックス) キーを数回押し、システム設定画面で を使って **シークレット** アイコンを選択し、**(決定)** キーを押す





② シークレット設定にタッチ

シークレット画面



③ パスワードを入力

④ (決定) キーを押す



⑤ 確認のメッセージで「確認」を選択し(決定)キーを押す

⑥ (戻る) キーを押す



- パスワードを忘れると
パスワードといっしょにシークレットデータもすべて消去しなければなりません。また、全機能ロックを設定していた場合は、初期化して全データを消去しなければなりませんので、ご注意ください。万一のためにパスワードは控えておいてください。
- パスワードの入力では
全角と半角の文字、大文字と小文字などが区別されます。まちがえないように注意してください。
- パスワードをまちがって登録すると
シークレット機能を解除できなくなります。手順 ③、④ でパスワードをよく確認してから手順 ⑤ の操作をしてください。特に手書認識ボードでパスワードを入れるときは、まちがった文字が入っていないかよく確認してください。



- シークレットの状態を確かめるには
シークレット機能の設定/解除状態は、シークレット画面の「シークレット機能」の下に「解除されています」などで確かめることができます。
- すでに [] に設定してシークレットにしたデータがあるときに、パスワードを登録すると
シークレット機能を一時解除しない限り、シークレットデータやID入力ボードを表示できません。
- メモリーカードのデータをシークレットにしたいときは、261ページの「コラム」をご覧ください。



データを管理 / 設定する

データをシークレットにする シークレットデータ

データをシークレットにします。いったんシークレットにしたデータは、シークレット機能を一時解除、またはデータのシークレットを解除しない限り見ることはできません。

- 1 シークレットにするデータを表示します。
- 2  にタッチします。
 に変わり、シークレットデータになります。
- 3 ほかの画面に切り替えます。
以後シークレット機能を解除、または一時解除するまで、シークレットデータは表示されなくなります。



- シークレットにできるデータは  が表示される機能のデータをシークレットにできます。
- パスワードが登録されていないときに、 にタッチして  に変えてもデータは表示されます。ただし、シークレット機能を設定すると、表示されなくなります。

シークレットデータを見えるようにする

シークレットにしたデータを見えるようにします。

一時的にシークレットデータを見る 一時解除

シークレット機能を一時的に解除すると、シークレットデータを見ることができます。また、ID入力ボードを表示することができます。一時的な解除では、電源を入れ直すとシークレット機能が設定されます。

- 1 シークレット画面を表示します (⇒257ページ)。
- 2 **一時解除** にタッチします。
シークレット機能(シークレット機能一時解除)画面が表示されます。
- 3 パスワードを入力し、**決定** キーを押します。
確認のメッセージが表示され、シークレット機能が一時的に解除されます。
- 4 **戻る** キーを押して閉じます。
- 5 この後、通常のデータと同じようにシークレットデータを表示します。



- バックアップ/リストアを行おうとしたときなどに「シークレットがかかっています...」のメッセージが表示されたときは、 を使って **一時解除後実行** を選択し、**決定** キーを押すとシークレット機能を一時的に解除できます。



データを管理／設定する

データのシークレットを解除する

シークレットの指定を解除し、普通のデータにします。

前ページのシークレット一時解除では、電源を入れ直すとシークレット機能が設定され、データは見えなくなります。

シークレットの指定を解除すると、シークレット機能が設定されていても、データは見えます。

1 シークレット機能を一時的に解除します(⇒前ページ)。

3  にタッチします。

表示が  になり、シークレットの指定が解除されます。

2 シークレットの指定を解除するシークレットデータを表示します。



- シークレットデータを削除するには

シークレット機能を解除または一時的に解除した後、データを削除します。

全シークレットデータを削除するには、メモリー管理画面で

シークレットデータ消去 にタッチします。パスワードとすべてのシークレットデータが消去されます。また、全機能ロックが設定されていた場合、全機能ロックも解除されます。コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどが装着されていると、カード内のシークレットデータも消去されます。

一時的に解除したシークレット機能をもう一度設定する

シークレット機能を一時的に解除した後、シークレットデータを見られないようにするには、もう一度シークレット機能を設定します。

一時的にシークレット機能を解除しているときに、電源を切ったり、自動節電機能で電源が切れたときなどは、自動的にシークレット機能が再設定されます。

1 シークレット画面を表示します(⇒257ページ)。

3 画面左上の  にタッチして閉じます。

2 **シークレット設定** にタッチします。
確認のメッセージが表示され、シークレット機能が再設定されます。



データを管理／設定する



コラム

メモリーカードのデータをシークレットにしたいときはコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどを装着し、このメモリーカードとカード設定(251ページ)で設定しているカードが合っていることを確認します。

そして、前述の方法でパスワードを登録すると、本体と同じパスワードがメモリーカードにも登録されます。パスワード設定後の操作は、本体に登録しているデータをシークレットにする方法と同じです。



- この製品の2つのスロットにコンパクトフラッシュメモリーカードとSDメモリーカードなどの両方のカードを装着してパスワードを登録すると、本体とカード設定した一方のカード(すなわち、コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどのどちらか一方)に登録されます。一度に両方のカードにパスワードは登録されません。

また、パスワードの変更・消去は、本体とメモリーカードに対して同時に行われます。パスワードの変更・消去について、265ページの「メモ」をご覧ください。



シークレット

データを管理／設定する

この製品を他人が使えないようにする 全機能ロック

全機能ロックを使うと、この製品を他人が使えないようにできます。全機能ロックを設定すると、電源オン時にパスワードを入力してロックを外しないと、この製品を使うことができなくなります。全機能ロックを解除するパスワードは、シークレットを設定するパスワードと同じものです。

全機能ロックを設定する

全機能ロック設定

全機能ロックを設定する流れは、次のようになります。

① パスワードを登録(☞257ページ)



② シークレット機能を一時的に解除(☞259ページ)



③ 全機能ロックを設定

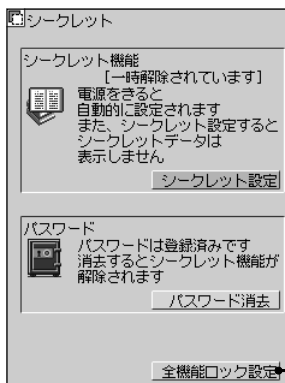


電源を切/入した後、全機能ロックがかかる

全機能ロックが設定されると、パスワードを入力しない限りこの製品を使うことはできません。

① パスワードを登録し、シークレット機能を設定(☞257ページ)

② シークレット画面で「一時解除」にタッチし、シークレット機能を一時的に解除(☞259ページ)



③ 全機能ロック設定にタッチ

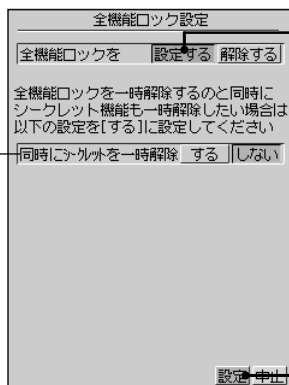
シークレット画面



データを管理/設定する

するでは、全機能ロックを一時的に解除してこの製品を使うとき、同時にシークレット機能も一時的に解除する

しないでは、シークレット機能を一時的に解除しない



4 設定する

5 設定



全機能ロックが設定される
以後、電源オン時にパスワードを入力しないと使えなくなる



- パスワードを忘れると、この製品を初期化し、全データを消去しないと使えなくなりますのでご注意ください。万一のためにパスワードは控えておいてください。



- **全機能ロック設定**は、シークレット機能を一時的に解除したときに表示されます。
- 全機能ロックを設定していると、電源を切っているときにはスケジュールアラームとデイリーアラームは鳴りません。また、自動メール受信は実行されません。



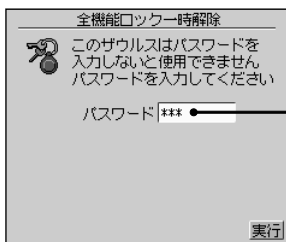
データを管理／設定する

全機能ロックしたこの製品を使う

一時解除

電源を入れたときにパスワードを入力すると、全機能ロックが一時的に解除されこの製品を使うことができます。一時的な解除では、電源を入れ直すと、再び全機能ロックが設定されます。

- ① (戻る) (電源) キーを押
し、電源を入れる



- ② パスワードを入力

- ③ (決定) キーを押す



全機能ロックが一時解除される
全機能ロック設定画面で、「同時にシークレットを一時解除」の
右欄を「する」にしていた場合、シークレット機能も一時的に解除
される



- 全機能ロックを解除するパスワードは、シークレットを設定するパスワードと同じものです。

全機能ロックを解除する

全機能ロックを解除すると、電源を入れたとき全機能ロックは働かなくなります。

- 1 シークレット画面を表示します
(⇒ 257 ページ)。
- 2 「一時解除」にタッチし、シークレット
機能を一時解除します。
シークレット画面に
「全機能ロック設定」が表示されます。
- 3 「全機能ロック設定」にタッチします。
全機能ロック設定画面が表示されま
す。
- 4 「全機能ロックを」の右欄の
「解除する」にタッチします。
- 5 「設定」にタッチします。
全機能ロックが解除されます。



- メモリー管理画面で「シークレットデータ消去」にタッチし、すべてのシークレットデータを消去すると、パスワードが消去され、設定されていた全機能ロックも解除されます。



データを管理／設定する

パスワードを変更・消去する

パスワードを変更するときは、一度現在のパスワードを消去した後、新しいパスワードを登録し直します。パスワードを消去すると、設定されているシークレット機能と全機能ロックが解除されます。

- 1 シークレット画面を表示します
(☞257ページ)。
- 2 **パスワード消去** にタッチします。
パスワード入力画面が表示されます。
- 3 現在のパスワードを入力し、**決定** キーを押します。
確認のメッセージが表示され、パスワードが消去されます。
- 4 パスワードを変更する場合は、この後、新しいパスワードを登録します
(☞257ページ)。
- 5 **戻る** キーを押して閉じます。



- コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどを装着してパスワードを登録したときのパスワードの変更・消去はカード設定で指定したメモリーカードを装着してパスワードを登録したときは、本体と同じパスワードがメモリーカードにも登録されています。パスワードの登録・変更・消去は本体とメモリーカードに対して同時に行われます。パスワードが設定されたメモリーカードを外したり、カード設定で使用するカードを変更した後、本体のパスワードを変更すると、メモリーカードと本体のパスワードが違ってしまうことになります。この後、元のメモリーカードを装着すると、パスワードが違ってしまうためメモリーカードが使えません。
本体のパスワードを変えるときは、必ずパスワード設定時に指定したメモリーカードを装着し、カード設定でパスワードを設定したメモリーカードに変更してください。



データを管理／設定する



コラム

パスワードを忘れてしまったときは

- シークレット機能を設定していたときは
パスワードを忘れると、シークレットデータやID入力ボードを表示できなくなります。このようなときは、シークレットデータを消去するしか方法がありません。また、ID入力ボードが使えません。
シークレットデータの消去については、「メモリー管理」をご覧ください(☞252ページ)。
- 全機能ロックを設定していたときは
パスワードを忘れると、全機能ロックを解除できなくなり、この製品が使えなくなります。このようなときは、この製品を初期化し、全データを消去しないと使えません。
初期化については、「付録」の章、「初期化する」をご覧ください。

カード

カード

この製品では、当社推奨のCompact Flash™仕様のコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)以下、「カード」と呼びます)を使って、次のことができます。

- 本体のメモリーを拡張し、データの登録件数を増やす(⇨ 271ページ)
- 本体のデータをバックアップ、機能別複製する(⇨ 「バックアップ/リストアとカード複製」276ページ)

この製品では、Compact Flash™仕様のコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)が使用できます。動作確認ができているコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)一覧については、下記のホームページでご確認ください(2000年12月現在)。

URL: <http://zaurus.spacetown.ne.jp/>



- コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を初めて使うときは、内部の状態が一定ではないためメモリーカードのデータを消去しないと使用できないことがあります(故障ではありません)。このときは、表示されるメッセージに従ってメモリーカードを初期化(完全消去(フォーマット))してください。
- コンパクトフラッシュ(Compact Flash)はSanDisk Corporationの商標です。
- インターネットスロット(コンパクトフラッシュカードType /Type 用)では、コンパクトフラッシュメモリーカード以外に別売のコンパクトROMカードやデジタルカメラカード、当社推奨のデータカード型PHSなども使用できます。



- MI-310など(MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1を除く)で使用していたコンパクトフラッシュメモリーカードは、この製品ではそのままでは使用できません。データ変換することにより、この製品で使用できるようになり、カード内のデータを見ることができるようになります。コンパクトフラッシュメモリーカードを取り付けたときにデータ変換を行うかどうかのメッセージが表示されますので、メッセージに従って操作し、データ変換してください。なお、いったんデータ変換を行うと、MI-310など、もとの機種では使用できなくなりますのでご注意ください。
- MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1で使用していたコンパクトフラッシュメモリーカードは、そのまま使用できます。
- 他機種(MI-C1など)で使っていたコンパクトフラッシュメモリーカードに(その機種用の)MOREソフトが入っている場合、この製品にカードを装着しリセット操作を行うと、「この機種では実行できません」と表示されることがあります。これは、カードに入っているMOREソフトがこの製品で使用できないためです。
- ザウルスマップカード(CE-ZM4R)でお店情報を追加するときに写真データを登録することはできません。

カード

データを
保存する

インターネットスロットへのカードの取り付け/取り外し

インターネットスロットには

- ・コンパクトフラッシュメモリーカード ・コンパクトROMカード
- ・デジタルカメラカード ・データカード型PHS ・モデムカード など

を取り付けることができます。

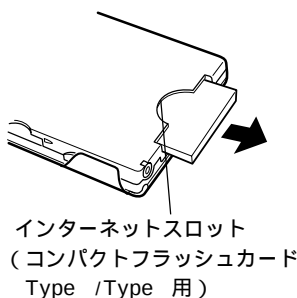
SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)はエンターテインメントスロットへ取り付けます。

コンパクトフラッシュメモリーカードなどを取り付ける

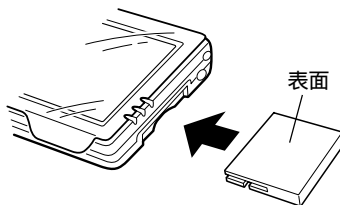
コンパクトフラッシュメモリーカードなどは、以下の手順で取り付けます。

- 1 **(戻る)** (電源)キーをしばらく押して電源を切り、液晶保護カバーを取り付けます。

- 2 すでにカードが入っている場合は、そのカードを抜き取ります。



- 3 カードの表面を上にして、端子側から奥まで確実に挿入します。
カードは、本体の表側とカードの表側が同じ向きになるようにして挿入してください。裏表をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。



カード

データを保存する



- データが異常、とメッセージが表示されたときは、「異常が起きたとき」(「付録」の章)を参照してください。
- データの転送中や通信中などは、**(中断)**キーを押して動作を止めてから電源を切ってください。



- この製品のインターネットスロットで利用できるカードは、当社がMI-E1用として推奨するコンパクトフラッシュメモリーカード/コンパクトROMカード/デジタルカメラカード/データカード型PHS/モデムカードのみです。電子手帳用またはPIシリーズザウルス(PI-3000/PI-4000/PI-4500/PI-5000/PI-6000/PI-6500/PI-6600/PI-8000)で使用されているICカードや、MI-500/MI-600シリーズ用などのPCカードは使用できません。
- 電源が入ったままで、絶対にカードを抜き差ししないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- バックアップなどカードにデータを登録しているときやデジタルカメラカードで撮影しているとき、データカード型PHSで通信しているときなどにカードを取り外すと、データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。カード登録中にカードを引き抜くような扱いはしないでください。また、デジタルカメラカード、データカード型PHSの使用中にカード部のみを持って移動したり、振り回したりしないでください。この製品からカードが外れ、破損や故障の原因となります。
- コンパクトROMカードとSDメモリーカードの両方を装着したとき2つのスロットに、それぞれコンパクトROMカード(たとえば、グランド辞スバ(CE-ZM5R))とSDメモリーカードなどを装着した状態で、SDメモリーカード側のMOREソフトを実行するときは、MOREインデックス画面で、表示されているアイコンを選択して実行してください(MOREインデックス画面には、コンパクトROMカードとSDメモリーカードの両方に入っているMOREソフトのアイコンが表示されています)。
上記の状態ではMOREソフト画面(203ページ)で表示をカード側に切り替えると(カード設定が「SDメモリーカード」に設定されている状態でも) コンパクトROMカードに入っているMOREソフトのみ表示されます。

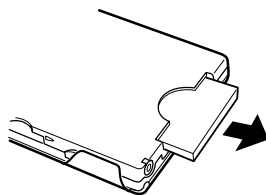
カード

データを保存する

コンパクトフラッシュメモリーカードなどを取り外す

コンパクトフラッシュメモリーカードなどは、以下の手順で取り外します。

- 1 戻る(電源)キーをしばらく押して電源を切り、液晶保護カバーを取り付けます。
- 2 カードを抜き取ります。



- 3 保護カードを取り付けます。



- カードを取り外したときは必ず付属の保護カードを取り付けてください。ほかの保護カードを取り付けしないでください。カードが使用できなくなることがあります。

エンターテインメントスロットへのカードの取り付け/取り外し

エンターテインメントスロットには、SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を取り付けることができます。コンパクトフラッシュメモリーカードやデータカード型PHSなどはインターネットスロットに取り付けます。



- SDメモリーカードは初期化(フォーマット)して出荷されておりますので、そのままお使いください。パソコンなどで再初期化すると、この製品で使用できなくなります。ご注意ください。

SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を取り付ける

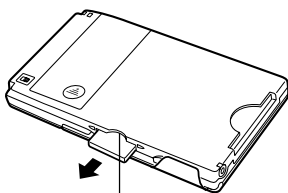
SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)は以下の手順で取り付けます。

- 1 戻る(電源)キーをしばらく押して電源を切り、液晶保護カバーを取り付けます。

- 2 すでにカードが入っている場合は、そのカードを抜き取ります。
カードの取り外しは次ページをご覧ください。

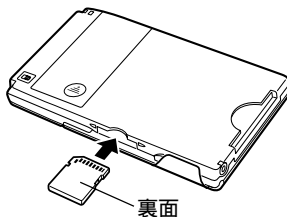
- 3 本体を裏にします。カードの裏面を上にして、端子側から奥まで確実に挿入します。

カードは、本体の裏側とカードの裏側が同じ向きになるようにして挿入してください。裏表をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。



エンターテインメントスロット

(SDメモリーカード/マルチメディアカード(MMC)用)



カード

データを保存する



- データが異常、とメッセージが表示されたときは、「異常が起きたとき」(「付録」の章)を参照してください。
- データの転送中や通信中などは、中断キーを押して動作を止めてから電源を切ってください。
- SDメモリーカードの著作権保護について
この製品は、SDメモリーカードの著作権保護機能には対応していません。



ライトプロテクトスイッチについて

SDメモリーカードにデータを書き込むときは、ライトプロテクトスイッチをオフにして書き込める状態にしてください。ライトプロテクトスイッチをオンにして装着すると、このカードを認識できません。ライトプロテクトスイッチのくわしいことは、SDメモリーカードに付属の説明書をご覧ください。



ライトプロテクトスイッチ



- この製品のエンターテインメントスロットで使えるSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)は、当社がMI-E1用として推奨するSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)のみです。
- 電源が入ったままで、絶対にカードを抜き差ししないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- バックアップなどカードにデータを登録しているときにカードを取り外すと、データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。カード登録中にカードを引き抜くような扱いはしないでください。

SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を取り外す

SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)は以下の手順で取り外します。

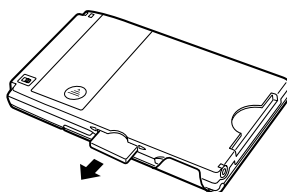
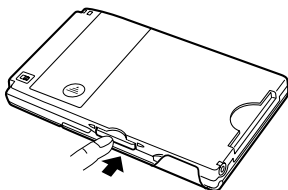
カード

データを保存する

- 1 **戻る(電源)**キーをしばらく押して電源を切り、液晶保護カバーを取り付けます。

- 3 スロットから外れたカードを抜き取ります。

- 2 カードの端を指で押します。カードがスロットから外れます。



本体のメモリーを拡張する

メモリーカードを取り付けると、本体とは別に、次の機能のデータをカード側に登録でき、データの登録件数を増やすことができます。

- ・スケジュール ・記念日 ・アドレス帳 ・フォトメモリー
- ・アクションリスト ・インクワープロ ・メール
- ・インターネットライブラリ ・MOREソフト ・パソコンデータ
- ・情報ファイル

このため、

- ・ビジネス用は本体、プライベート用はカードなどと、目的別にデータを登録して管理できます。
- ・フォトメモリーのデータはカードに登録、ほかの機能のデータは本体に登録するなど、機能別にデータの登録先を変えることができます。

●登録するカードについて

パネルの(機能)(カード)キーをしばらく押して登録先をカードに切り替えた場合、登録の対象となるカードは、ユーザー設定のカード設定で指定したカード(コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC))です(☞251ページ)。

一度に両方のメモリーカードを使うことはできません。

データの登録先を切り替える

データの登録先を本体からカードへ、カードから本体へ切り替えます。

- スケジュール、記念日、アドレス帳、フォトメモリー、アクションリスト、インクワープロ、メール、インターネットライブラリ、情報ファイルではまずユーザー設定のカード設定で、データを登録するカード(コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC))を指定します(☞251ページ)。

データの登録先を切り替えるには、パネルの(機能)(カード)キーをしばらく押します。登録先が本体→カードに切り替わります。カードを本体に切り替えるには、再度パネルの(機能)(カード)キーをしばらく押します。

カードに切り替わると、画面左上の各機能のアイコンがカードアイコン( または )に変わります。カードアイコンについては、次ページの「メモ」をご覧ください。

カードアイコンを表示させているときに登録したデータはカードに登録されます。カードアイコンを表示していないときは、本体にデータが登録されます。たとえば、アドレス帳でパネルの(機能)(カード)キーをしばらく押してカードアイコン( または )を表示させると、アドレス帳のデータをカードに登録できるようになります。

カード

データを保存する

なお、本体側に登録されるのか、カード側に登録されるのかは画面左上のアイコンを確認してから操作を行ってください。本体側に登録したつもりで、データの登録先がカード側になっているとカード側に登録されます。

カードだけを登録先にするときは、各機能でカードアイコンを表示させます。本体だけを登録先にするときは、各機能でカードアイコンを表示させずに各機能のアイコンを表示させます。



- カードに登録されたデータの表示・修正・通信などは、パネルの(機能)(カード)キーをしばらく押してカードアイコン( または )を表示させ、本体データと同じように操作します。
- アドレス帳やメール機能などで本体メモリーからカードメモリーに切り替えるときは、SDメモリーカードまたはマルチメディアカード(MMC)を装着し、カード設定が「SDメモリーカード」になっていると  が表示され、コンパクトフラッシュメモリーカードを装着し、カード設定が「CFメモリーカード」になっていると  が表示されます。
SDメモリーカードなどとコンパクトフラッシュメモリーカードの両方を装着していても、カードメモリーに指定できるのは、カード設定で指定されているどちらか一方のみです。カード設定については、251ページをご覧ください。
- カード設定で指定したカードが装着されていない場合(もう一方のカードが装着されていても)、パネルの(機能)(カード)キーを押してもカードには切り替わりません。たとえば、SDメモリーカードなどを装着してパネルの(機能)(カード)キーを押してもカードに切り替わらないときは、カード設定がコンパクトフラッシュメモリーカードに設定されている可能性があります。カード設定を確認してください(☞251ページ)。

カード

データを
保存する

- ミュージックプレーヤー、ムービープレーヤーでは
『取扱説明書(AVガイド)』の「ミュージックプレーヤー」の章、「ムービープレーヤー」の章をご覧ください。
- MOREソフト、パソコンデータでは
MOREソフト画面、パソコンデータ画面の  にタッチし、カードと本体を切り替えます。
- アクションプランナーでカードデータを抽出するとき
アクションプランナーで、カードのデータを抽出するときは、関連語入力画面で  にタッチしてカードを抽出対象に選択します。抽出したデータは、カードの情報ファイルに入ります。
- その他
各機能別の検索や絞り込みは、本体とカードで登録先ごとに別々に行います。検索や絞り込みを行いたい機能でパネルの(機能)(カード)キーをしばらく押し、本体またはカードに切り替えてから実行してください。

本体のデータをバックアップしたり、カードに複製する

本体のデータをカードにバックアップしたり、機能別に複製することができます。くわしくは、「バックアップ/リストアとカード複製」(276ページ)をご覧ください。

- バックアップ

本体の全データをカードにバックアップします。

大切なデータが消えてしまっても取り返しがつきません。この機能を使って、全データをカードにバックアップしておくことをおすすめします。

バックアップを定期的(1週間や10日間など)にすると、最新のデータを常に保存できます。

- 機能別複製

アドレス帳、スケジュール、記念日、アクションリスト、フォトメモリー、リンクワープロ、メール、インターネットライブラリのデータをカードに複製します。

カード

データを保存する

カードデータロック機能について

カードデータロック機能とは

カードデータロック機能とは、カードのデータをほかの製品で見られないようにする機能です。カードと本体のパスワードが一致しないと、自動的にカードのデータをロックして使えなくします。

パスワードの設定・解除はシークレット機能で行います(☞257、259ページ)。

パスワードを登録する

本体、カードとも、パスワードが登録されていない状態で、カードを装着し、本体にパスワードを登録します。これで、本体とカードに同じパスワードが登録されます。パスワードが登録されるカードは、カード設定で指定したコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード(マルチメディアカード(MMC))のどちらか一方です(両方のスロットにカードを装着していても、両方のカードにパスワードは登録されません)。

パスワードを消去する

本体、カードとも、同じパスワードが登録されているときに、カードを本体に装着し、本体のパスワードを消去します。これで、本体とカードのパスワードが消去されます。



- メモリー管理画面(☞252ページ)で「シークレットデータ消去」にタッチすると、本体とカードの両方のシークレットデータとパスワードが消去されます。注意してください。
- カード設定で指定したカードを装着してパスワードを登録したときは、本体と同じパスワードがカードにも登録されています。パスワードの登録・消去は本体とカードに対して同時に行われます。パスワードが設定されたカードを外したりカード設定で使用するカードを変更した後、本体のパスワードを消去すると、もとのカードにはパスワードが登録されたままになります。この後、もとのカードを装着すると、パスワードが登録されているためカードが使えません。
本体のパスワードを消去するときは、必ずパスワード設定時に指定したカードを装着し、カード設定でパスワードを設定したカードに変更してください。

カード

データを
保存する

カードデータロックの状態と解除方法

本体とカードのパスワード登録状況によって、ロック状態と解除方法は次のようになります。

この表の「カード」は、コンパクトフラッシュメモリーカード、SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)にかかわらずカード設定で指定しているメモリーカードを表しています。

パスワード登録		電源を入れたときの メッセージ	対処方法
本体	カード		
×	×		・カードは使用できる
○	○		
○	×	カードにパスワードが登録されていません 本体のパスワードをカードに登録します よろしいですか？	・「はい」を選択すると、本体のパスワードがカードに登録されカードが使用できる ・「いいえ」を選択すると、カードにはパスワードは登録されず、カードは使用できる
×	○	カードにパスワードが登録されているため、このカードは使えません……	・「はい」を選択して本体にカードと同じパスワードを登録する その後、電源を切って入れ直す ・「いいえ」を選択してカードのシークレットデータ、パスワードを消去する
○		本体とカードのパスワードが違います このカードは使えません	・本体のパスワードを消去し、改めてカードと同じパスワードを登録する その後、電源を切って入れ直す

× …パスワードなし ○ …パスワード1 …パスワード2



- パネルの機能(カード)キーをしばらく押しても、カードのデータが選択できず、カードアイコン(または)も表示しないときは、カードがロックされているか(SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがオンになっているか)カード設定とは違うカードが装着されています。
このようなときは、いったん電源を切り、電源を入れ直します。上記の表のいずれかのメッセージが表示されたら、対処してください。
- カードのパスワードを忘れて使えないときは、本体のパスワードを消去してから電源を切って入れ直し、上記の表の3番目の対処をしてください。

カード

データを保存する

バックアップ/リストア とカード複製



当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード（MMC）以下、「カード」と呼びます）に、本体に登録した全データを保管（バックアップ）したり、バックアップした全データを読み出す（リストア）ことができます。また、機能別にデータを複製したり、別のMI-E1にデータを移すこともできます。

コンパクトフラッシュメモリーカードとSDメモリーカードなどの切り替えは、ユーザー設定のカード設定画面で行います（☞251ページ）。

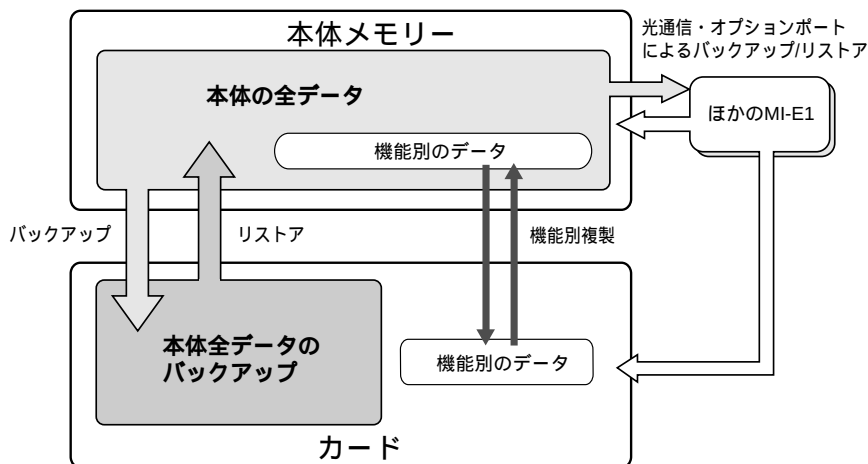
ここでは、

- ・カードに本体の全データを保管（バックアップ）する（☞次ページ）
- ・ほかのMI-E1へ全データを送信する（☞280ページ）
- ・カードにデータを機能別に複製する（☞「機能別複製」281ページ）

を説明します。



- ・パソコンにバックアップをするには
パソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」（別売のパソコン連携キットCE-PCK1に付属）や「マルチメディア個人情報管理ソフトPowerPIMM Ver 3.5 CE-S35PM」を使うと、パソコンにバックアップをすることができます（PowerPIMMでのバックアップについては、PowerPIMMのヘルプをご覧ください）。
Ver 3.51以降にバージョンアップのうえ、ご利用ください。
くわしくは、「MI-E1システムのご案内」をご覧ください。



データを保存する

全データをカードへ保管(バックアップ)する

次の内容をカードに保管(バックアップ)します。

● 保管(バックアップ)できる内容

- ・情報ファイル ・スケジュール ・休日設定 ・記念日 ・アドレス帳
- ・フォトメモリー ・アクションリスト ・インクワープロ
- ・インターネットライブラリ ・ユーザー設定の各内容
- ・各機能の設定内容 ・シークレットの状態 ・パスワード
- ・所有者情報 ・受信簿 ・送信簿 ・分類条件設定 ・接続先情報
- ・予約録画の設定情報 ・接続機器情報 ・キャッシュの内容
- ・マークページ ・通信記録 ・MOREソフト ・MOREドライバー
- ・パソコンデータなどのデータ



- ・充電電池が消耗しているとき(ステータス表示の  の表示が0%に近いとき)は、バックアップおよびバックアップデータの消去ができません。ACアダプターを接続してください。
- ・バックアップを中止したときや何かの原因でバックアップが中止されたときは、データが正しくバックアップされません。必ず、バックアップ先のデータを消去してください。
- ・カードにバックアップしたデータは、検索の対象にはなりません。
- ・バックアップすると、シークレット機能のパスワードもバックアップされます。バックアップしたデータを本体に呼び出す(リストア)と、パスワードもバックアップしたときの状態に戻ります。また、オプションポート16や光通信でバックアップ(☞280ページ)を行ったときは、受信側のパスワードは送信側のパスワードに置き換わります。
- ・MI-E1の全データをカードにバックアップしたものを、MI-P1シリーズなどほかのザウルスに移して使用することはできません。



- ・シークレット機能が設定されているときは、シークレット機能を解除(☞259ページ)してからバックアップしてください。



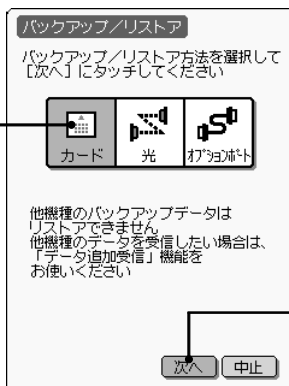
データを保存する

全データをカードにバックアップする バックアップ

本体の全データをカードにバックアップします。あらかじめカード設定でバックアップするカードに切り替えてください(☞251ページ)。

- ① (ホームインデックス) キーを数回押し、データ通信画面で $\odot$ を使って
バックアップ/リストア アイコンを選択し (決定) キーを押す

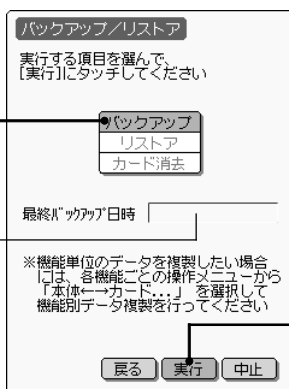
- ② カード にタッチ



- ③ 次へ にタッチ

バックアップ/リストア画面

- ④ バックアップ にタッチ



最後にバックアップした日時。
一度もバックアップしたことがない場合は何も表示されない

- ⑤ 実行 にタッチ

- ⑥ 確認のメッセージで はい にタッチ



- 一度バックアップを行ったカードを使って、再びバックアップを行うと、前回保管したデータは上書きされます。前回保管したデータを残したいときは、別のカードにバックアップを行ってください。

バックアップしたデータを呼び出す

リストア

カードにバックアップしたデータを本体に呼び出します(リストア)。
あらかじめカード設定でリストアするカードに切り替えてください(251
ページ)。



ご注意

- バックアップしたデータとMOREソフト、MOREドライバーをカードから本体に呼び出すと、本体のデータとMOREソフト、MOREドライバーはすべてなくなります。ご注意ください。オプションポート16や光通信でリストアを行ったときも同様です。

- 1 バックアップ/リストア画面を表示
します(前ページ)。
- 2 **カード**、**次へ**にタッチします。
- 3 **リストア**、**実行**にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。
- 4 **確認**にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。
- 5 **はい**にタッチします。
データが本体に呼び出されます。



- バックアップしたカードのデータを消去するときは
手順 3で**カード消去**、**実行**にタッチします。
- ほかのザウルスのデータをバックアップしたカードをこの製品に呼び出すことは
できません。



デ
ー
タ
を
保
存
す
る

ほかのMI-E1へ全データを送信する

この製品の通信機能(光通信またはオプションポート16)を使って、ほかのMI-E1に全データを送信(バックアップ)することができます。

ここでは光通信機能を使った例で説明します。

●送信側の操作

- 1 バックアップ/リストア画面を表示します(☞278ページ)。
- 2 **光**、**次へ**にタッチします。
- 3 **バックアップ**、**本体**、**次へ**にタッチします。
全データの送信を実行する画面が表示されます。

受信側を受信待ちの状態にします。

- 9 相手が受信待ちになったら、**実行**にタッチし、確認のメッセージで**はい**にタッチします。
「送信中(IrDA 115kbps)」と送信状況を示すバーチャートが表示され、送信が終わると、「送信中!」の表示が消えます。

●受信側の操作

- 4 バックアップ/リストア画面を表示します(☞278ページ)。
- 5 **光**、**次へ**にタッチします。
- 6 **リストア**、**本体**、**次へ**にタッチします。
受信待ちの状態にする画面が表示されます。
- 7 **実行**にタッチします。
全データの消去を確認するメッセージが表示されます。
- 8 **はい**にタッチします。
「受信中(IrDA 115kbps)」が表示され、受信待ちになります。

送信側で送信を実行させます。

受信が終わると、「受信中!」の表示が消えます。



●通信する相手

光通信、オプションポート16での通信にかかわらず、通信相手は、MI-E1だけです。

●オプションポート16でバックアップするとき

接続のしかたは307ページをご覧ください。手順 2 と 5 の **光** の代わりに

オプションポート にタッチしてください。また手順 3 の画面で **条件設定** にタッチして、オプションポート16の条件設定をお互いに相手に合わせます。

- 送信される内容は、277ページの「●保管(バックアップ)できる内容」をご覧ください。また、277、前ページの「ご注意」も併せてご覧ください。



データを保存する

機能別にカードへデータを複製する 機能別複製

機能別にデータを複製して、カードに保存します。機能別に複製できるのは、次の機能です。

- ・アドレス帳 ・スケジュール ・記念日 ・アクションリスト
- ・フォトメモリー ・メール ・インクワープロ
- ・インターネットライブラリのデータ

また、カードに保存したこれらのデータを本体に複製することができます。



- ・情報ファイルに分類しているデータを本体メモリーとカードの間で複製・移動すると情報ファイルの分類情報は複製・移動されません。このため、複製・移動先では、未分類データになりますのでご注意ください。
- ・シークレットが設定されているときは、シークレットデータは複製・移動しません。シークレットデータも複製・移動の対象とするには、シークレット機能を解除してから操作してください(☞259ページ)。

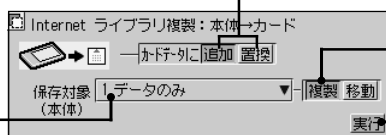
本体のデータをカードに複製する 本体→カード

機能別のデータをカードに複製します。

ここではインターネットライブラリの1データを、カードに複製して保存します。

- ① 複製したいインターネットライブラリのデータを、を使って一覧画面で選択
- ② **操作メニュー** キーを押し、**通信** タブ、**本体→カード...** を選択し **決定** キーを押す

- ③ この枠内にタッチし、表示されたメニューから、データの範囲を選択
- ④ 複製方法を指定
- ⑤ **複製** にタッチ
- ⑥ **実行** にタッチ



- ⑦ 「カードデータに」で **置換** を選んだときは、確認メッセージで **はい** にタッチ



データを保存する

画面の説明

カードデータに

追加 ... 指定したデータがカードに追加されます。

置換 ... カードのインターネットライブラリなどの全データが、複製したデータに上書きされ、複製する前のデータはなくなります。

複製

本体のデータは残ります。

移動

本体のデータがカード側に移動します。

本体のデータは削除され、なくなります。

保存対象

1データのみ

表示中の1データ、一覧画面で選択した1データのみを複製します。

全Internetライブラリ

選択した機能によって名称は異なります。本体の選択した機能の全データを複製します。

指定以降のデータ

表示中のデータ以降、または一覧画面で選択したデータ以降(指定データおよびそれより前に登録されたデータ)を複製します。

カードのデータを本体に複製する カード→本体

カードに入っているインターネットライブラリなどのデータを、本体に複製します。

1 本体に複製する機能の画面を表示します。

2 パネルの**機能**(カード)キーをしばらく押します。
カードに保存されているデータの画面に変わります。

3 複製するデータを $\odot$ を使って一覧画面で選択します。

4 **操作メニュー**キーを押し、**通信**タブ、**本体↔カード...**を選択し**決定**キーを押します。

Internet ライブラリ複製:カード→本体画面などが表示されます。

5 複製する方法(ここでは**追加**)と保存対象(ここでは**1データのみ**)を指定し、**複製**、**実行**にタッチします。
置換を選んだときは、確認のメッセージが表示されます。**はい**にタッチします。
カードのデータが本体に複製されます。



• 複製した後のデータの扱い

• 本体データ

追加 ... 指定したデータが本体に追加されます。

置換 ... 本体のインターネットライブラリなどの全データが、複製したデータに上書きされ、複製する前の本体のデータはなくなります。

• カードデータ

複製 ... カードのデータは残ります。

移動 ... カードのデータが削除され、なくなります。

• 複製するデータ範囲は、上記の「画面の説明」をご覧ください。



データを保存する

パソコンとの連携(PCリンク)



PCリンクは、パソコンとのデータ通信を行うための機能です。

PCリンクには、PowerリンクとPowerPIMMリンク、パソコンリンクの3つの形式があり、パソコン側のソフトによって使い分けします。

- Powerリンク 別売のパソコン連携キットCE-PCK1に付属のパソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」や「マルチメディア個人情報管理ソフトPowerPIMM Ver 3.5 CE-S35PM」(☞下記の「メモ」)と通信する場合に使います。
- PowerPIMMリンク 「ザウルスパワーコネクション Ver 1.0 ~ 2.0」や「ザウルスパワーリンク for Microsoft Outlook」と通信する場合に使います。
- パソコンリンク 上記の「Powerリンク」、「PowerPIMMリンク」を使用しないパソコンリンクソフトに対応するための機能です。

パソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」(別売のパソコン連携キットCE-PCK1に付属)を使うと、インターネットライブラリ、フォトメモリーの画像データなどをパソコンとの間で送受信ができます。また、「スケジュール」、「アクションリスト」、「アドレス帳」とMicrosoft Outlook2000/Outlook98/Outlook97との間で、お互いのデータを最新のものに更新することができます。くわしくは、「CE-PCK1取扱説明書」およびパソコン連携ソフトの「ヘルプ」をご覧ください。

マルチメディア個人情報管理ソフトPowerPIMM Ver 3.5 CE-S35PM(☞下記の「メモ」)を使うと、パソコンとデータを連携できます。「スケジュール」、「アクションリスト」、「アドレス帳」などのデータをPowerPIMMとの間で、お互いのデータを最新のものに更新することができます。



- マルチメディア個人情報管理ソフトPowerPIMM Ver 3.5 CE-S35PMは、Ver 3.51以降にバージョンアップのうえ、ご利用ください。同梱の「MI-E1システムのご案内」もご覧ください。
- この製品は、Ver 3.51より前のバージョンのPowerPIMMには対応していません。
- PIMとは、Personal Information Managementの略で、スケジュールやアドレス帳などの個人情報を管理することです。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。



PCリンク

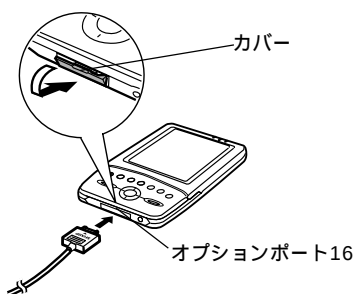
ほかの
機器と
通信する

通信方法について

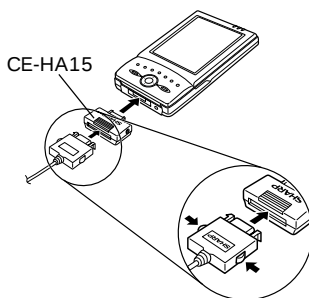
PCリンクを使ってパソコンと通信するときの方法には、次の2つがあります。

- ・ オプションポート16を使ったケーブル通信
 - ・ 光通信 (IrDA方式)
- オプションポート16を使ったケーブル通信
- 通信方法によって、次の別売品が必要になります。
- ・ 別売のパソコン連携キット (CE-PCK1) に付属のUSB接続ケーブルCE-175TU
 - ・ 別売のパソコン接続ケーブル (RS-232C接続用) CE-170TS、CE-155TS、CE-150TS

CE-155TS/150TSを使用する場合、オプションポート変換アダプター (CE-HA15) が必要です。



CE-175TUの場合



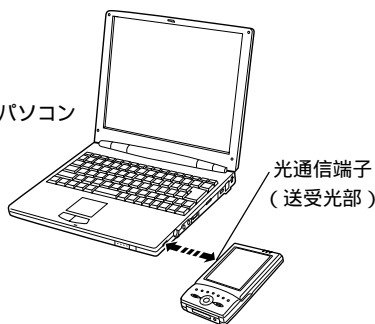
CE-155TS・CE-150TSの場合

- ・ ケーブルを接続するとき、キーボードは閉じてください。
- ・ ケーブルのザウルス側のコネクターは、「SHARP」マークが上になるようにして接続してください。
- ・ CE-HA15接続時にACアダプターを接続するには、CE-HA15のACアダプタージャックを使用してください。

● 光通信 (IrDA方式)

光通信を使って通信するときは、光通信ポートが内蔵されているパソコンをお使いください。

DOS/Vパソコン



光通信 (295ページ)

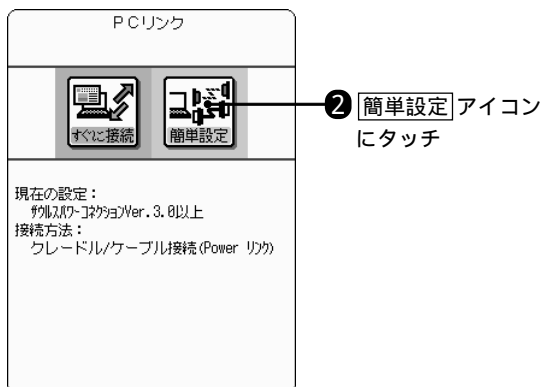


- ・ この製品では、キーボードを使用しているときは、オプションポート変換アダプター (CE-HA15) を接続できません。キーボードを収納した状態で接続してください。

Powerリンク、PowerPIMMリンクを使う

パソコンと接続してデータの送受信を行うために、この製品のPCリンクの設定を行います。この設定は1度行えば、次回から「メールチェック」(PCリンクスタート)キーを約2秒以上押すか、PCリンク画面の「すぐに接続」アイコンを選択するだけで、同じ設定内容でパソコンと接続できます。

- ① 「ホームインデックス」キーを数回押し、データ通信画面でを使って「PCリンク」アイコンを選択し、「決定」キーを押す

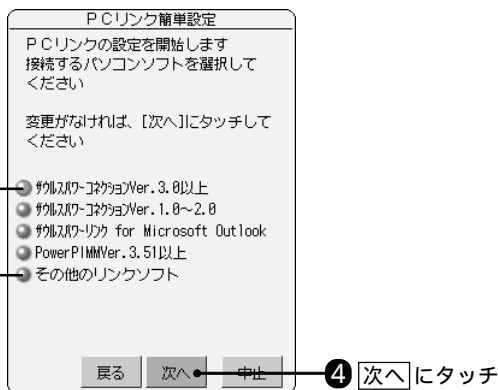


PCリンク画面



- ③ 接続するパソコンソフトにタッチして選択

パソコン連携キットCE-PCK1に付属のパソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」の場合は、「ザウルスパワーコネクションVer.3.0以上」を、PowerPIMMの場合は「PowerPIMMVer.3.51以上」を選択します。



PCリンク簡単設定画面



ほかの機器と通信する

- 5 接続方法にタッチして
選択

[戻る]にタッチすると、
1つ前の画面に戻る

PCリンク簡単設定

接続方法を選択してください

変更がなければ、[次へ]にタッチしてください

クレードル/ケーブル接続
光通信

戻る 次へ 中止

- 6 [次へ]にタッチ

- 7 これ以降、画面のメッセージに従って選択

PCリンク簡単設定

PCリンクの設定が終了しました

接続するPCソフト：ザウルスパワーコネクションVer. 3.0以上

接続方法：クレードル/ケーブル接続

設定を登録後、
PCリンクを実行しますか？

戻る 設定 PCリンク実行 中止

- 8 パソコン側が実行可能な状態(次ページの「メモ」・パソコン側での準備)になっていることを確認し、[PCリンク実行]にタッチし、PCリンクを実行
すぐに実行しないときは[設定]にタッチして設定内容を登録する

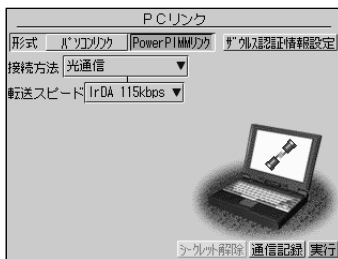
- 9 パソコンに接続されたら、ザウルスパワーコネクションやPowerPIMMなどの機能を実行



ほかの機器と通信する



- ザウルス認証情報について(PowerPIMMリンク使用時)
ザウルスとパソコン間で通信を行うとき、特定のザウルスとのみ通信したい場合は、ザウルス側でザウルス認証情報を設定します。ザウルス認証情報の「名前」と「パスワード」は、パソコン側のソフトの設定と同じものを入力してください。パスワードは必ず半角英数字で指定してください。
パソコン側のソフトでザウルス認証情報設定を行わないときには、ザウルス側の「名前」の入力を省略できますが、実行時にパスワードの入力が要求されます。そのときは、任意の英数字をパスワードとして入力してください。
- パスワードの入力手段について(PowerPIMMリンク使用時)
パスワードの入力手段を「あらかじめ登録しておく」に設定すると、自動的にパスワードが入力され便利ですが、この製品を紛失したり他人に使われたとき、通信してデータを勝手に読まれる恐れがありますので、この製品の管理に十分ご注意ください。
入力手段を「接続毎に入力」に設定すると手順 ⑧ の後、パスワードの入力が要求されます。
- パソコン側での準備
 - 1 ケーブルを使うときは、この製品とパソコンを接続します。
 - 2 パソコンでザウルスパワーコネクションやPowerPIMMを起動し、この製品と通信できる状態にします。くわしくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 2回目以降の接続は
一度「PCリンク簡単設定」で接続のしかたを設定すると、2回目以降は
(メールチェック)(PCリンクスタート)キーを約2秒以上押すか、PCリンク画面で
「**すぐに接続**」アイコンにタッチすると接続できます。PCリンク画面の下の部分には、現在設定されている内容が表示されます。
- 「ザウルスパワーコネクション」, 「ザウルスパワーリンク for Microsoft Outlook」
「PowerPIMM」以外のリンクソフトと通信するときは
手順 ③ で「その他のリンクソフト」を選び、**次へ** にタッチして、下記のPCリンク画面でPCリンクの形式や接続方法などを選択し、**実行** にタッチしてPCリンクを実行します。



ほかの機器と通信する

通信時のご注意などについて



- ザウルスパワーコネクション、PowerPIMMなどのパソコンソフトと通信する場合、ザウルス側のメモリーに空き容量が必要です。空き容量が少ないと、通信時間が長くなったり、通信できないことがあります。この製品に登録されているデータの内容によっては、メモリー使用量を50%以下に減らしていただく必要がある場合もあります。また、通信終了後も、メモリー使用量を確認し、必要に応じてメモリー整理を行ってください。
- パソコンにデータを送って活用する場合、それらのデータのタイトルにはWindows 95/Windows 98/Windows Meなどでファイル名として使用を禁止されている記号(¥ / : ; * ? " < > |)は使わないでください。



- 光通信するときは、光通信部をまっすぐに対向させ、相手機との距離を約20cm以下にしてご使用ください。
- PCリンク実行中は、ほかの機能に移ることはできません。
- シンクロナイズ解除について
何回かシンクロナイズを実行し、以後シンクロナイズを実行する必要がなくなった場合には、「シンクロナイズ解除」を実行します。シンクロナイズ解除を行うにはPCリンク画面で、(機能)キーを押した後、(順送り)キーを押します。
ご注意：「シンクロナイズ解除」を実行した後、再びPowerPIMMとのシンクロナイズを行うと、この製品側およびPowerPIMM側ともデータが2重に登録されますので、ご注意ください。再びシンクロナイズを行う可能性があるときには、決して「シンクロナイズ解除」を実行しないでください。
ザウルスパワーコネクションでシンクロナイズを実行したときも同様です。
- PowerPIMM、ザウルスパワーコネクションでは、シークレット機能が設定されていると、PCリンクを使用できません。シークレット解除にタッチしてシークレット機能を解除してください。
- パソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」を使うときのシークレットの扱い
この製品にシークレット機能を設定している場合、あらかじめパソコン側の「ザウルスパワーコネクション」にシークレットのパスワードを登録しておくと、自動的にパスワードを照合し、シークレットを解除します。
- パソコン側のPowerPIMMのバージョンによっては、連携できる内容が異なります。



ほかの機器と通信する

パソコンリンクを使う

パソコンリンク

パソコンリンクは、パソコンと接続してデータの送受信を行うための機能です。
この機能はパソコン側でコントロールされます。

この機能を使うには、パソコン、パソコン側のパソコンリンクソフト、接続用ケーブル(光通信を使わないとき)などが必要です。この製品のみでは使用できません。

● 通信方法

次の2つの通信方法があります。

- オプションポート16を使ったケーブル通信
- 光通信(IrDA方式)

● 設定のしかた

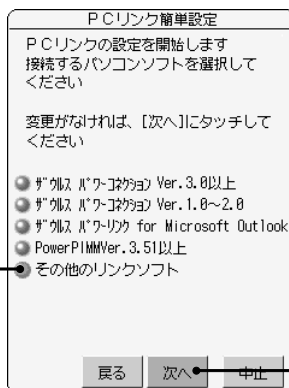
① データ通信画面で

「PCリンク」アイコンを選択し、「決定」キーを押す



② 「簡単設定」アイコンにタッチ

PCリンク画面



③ 「その他のリンクソフト」にタッチして選択

④ 「次へ」にタッチ

PCリンク簡単設定画面



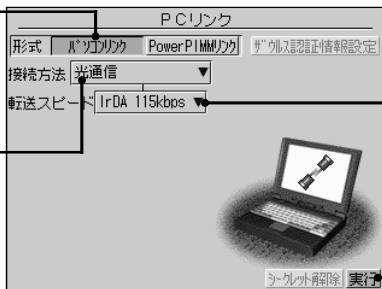
ほかの機器と通信する

5 パソコンリンクに

タッチ

6 この枠内にタッチ

し、表示されたメニューから接続方法を
選択



7 この枠内にタッチし、表示されたメニューから転送速度を選択

8 実行にタッチ

PCリンク(パソコンリンク)画面



- ・パソコンリンクを実行中のままにしておくと、充電池が早く消耗します。また、自動節電機能も動きません。使用しないときや、通信が終了したときは、**中断**キーを押してパソコンリンクの実行を終了させてください。
- ・パソコンリンクを中断するときには、**中断**キーを押します。
- ・シークレット機能が設定されているときは、パソコンリンクはできません。**一時解除後実行**にタッチしてシークレット機能を解除してください。
- ・2回目以降の接続は一度「PCリンク簡単設定」で接続のしかたを設定すると、2回目以降は**メールチェック**(PCリンクスタート)キーを約2秒以上押すか、PCリンク画面で**すぐに接続**アイコンにタッチして接続できます。PCリンク画面の下の部分には、現在設定されている内容が表示されます。



ほかの機器と通信する

PC送信箱/PC受信箱を使う

別売のパソコン連携キット(CE-PCK1)に付属のザウルスパワーコネクションを使って、パソコンとデータのやり取りを手軽に行うことができます。送信するデータを各機能からPC送信箱に入れておき、まとめてパソコンに送信することができます。パソコンから受信したデータはPC受信箱に入り、一覧表示することができます。



- パソコン側の操作については、別売のパソコン連携キット(CE-PCK1)に同梱の取扱説明書やヘルプをご覧ください。

PC送信箱にデータを入れる

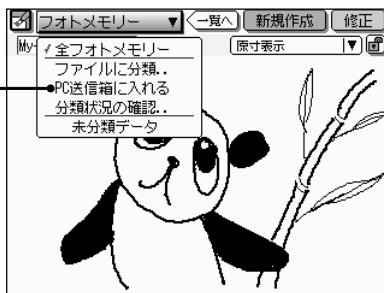
フォトメモリーの画像データなどをPC送信箱に入れて、まとめてパソコンに送ることができます。

ここでは、フォトメモリーで作成したデータをパソコンに送ります。

- ① パソコンとこの製品をUSB接続ケーブルなどで接続
- ② 送信するフォトメモリーのデータを表示
一覧画面ではデータを選択する

- ③ 画面左上の

フォトメモリー▼
にタッチし、表示さ
れたメニューから
PC送信箱に入れる
を選択

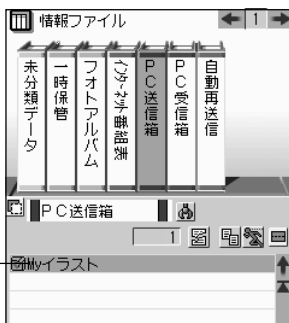


- ④ (ホームインデックス)キーを数回押し、データ通信画面で
⊙を使って PC送信箱 アイコンを選択し、(決定)キーを押す



ほかの
機器と
通信す
る

送信するデータが表示
される



5 (メールチェック) (PCリンクスタート) キーをしばらく(約2秒以上)押す



- (メールチェック) (PCリンクスタート) キーを約2秒以上押し続けます。キーを押す時間が短いと、「メールチェック」が動いてメール受信が行われますのでご注意ください。



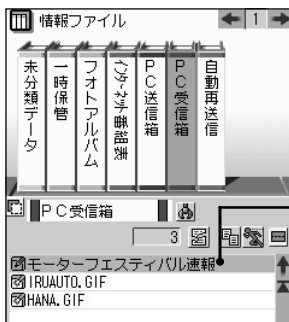
- PC送信箱に登録してパソコン側(ザウルスパワーコネクションのザウルス受信箱)に送ることができる機能については、別売のパソコン連携キット(CE-PCK1)に同梱の取扱説明書をご覧ください。

PC受信箱で受信したデータを確認する

パソコンからこの製品にデータをまとめて取り込むことができます。取り込んだデータはPC受信箱に入ります。

ここでは、受信したデータを確認します。

- 1 (ホームインデックス) キーを数回押し、データ通信画面で $\odot$ を使って「PC受信箱」アイコンを選択し、(決定)キーを押す



- 2 上下の $\odot$ を使って見たいデータを選択し、(決定)キーを押す



- PC受信箱に入ったデータは、除外したり、ほかの情報ファイルに移動するまでPC受信箱の一覧に表示されます。除外したり、ほかの情報ファイルに移動したりする方法は、「情報ファイル」の章をご覧ください。



ほかの機器と通信する

データ交換



MI-E1どうし、またはほかのザウルスなどとデータを交換できます。データ交換すると、ほかのザウルスなどでこれまで使っていたアドレス帳やスケジュールなどのデータをこの製品で活用できるようになります。
データ交換は、光通信またはオプションポート16を使って行います。

通信方法、通信できる機種

MI-E1どうし、またはほかのザウルスなどとは、次のように通信できます。
ワープロと通信する場合は、309ページをご覧ください。

●通信方法

通信方法	説明
光通信(IrDA方式) (☞295ページ)	1データまたは複数データの通信(操作メニューの「通信」タブの「光通信...」を使う)
オプションポート16 (☞307ページ)	1データまたは複数データの通信(オプションポート変換アダプターCE-HA15と通信ケーブルCE-400Lで接続)

●通信できる機種(2000年12月現在)

分類名	機種	通信できる方法			
		光通信	参照ページ	オプションポート	参照ページ
ザウルス	MI-E1	○	295	○	307
	MI-P10	○	295	○	307
	MI-C1シリーズ	○	295	○	307
	MI-J1	○	295	○	307
	MI-EX1	○	295	○	307
	MI-P1/MI-P2シリーズ	○	295	○	307
	MI-610	○	295	○ ^{(*)1}	307
	MI-506/MI-504	○	295	○ ^{(*)1}	307
	MI-310	○	295	○	307
	MI-110M/MI-106M/MI-106	○	295	○	307
	MI-10	○	295	○ ^{(*)1}	307
	PI-8000/PI-7000/PI-6600/ PI-6500/PI-6000/PI-5000/ PI-4500/PI-4000/PI-3000	-	-	○ ^{(*)1}	307
液晶パッド	PA-Z900	○ ^{(*)2}	303	-	-
コミュニケーションパル	MT-300/MT-200シリーズ	○	295	-	-
液晶デジタルスチルカメラ	VE-LC2	○ ^{(*)3}	304	-	-
デジタルカラープリンタ	VP-EC2	○ ^{(*)3}	304	-	-

データ
交換

ほかの
機器と
通信す
る

*1： オプションポート15で通信できます。

*2： IrDA方式で光通信します。

*3： IrTran-P方式で光通信できます。

- ・ 参照ページの欄には、その操作の主な説明をしているページが記載されています。通信ケーブルの接続のしかた(☞307ページ)、およびデータの互換性について(☞このページ)も参照してください。



- ・ この製品は、ASK方式の光通信はできません(光通信でPIシリーズザウルスとのデータ交換はできません)。
- ・ 液晶パッドPA-Z800/Z700/Z500/Z330/Z300/X500とのデータ交換はできません。
- ・ この製品は、ハイパー電子システム手帳、SC電子手帳とは通信できません。



- ・ この製品はメモリー容量が大きく、多くのデータを記憶できます。このため、全データ通信など、多くのデータを通信するときは、時間が長くなることがあります。

● データの互換性について

この製品とほかの機種では、データを利用する場合に次のような制約があります。

表示文字について

- ・ この製品のデータを他機種で利用するときは、他機種がもっていない漢字などは正しく表示されません。
- ・ 一部の記号は半角と全角が入れ替わることがあります。

データ項目および項目長について

- ・ データを送受信したとき、お互いにもっていない項目や機能のデータは通信できないか、または見ることはできません。
- ・ データを送信したとき、1データの長さがそれぞれの機種の最大の長さを超えた部分は切り捨てられます。この製品の各機能のデータの長さの制限については、「付録」の章、「仕様」(☞348ページ)をご覧ください。

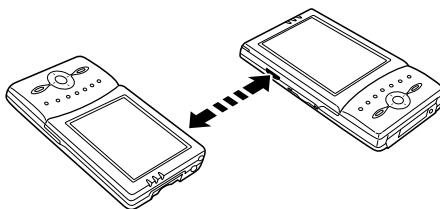
光通信ではかのザウルスなどと通信する

光通信

光通信を使うと、ケーブルなどを使わず簡単に通信できます。
この製品の光通信方式はIrDAです。

光通信のしかた

この製品の側面には、光通信を行うための光通信端子(送受光部)があります。光通信を行うときは、お互いの光通信端子がまっすぐに向き合うようにし、間に遮蔽物を置かないようにしてください。また、MI-E1 どうして光通信を行う場合は、お互いの距離を約20cm以下にしてください。MI-E1以外の機種との光通信では、相手の機種により通信可能距離が短くなる場合があります。



- 光通信中は近くで携帯電話、PHS電話機などで通話をしないでください。通信エラーになる場合があります。離れた場所で通話するようにしてください。
- PIシリーズザウルスとは、光通信を使ったデータ交換はできません。ケーブル通信を使って行ってください(307ページ)。



- 光通信について
外光の影響、充電電池の消耗状況、通信の距離、送信/受信する角度などによって、通信が不安定になり、通信できないことや、通信エラー、受信データの一部が変わったり抜けたりすることがあります。太陽光など強い光は避けてください。光通信した後は、受信データに不自然な文字や記号がないか確かめてください。
- 光通信端子にゴミやホコリなどがついて汚れると、通信ができにくくなります。汚れたときは、傷がつかないように柔らかい布でふき取ってください。

データ
交換

ほかの
機器と
通信する

ザウルスどうして光通信する

このページから300ページには、コミュニケーションパルMT-300/MT-200シリーズの説明も含まれます。

● 送信側/受信側の操作

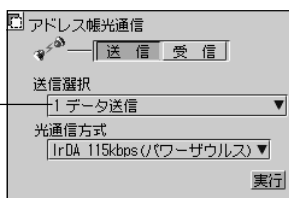
MI-E1どうして光通信を使って、全アドレス帳データを送受信します。

送信側の操作

- 1 アドレス帳の詳細表示画面または一覧画面を表示します。

- 2 **操作メニュー**キーを押し、**通信**タブ、**光通信...**を選択し**決定**キーを押します(⇒MI-E1以外の機種は次ページ)。アドレス帳光通信画面が表示されます。

送信するデータの範囲を選ぶ
(⇒298ページ)



通信条件画面(送信側)

- 3 **送信**にタッチし、送信するデータの範囲を選択します。

受信側を受信待ちの状態にします。

- 8 相手が受信待ちになったら、**実行**にタッチします。

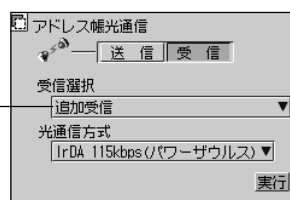
「送信中(IrDA 115kbps)」と表示され、送信されます(複数のデータを送信する場合は、送信状況を示すバーチャートも表示)。表示が消えると、送信が終わります。

受信側の操作

- 4 受信するデータの機能の画面にします。ここでは、アドレス帳データを受信するので、アドレス帳画面にします。

- 5 **操作メニュー**キーを押し、**通信**タブ、**光通信...**を選択し**決定**キーを押します(⇒MI-E1以外の機種は次ページ)。アドレス帳光通信画面が表示されます。

受信方法を選ぶ(⇒298ページ)



通信条件画面(受信側)

- 6 **受信**にタッチし、受信方法を選択します。

- 7 **実行**にタッチします。

「受信中(IrDA 115kbps)」と表示され、受信待ちになります。「置換受信」(⇒298ページ)の選択時は、その機能の全データ消去の確認メッセージが表示されます。

はいにタッチすると、「受信中(IrDA 115kbps)」が表示されます。

送信側で送信を実行させます。

「受信中(IrDA 115kbps)」が消えると受信が終わります(複数データの受信の場合、バーチャートが表示されます)。

● 光通信方式の選択

光通信方式は、通信相手の機種に合わせて次のように設定します。

通信相手	通信相手側の光通信方式	MI-E1側の光通信方式
MI-E1 MI-P10 MI-J1 MI-C1シリーズ MI-EX1 MI-P1/MI-P2シリーズ MI-310 MI-600シリーズ MI-500シリーズ MI-100シリーズ	IrDA 115kbps(パワーザウルス)	IrDA 115kbps(パワーザウルス) (MI-E1側の光通信方式は IrDAのみ)
MI-10	IrDA 115kbps(カラーザウルス)	
MT-300/MT-200シリーズ	IrDA 115kbps	

● 光通信画面の表示のしかた

MI-E1では、操作メニューの **通信** タブの **光通信...** を使って1データ、複数データを光通信します。

通信する相手機種の操作方法は、機種によって異なります。

くわしくは、相手機種の取扱説明書をご覧ください。

通信相手	操作手順
MI-E1	(操作メニュー) キーを押し、 通信 タブ、 光通信... を選択し (決定) キーを押す
MI-P10 MI-C1シリーズ MI-EX1	操作メニュー キー、 通信 タブ、 光通信... にタッチ
MI-J1 MI-P1/MI-P2シリーズ	オリジナル画面で 光通信 アイコンにタッチ
MI-310	通信メニューによる光通信を使う
MI-600シリーズ MI-500シリーズ MI-100シリーズ MI-10	ザウルス通信による光通信を使う
MT-300/MT-200シリーズ	メニュー キーを押すか、 操作メニュー キーにタッチして 光通信 にタッチ

データ
交換

ほかの
機器と
通信する

● 送信するデータの範囲を選ぶ(送信選択)

・ 1データ送信

... 表示中の1データ、一覧画面で選択した1データのみを送信します。

・ 単位データ送信^(*)

... 会社単位、月単位など、表示(指定)されている単位別にデータを送信します。

・ 指定データ以降送信^(*)

... 機能別に、表示中のデータ以降、または一覧画面で選択したデータ以降 (記憶順、個人名または会社名の50音順など)のデータを送信します。

・ 機能別全データ送信^(*)

... 各機能別の全データを送信します。

* : 絞り込んだ状態では、絞り込まれたデータのみが送信されます。



・ 通信を開始する機能の画面によって、光通信画面の「送信選択」の内容が変わります。また、選べない内容は薄い文字になります。

各機能で送信できるデータの範囲は、305ページを参照してください。

● 受信方法(受信選択)

・ 追加受信

... 本体内のデータを残したまま、受信データを追加します。

・ 置換受信

... 受信しようとしている機能の本体メモリーまたはカードの全データ(シークレットデータを含む)を消して、受信データだけを記憶します。

● 通信するときの注意

・ 送信側... シークレット機能が設定されていると、シークレットデータは送信されません。シークレット機能を解除して送信してください。

・ 受信側... シークレット機能が設定されているときに置換受信すると、シークレットデータも消去されます。

・ 操作..... 操作には十分注意してください。操作をまちがえると、大切なデータが消えてしまいます。

・ 送信側と受信側をまちがえない

・ 追加受信と置換受信をまちがえない



・ 通信を中止するには

(中断) キーを押します(通信が中止されるまで、押したままにします)。

中止すると、受信側のデータが次のようになります。

・ 追加受信のとき..... 中止するまでに受信したデータを記憶する

・ 置換受信のとき..... その機能のもとの全データは消去されるが、中止するまでに受信したデータは残る

ザウルスと通信するときの制限事項

ほかのザウルスと通信するときの、制限事項があります。

- ・ MI-E1、MI-P10、MI-J1、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズと通信するとき([このページ](#))
- ・ P1シリーズザウルスと通信するとき([このページ](#))

にまとめていますので、通信する相手機種種の制限事項をご覧ください。

MI-E1、MI-P10、MI-J1、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズと通信するときの制限

- お互いに持っていない機能や項目の内容は、通信できません。
- MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-310などの手書メモ/フォトメモリーやMI-J1の手書メモは、この製品のフォトメモリーで受信することができます。
- MI-10にアドレス帳のデータを送信したとき、MI-10では貼りつけられた顔写真を表示することはできません。また、MI-10では、インターネットライブラリのデータを受信できません。
- MI-10に、フォトメモリーデータを送信するときは、1データ送信でのみ送信できます。送信できるデータのサイズは、320×240ドット以下となります。
- MI-P10やMI-J1、MI-100シリーズ、MT-300/MT-200シリーズなどで作った16階調のフォトメモリー(手書メモ/フォトメモリー、手書メモ)のデータを受信して表示すると、階調つきのイラストなどは、階調の濃さにあったグレーで表示されます。
- MI-E1のインクワープロのデータ1件当たりの容量はMI-10のインクワープロの約2倍であるため、インクワープロの大きなデータをMI-10に送信すると、MI-10では詳細表示することができません(タイトルは一覧表示されます)。
- MI-500シリーズなど「未分類データ」ファイルがもともとない機種にこの製品から「未分類データ」ファイルをファイル単位で送信しても、受信側には「未分類データ」ファイルはできず、データだけが各機能で受信されます。受信側に「未分類データ」ファイルが作成されていてもそのファイルにはデータは入りません。逆にMI-500シリーズなどに「未分類データ」ファイルが作成されていて、そのファイルをファイル単位でこの製品に送信すると、この製品の「未分類データ」ファイルに入ります。
- 送信側は情報ファイルのリスト画面からデータを送信し、受信側も情報ファイル画面で受信したときには、貼付データ(クイックメモ)は送信されません。貼付データも送りたい場合には、添付されているデータの機能(アドレス帳など)を選んで、その機能の画面よりデータを送信してください。

データ
交換

ほかの
機器と
通信する

- インターネットライブラリのデータを送受信するときのデータサイズは256KB以下です。このサイズより大きいインターネットライブラリのデータをMI-J1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-310などに送信することはできません(相手がMI-E1、MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1のときは512KBまで可能)。

PIシリーズザウルスと通信するときの制限

- お互いに持っていない機能や項目の内容は、通信できません。
- 各機種の受信可能なデータサイズの制約により、そのサイズを超えるデータは通信できない場合があります。
- クイックメモが貼りつけられているデータをPIシリーズザウルスに送信すると、クイックメモの部分は受信されません。クイックメモをPIシリーズザウルスに送信したいときは、フォトメモリー機能でそのデータをPIシリーズザウルスに送信してください。
- PI-3000とは、アクションリストの期限日は通信されません。
- PI-3000からデータを転送したときには、春分の日、秋分の日を確認し、日付が違う場合は変更してください。
- インクワープロのカラーや下線の情報、太インク文字、テキスト文字は、PIシリーズザウルスでは受信できません。
- PIシリーズザウルスから送られてくるデータの中に「,」があったり、項目の最後が「,」になっていると、この製品では「異常なデータがあります」のエラーとなります。それらの文字列を削除したうえで、この製品に転送してください。
- 「^」を含むデータをPIシリーズザウルスで受信すると、「^」が2つ連続して書き込まれることがあります。
- PIシリーズザウルスから手書メモのデータを取り込んだときはPIシリーズザウルスの手書メモデータをこの製品に取り込み、この製品からパソコンに送信したり、メールに添付するときは、いったんフォトメモリーで**機能**キーを押した後、**(M)**(修正)キーを押して修正画面にし、**機能**キーを押した後、**(入力)**(登録)キーを押し、登録し直しておいてください。また、タイトルが未設定の場合は、必ず詳細表示画面ではタイトル欄にタッチするか、一覧画面では**操作メニュー**キーを押し、**編集**タブ、**タイトル入力...**を選択し**(決定)**キーを押してタイトル、日付、時刻を入力しておいてください。そのまま送信すると、正しく受信できません。
- この製品のフォトメモリー機能はPIシリーズザウルスの手書メモ機能と通信できません。
 - ・ この製品のデータはPIシリーズザウルスの画面サイズに合わせ、上下左右が切り取られて表示されます。
 - ・ デジタルカメラカードで撮影した画像は送信できません。

- PIシリーズザウルスから転送された手書メモのデータをクイックメモで見ると、一部が表示されません。このようなときは、そのデータをフォトメモリー機能で(機能)キーを押した後、(M)(修正)キーを押していったん修正画面にし、(機能)キーを押した後、(入力)(登録)キーを押すと、表示できるようになります(縮小表示では、網掛けや線などが表示されないことがあります)。
- 情報ファイルのデータをPIシリーズザウルスに送信するときは、データ確認画面にして1件ずつデータを送信します。
- 情報ファイルに分類しているデータをこの製品からPIシリーズザウルスに送信すると、受信側PIシリーズザウルスではデータのみ受信し情報ファイルは受信しません。

データ
交換

ほかの
機器と
通信する

- この製品のアドレス帳機能はPIシリーズザウルスの電話帳、名刺管理機能と通信できます。
- PIシリーズザウルスの電話帳、名刺管理データをこの製品のアドレス帳で受信すると、「電話帳」、「名刺管理」というタイトルのファイルが作成され、自動的に各ファイルに登録されます。
- アドレス帳データをPIシリーズザウルスへ送信する場合、PIシリーズザウルス側を電話帳にして受信すると電話帳に入り、名刺管理にして受信すると名刺管理に入ります。
- 項目の内容はそれぞれ次のように通信されます。

送信側		受信側	
この製品	→	PIシリーズザウルスの名刺管理	PIシリーズザウルスの電話帳
個人名	→	名前	同左
個人名のよみ	→	名前のよみ	同左
会社TEL	→	電話番号(番号の前に(会社)がつく)	同左
会社FAX	→	FAX番号(番号の前に(会社)がつく)	—(*)
自宅TEL	→	電話番号(番号の前に(自宅)がつく)	同左
自宅FAX	→	FAX番号(番号の前に(自宅)がつく)	—(*)
携帯電話	→	電話番号(番号の前に(携帯)がつく)	同左
ポケベル	→	電話番号(番号の前に(ポケベル)がつく)	同左
メールアドレス	→	備考(アドレスの前にIDがつく)	同左
会社名	→	会社名	—(*)
会社名のよみ	→	会社名のよみ	—(*)
所属	→	所属	—(*)
役職	→	役職	—(*)
会社郵便	→	郵便番号(番号の前に(会社)がつく)	同左
会社住所	→	住所(住所の前に(会社)がつく)	同左
自宅郵便	→	郵便番号(番号の前に(自宅)がつく)	同左
自宅住所	→	住所(住所の前に(自宅)がつく)	同左
誕生日	→	生年月日	誕生日
備考	→	備考	同左
チェックリスト	→	チェックリスト	同左
顔写真	→	-(*)	-(*)

* : 「—」は受信されないことを示しています。

データ
交換

ほかの
機器と
通信する

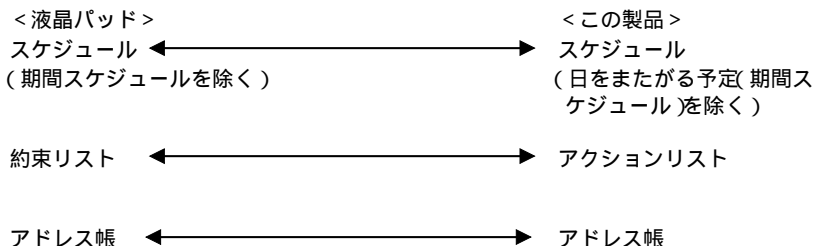
送信側		受信側
PIシリーズザウルスの名刺管理	→	この製品
名前	→	個人名
名前のよみ	→	個人名のよみ
電話番号	→	会社TEL
FAX番号	→	会社FAX
会社名	→	会社名
会社名のよみ	→	会社名のよみ
所属	→	所属
役職	→	役職
郵便	→	会社郵便
住所	→	会社住所
生年月日	→	誕生日
備考	→	備考
チェックリスト	→	チェックリスト
交際録	→	備考(交際録がつく)

送信側		受信側
PIシリーズザウルスの電話帳	→	この製品
名前	→	個人名
名前のよみ	→	個人名のよみ
電話番号	→	自宅TEL
郵便番号	→	自宅郵便
住所	→	自宅住所
生年月日	→	誕生日
備考	→	備考
チェックリスト	→	チェックリスト

液晶パッドPA-Z900と光通信する

液晶パッドPA-Z900と光通信できます。PA-Z900以外の機種とは通信できません。PA-Z900側の光通信画面で、「パワーZAURUS/カラーZAURUS」を選択します。PA-Z900の通信について、くわしくはPA-Z900の取扱説明書をご覧ください。

●通信できるデータの種類



- お互いにもっていない機能や項目の内容は、通信できないか、または見るできません。インターネットライブラリのデータは通信できません。
- 各機種の受信可能なデータサイズの制約により、そのサイズを超えるデータは通信できない場合があります。
- 液晶パッドのアドレス帳との通信
液晶パッドのアドレス帳のデータを受信すると、「名刺管理」というタイトルの情報ファイルが作成され、自動的にそのファイルに登録されます。
 - 液晶パッドのアドレス帳データの「電話番号1」、「FAX番号1」、「郵便番号1」、「住所1」をこの製品で受信すると、「会社TEL」、「会社FAX」、「会社郵便」、「会社住所」に格納されます。「電話番号2」、「FAX番号2」、「郵便番号2」、「住所2」をこの製品で受信すると、「自宅TEL」、「自宅FAX」、「自宅郵便」、「自宅住所」に格納されます。
 - この製品のアドレス帳に貼りつけられた顔写真は、液晶パッドでは受信されません。
- 通信する範囲と開始画面については、305ページを参照してください。

●通信のしかた

液晶パッドとのデータ交換は、この製品どうしの光通信と同じように光通信できます(☞295ページ)。液晶パッド側は、オプション機能による光通信を使います。液晶パッドの取扱説明書をご覧ください。

データ
交換

ほかの
機器と
通信す
る

IrTran-P方式で光通信する

この製品では、画像データを赤外線で送受信するためのIrTran-P方式による光通信が可能です。この製品とIrTran-P方式に対応した液晶デジタルスチルカメラVE-LC2などとの間で画像データを送受信したり、デジタルカラープリンタVP-EC2などで印字することができます。

IrTran-P方式による光通信を行うには、フォトメモリーの一覧画面から、**操作メニュー** キーを押し、**通信** タブ、**光通信...** を選択し **決定** キーを押して、光通信画面を表示し、「光通信方式」で、**IrTran-P方式** を選択して実行します。

なお、IrTran-P方式で送受信を行うには、フォトメモリーのデータを1件以上登録しておいてください。

IrTran-P方式による光通信では、画像データ(JPEG形式)以外のデータを扱うことはできません。

VP-EC2を使って印字できる画像サイズは640×480ドット、または320×240ドット、320×200ドットです。

IrTran-P方式による光通信では、1件ずつデータを送受信してください。



- IrTran-P方式では640×480ドットより大きいサイズのJPEG形式のデータは送信できません。

通信する範囲と開始画面

送信を始めたときの画面によって、送信できるデータの範囲が違います。
次の表を参照して、データを表示・指定してください。

機能	送信の範囲	通信できる開始画面
スケジュール	1 データ送信 (記念日データ、期間スケジュールデータ含む)	詳細表示画面、1 日表示画面
	全スケジュールデータ送信 全通常スケジュールデータ送信 全期間スケジュールデータ送信 年間単位通常スケジュールデータ送信 月間単位通常スケジュールデータ送信 週間単位通常スケジュールデータ送信 1 日単位通常スケジュールデータ送信	カレンダーを含む各画面
記念日	1 データ送信 全記念日送信 全(月/日)データ送信 全(月/週/曜)データ送信	記念日の詳細表示画面 (スケジュールの画面から「操作メニュー」キーを押し、「操作」タブ、「記念日設定...」を選択し「決定」キーを押して表示します)
アドレス帳	1 データ送信	会社一覧以外の各画面
	全アドレス帳データ送信 会社単位送信	アドレス帳の各画面
	指定データ以降送信	個人名順 電話帳(自宅)一覧画面、詳細表示画面(電話帳(自宅)一覧画面からのデータ表示) 会社名順 電話帳(会社)一覧画面、詳細表示画面(電話帳(会社)一覧画面からのデータ表示) 会社別個人名順 会社別個人一覧画面、詳細表示画面(会社別個人一覧画面からのデータ表示)
フォトメモリー	1 データ送信 全フォトメモリーデータ送信 指定データ以降送信	フォトメモリーの各画面
アクションリスト	1 データ送信 全アクションリストデータ送信 全未処理データ送信 全処理済データ送信 指定データ以降送信	アクションリストの各画面
インクワープロ	1 データ送信 全インクワープロデータ送信 1 日単位送信 指定データ以降送信	インクワープロの各画面
情報ファイル	1 データ送信 情報ファイル単位送信	情報ファイルの各リスト画面
インターネットライブラリ	1 データ送信 全インターネットライブラリ送信 指定データ以降送信	インターネットライブラリの一覧画面

データ
交換

ほかの機器と通信する

(注)下記の機能は、MI-E1と表欄にある機種間でのみ、データの送受信ができます。

情報ファイル	MI-E1、MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10
インターネットライブラリ	MI-E1、MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MT-300/MT-200シリーズ
インクワープロ	MI-E1、MI-C1シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10 PI-8000/7000/6600/6500/6000/5000/4500/400Q(*1)

*1：PIシリーズザウルスとの通信は、オプションポート16を使って行います。



- 各機能とも新規作成画面や修正画面を除きます。
- 絞り込み状態 絞り込み 解除 が表示されている)では、絞り込まれたデータだけが送信されます。
- シークレット機能が設定されていると、シークレットデータは送信されません。送信したいときは、シークレット機能を解除して通信してください(259ページ)。
- スケジュールの1データ送信でPIシリーズザウルスに送信できるのは、通常の予定(通常スケジュール)のみです。記念日データ、アクションリストのデータは、それぞれの画面から送信してください。
- 次の範囲は、受信側がMI-E1、MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズの場合にのみ選択できます。
 - 「全スケジュールデータ送信」、「全期間スケジュールデータ送信」、
 - 「全記念日送信」

データ
交換

ほかの
機器と
通信する

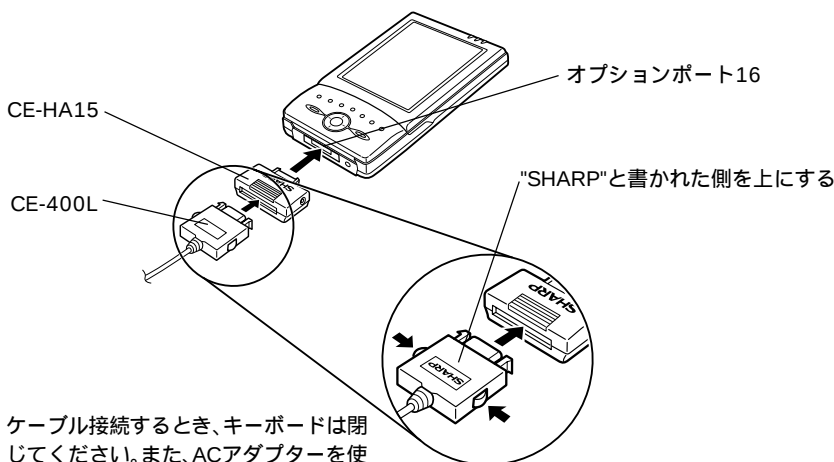
ケーブルでほかのザウルスと通信する

MI-E1、MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、PIシリーズザウルスとの間では、オプションポート16を使って通信ができます。通信するときは、オプションポート変換アダプターCE-HA15が必要です。

接続のしかた

両方とも電源を切った後、通信ケーブルCE-400Lを接続してください。MI-E1側のオプションポート16には、オプションポート変換アダプターCE-HA15を装着する必要があります。この製品にオプションポート変換アダプターを装着するときは、キーボードを開いた状態では装着できません。必ずキーボードを閉じてから装着してください。相手側がオプションポート16を使用する場合は、相手側にもオプションポート変換アダプターCE-HA15が必要です。

通信するときは、お互いの通信条件を合わせてから通信してください(次項)。



ケーブル接続するとき、キーボードは閉じてください。また、ACアダプターを使用するときは、CE-HA15のACアダプタージャックにACアダプターを接続してください。

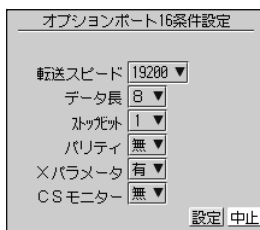
オプションポート16の条件を設定する

オプションポート16を使って通信するときは、送信側と受信側の通信条件を合わせておく必要があります。MI-E1、MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-310、MI-100シリーズ以外の機種では、オプションポート15の通信条件を設定します。

通信条件が違くと、「通信エラー...」などと表示され、通信できないことがあります。

データ
交換

ほかの
機器と
通信する



オプションポート16条件設定画面

- 1 詳細表示画面や一覧画面で、**操作メニュー**キーを押し、**通信**タブ、**クレードル/ケーブル通信...**を選択し**決定**キーを押します。
- 2 **通信条件**にタッチします。
オプションポート16条件設定画面が表示されます。
- 3 通信条件を設定し、**決定**キーを押します。
条件が設定されます。



- MI-E1、MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、PIシリーズザウルスとの通信条件
 - ・データ長 8ビット
 - ・Xパラメータ ... 有

通信のしかた

オプションポート16を使ってこの製品とほかのザウルスが通信する方法は、296ページの「送信側/受信側の操作」と同様の方法で行えます。

通信操作は、296ページの手順 2と 5で、**光通信...**の代わりに**クレードル/ケーブル通信...**を選択し、オプションポート16通信画面を表示します。また、通信方式(接続機種)は、下記を参照して選択してください。また、通信時の制限事項なども、光通信と同様です。

● 通信方式(接続機種)の選択

- MI-E1、MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10と通信する場合
296ページの手順 3と 6で、送信側/受信側どちらも「パワーザウルス」を選択します(MI-10側では、「カラーザウルス」)。
- PIシリーズザウルスと通信する場合
296ページの手順 3と 6で、MI-E1側は「ザウルス」を選択し、PIシリーズザウルス側は「新携帯情報ツール」を選択します。

「書院」と通信する

ワープロ通信

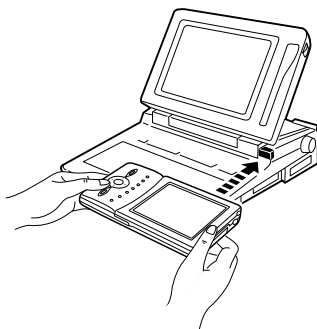
当社の日本語ワードプロセッサ「書院」との通信では、フォトメモリーのデータなどを、WD-VP1などに光通信(IrDA方式)で送信することができます。

フォトメモリーのデータを転送する

この製品のフォトメモリーのJPEGまたはGIF形式のデータを、書院MR-3/2、WD-VP3/VP2/VP1/EX1/990EX/M900/M800/M700、WM-C100などに光通信(IrDA方式)で送信することができます(一方向のみ)。操作方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください(「パワーザウルス・カラーザウルス」や「カラーザウルス」を「MI-E1」に読み替えてください)。

また、IrTran-P方式でMR-3/2、WD-VP3/VP2/VP1/EX1/990EX/M900/M800、WM-C100に画像データを送信する場合は、それぞれの取扱説明書および本書304ページの「IrTran-P方式で光通信する」を参照してください。

なお、光通信部は、まっすぐ対向させて約20cm以下の距離でご使用ください。



- 光通信で書院にデータを送る場合、書院側に認識番号(コードレステンキー認識番号)が設定されていると通信できません。
書院の取扱説明書の「コードレステンキーの使いかた」を参照して、コードレステンキー認識番号を使用しないように設定してください。
- 書院MR-3/2、WD-VP3/VP2/VP1/EX1/990EX/M900/M800/M700、WM-C100などとの間では、アドレス帳のデータも通信できます。
- WM-C100との間では、スケジュールのデータも通信できます。
ただし、WM-C100の住所録をMI-E1で受信するとWM-C100の自宅宛名の住所は会社住所に入ります。

データ
交換

ほかの
機器と
通信する

エラーについて

エラーメッセージ	主な原因
通信エラーが発生しました	● 通信が中断された ● 通信ケーブルが外れている ● 通信条件が異なる ● 光通信で光がさえぎられた ● 外来光や外来ノイズなどにより、通信データに異常が生じた
データの種類が異なっているため受信できません	● アクションリストデータをスケジュール機能で受信しようとしたときなど、送信した機能と受信する機能が違っている
本体のメモリーが不足しています カードのメモリーが不足しています	● 受信データが多く、メモリーがいっぱいになった 不要なデータを削除し、メモリー整理を行ってから通信してください
受信データの中に異常なデータがありこれ以上受信できません	● この製品では扱えない項目やデータが送られてきたときなど、受信したデータが正しくない
シークレットがかかっています シークレットを解除して送信しますか？...	● シークレット機能が設定されている シークレットデータを含めて通信したいときには、シークレット機能を解除してから行ってください

データ
交換

ほかの
機器と
通信する

パソコンデータの読み込み(インポート) と送り出し(エクスポート).....



ホームインデックス1画面やシステム設定画面などに「パソコンデータ」アイコンはありませんので、追加してから使います。ここでは、システム設定画面に「パソコンデータ」アイコンを追加したものとして説明します。アイコンの追加方法は「基本操作」の章、「インデックス画面を編集する」(47ページ)をご覧ください。

インターネットなどから画像データなどを読み込んで、この製品で使えるようにします。また、フォトメモリーなどのデータをパソコン形式データに変換してパソコンで使えるようにします。

インターネットライブラリのデータをパソコンとやり取りするには、パソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」(別売のパソコン連携キットCE-PCK1に付属)を使用します。「パソコンデータ」を経由してのやり取りはできません。

読み込み(インポート)と送り出し(エクスポート)について

データのやり取り

読み込み(インポート)や送り出し(エクスポート)を使ってインターネットなどから取り込んだ画像データをこの製品で使えるようにしたり、この製品で作成したフォトメモリーなどのデータをパソコンで使えるようにします。

- ・読み込み(インポート)「パソコンデータ」に入っているパソコン形式のデータを変換し、フォトメモリーなどに読み込む

- ・送り出し(エクスポート) ... フォトメモリーなどの各データをパソコン用の形式に変換し、「パソコンデータ」に送り出す

本体メモリー内のデータは本体内の「パソコンデータ」に、コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)内のデータはカード内の「パソコンデータ」に送り出されます。読み込み時も同じです。



ほかの機器と通信する

扱えるデータ形式

読み込み(インポート)、送り出し(エクスポート)で扱えるデータ形式は、次のようになります。

- JPEG形式(フルカラー(この製品では、65536色)が表示できる画像データの形式)
- GIF形式(256色まで表示できる画像データの形式)
- テキスト形式(通常のテキスト形式)



- 画像データを送り出すとき、フォトメモリーで手書きしたデータはGIF形式に変換されます。別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)で撮影した写真はJPEG形式のデータに変換されます。

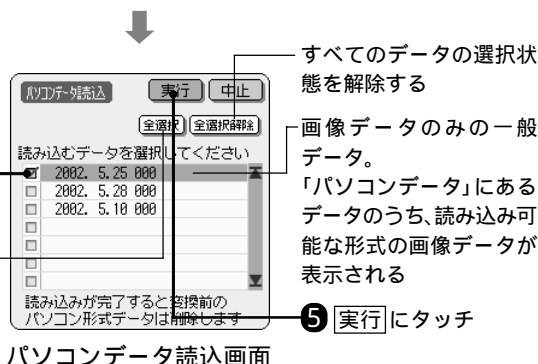
取り込んだデータを読み込む(インポート)

パソコンで使われている形式のデータを読み込みます。

ここでは、インターネットなどから、この製品の「パソコンデータ」に取り込んだ画像データを、フォトメモリーのデータとして読み込みます。

- ① インターネットなどから画像データを取り込む
- ② フォトメモリーの一覧画面を表示
- ③ (操作メニュー)キー押し、(通信)タブ、(読込/送出)、(決定)キー、(PCデータを読込...)、(決定)キーと操作する

- ④ 変換したいデータの ☐ にタッチし、選択
すべてのデータを選択する



- ⑥ 確認のメッセージで(決定)キーを押す



- パソコン形式データの読み込みを実行すると、「パソコンデータ」内の元データは削除されます。



ほかの機器と通信する



- パソコンデータ読込画面では、各データは送られてきたデータのもとのタイトル（ファイル名）で表示されます。
- 規定外の形式のデータを読み込むと
万一、規定外の形式のデータが「パソコンデータ」に入ったときや、データの読み込み途中で異常終了してしまったときは、読み込み（インポート）時に、変換ができない旨のエラーメッセージが表示されます。ファイル名を確かめ、**（決定）**キーを押します（読み込み（インポート）は中断します）。この後、変換できなかったデータを削除してください。
- インターネットに接続し、ホームページの表示画面から保存した画像データは、「パソコンデータ」に送られます。フォトメモリーのデータとして読み込むには、前ページの「取り込んだデータを読み込む（インポート）」操作を行い、データを変換してください。
- パソコンからこの製品に読み込んで、フォトメモリーのデータとして登録できる画像データの最大サイズは約126KBです。
- パソコンデータに入っている音声データは、読み込めません。
- テキストデータを読み込むには
インクワープロ画面で読み込みます。手順②でインクワープロの一覧画面を表示します。以下の操作はフォトメモリーと同じです。
- 添付（リンク）されているデータの読み込み（インポート）
画像データなどが添付（リンク）されているデータを読み込むときは、元データを読み込んだ後、フォトメモリーで添付（リンク）されているデータを個別に読み込んでください。添付（リンク）されているすべてのデータを読み込まないと、添付（リンク）されているデータを表示させることができません。



パソコンデータ

ほかの機器と通信する

作成したデータを送り出す(エクスポート)

パソコンで使用できるデータに変換します。

ここでは、複数件の画像データを変換して「パソコンデータ」に送り出します。



- パソコン形式データに変換すると、変換結果の格納のために、通常、元データと同じサイズ以上の本体メモリー領域を必要とします。そのため、変換時にはできるだけ多くの本体メモリーの空きを作っておいてください。

● フォトメモリーのデータを送り出す

① フォトメモリーの一覧画面を表示

- ② (操作メニュー) キーを押し、通信タブ、読込/送出、(決定) キー、PCデータに送出...、(決定) キーと操作する

③ 変換したいデータの ☐ にタッチし、選択

パソコンデータ送出			実行	中止
送出したいデータを選択してください			全選択	全選択解除
☐	2002. 5. 28 000	2002. 5. 28 10:31		
☐	2002. 5. 25 003	2002. 5. 25 1:51		
☐	2002. 5. 25 002	2002. 5. 25 1:58		
☐	2002. 5. 25 001	2002. 5. 25 1:48		
☐	2002. 5. 25 000	2002. 5. 25 1:47		

すべてのデータの選択状態を解除する

すべてのデータを選択する

パソコンデータ送出画面



⑤ 確認のメッセージで (決定) キーを押す



- テキストデータを送り出すには
インクワープロ画面で送り出します。手順 ① でインクワープロ一覧画面を表示します。以下の操作はフォトメモリーと同じです。
- 貼りつけされているデータの送り出し(エクスポート)
クイックメモとして貼りつけられているデータは、元データを送り出し(エクスポート)した後、フォトメモリーで貼りつけられているデータを個別に送り出してください。
- フォトメモリーのデータを送り出すときのご注意
フォトメモリーのパソコンデータ送出画面で、パソコンデータに変換したい画像データを選択するために画面をスクロールするときには、上下の またはスクロールボール を操作してスクロールしてください。スクロールアイコン を使用した後に、画像データを選択すると、パソコンデータへの変換の実行時に正しく選択されないことがあります。



ほかの機器と通信する

パソコンデータ画面で受信・削除する

パソコンデータ

この機能はシステム設定画面などに追加してから使います。

システム設定画面への追加は、47ページをご覧ください。

MOREソフトやパソコン形式データを受信したり、読み込み(インポート)、送り出し(エクスポート)を行ったデータを削除するときは、パソコンデータ画面で行います。

- ① システム設定画面で、
パソコンデータアイコンを選択し、**決定**キーを押す



- ② 削除するデータを上下の○を使って選択



- ③ **削除** にタッチ



- ④ 確認のメッセージで、左右の○を使って **はい** を選択し、**決定** キーを押す



- パソコンからデータを読み込むには
パソコンデータ画面で**読み込**にタッチした後、パソコン側で『ザウルスコネクション』などを使って送信します。
- 操作▼**は、将来の機能拡張のためのボタンです。
- パソコンデータにはMOREソフトで使用するデータも入っています。このデータを削除すると、MOREソフトが起動しなくなりますので、パソコンデータの画面からデータを削除するときは、フォトメモリーなどで送り出した(エクスポートした)データ以外は不用意に削除しないでください。
たとえば、「MPCZHELP.TXT」を削除すると、「ブンコピューア」MOREソフトの操作説明が読めなくなります。



ほかの機器と通信する

買い替えのお客様へ

買い替え

今までほかのザウルスやコミュニケーションパルをお使いになっていたお客様は、すでに入力されているデータをこの製品に移して使用することができます。データを移す方法は機種によって異なります。該当する機種の説明をご覧ください。データを移してください。

今までお使いになっていた機種は何ですか？

PIシリーズザウルス

ザウルスPI-3000、
PI-4000、PI-4500、PI-5000、
PI-6000、PI-6500、PI-6600、
PI-7000、PI-8000
をお使いの方

PIシリーズのザウルスから
データを移すには
(⇒次項)
をお読みください

PIシリーズ以外のザウルスまたはコミュニケーションパル

・ザウルスMI-P10、MI-C1シリーズ、MI-J1、
MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/
MI-100シリーズ、MI-310、MI-10をお使いの方
・コミュニケーションパルMT-300/MT-200シリーズ
をお使いの方

MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-J1、MI-EX1、
MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100
シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズ
からデータを移すには(⇒319ページ)
をお読みください

PIシリーズのザウルスからデータを移すには

PIシリーズのザウルス(PI-3000、PI-4000、PI-4500、PI-5000、PI-6000、PI-6500、PI-6600、PI-7000、PI-8000)からMI-E1にデータを移すには、機能別全データ通信を使用します。追加受信機能は使用できません。

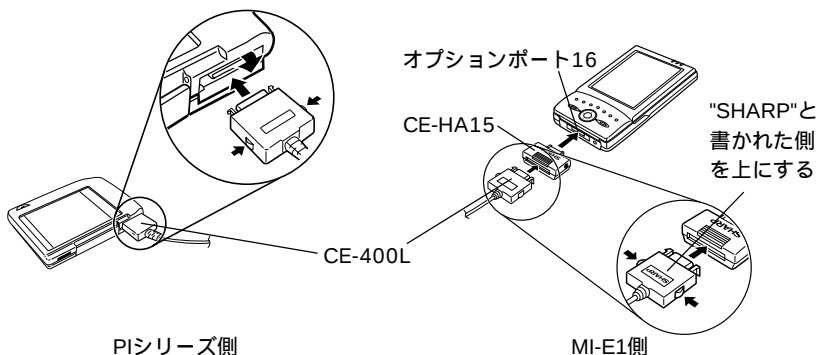
通信手段としては、オプションポート16を使ったケーブル通信を使用します。MI-E1側のオプションポート16には、オプションポート変換アダプター(CE-HA15)を装着する必要があります。この製品にオプションポート変換アダプターを装着するときは、キーボードを開いた状態では装着できません。必ずキーボードを閉じてから装着してください。

それぞれの通信のしかたの詳細は、PIシリーズの取扱説明書『機能編』、および本書の「データ交換」の章(⇒293ページ)を参照してください。

例 以下では、PIシリーズザウルスの電話帳全データを、MI-E1に移す例を説明します。ほかの機能のデータについても同様にしてPIシリーズザウルスからMI-E1に転送することができます。

- 1 両方の電源を切り、通信ケーブル(CE-400L)を接続します(⇒307ページ)。MI-E1にはオプションポート変換アダプター(CE-HA15)が必要です。また、連続して通信を行いますので、消費電力が多くなります。PIシリーズ

ザウルスでは新しい乾電池に取り替え、MI-E1では充電電池をフルに充電しておくか、ACアダプターの使用をおすすめします。ACアダプタージャックはCE-HA15のジャックを使います。

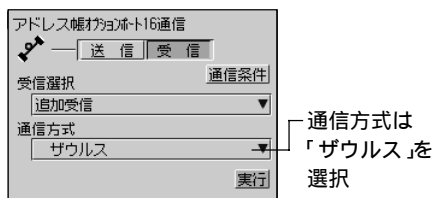


●受信側(MI-E1)の操作

- 2 アドレス帳画面を表示します。アドレス帳画面の表示方法は116ページをご覧ください。
- 3 **操作メニュー**キーを押し、**通信**タブ、**クレードル/ケーブル通信...**を選択し、**決定**キーを押します。**通信条件**にタッチし、オプションポート16条件設定画面の「転送スピード」が「19200」であることを確認し、**設定**にタッチします。

- 4 **受信**にタッチします。「受信選択」の項目は**追加受信**を選択します。「受信選択」で**置換受信**を選択して通信を実行すると、MI-E1にあったアドレス帳のデータは消えますので、ご注意ください。

- 5 **実行**にタッチします。



買い替え
のお客様

付
録

●送信側(PIシリーズザウルス)の操作

6 **電話帳** にタッチして電話帳画面を表示します。

7 **メニュー** に3回タッチし、メニューの「オプション」>「オプションポート15条件設定」にタッチします。

＜オプションポート15条件設定＞

＜送信選択＞
転送スピード：19200 **9600** 4800 2400 1200
600 300

データ長： **8** 7
ストップ： **1** 2
パリティ： **無** 偶 奇
Xバースト： **無** 有
CSモジュール： **無** 有

(設定) (中止)

8 「転送スピード」で **19200** にタッチし、**設定** にタッチします。

9 **メニュー** に3回タッチし、メニューの「オプション」>「オプションポート15での通信」にタッチします。

＜オプションポート15での通信＞

＜送信選択＞	＜接続機種＞
1 データ送信	新携帯情報ツール
電話帳1全データ送信	PIが電子メール手帳
電話帳2全データ送信	電子電子帳
指定データ以降送信	

＜受信選択＞

追加受信
置換受信

実行 (中止)

10 <送信選択> で「電話帳1全データ送信」を、<接続機種> で「新携帯情報ツール」を選択します。

11 **実行** にタッチします。
送信側では「送信中!」が表示され、受信側では「受信中!」が表示されて、電話帳1のデータが転送されます。

終了すると、双方とも「終了しました」のメッセージが表示されて、アドレス帳画面になります。



- PIシリーズザウルスの「電話帳」および「名刺管理」のデータをMI-E1が受信すると、双方のデータはアドレス帳に格納されます。また同時に、「電話帳」および「名刺管理」というタイトルの情報ファイルが作成されます。

PIシリーズの電話帳1 / 2のデータ内容そのままに、「電話帳1」、「電話帳2」のタイトルの情報ファイルを作成するには、次のようにします。

- 1 PIシリーズの「電話帳1」のデータをMI-E1に移します。
情報ファイルに「電話帳」ファイルができます。
 - 2 この「電話帳」ファイルのタイトルを「電話帳1」に変更します(⇒224ページ)。
 - 3 PIシリーズの「電話帳2」のデータをMI-E1に移します。
情報ファイルに「電話帳」ファイルができます。
 - 4 この「電話帳」ファイルのタイトルを「電話帳2」に変更します。
- データ転送中に**(中断)**キーを押して通信を中断したときには、それまでMI-E1で受信したデータは正しくない可能性があります。再度データ転送を実行してください。
 - この製品では、PIシリーズザウルスの光通信方式(ASK方式)は使用できません。

MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズからデータを移すには

パワーザウルスなどPiシリーズ以外のザウルスやコミュニケーションパルからMI-E1にデータを移すには、追加受信機能を使用します。

通信手段としては、光通信あるいはオプションポート16を使ったケーブル通信を使用します。

ここでは、光通信機能を使った方法を説明します。

データを移す前にメモリー使用量をご確認ください

① 移すデータ量は？

今までお使いの機種のメモリー使用量をお使いのザウルスのメモリー管理画面で確認する

② メモリーの空き容量は？

この製品のメモリーの空き容量を「メモリー管理」で確認する
➡ 252ページ

移すデータ量とこの製品のメモリーの空きはどちらが多い？

今までお使いの機種のデータ量より、
この製品のメモリーの空き容量の方が
多いですか？

YES

すべてのデータを移す

「すべての機能のデータを受信したいとき」
をご覧ください。
➡ 次ページ

NO

特定の機能のデータを移す

「特定の機能のデータのみを受信したいとき」
をご覧ください。
➡ 323ページ

不要なデータを削除し メモリーの空きを増やす

不要なデータまたは
MOREソフトなどを削除してメモリー空き容量を増やします。

すべてのデータを移す

「すべての機能のデータを受信したいとき」
をご覧ください。
➡ 次ページ



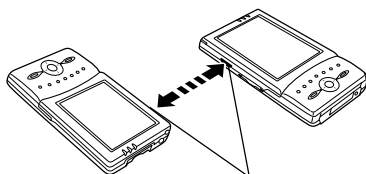
- この製品のメモリーの空き容量が少ないときは、当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどをご利用になり、メモリーカード側にデータを移すこともできます。

買い替え
のお客様

付
録

すべての機能のデータを受信したいとき

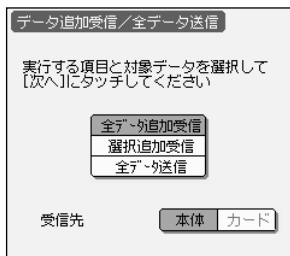
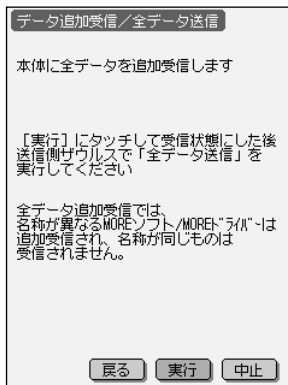
- 1 MI-E1のメモリーの空き容量が、送信側のメモリー使用量より多いことを、双方のメモリー管理画面で確認します。
- 2 双方の光通信端子(送受光部)がまっすぐ向き合うように置きます。光通信端子間の距離は、20cm以下にしてください。双方の光通信端子の間を遮断するものを置かないようにします(295ページ)。
また、連続して通信を行いますので、消費電力が多くなります。今までお使いの機種がバッテリーパックや充電池の方はフルに充電し、乾電池の方は新しい乾電池と交換してください。また、ACアダプターをお持ちの方はACアダプターをご使用ください。MI-E1では、充電池をフルに充電するかACアダプターをご使用ください。



光通信端子(送受光部)

● 受信側(MI-E1)の操作

- 3 **ホームインデックス**キーを数回押して、データ通信画面で**追加受信**アイコンを選択し、**決定**キーを押します。
データ追加受信/全データ送信画面が表示されます。
- 4 左右の**光**を使って**光**を選択し、**決定**キーを押します。
- 5 下の画面で左右の**光**を使って**全データ追加受信**、上下の**光**を使って**本体**を選択し、**決定**キーを押します。
- 6 **決定**キーを押し、確認のメッセージで**はい**を選択し**決定**キーを押します。





- 所有者情報、インターネットのマークページの情報や通信記録、メールの分類条件、スケジュールの休日設定、各機能の設定内容は追加受信ではなく、置換受信されます。

●送信側(今までお使いの機種)の操作

7 MI-P10、MI-C1シリーズではデータ追加受信/全データ送信画面、MI-P10、MI-C1シリーズ以外では全データ保存画面を表示します。

画面の表示のしかたは機種によって異なります。下記の表を参照して表示してください。

MI-P10	ツールインデックス画面で「追加受信」アイコンにタッチ
MI-C1シリーズ	「ツール」キー、「追加受信」アイコンにタッチ
MI-EX1	「電源」ボタン、「オリジナル」、「全データ保存」アイコンにタッチ
MI-J1	オリジナル画面で「全データ保存」アイコンにタッチ
MI-P1/MI-P2シリーズ	
MI-600/MI-500シリーズ	「通信」キー、「全データ保存」アイコンにタッチ
MI-310	「通信メニュー」キー、「全データ保存」にタッチ
MI-100シリーズ	「通信/メール」キー、「全データ保存」アイコンにタッチ
MI-10	「ザウルス通信」キー、「▼」、「全データ保存」アイコンにタッチ
MT-300/MT-200シリーズ	「設定」キー、「全データ保存」にタッチ

8 MI-P10、MI-C1シリーズでは、「光」、「次へ」にタッチします。

MI-P10、MI-C1シリーズ以外では

「光通信」、「選択」にタッチします。

全データ保存:光(全データ通信)画面が表示されます。

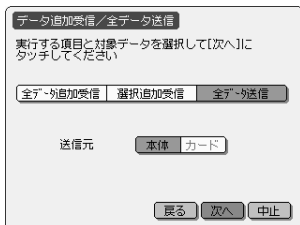
- MT-300/MT-200シリーズでは、この手順は飛ばして、手順 9に進みます。
- 機種によっては、「光通信」ではなく、「光」にタッチします。

(次ページへ)

買い替え
のお客様

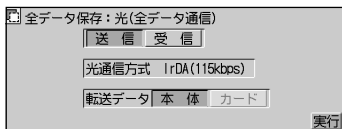
付
録

- 9 MI-P10、MI-C1シリーズでは、下の画面で「全データ送信」、「本体」、「次へ」にタッチし、続けて「実行」にタッチします。



MI-P10、MI-C1シリーズ以外では、下の画面で「送信」、「本体」にタッチして選択し、「実行」にタッチします。

- ・MT-300/MT-200シリーズでは、「転送データ」の項目はありません。



上の画面は、MI-E1のものですが。



- ・MI-E1側にあるMOREソフトと異なる名称のMOREソフトが送信側にある場合は、それらも追加受信します。同じ名称のMOREソフトは受信しません(MI-E1側のMOREソフトがそのまま残ります)。
- ・今までお使いの機種でご利用になっていたフラッシュメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードのデータをMI-E1に移す方法は
手順 9の「送信元」の項目(MI-P10、MI-C1シリーズ以外では「転送データ」)で「本体」の代わりに「カード」を選択します。
- ・今までお使いの機種からMI-E1用のコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどにデータを移す方法は
手順 5の「受信先」の項目で「本体」の代わりに「カード」を選択します。
コンパクトフラッシュメモリーカードに移すかSDメモリーカードなどに移すのかは、あらかじめユーザー設定のカード設定で、データを移すカードを指定してください(☞251ページ)。

- 10 確認画面で「はい」にタッチします。
送信側では「送信中!」が表示され、受信側では「受信!」が表示されてデータの転送が行われます。

終了すると「送信中!」「受信!」の表示が消えます。

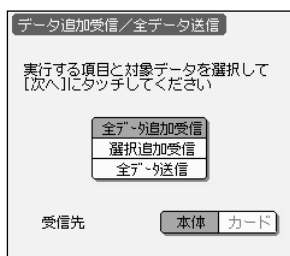
特定の機能のデータのみを受信したいとき

1 320ページの手順 2のように、双方の機種を置きます。

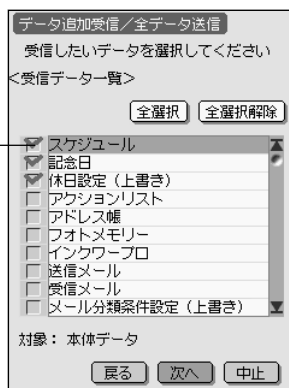
●受信側(MI-E1)の操作

2 **ホームインデックス**キーを数回押し、データ通信画面で $\odot$ を使って**追加受信**アイコンを選択し、**決定**キーを押します。
データ追加受信/全データ送信画面が表示されます。

3 左右の $\odot$ を使って**光**を選択し、**決定**キーを押します。



4 左右の $\odot$ を使って**選択追加受信**、上下の $\odot$ を使って**本体**を選択し、**決定**キーを押します。



$\odot$ にタッチして、選択する/しないを切り替える

5 受信データ一覧で受信したくない機能の $\odot$ にタッチして $\square$ にし、**決定**キーを2回押し、確認のメッセージで**はい**を選択し**決定**キーを押します。

●送信側(今までお使いの機種)の操作

「すべての機能のデータを受信したいとき」の手順 7～10(321、322ページ)を行うと、選択した機能のデータが追加受信されます。



ご注意

●所有者情報や各機能の設定など、受信データ一覧に「(上書き)」と表示されている内容は追加受信ではなく、置換受信されます。



●データ追加受信/全データ送信画面の受信データ一覧で選択されている機能が少ない場合でも、送信側はいったん全データを送るため、時間がかかります。
●MOREソフトやMOREドライバー、MI-E1にない機能は移せません。
●送信するデータが情報ファイルに分類されているときは、その情報ファイルも受信します。

買い替え
のお客様

付
録

異常が起きたとき

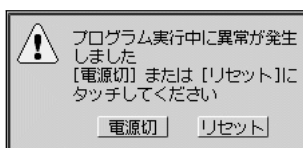
異常が起きたときは、落ち着いて処理しましょう。

強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれに〔中断〕キーなども含めた、すべての機能が働かない、データを正常に表示しない、などの異常が起きることがあります。

このような場合は、状況に応じて次の操作を行ってください。

プログラム実行中に異常が発生したとき

この製品を操作中、プログラムの実行に関して何らかの異常が発生したときに、次のようなメッセージが表示されることがあります。



このときには、まず〔電源切〕にタッチしてみてください(または、〔戻る〕(電源)キーをしばらく押してみてください)。いったん本体の電源が切れますが、再び電源を入れたとき、実行中に異常を起こした機能だけが再起動されます。異常発生前に使用していたほかの機能の入力途中のデータには影響がありません。

〔電源切〕にタッチしても(または、〔戻る〕(電源)キーをしばらく押しても)、再び同じメッセージが表示されるときには、〔リセット〕にタッチします。本体の電源が切れますので、再び電源を入ると、自動的にリセットされ、時刻設定画面が表示されます。これは、次項の「リセット操作」を行ったのと同じです。異常発生前に使用していた機能の入力途中のデータは消去されますが、登録済みのデータには影響ありません。

リセット操作

すべての機能が働かなくなった、データを正常に表示しない、などの異常が発生したときは、次のリセット操作を行ってください。

- 1 電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にし
電池ふたを取り外した後、約5秒後にふたを
取り付け「ロック(使用時)」側に戻します。
時刻設定画面が表示されます。
- 2 日付と時刻が正しいかを確認しま
す。まちがっているときは、設定し直
してください(☞次ページ)。



- 手順 1を行っている間、または時刻設定画面が表示されるまでの間に電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にして電池ふたを開けないでください。記憶内容が変化・消去することがあります。
- 強度の外來ノイズなどにより、記憶内容が変化していた場合は、上記のリセット操作でも、記憶内容が消去される場合があります。
- メモリー整理実行時のご注意
メモリー整理の実行には時間がかかることがあります。メモリー整理の実行中は、途中で電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にして絶対に電池ふたを開けないでください。また、ACアダプターを使用しているときは途中でACアダプターを外さないでください。これらの操作を行うと、データが壊れてしまいます(☞255ページ)。



- 作業用メモリーが足りないときは
不要なデータを削除したり、メモリー整理を行っても「メモリーがたりません」などと表示されるときや、一部の機能が働かないなど作業用メモリーの断片化が進んでいるときにもリセット操作を行ってください(☞255ページの「メモ」)。

データ異常と初期化

電源を入れたときや、リセット操作をしたとき、左下のような画面が表示されることがあります。このときは、電源を切った後、初期化(☞次項)を行ってください。またコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどのデータに異常が発生したときや使えないカードのとき、右下のような画面が表示されることがあります。カードの全データを消去してよいときは、「実行」にタッチしてカードを初期化(完全消去)してください。「中止」にタッチすると、本体は使用できますがカードは使用できません。

本体が初期化されていないとき
データが異常なとき

本体が初期化されていないか
またはデータが異常です
裏側の電池交換スイッチを
「解除(交換時)」にして電池ふたを
取り外し、(決定)キーを押したまま
電池ふたを取り付け
「ロック(使用時)」に戻して本体を
初期化(全データ消去)してください
【確認】にタッチすると電源が切れます

確認

カードが初期化されていない
とき

このCFメモリーカードは
初期化されていないか
またはデータが異常です
使用するためには【実行】にタッチし
CFメモリーカードを初期化
(全データ消去)してください
CFメモリーカードを初期化
したくない場合は
いったん電源を切り、本体から
取り外してください

実行

中止

左の画面はコンパクトフラッシュメモリーカード使用時。
SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)使用時は「CFメモリーカード」が「SDメモリーカード」に変わる

付 録

付
録

初期化する

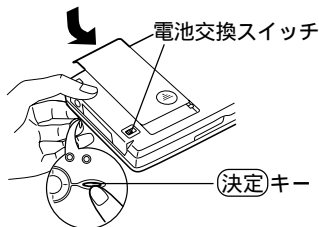
本体やコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードなどのデータに異常がある場合、初期化を行います。データ異常が発生したとき以外、初期化は行わないでください。

初期化を行うと、登録しているデータだけを消去したり、登録しているデータ/MOREソフトなどすべてのデータを消去します。以下の手順に従って表示される画面の内容を確認して操作してください。

- 1 (戻る) (電源) キーをしばらく押して電源を切ります。

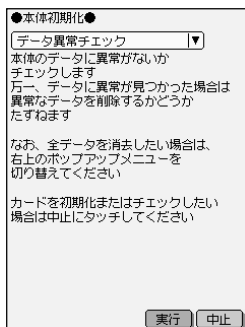
- 2 本体裏側の電池交換スイッチを「ロック (使用時)」側から「解除 (交換時)」側に切り替え、いったん電池ぶたを取り外します。

- 3 約5秒待つて、(決定) キーを押したまま電池ぶたを取り付け、電池交換スイッチを「解除 (交換時)」側から「ロック (使用時)」側に切り替えます。



- 4 2～3秒して本体から「ピーピー」という音が聞こえたら、(決定) キーから離します。

本体初期化の確認画面が表示されます。



- 5 初期化画面で

データ異常チェック▼ にタッチし、表示されたメニューを選びます。

メニューの内容については、次ページの「メモ」をご覧ください。

カード側を初期化する場合は、本体初期化画面で **中止** にタッチします。

コンパクトフラッシュメモリーカードとSDメモリーカードなどの両方が装着されているときには次ページの4つ目のメモをご覧ください。

カード初期化画面が表示されますので画面の内容に従って操作します。

- 6 **実行** にタッチします。

時刻設定の画面が表示されますので、時刻などに合わせて **設定** にタッチします。



- 7 「お待ちください」と表示され、画面に表示されている内容に従ってデータのチェックや全データ消去などが行われます。しばらくしてホームインデックス1画面が表示されます。



- 初期化を行うと、タッチパネル調整は工場出荷時の内容が設定されますが、これは変更することができます。くわしくは、248ページをご覧ください。
- 手順 4の画面が表示されないときは
もう一度、手順 1～3の操作をしてください。また、次のことを確かめてください。
 - 電池ぶたは開いていないか
 - 充電電池は正しく入っているか、消耗していないか
- 初期化画面で選択できるメニューについて
初期化画面で、**データ異常チェック▼**にタッチすると次の3つのメニューが表示されます。それぞれの初期化を行ったときに消去されるデータについて下表にまとめています。

画面に表示されるメニュー	メニューに従った初期化を行うと
データ異常チェック	データ異常が見つかった機能のデータは削除されます。それ以外のデータはそのまま残ります。
全データ消去 (MOREは残る)	• MOREソフトやクイックパスは残ります。 • 登録したデータはすべて消去されます。
完全消去 (フォーマット)	この製品には何もデータが入っていない状態になります。 • MOREソフトやクイックパスは消去されます。 • 登録したデータはすべて消去されます。 • 「ブンコピューア」MOREソフトなど、あらかじめ入っていたMOREソフトも消去されます。

- コンパクトフラッシュメモリーカードとSDメモリーカードなどの両方が装着されているときの初期化について
前ページの手順 5で、本体初期化画面が表示されたとき**中止**にタッチするとカード初期化画面が表示されます。この画面で、**実行**または**中止**にタッチします。この操作の後 1つ目のカード初期化画面で**実行**または**中止**にタッチ)もう一方のカード初期化画面が表示されますので、**実行**または**中止**にタッチします。
- 初期化(データ異常チェック)を行ったとき
初期化(データ異常チェック)を行うと、登録されているデータに異常がないかチェックを行い、データ異常がある場合は確認の画面が表示されます。データ異常の画面が表示されたときは、画面に表示されている内容に従って操作してください。



- 電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にして電池ぶたを開けるときは、必ずこの製品の電源を切ってから行ってください。特に、「お待ちください」や「登録中」、「メモリー整理中」などのメッセージが表示されているときには電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にして電池ぶたを開けないでください。記憶内容が変化・消失する場合があります。

充電電池を充電する

充電電池を充電する時期

充電電池が消耗すると、「ACアダプターを接続して充電してください」と表示されますので、充電電池を充電してください(⇒次ページ)。そのままにしておくと、自動的に電源が切れます(別売のデジタルカメラカードCE-AG06で写真を撮影しようとしたときやデータ通信を開始しようとする、充電をうながすメッセージが表示されずに、電源が切れることがあります)。充電電池が消耗すると、**戻る**(電源)キーを押しても電源は入りません。



- 充電電池が消耗し電源が切れた後に、付属のACアダプターを接続し**戻る**(電源)キーを押しても電源が入らないことがあります。このような場合は、約3分以上充電電池を充電してから使用してください。
- この充電電池は、充電する前に充電電池を使い切ったり、放電したりする必要はありません。
- 充電環境について
 - ・ 充電は、周りの温度が5 ～ 35 の場所で行ってください。温度が低くなるほど充電しにくくなり、充電電池を劣化させます。
 - ・ 充電中や使用中に充電電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 付属のACアダプターを使うと
「ACアダプターを接続して充電してください」のメッセージが表示されてから、電源が切れるまでの間にACアダプターを使用すると、メッセージは消えます。

充電電池の残量を確認する

充電電池の残量は、ホームインデックス1画面などのステータス表示で確認できます。付属のACアダプターが接続されているときは、充電電池の残量は表示されません。



充電電池の残量表示

ステータス表示はインデックス画面の下部に表示される



- ACアダプターが接続されていると  の代わりに  と表示されます。
- ステータス表示の  の表示は ■ の部分が残量です。このマークが黄色や赤色になると充電電池が消耗していますので充電電池を充電してください。
デジタルカメラカード (CE-AG06) の使用後など、充電電池の残量表示が大幅に少なくなることがあります。このようなときはいったん電源を切り、もう一度電源を入れると、充電電池の残量が正しく表示されます。

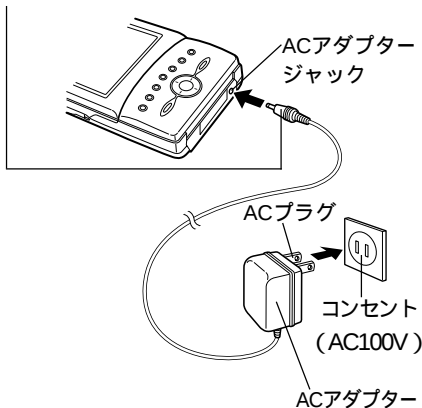
充電電池 (AD-T51BT) を充電する

この製品に充電電池を装着した状態で充電してください。

- 1 (戻る) (電源) キーをしばらく押して電源を切ります。

抜き差しは、この部分を持って行ってください。ケーブルを引っ掛けて抜かないようにしてください。

- 2 付属のACアダプターを、右図のようにこの製品のACアダプタージャックとAC100Vのコンセントに接続します。本体の充電ランプが点灯して、充電が始まります。
満充電になると、本体の充電ランプが消え、充電が完了します (通常、約3時間かかります。ただし使用温度、使用状態によって変わります)。



- 3 ACアダプターを取り外します。



- 使用中の充電は
この製品を使用中に充電すると、充電が完了するまで長い時間がかかります。充電電池を充電するときは、この製品を使用しないようにすると、早く充電できます。
- 充電時の電池ぶたと電池交換スイッチについて
充電電池を充電するときには、電池ぶたを取り付け、電池交換スイッチを「ロック (使用時)」側にしておいてください。
- オプションポート変換アダプター (CE-HA15) を取り付けているときは、この製品のACアダプタージャックにはACアダプターを接続できません。オプションポート変換アダプター (CE-HA15) のACアダプタージャックに接続してください。



- ACアダプターのコードを足で引っ掛けたり、踏みつけたりしないようにご注意ください。
- 長期間使用しなかった充電電池の充電には、通常より多くの時間がかかりますが、故障ではありません。
- ACアダプターを、市販されている「電子変圧器」などに接続しないでください。ACアダプターが故障することがあります。



- この製品に電源が入っている状態でACアダプターを接続すると、充電ランプが点灯し、ACアダプターから電源が供給されていることを示します(このとき充電ランプは消えません)。
- 長時間使用するとACアダプターは温かくなりますが、故障ではありません。
- 充電中に異常が発生すると
充電池またはACアダプターに異常があると、充電ランプが点滅します。
このようなときは、ただちに充電を中止し、充電池が破損していないか、指定の充電池を使用しているかどうかを確認してください。充電池、ACアダプターともに外観上異常がなく、指定の充電池が使用されていた場合は、359ページの「アフターサービスについて」をご覧くださいのうえ、修理を依頼してください。
- ご購入直後や過放電になった充電池を充電すると、次のような症状になることがあります。
 - ・ 充電開始後、数分以上経っても本体の電源が入らない。
 - ・ 通常の充電時間(約3時間)がかなり過ぎても、充電ランプが消灯しない。このような場合には、ACアダプターを取り外した後、本体の充電池をいったん取り外し、再び装着してください。充電池の取り外し/取り付けについては、335ページをご覧ください。
- 充電池がこの製品に装着されているとき、電池ぶたを開けたまま、電池挿入口を下にしないでください。電池挿入口に手を添えていなかった場合、充電池がこの製品から抜け落ちて、足に当たったり、大切な物に当たって壊したりすることがあります。
- 端子が汚れたら、乾いたきれいなやわらかい布などで拭き取ってください。

警告

- 表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。
- 付属のACアダプターをコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
- 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。
 - ・ ACアダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。
 - ・ ACアダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。
 - ・ お客様による改造や分解・修理はしないでください。
 - ・ ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。
- コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。



警告

- 使用されないときには、安全のため、AC アダプターをコンセントおよび MI-E1 本体から外しておいてください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに AC アダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。



注意

- AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
 - ・ 周囲温度 0 ~ 40 、湿度 35 ~ 85% の範囲でご使用ください。
 - ・ 直射日光の当たる場所では使用しないでください。
 - ・ ほこりの多い場所に置かないでください。
 - ・ 重い物を載せたり、落下しやすいところに置かないでください。
 - ・ 電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。



充電電池について

充電電池を消耗したまま使っていると、電源が自動的に切れ、放っておくと電源が切れたまま入らなくなります。

充電電池は、この製品に取り付けた状態で充電してください(329ページ)。

■ 使用できる充電電池

種類	形名	個数
充電電池	AD-T51BT	1 個

AD-T51BT以外の充電電池は使用しないでください。



- ご購入直後の充電は
通常は充電し始めてから約3時間で満充電されますが、工場出荷時からの時間の経過により、ご購入直後の充電時間は変わります。
- 予備の充電電池は
付属の充電電池と同じもの(AD-T51BT)が別売されています。
この製品を戸外で使用する機会が多い場合は、予備の充電電池をお買い求めください。
- 長期間ご使用にならないときは
充電電池は、ご使用にならなくても自然に放電します。充電電池の消耗によるトラブルを避けるために、使用される前に充電することをおすすめします。
また、充電電池をこの製品から取り外し、低温(10 前後)保存すると長持ちします。

⚠ 危険

- 充電電池(リチウムイオン充電電池)について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂の原因となります。



- MI-E1で使用できる充電電池は、AD-T51BTです。これ以外の充電電池は使用しないでください。
- プラスとマイナスの向きが決められています。MI-E1にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電電池の向きを確かめてください。
- 充電にはMI-E1および付属のACアダプター(EA-68)以外のものを使用しないでください。また、この充電電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。
- 直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所(60 以上)に放置しないでください。
- 釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- 充電電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけないでください。
- 外傷、変形の著しい充電電池は使用しないでください。
- 分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
- 水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
- 端子をショートさせないでください。金属小物(鍵、アクセサリ、ネックレスなど)と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。

⚠ 危険

- 充電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こす恐れがあります。



⚠ 警告

- 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。
 - ・ 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
 - ・ 水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。
 - ・ 充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
 - ・ 液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
 - ・ 充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。
- 充電池を誤って飲み込むことがないように、充電池は乳幼児の手の届かない所へ置いてください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。



⚠ 注意

- 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
 - ・ 小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。
 - ・ 乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が MI-E1 から取り出さないように注意してください。
 - ・ 充電は必ず 5 ~ 35 の範囲で行ってください。
 - ・ 充電方法については、MI-E1 の取扱説明書をよくお読みください。
 - ・ 使用した後は、必ず使用機器 (MI-E1) の電源を切ってください。
- 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。
- 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭、発熱その他異常と思われるときは、充電池を本体に装着しないで買いあがりの販売店にご持参ください。



■ 充電電池(AD-T51BT)の使用時間

348ページの「仕様」の欄をご覧ください。

使用温度、使用状態によっては充電電池の使用時間が短くなります。また、使い始めるころは、たくさんのデータを連続して入力することが多く、比較的早く消耗します。



- 低温で使用するときは
低温では、電池の特性により使用時間が約半分になることがあります。常温では通常の使用時間に戻ります。

■ 充電電池(AD-T51BT)の寿命

この充電電池を常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。ただし繰り返し使用するうちに充電電池が劣化し、使用できる時間が短くなってきます。正常に充電しても使用時間が短くなってきた場合は、新しい充電電池をお求めください。



- 予備の充電電池は
付属の充電電池と同じもの(AD-T51BT)が別売されています。

使用済みリチウムイオン充電電池のリサイクルご協力お願い



Li-ion

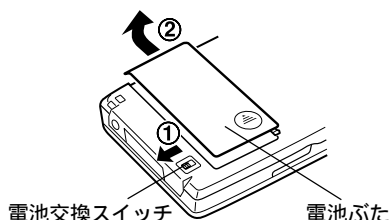
- この製品にはリチウムイオン充電電池が使用されています。この充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電電池の交換、およびご使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。ご使用済みリチウムイオン充電電池は「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています」のステッカーを貼ったシャープ製品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、端子にガムテープなどを貼り、絶縁してください。

充電電池の交換手順

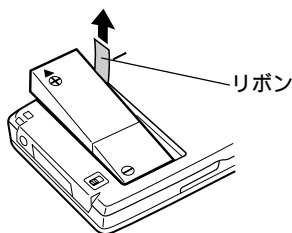
充電電池を交換すると、この製品を動作させるための電力が保持されません。充電電池交換後に表示される時刻設定画面(このページの手順 7)で、必ず日付と時刻を設定してください。

1 この製品の電源を切ります。

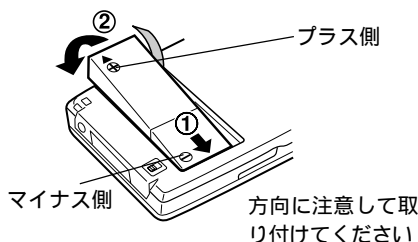
2 本体裏側の電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にし、裏面の電池ぶたを取り外します。



3 消耗した充電電池を取り出します。



4 充電電池を⊖の方から取り付けます。このときリボンは充電電池の下側から巻くようにし、リボンの端が充電電池の上にくるようにします。



5 リボンが外に出ないようにして電池ぶたを取り付けた後、電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にします。

6 電源が入っていることを確認します。電源が入っていないときは手順 1 からやり直してください。

7 時刻設定画面になりますので、日付と時刻を設定してください(326 ページの手順 6)。



- 充電電池を入れた後は、必ず電池ぶたを取り付け、すぐに電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にしてください。この後、充電電池が充電されていない場合は、ACアダプターを使用して充電してください。



- 電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にして電池ぶたを開けるときは、必ずこの製品の電源を切ってから行ってください。特に、「お待ちください」や「登録中」、「メモリー整理中」などのメッセージが表示されているときには電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にして電池ぶたを開けないでください。記憶内容が変化・消失する場合があります。

付 録

付
録

手書認識について

手書認識ボードで手書き文字を入力する際の書きかたや注意事項について、まとめています。
手書き文字をザウルスに正しく認識させるようにするために、ぜひ一読ください。

文字の書きかた(注意点)

付属のタッチペンで、空白の記入枠に、なるべく正しい筆順で書いてください。

- ・原則として楷書で書いてください。ただし、少々ならば続け字になっても多くの場合認識できます。また、漢字を書く場合、「へん」と「つくり」、「かんむり」と「あし」の間が線でつながっていても認識できる場合があります。

楷書  続け字  "てへん"と"丁"がつながっている

楷書  続け字  "くさかんむり"と"四"がつながっている

- ・角を丸くした丸文字を書かないようにしてください。ほかの文字に認識される率が高くなります。

良い例  悪い例 

- ・文字は傾かないように書いてください。
文字が傾いていると正しく認識しないことがあります。

良い例  悪い例  

- ・一文字ずつ、記入枠からはみ出さないように書いてください。
枠からはみ出してしまったときは、枠内に入っている部分のみが文字として認識されてしまいます。

良い例  悪い例  

- ・枠の外から書き始めないでください。枠の外から書き始めた線は、認識されません。

良い例  悪い例  

文字の書きかたと認識される文字について

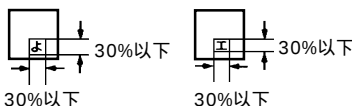
手書認識は、筆順、画数が認識の基本になっています。

漢字などはなるべく楷書でていねいに書いてください。

入力した文字は、認識されるとき、直前に書かれた文字の種類に強く影響されます。

● ひらがな・カタカナの小文字の認識

- ・ひらがな・カタカナの小文字がある文字は、記入枠の縦横約30%以下の大きさで書くと小文字と認識されます。記入枠の真ん中より下に書いてください。



- ・記入枠の縦横約50%以上の大きさで書くと、おおむね大文字と認識されます。
- ・30%～50%の大きさで書いた場合、直前に入力した文字により変わります。たとえば"フ"の後に"ア"を書くと小文字になります。

● 英字の認識

- ・英字の小文字は筆記体で書くと認識されやすくなります。



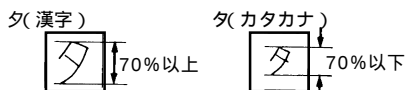
- ・大文字は筆記体では認識されません。ブロック体で書いてください。

● よく似たひらがな・カタカナ (へ、べ、ぺ、り)の認識

- ・これらの文字は、通常ひらがなと認識されます。ただし、"べ" "ぺ" "り"は直前に入力した文字がカタカナの場合はカタカナと認識されます。
"へ"は常にひらがなと認識されます。

● 漢字とカタカナの認識

- 下表のように、漢字とカタカナで似ている文字は、記入枠の縦横約70%以上で書くと漢字と認識されます。



漢字	カタカナ
二	ニ
夕	夕
八	ハ
口	コ
工	エ
力	カ

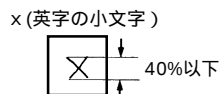
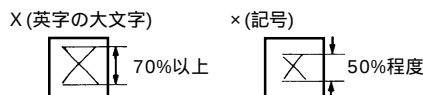
注: "ト"は常にカタカナと認識されます。

- 二を縦横約30%以下で書くと"ニ(記号)"になります。
- 50%～70%の大きさと書いた場合、直前で入力した文字がカタカナの場合はカタカナと認識され、それ以外は漢字と認識されます。なお、カタカナに小さい文字がある場合は、ひらがな・カタカナの小文字の認識と同様に認識されます。

● "X"(英大文字)と"x"(記号)

"x"(英小文字)の認識

- 記入枠の縦横約70%以上の大きさと書くと"X"(英大文字)と認識されます。
- 50%程度で書くと"x"(記号)と認識されます。
- 40%以下で書くと"x"(英小文字)と認識されます。



- 50%～70%で書くと、直前が数字の場合は"x"(記号)、その他の場合は"X"(英大文字)と認識されます。

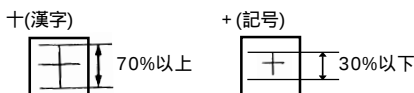
● "- "などの認識

- "-"などは、直前に入力した文字などにより、次のように認識されます。なお、下記以外のときは"-"(漢数字)と認識されます。

一(漢数字)	直前に漢字が入力されているとき
一(長音符)	直前にひらがな・カタカナが入力されているとき
-(マイナス)	直前に英字・数字が入力されているとき

● "十"(漢字)と"+"(記号)の認識

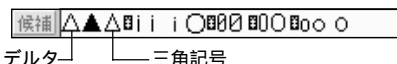
- 記入枠の縦横約70%以上の大きさと書くと"十"(漢字)と認識されます。
- 30%以下で書くと"+"(記号)と認識されます。



- 30%～70%で書くと、直前の入力が英字・数字の場合は"+(記号)"、その他の場合は"十(漢字)"と認識されます。

● Δ(デルタ)と(三角記号)の認識

- 小さく見えるのがデルタで、大きく見えるのが三角記号です。



● 1(数字の"イチ")と

1(英小文字の"エル")の認識

- 表示では同じに見えますが、初期状態で見えるのが数字の"イチ"です。



- (候補文字から選択した場合は、選択した文字が先頭に來ます。)

認識をまちがえやすい文字の一覧

認識には正しい筆順の情報が必要ですが、まちがえやすい筆順の文字についてはある程度の誤りでも認識するように配慮しています。

どうしても認識しない文字については、次の筆順を参考にしてください。

文字など	書き順	文字など	書き順
・(中点)	点を打つだけ	武 8 画	一 二 三 四 五 六 七 八 武 武
「	↓ (上から下へ1画で書く)	飛 9 画	一 二 三 四 五 六 七 八 九 飛 飛 飛
」	↓ (上から下へ1画で書く)	帯 10 画	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 帯 帯 帯
”	‘ ”	肅 11 画	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 肅 肅
→	一 →	淵 12 画	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 淵 淵
せ 3 画	一 十 せ	鼎 13 画	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 鼎 鼎
凸 5 画	一 二 三 四 五 凸 凸	龍 16 画	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 龍 龍
凹 5 画	一 二 三 四 五 凹 凹	禰 18 画	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 禰 禰

●その他の認識されにくい文字の書きかた

文字など	書き順	書きかた
α ゼロ)	0	縦に細長く
	0 Ø	/を入れる
α オー)	o	丸く
	o Ø	上に「をつける
α 漢数字)	o	横に細長く
7	一 7 ↓	少しそらす
ク	一 7 ↓	ふくらませる(横に長くすると"ワ"になる)
ア	一 7 ↓	最後をはらう
了	一 7 ↓	最後の左をはねる
丁	一 7 ↓	最後をまっすぐに止める
丁	一 7 ↓	最後を左にはねる
9	9 ↓	最後をまっすぐに
q	1 2 q	2画で書く
	q	筆記体で書く
(エル)	el	筆記体で書く
Ⅹ(アイ)	一 7 I	上下に「をつけて書く
ル	ル	1画で細長いループを描くように書く
#	一 二 三 #	縦の線を斜めに書く
τ	一 二 τ	一 と し を離し、2画目をひらがなの"し"のように書く
¢	c ¢	縦の線を45°程度に傾けて書く

文字など	書き順	書きかた
〒		縦の線をまっすぐに書く
Δ(デルタ)		縦長に書く。横に長く書くと三角記号" "になる
Φ		上下に-をつけて書く
Ψ		上下に-をつけて書く
ν		最初を左にそらし、最後はまっすぐに上に引く
〃		枠の上側で、右上から左下へ小さく書く
φ		○を小さく書く。/を長く書く
ψ		ν を ν のように書く。縦の線をまっすぐに書く
		ローマ数字の上下に-をつけて書く 、 は第1位に認識されません。
i ii iii iv v vi vii viii ix x		上の' を後から書く i、v、x は第1位に認識されません。

その他

●スペースの入力

スペースは次の記号で入力します。

文字など	書き順	書きかた
全角スペース		記入枠の横幅いっぱい、1画で書く
半角スペース		横幅を記入枠の60%程度で書く

第1位認識とその認識文字

手書認識ボードで入力できる文字や記号は「手書認識できる文字の表」(P.342ページ)に示しますが、第1位に認識されるものと、それらの候補としてのみ呼び出されるものがあります。また大きさや書き順、あるいは前に入力した文字によって認識される文字が変わることがあります。

●カタカナ

- ・全角の文字が第1位に認識され、半角のカタカナは認識候補として呼び出します。ただし、半角のカタカナの直後に同じ種類の文字を書いたときは、半角文字に認識されます。

●数字・英字・記号

- ・半角の数字・英字が第1位に認識され、全角の数字・英字は認識候補として呼び出されます。
- ・記号によって全角の記号が第1位に認識されるものと、半角の記号が第1位に認識されるものがあります。

- 次の文字や記号は、ほかの文字や記号の認識候補として呼び出されます。

文字・記号など	備 考
へ(カタカナ)	へ(ひらがな)の候補
ト(漢字)	ト(カタカナ)の候補
"	"(半角の")の候補
[	(の候補
]	)の候補
『	「の候補
』	」の候補
【	(の候補
】	)の候補
○	〇、〰(漢数字)の候補
●	〇、〰(漢数字)の候補
	の候補
■	□の候補
▲	の候補
▼	の候補
	の候補

- 次の文字や記号は手書き入力したとき、ほかの文字や記号が第1位に認識されます(または認識されやすくなります)。

文字・記号	第1位に認識されやすい文字・記号
`	`
"	"(半角の")
;	:
<	<
l(イオタ)	し
κ(カッパ)	k, K
o(オミクロン)	Q(英字)
v(ニュー)	u V
χ(カイ)	X
ω(オメガ)	W
(ローマ数字)	I(英字)
(ローマ数字)	区
i(ローマ数字)	ĩ(英字)
(ローマ数字)	V(英字)
(ローマ数字)	X(英字)
日(いわく)	日

略字入力による認識

次の表は漢字とその略字です。これらの文字は略字で書いても認識されます。

漢字	略字	漢字	略字	漢字	略字
第	𠂇	風	凡凡	機	𠂇
個	𠂇	質	質	喜	𠂇
職	𠂇	門	𠂇	層	𠂇
営	𠂇	働	𠂇	点	𠂇
様	𠂇	権	𠂇	前	𠂇
摩	𠂇	国	𠂇	来	𠂇
器	𠂇	電	𠂇	鮮	𠂇



- 国は口または口の候補として認識されます。

ローマ字→かな変換表

キーボード、タイプライターボード

あア行	A	I	U	E	O
かカ行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さサ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
たタ行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
なナ行	NA	NI	NU	NE	NO
はハ行	HA	HI	HU FU	HE	HO
まマ行	MA	MI	MU	ME	MO
やヤ行	YA		YU		YO
らラ行	RA	RI	RU	RE	RO
わワ行	WA XWA	WY(ゐ)		WY(ゑ) WQ(を)	
んン	N	NN	NX		

がガ行	GA	GI	GU	GE	GO
ざザ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だダ行	DA	DI	DU	DE	DO
ばバ行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱパ行	PA	PI	PU	PE	PO

きゃキャ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃシャ行	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃチャ行	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
にゃニャ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃヒャ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃミャ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃリャ行	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃギャ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃジャ行	ZYA JA JYA	ZYI JI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ぢゃヂャ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃビャ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃピャ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
いゑイエ行				YE	
くゎクヱ行	QA KWA	QI		QE	QO
くゎクヱ行		QWI	QWU	QWE	QWO
ぐゎグヱ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
つゎツヱ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃテャ行	THA	THI	THU	THE	THO
でゃデャ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ふゎフヱ行	FA	FI		FE	FO
ふゎフヱ行	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
うゐウヱ行		WI			
うゐウヱ行				WE	
とぅトウ行			TWU		
どぅドウ行			DWU		
ヴゎヴヱ行	VA	VI		VE	VO
			VYU		

●撥音(はつおん)の入力

- ・"ん、ン"の次に母音または"Y"がくるときや
"ん、ン"で終わるとき"N"の後に"X"を入力する
ほんやく→HONXYAKU(HONNYAKU)
はんい→HANX(HANNI)
ほん→HONX(HONN)
- ・上記以外るとき
ほんき→HONKI

●小さい文字(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、ケ、ツ、ヤ、ユ、ヨ、ワ)の単独入力

- ・"X"または"L"の次に、それぞれの文字を入力する。
ティータイム→TEXI-TAIMU トップ→TOXTUPU
- ・"カ"と"ケ"はカタカナで入力される。

●促音の入力

- "N"と"Y"以外の子音を重ねる
けっか→KEKKA
トップ→TOPPU

●特殊な表現の入力

- ヴゅ→VYU

付 録

付
録

手書認識できる文字の表

この製品では、ひらがな、カタカナ、英字、数字(0～9)の非漢字、およびJIS第1水準漢字(区点コード1600～4751)が手書認識できるほかに、このページ以降の漢字(JIS第2水準漢字の一部)記号を手書認識することができます。以下の第2水準の表はコード表の形式ではありません。ただし、手書認識できない記号等については344ページに区点コード表を掲載しております。

文字、記号、数字などのフォント(字形)は、実際に表示されるものと異なる場合がありますので、ご了承ください。

手書認識できるJIS第2水準漢字

この製品で手書認識ができる第2水準の漢字は次のとおりです。

丶	井	丿	豫	事	二	亞	人	仞	仍	佛	佇	侏	侑	儘	俎	倅	倅	俯
偕	傳	僥	僭	僭	僂	儿	兒	兢	冂	冤	冠	冪	冫	冽	涸	凜		
几	几	夙	鳳	凵	函	刀	刎	刹	剋	刺	剪	割	剝	力	勁			
勹	匈	匚	匳	匚	卮	厩	厠	厦	廐	又	曼							
口	吖	呵	咎	咍	呻	咀	咄	咬	咤	哭	哺	啖	唸	喀	咯	喘	喻	嗚
嘔	嘴	嘲	噪	噓	噓	嚙	嚼	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁
土	址	垠	埃	垓	垓	垓	垓	垓	垓	土	壹	壹	壽	夕	夕	夕	夕	夕
大	夭	奎	奘	奢	女	奸	佞	佞	姨	姜	婉	娶	媚	媚	媚	嬌	嬖	嬖
子	孕	孵	宀	冤	冠	寶	尸	屁	屎	屙	屏	山	屹	峙	崗	崑	崑	崑
崙	崙	崙	崙	崙	工	巫	已	已	厄	广	厦	廣	廐	廚	升	彝	彝	彝
弓	彌	彎	彎	彎	彗	彗	彗	彗	彗	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
悍	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞
戈	戛	戛	戛	戛	戸	扁	手	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
插	擲	揄	擲	搏	擊	撓	撓	撓	撓	撓	撓	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴
日	早	昊	昂	晏	皓	晨	晟	晰	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉
月	朦	朧	霸	木	杓	杞	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎	柎
楔	椰	榆	榮	槁	槩	榜	榴	樂	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅
櫻	欒	欒	欒	欠	歇	歹	殳	殳	殳	毛	毳	毫	毳	气	气	气	气	气
水	沐	泄	泗	汨	洽	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸
滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸	滸

火	炒	炯	炬	炸	杰	烙	焉	焜	焙	煥	熙	熙	煌	熏	燻	熨	爛	熾	燎	燧	燿
爛	爪	爬	爻	俎	牛	犁	犁	犬	豺	貉	狡	猯	猜	猥	猾	獾	獮	獯	獼	獼	獼
獨	玉	珈	珀	琅	瑯	琥	琲	瑕	璫	瑤	璧	瓏	瓊	玳	瓦	甕	甕	甕	甕	甕	甕
生	甞	田	疇	疇	疒	疣	疳	疳	疽	疽	疼	痠	痒	痠	痠	痠	痠	痠	痠	痠	痠
癭	癭	癭	白	皓	皮	皸	皸	皸	皿	盪	盪	目	眈	眩	眞	眈	眈	眈	眈	眈	眈
眸	睨	睛	睽	瞞	瞞	瞞	矢	矮	石	砌	砒	礪	礪	硅	磋	礫	礫	礫	礫	礫	礫
示	祓	禱	齋	禾	稟	稟	稻	穴	竈	竹	笙	筐	筍	筵	笈	筴	筴	筴	筴	筴	筴
箏	箏	箏	箏	籊	籊	籊	籊	米	糝	糝	糸	紆	絆	絨	絳	絳	絳	絳	絳	絳	絳
綸	緻	縻	縻	縻	縻	縻	缶	罐	网	罍	罍	羈	羈	羈	羈	羊	羴	羴	羴	羴	羴
羽	翔	老	耆	耳	聚	聰															
肉	肱	肚	肱	胥	肱	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛
臼	舅	舌	舍	舟	舡	舡															
艸	芻	苟	莓	茱	茗	茲	茹	茫	茗	莉	董	萌	萼	萬	莠	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼
薇	薔	藉	藏	虫	虱	蛉	蝸	蛛	蜀	蜃	蜃	蜻	蝗	螢	蟄	蟄	蟄	蟄	蟄	蟄	蟄
血	衄	衣	衾	衾	衾	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
言	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃
豸	豺	貉	貌	貌	貌	貌	貝	貪	賤	贅	贅	贓	贓	贓	贓	走	趙	趙	趙	趙	趙
足	跌	跛	跪	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	身	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠
車	軋	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒	輒
亾	迪	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇
酉	酏	酏	酏	金	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
門	門	閤	閤	閤	閤	閤	阜	阨	阨	阨	雨	電	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽
革	勒	鞋	鞏	韋	韋	韋	韭	齏	齏	音	竟	頁	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌
風	颯	飄	食	飩	飩	飩	飩	飩	飩	飩	飩	飩	飩	飩	馬	駝	駝	駝	駝	駝	駝
骨	髀	髀	髀	髀	髀	髀	鬼	魃	魚	鮫	鮫	鮫	鮫	鮫	鹿	麒	麥	麩	麩	麩	麩
鳥	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鹿	麒	麥	麩	麩	麩	麩
麻	靡	黍	黎	鼻	鼯	齒	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧

■ 記号等の区点コード表

● コード表の見かた

この表は、この製品で利用できる記号等を、区点コードで引けるようにしています。表の左の行はそれぞれの開始コードを、上の列は開始コードに加算するコードを表しています。

例:「Я」の場合

コード体系	行	列	行 + 列 = コード
区点体系	0732	1	0732 + 1 = 0733

表中の網かけの記号および網かけのギリシア文字は、手書認識ができます。

	区 点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
記 号	0100			、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	0116	^	-	—	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	0132	\	~			...											
	0148	{	}			《	》	「	」	『	』	【	】	+	-	±	×
	0164	÷	=	≠	<	>		∞		∅		°		′	″		¥
	0180	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§		○		●			
	0200		□	■		▲		▼		〒	→	←	↑	↓		＝	▲
	0216	▼															
	0232		∩														
	0248																∂
	0264		≡				√				∫						
	0280				% _{oo}			♪	†	‡	¶						
	0300		▶	◀											”	—	. 0
ギリ シア 文 字	0600		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O
	0616	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω	δ	ι	β	½	¼	¾	
	0632		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
	0648	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	ά	ή	ί	ί	ί	ί	ί
	0664	ά	ά	ά	ς	ς	ς	ς	ς	ς	ς	ς	ς	ς	ς	ς	ς
	0680	ί	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ	ϊ
ロ シ ア 文 字	0700		A	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
	0716	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
	0732	Ю	Я	ю	я	ю	я	ю	я	ю	я	ю	я	ю	я	ю	я
	0748		a	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
	0764	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	0780	ю	я														
記 号	0800		—		┌	┐	└	┘	└	┘	└	┘	└	┘	└	┘	└
	0816																
	0832																
	0848		大	小	品	時	分	秒	日	月	火	水	木	金	土	生	年
	0864	台	人	名	本	¥	円	明	治	正	昭	和		合	計	代	内
	0880	☎	—			┌	┐	└	┘	└	┘	└	┘	└	┘	└	┘
	4748					欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄
	4764	「	」	〔	〕			《	》	「	」	〔	〕	〔	〕	〔	〕
	4780	／		》	..	..	·	”	▶	·	·	·	·	·	·	·	·
	8500		丨	イ	リ	ヒ	ヨ	↑	→	↓	β	≡	≡	≡	≡	≡	≡

	区 点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
記 号	8516	𠂇	𠂈	𠂉	𠂊	𠂋	𠂌	𠂍	𠂎	𠂏	𠂐			𠂑	𠂒	●	○	
	8600			▶	0	・	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	8780						0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	8880									杭	シ	マ	機	マ	解	込		
	8900		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
	8916	⑯	⑰	⑱	⑲	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	I	
	8932	I	II	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	i	ii	iii	iv	v	
	8948	vi	vii	viii	ix	x	xi	xii										
9300		mg	g	kg	ml	l	cc	mm	cm	m	km	m ²	km ²	μs	ms	Hz		
絵 記 号	9316	☀	☁	☂	☃	☄	★	☆	☇	☈	☉	☊	☋	☌	☍	☎	☏	
	9332	☐	☑	☒	☓	☔	☕	☖	☗	☘	☙	☚	☛	☜	☝	♥	♦	
	9348	♠	♣	♤	♥	♦	♧	♨	♩	♪	♫	♬	♭	♮	♯	✱	◎	
	9364	☐	☑	☒	☓	☔	☕	☖	☗	☘	☙	☚	☛	☜	☝	♥	♦	
	9380	☐	☑	☒	☓	☔	☕	☖	☗	☘	☙	☚	☛	☜	☝	♥	♦	
	9400		☐	☑	☒	☓	☔	☕	☖	☗	☘	☙	☚	☛	☜	☝	♥	♦
	9416	☐	☑	☒	☓	☔	☕	☖	☗	☘	☙	☚	☛	☜	☝	♥	♦	
	9432	☐	☑	☒	☓	☔	☕	☖	☗	☘	☙	☚	☛	☜	☝	♥	♦	
9448	☐	☑	☒	☓	☔	☕	☖	☗	☘	☙	☚	☛	☜	☝	♥	♦		
9464	☐	☑	☒	☓	☔	☕	☖	☗	☘	☙	☚	☛	☜	☝	♥	♦		
9480	☐	☑	☒	☓	☔	☕	☖	☗	☘	☙	☚	☛	☜	☝	♥	♦		



- 区点コード表のうち、区点コードが

0215、0216、0301、0302、0312～0315

の文字と「記号」「絵記号」の欄の文字は、この製品特有の文字や記号なので、メール送信時やパソコンとのやり取りでは使用しないことをおすすめします。

手順作成用コマンドについて

手順作成用コマンドは、インターネット接続時、無手順で接続するときにPPPIに切り替わるまでの手順を作成するときに使用します。

記述のしかた

- ・コマンドの記述 半角英字の大文字、小文字どちらでもかまいません。
- ・文字列の記述 必ず「」で囲みます。
文字列中にコントロールコードを記述するときは、コントロールコードの前に「¥」を入れます。
 - ¥n ¥N 改行コード
 - ¥r ¥R Odh
 - ¥m ¥M Odh
 - ¥000 10進数3桁で任意の(コントロール)コード(001 ~ 255)
 - ¥I 設定されているID
 - ¥P 設定されているパスワード
 - ¥¥ 「¥」の文字
- ・ラベルの記述 文字列やコメントの中以外には、スペースを入れないください。
コマンド中で使用する「」、」、：、；は入れないください。
1コマンドラインの長さは最大255文字です。
- ・書式の記述 []部分は省略できます。

コマンドリファレンス

： コマンド

ラベルを定義します。R、J、Lコマンドでジャンプする位置を定義します。

書式 :ラベル
例 :ERROR
:MAIL
:END

S コマンド

指定された文字列を送信します。1行分を送信するときは、改行コードも含めてください。

書式 S:文字列
例 S: '¥P¥r '

R コマンド

指定された文字列を指定された時間だけ待ちます。指定の文字列を受信できない場合、ラベルが指定されているとラベルのコマンドへ進み、指定されていないときは次のコマンドへ進みます。

秒数は、0 ~ 255の値を指定できます。

書式 R:秒数 ,文字列[,ラベル]
例 R:15 , 'word '

15秒間 word を待ち、受信したらすぐに次のコマンドへ進み、受信しなくても15秒後に次のコマンドに進みます。

R:15 , 'word ' ,ER0

15秒間 word を待ち、受信したらすぐに次のコマンドへ進み、受信しないときは15秒後にER0のラベルのコマンド行に進みます。

W コマンド

指定された時間停止します。秒数は、0～255の値を指定できます。

書式 W:秒数

例 W:20

L コマンド

指定されたラベルに無条件にジャンプします。

書式 L:ラベル

例 L:ERR

J コマンド

指定した文字列を受信したときに、指定したラベルにジャンプします。指定した文字列を受信できないときは、次のコマンドへ進みます。分岐数は10以内です。

書式 J:秒数,文字列,ラベル[,文字列,ラベル;文字列,ラベル...]

例 J:10,'SHARP',L1;'ZAURU S',L2

' コマンド

指定した文字列をコメントとして扱います。ほかのコマンドと異なり、「:」は必要ありません。文字列を'で囲む必要はありません。

書式 '文字列

例 'パスワード送信

P コマンド

指定した時間ウィンドウを開き、指定した文字列を表示します。秒数は、0～255の値を指定できます。

¥rで表示を改行します。

書式 P:秒数,文字列

例 P:3,'エラー '

P:10,'エラーです¥r最初からやり直してください '

O コマンド

通信途中でも強制的に回線を切断し、インターネットトップ画面に戻ります。

書式 O:

E コマンド

手順を終了します。

スクリプトファイルの終了では、自動的に「E」コマンドが実行されます。

n=0ならば、手順を終了し、通信画面に移ります。

n=1ならば、手順を終了し、エラー表示します。

書式 E:[n]



- ¥n、¥Nが使用できない場合は、¥r、¥Rあるいは¥013¥010をお使いください。

仕 様

形 名	MI-E1	
品 名	パーソナルモバイルツール	
C P U	32 ビット RISC	
本体メモリー	16MB(DRAM 8MB、フラッシュメモリー8MB) ユーザーエリア：約 7MB(フラッシュメモリー) ご購入時の空き容量は約 3.6MB です(*)。	
表 示 部	240 × 320 ドット、3.5 型 65,536 色反射型 TFT カラー液晶(フロント ライト付き)	
使用文字種	総文字種：6,879 種 (JIS 第 1 水準漢字：2,965、 JIS 第 2 水準漢字：3,390、非漢字 524 文字)	
内蔵辞書	約 210,000 語 (人名・地名含む)	
手書認識文字種	4,082 種 (JIS 第 1 水準漢字：2,965、 JIS 第 2 水準漢字：722、非漢字 395) 注) ● ■等の塗りつぶし記号は、候補文字として認識	
1 データ当たりの 入力可能文字数	アドレス帳...	約600文字
	スケジュール...	約500文字
	メール	・メール本文の最大長...約32,000文字(約64KB) ・本文と添付を含めた場合の最大...約512KB
	アクションリスト...	約500文字
電 卓 時 計	インクワープロ (テキスト文字のみの場合)..	約20,000文字
	計算機能	10 桁 (加減乗除、定数、べき乗、パーセント、メモリー計算、概数など)
	時間制	12 時間制 / 24 時間制切り替え可能
	世界時計	基準都市の日付・時刻と、主要 239 都市の中の 1 都市 の日付・時刻を表示

(*) この製品の一部の機能がMOREソフトとしてユーザーエリアに入っています。容量の多い
MOREソフトやデータは、当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリー
カード、マルチメディアカード (MMC) でメモリーを拡張してからご利用ください。



- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素
がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あら
かじめご了承ください。

表示フォントについて



(LCロゴマーク)

この製品では、当社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計し
たLCフォントが搭載されています(ただし、電卓やカレンダーなど一部
LCフォントでないものもあります)。

LCロゴマークはシャープ株式会社の商標です。

内蔵 PHS アダプター部

通信速度	64kbps*(実効伝送速度58.4kbps)32kbps(実効伝送速度29.2kbps) この通信速度は、PHS電話機、データカード型PHS、この製品およびシステムなどを含めた通信速度ではありません。
通信規格	PIAFS(PHSインターネットアクセスフォーラム標準 2.0/2.1版準拠
制御コマンド	ATコマンド

* NTTドコモとDDIポケットの64Kデータ通信に対応

内蔵デジタル携帯電話アダプター部

通信速度	9600bps この通信速度は、デジタル携帯電話、この製品およびシステムを含めた通信速度ではありません。
通信規格	RCR STD-27 V.42bis準拠
制御コマンド	ATコマンド

内蔵 cdmaOne アダプター部

通信速度	64kbps/14.4kbps/9600bps 64kbpsは、パケット通信を行うときにのみ有効です。また、これらの通信速度は、cdmaOne方式のデジタル携帯電話、この製品およびシステムを含めた通信速度ではありません。
制御コマンド	ATコマンド

ミュージックプレーヤー

再生ファイル形式	MP3
再生可能ビットレート	8～320kbps
再生可能サンプリング周波数	22.05kHz、44.1kHz(MP3)
イコライザー	プリセットまたはバス/トレブル独立設定可能
ボリューム	電子ボリューム(10段階)

ムービープレーヤー

再生ファイル形式	ASF(動画:MPEG-4準拠、音声:G726準拠)
ボリューム	電子ボリューム(10段階)

- ASFについて

Portions utilize Microsoft Windows Media Technologies.

Copyright© 1999-2000 Microsoft Corporation. All Rights Reserved.

共通部

電 源	DC3.6V 充電電池：リチウムイオン充電電池（AD-T51BT）		
使用時間	●フロントライト消灯時 約 10 時間 （カレンダー画面を連続的に表示させた場合） 約 7 時間 （1 時間当たり、検索(呼び出し)を 5 分間、表示状態を 55 分間の割合で連続的に行った場合） 約 3 時間 40 分（PHS 電話機^(＊1)と CE-PT1/CE-PT2/CE-PT3/CE-DL1 を使用してデータ通信(送受信)を連続的に行った場合） 約 4 時間 10 分（デジタル携帯電話^(＊2)と CE-CT1/CE-DT1/CE-DL1 を使用してデータ通信(送受信)を連続的に行った場合） 約 2 時間 （P-in Comp@ct(NTT ドコモ製)を使用してデータ通信(送受信)を連続的に行った場合） ＊ 1： PHS 電話機には、ドッチーモ(PHS として使用した場合)を含む ＊ 2： デジタル携帯電話には、cdmaOne 方式のデジタル携帯電話、ドッチーモ(携帯電話として使用した場合)を含む （＊ CE-CT1 や CE-PT2 などのケーブル/アダプターと接続できる電話機については『取扱説明書(通信ガイド)』をご覧ください。） 約 2 時間 （デジタルカメラカード(CE-AG06)で連続的に撮影した場合） 約 2 時間 （ミュージックプレーヤーで MP3 データを連続的に再生した場合、アニメーション表示 ON） 約 2 時間 30 分（ミュージックプレーヤーで MP3 データを連続的に再生した場合、カレンダー表示(ミュージックプレーヤー画面は隠す)） 約 1 時間 40 分（ムービープレーヤーで MPEG-4 データを連続的に再生した場合） ●フロントライト点灯時 明るさを「最小」に設定したとき 明るさを「最大」に設定したとき 約 4 時間 / 約 75 分(カレンダー画面を連続的に表示させた場合) 約 85 分 / 約 45 分(ムービープレーヤーで MPEG-4 データを連続的に再生した場合) (注) ・上記の数字は、いずれも使用温度が 25 ℃ で、充電電池（AD-T51BT）が満充電のときのものです。 ・使用時間は、周囲の温度などの使用条件によって変わります。		
消費電力	3.3W	使用温度	0 ～ 40
外形寸法	液晶保護カバー取り外し時：幅約 81.5mm × 奥行約 139.5mm × 厚さ約 17mm(突起部を除く) 液晶保護カバー取り付け時：幅約 81.5mm × 奥行約 139.5mm × 厚さ約 20mm(突起部を除く) (いずれもスライド式キーボードを閉じたとき)		
質 量	液晶保護カバー取り外し時： 約 200g 液晶保護カバー取り付け時： 約 220g (タッチペン、保護カード、充電電池を含む)		
付 属 品	充電電池 AD-T51BT 1 個、AC アダプター(EA-68)、タッチペン(本体装着)、液晶保護カバー(本体装着)、保護カード(本体装着)、はじめにお読みください、インターネットかんたん接続設定、取扱説明書(基本編)、取扱説明書(通信ガイド)、取扱説明書(AV ガイド)、Sharp Space Town ご入会の手引き、ソフトコレクション CD-ROM、ソフトコレクション CD-ROM について、ポストマガジンクラブ、お客様ご相談窓口のご案内、MI-E1 システムのご案内、保証書		

＊保護カードは、インターネットスロット用のみです。

その他の機能、端子

光通信機能	IrDA 方式 (115kbps、IrTran-P 対応) 通信可能距離 : 約 20 cm以下 (本体側面を平行に向かい合わせ、光通信端子を直面させて通信する場合。表記の通信可能距離は、相手の機種により短くなる場合があります。)
接続端子種類	オプションポート 16 (16 ピン端子) AC アダプター端子 ステレオヘッドホン端子 (Φ 3.5 mm)
カードスロット	コンパクトフラッシュ ^{TM(*1)} Type /Type 対応 × 1 SD ^(*2) × 1

*1: コンパクトフラッシュ(Compact Flash)はSanDisk Corporationの商標です。

*2:  SDロゴは商標です。

充電電池(AD-T51BT)

使用電池	リチウムイオン充電電池
外形寸法	長さ約 68 mm × 幅約 25 mm × 高さ約 6.5 mm
質 量	約 30 g
公称電圧	DC3.6V
公称容量	800mAh
充電時間	満充電になるまでの時間(常温 25 °Cでの目安) 約 3 時間
使用温度	0 ~ 40
充電温度	5 ~ 35
充放電回数	約 300 回

AC アダプター (EA-68)

入 力	100V 50/60Hz
出 力	DC5V 800mA
外形寸法	幅約 50 mm × 奥行約 41 mm × 高さ約 72 mm
質 量	約 300 g
コード長	約 1.9 m

記憶できるデータ数のめやす

(それぞれの機能単独で、本体メモリー領域をすべて使用した場合(この製品にあらかじめ入っているMOREソフトなどはすべて削除した状態)記載の数字は条件によって変わります。)

アドレス帳

顔写真なし	約22,600件
顔写真あり	約 1,700件

(ご注意) 同じ機能(アドレス帳やスケジュールなどの単位)のデータ登録件数が約5000件を超えると、データの並べ替えや絞り込みの処理時間、データ通信時間が非常に長くなります。同一機能へのデータ登録件数は約5000件までにすることをおすすめします。

撮影枚数

撮影モード	枚 数
「大VGA (640 × 480 ドット) ノーマル	約180枚
” ファイン	約 75枚

被写体によって変動します。

さくいん

記号・その他

キー	23、44
(?) () キー	76
(X) スクロールキー	23、42、61
(⇧) シフトキー	77、78、97
1日表示	143
16ピン端子	23
50音ボード	100
ACアダプター	32、329
ACアダプタージャック	23
AD-T51BT	329
Arcstar internetFAX	363
Caps	78、81
CE-150TS	284
CE-155TS	284
CE-170TS	284
CE-175TU	284
CE-400L	307
CE-HA15	284、307
CE-PCK1	284
CFメモリーカード	251
GIF形式	184、312
IrDA方式	284、295
IrTran-P	304
JPEG形式	184、312
MOREインデックス画面	41
MOREソフト	201
MOREドライバー	207
PC受信箱	292
PC送信箱	291
PCリンク	283
(PCリンクスタート) キー	23、43、285
PIシリーズ以外からのデータ移行	319
PIシリーズからのデータ移行	316
PIシリーズザウルス	300
PowerPIMMリンク	285
Powerリンク	285
RS-232C接続用ケーブル	284
SDメモリーカード	251、269
USB接続ケーブル	284
VE-LC2	304

VP-EC2	304
--------	-----

あ行

アイコン	53
アクションプランナー	226
アクションリスト	161
アクションリストデータの表示/非表示	152
アドレス帳	109
アラート音	247
アラーム音	159、247
異体字変換	235
一時解除	
シークレット	259
スケジュールアラーム	159
全機能ロック	264
移動	
1データ	240
アイコン	49
アクションリスト	163
カーソル	84
各機能間	241
情報ファイル	216、221、223
スケジュール	148
つまみ	57
範囲データ	174
ブロック	196
文字列	239
インク文字ボード	103、191
インクワープロ	189
インクワープロ参照ボード	103
インクワープロ設定	198
インターネットスロット	24、267
インデックス	53、54
インデックス画面	33
インデックス設定	50
インポート	312
英字入力モード	78
液晶パッド	303
液晶保護カバー	23、26
エクスポート	314
エラー通知ランプ	23

エンターテインメントスロット	24、269
オートパワーオフ	246
オープニング音	247
オープニング画面	183
送り出し	314
お好みメニュー	59
オプションポート16	23、307
オリジナルインデックス画面	49
音訓変換	88、90
音訓	97

か行

カーソル移動ジェスチャー	194
カード	266
(カード) キー	23
カード設定	251
カードデータロック機能	274
カード複製	281
(改行) 採用 ⌘ キー	77、80、97
改行ジェスチャー	195
改行	97
開始日順	164
会社一覧	119
会社別個人一覧	119
会社名変更(アドレス帳)	136
解除	
カードデータロック機能	275
シークレット	260
スケジュールアラーム	160
全機能ロック	264
回転	175
顔切りだし	133
拡大表示	52
下線	196
画像効果	176
画像調整	176
カタ←→ひら変換	235
カタカナ入力モード	78
画面(表示部)	23
カラー	196
カレンダー	142

カレンダー開始曜日	152
漢字変換中の修正	89
キー操作一覧	364
キータッチ音	247
キーのはたらき	42
キーボード	76
期限日順	164
記号入力ボード	99
記念日	154
(機能) (カード) キー	23、44、271
(機能) キー(キーボード上)	77、78、97
機能別データ受信	323
機能別複製	281
(逆送り) キー	23、43、66
旧字体への変換	235
休日設定/解除	150
行間	175
切り替え	
インデックス画面	35
入力ボード	73
入力モード	78
切り取り	239
クイックメモ	185
区切り線	130
矩形切り出し	133
区点コード表	344
区点入力ボード	104
組み込み(MOREドライバー)	207
繰り返し(スケジュール)	147
グループ登録(メールアドレス)	127
クローズボタン	56
計算	211、242
携帯電話用メールアドレス	111
ケーブル通信	307
(決定) キー	23、43、64
検索	229
検索語	231
減色	176
効果音	247
後退	97
(後退) (取消/削除) ⌘ キー	76、84、97

候補メニュー	80
候補	94
項目数変更(アクションリスト)	165
コマンドリファレンス	346
コンタクト登録	122
コンパクトフラッシュメモリーカード	267

さ行

採用	97
ザウルス認証情報	287
ザウルスパワーコネクション	283
ザウルスパワーリンク	283
サウンド設定	247
作業用メモリー	255
削除	
MOREソフト	206
MOREドライバー	207
アドレス帳	121
記念日	157
クイックメモ	188
情報ファイル	224,225
スケジュール	146
データ	244
パソコンデータ	315
範囲データ	174
フォトメモリー	171
ブロック	193,195
文字(インクワープロ)	193,195
削除	97
削除ジェスチャー	195
サマータイム	210
参照用データ	225
シークレット	257
シークレットデータ	259
シークレットデータ検索	231
シークレットデータ消去	256
ジェスチャー	194
ジェスチャー設定	198
時刻スタンプ	238
時刻設定	209
システム設定画面	39

自動節電機能	30, 246
時報	247
絞り込み	229
アドレス帳	233
情報ファイル	219
スケジュール	233
週間グラフ	145
週間表示	144
修正	
アドレス帳	121
会社名変更(アドレス帳)	136
漢字変換中の修正	89
クイックメモ	188
携帯電話用メールアドレス	113
データ	244
入力行での修正	84
入力項目での修正	85
フォトメモリー	171
充電	329
充電池	
交換手順	335
充電時期	328
使用できる充電池	332
充電ランプ	23
重要度順	164
縮小表示	178
縮小待ち時間	198
順送りキー	23, 43, 66
条件設定(オプションポート16)	308
省電力設定	246
情報ファイル	213
常用語ボード	104
使用量	253
除外	
クイックメモ	188
情報ファイル	222
初期化	326
所有者情報	105
処理済み	163
新規作成	
アクションリスト	161

アドレス帳	110
クイックメモ	185
情報ファイル	214
スケジュール	138
フォトメモリー	167
シンクロナイズ	288
数字入力ボード	98
数字入力モード	78
スクロールアイコン	55
スクロールバー	53、55
スクロールボール	55
スケジュール	137
スケジュールアラーム	158
スタンプ	173
ステータス表示	58
ステレオヘッドホンジャック	24
スペース挿入ジェスチャー	195
スライド式キーボード	23、27、67
スライドショー	179
清書	197
清書機能設定	200
(全/半)(Caps)キー	77、81
全角←→半角変換	236
全機能ロック	262
前候補	77、82
前候	97
選択	61
全データ受信	320
全データ消去	256
(操作メニュー)()キー	23、44

た 行

タイトル入力(フォトメモリー)	169
タイトル変更(情報ファイル)	224
タイプライターボード	101
タッチパネル調整	248
タッチペン	24、28
タブ	53、54
切り替え	63
断片化	255
チェックリスト	135

中止	94
抽出	226
(中断) キー	23、44
通信範囲	305
ツールパレット設定	249
つまみ	57
停止(MOREソフト)	205
デイリーアラーム	210
デイリーアラーム音	247
データ圧縮率	198
データ異常	325
データ交換	293
データ通信画面	40
データの選択	57
データ編集	235
手書き	167、189
手書認識できる文字	342
手書認識の詳細	336
手書認識ボード	91
テキスト形式	312
テキスト文字	197
出口案内	182
デジタルカメラ(撮影枚数)	352
手順作成用コマンド	346
展開	204
(電源) キー	23、43
電源の入/切	29
電卓	211、242
電池交換スイッチ	24
電池ふた	24
電話する	131
電話帳(会社)一覧	118
電話帳(自宅)一覧	117
同音語学習機能	83
登録	
情報ファイル	215
パスワード	257
登録	94
時計	208
(閉じる) ボタン	56
取り付け/取り外し	
SDメモリーカード	269、270

コンパクトフラッシュメモリーカード ...	267、268
マルチメディアカード(MMC) ...	269、270
取り外し(MOREドライブ)	207

な行

なぞってキーワード検索	234
なぞる	57
ナビゲーション	69
入力	
キーボード	79
検索語	231
時刻	238
日付	238
文字(フォトメモリー)	175
入力	97
入力 (登録)キー	76、80、97
入力行での修正	84
入力項目での修正	85
入力ボード	70
入力モード	78
認識	94
年月日指定	149

は行

背景色	173
パスワード	257
カードデータロック機能	274
パスワード変更/消去	265
パソコンデータ	311
パソコンリンク	289
パソコン連携キット	283
バックアップ	273、278
パネル	23
貼り込み	239
半角	81
反転	175
ハンドストラップ取り付け部	24
光通信	284、295
光通信端子	24
日付スタンプ	238
日付変更(フォトメモリー)	169

描画色	173
表示	
アドレス帳	116
インクワープロ	192
記念日	156
クイックメモ	187
コンタクト履歴	124
情報ファイル	217、220
スケジュール	142
フォトメモリー	170
表示項目変更	130、165
表示幅変更	130
表示変更(カレンダー開始曜日)	152
ひら ↔ カタ変換	235
ひらがな入力モード	78
ファイル	213
フォトメモリー	166
複写	
1データ	240
各機能間	241
スケジュール	148
範囲データ	174
ブロック	196
文字列	239
複製	
1データ	241
情報ファイル	222、223
フルスクリーン表示	178
プログラム異常	324
ブロック	193
フロントライト	31、44
フロントライト/省電力設定	246
文節区切り変換	87
ページめくり	56
変換	
異体字変換	235
音訓変換	88、90
旧字体への変換	235
全角 ↔ 半角変換	236
ひら ↔ カタ変換	235
文節区切り変換	87

郵便番号逆変換	238
郵便番号変換	237
連文節変換	86
ローマ字かな変換	79
変換(前候補/音訓/スペース)キー .. 77、80、88、97	
変換	97
編集(インデックス画面)	47
ホームインデックス1画面	37
ホームインデックス2画面	38
ホームインデックス)キー	23、35、44
保管	277
ポスマガビューア	373
ボタン	54、63
クローズボタン	56
音訓	97
改行	97
後退	97
候補	94
採用	97
削除	97
前候	97
中止	94
登録	94
入力	97
認識	94
変換	97
ポップアップメニュー	55

ま行

マルチメディアカード(MMC)	251、269
未処理	162
メールアドレス	125
メールチェック(PCリンクスタート)キー .. 23、43、285	
メール着信通知設定	250
メール着信ランプ	23
メールアドレスの表示/非表示	153
メッセージナビ	69
メモリー拡張	271
メモリー管理	252
メモリー計算	212
メモリー整理	255

文字切替(記号)キー	77、81
文字挿入(インクワープロ)	194
文字入力	70
戻る(電源)キー	23、43、66

や行

ユーザー設定	245
郵便番号逆変換	129、238
郵便番号変換	115、128、237
容量	253
呼び出しキー	23
読み検索ボード	117
読み込み	
MOREソフト	202
パソコンデータ	312

ら行

リストア	279
リセット操作	325
領域指定ジェスチャー	194
履歴	124
連文節変換	86
ローマ字→かな変換表	341
ローマ字かな変換	79
路線図(地下鉄)	182

わ行

ワープロ通信	309
--------------	-----

アフターサービスについて

保証について

1. この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入の日から1年間です。
保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は……
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

1. 「困ったときは」(☞次ページ)をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
2. それでも異常があるときは使用をやめて、ご購入の販売店に「お持込み」のうえ、修理をお申し付けください。ご自分での修理はしないでください。
3. アフターサービスについてわからないことは……
ご購入の販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのシャープお客様ご相談窓口へお申し付けください。別添の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

困ったときは

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、前ページの「アフターサービスについて」をご覧くださいのうえ修理を依頼してください。

こんなとき	ここをお確かめください
● (戻る) (電源) キーを押しても何も表示されない (電源が入らない) ● 画面が明るくなるだけで文字などが表示されない	● 電池ぶたを取り付け、電池交換スイッチは「ロック(使用時)」側になっていますか(☞326ページ)。 ● 充電電池が消耗していませんか(☞328ページ)。 ● リセット操作を行ってください(☞325ページ)。
表示が暗い	● フロントライトの明るさを調整してください(☞246ページ)。
● すべてのキーが動かない ● データを正常に表示しない	● 「異常が起きたとき」の操作をよく読んでリセット操作を行ってください(☞324、325ページ)。
フロントライトが、点灯しているかどうかわからない	● 明るい場所では、フロントライトが点灯しているかどうか、わかりにくい場合があります。フロントライトを確実に消したいときは、暗いところに移動して確認してください。
画面に虹色の模様がでる	● 太陽が出ている日中の屋外などでこの製品をご使用になると、画面に虹色の模様が出る場合がありますが、これはディスプレイ部の偏光板と反射板との間でR (赤) R (青) G (緑) の画素ピッチを通過した光が干渉を起こして虹が見えるためであり、故障ではありません。
「メモリーがたりません」や「メモリーが不足しています」と表示される	● メモリー上の空きエリアの断片化が進んでいることが考えられます。(ホームインデックス) キーを数回押し、システム設定画面で「メモリー管理」アイコンを選択し、「メモリー整理」にタッチしてメモリー整理を行ってください。 ● 不要なデータを削除し、メモリー整理を行ってください。 ● 不要なデータを削除したり、メモリー整理を行っても「メモリーがたりません」などと表示されるときは、作業用メモリーの断片化が進んでいることが考えられます。「異常が起きたとき」の操作をよく読んでリセット操作を行ってください(☞325ページ)。
「作業用メモリーがたりません」などと表示される	● 起動しているMOREソフトを停止して作業用メモリーを空けてください(☞205ページ)。 ● リセット操作をしてみてください(☞325ページ)。

こんなとき	ここをお確かめください
充電ランプが点灯しない	● 充電電池の⊕ ⊖ の方向は正しいですか。 ● 電池ぶたを取り付け、電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にしていますか。 ● 指定のACアダプターは正しく接続されていますか。
充電したが本体の電源が入らない あるいは、充電開始後約3時間以上が経過しても充電ランプが消灯しない	● 長期間使用しなかったときなど充電電池が過放電の状態になっている場合には、充電開始後数分経っても本体の電源が入らなかったり、約3時間以上充電しても充電ランプが消灯しなかったりすることがあります。そのときには、リセット操作をしてください。リセット操作については、325ページをご覧ください。
ACアダプターを接続しているのに、動画を再生していると、充電電池が充電されない	● コンセントの電源電圧が低い場合、フロントライトの明るさを「最大」にして動画データを再生したりすると、ACアダプターを接続していても充電電池が消耗することがあります。このような場合は、フロントライトの明るさを下げてください。
「充電電池の残量が少ないためこの機能は実行できません…」と表示される	● 充電電池の残量が少なくなると、通信やカードへのデータの複製や保存、メモリー整理など一部の機能が使えなくなります。充電電池を充電してください。
スケジュールアラームを設定したが、アラームが鳴らない	● (ホームインデックス)キーを数回押し、システム設定画面で「ユーザー設定」アイコン、「サウンド設定」を選択し「アラーム音」の「入」にタッチしてください。
「シュルシュル」という音がする	● 静かな場所でご使用のとき、「シュルシュル」という音が聞こえる場合がありますが、これは構成回路の動作音であり、故障ではありません。
キーを押しても音が鳴らない	● (ホームインデックス)キーを数回押し、システム設定画面で「ユーザー設定」アイコン、「サウンド設定」を選択し「キータッチ音」の「入」にタッチしてください。
急に電源が切れた	● 自動節電機能(オートパワーオフ)が働くと電源が切れます(☞246ページ)。 ● 充電電池が消耗すると、電源が切れます。ACアダプターを使って充電してください(☞329ページ)。 ● 強い静電気や電氣的なノイズなどを受けたときに、電源が切れることがあります。 ● 作業用メモリーの断片化が進むと、電源が切れることがあります。再度電源を入れると、作業用メモリーの断片化が解消され、使用することができます。このとき、時刻設定画面が表示されますので、(決定)キーを押してください。

こんなとき	ここをお確かめください
〔戻る〕(電源)キーを押すと、1、2秒間隔で電源が入りそうになるが、入らない	● 充電電池が消耗しています。ACアダプターを使って充電電池を充電してください。
フロントライトを点灯して操作していると、画面にタッチしたときに画面が少し暗くなる	● 故障ではありません。フロントライトの「明るさ」を「最大」より一段低い設定にすると(☞246ページ)、明るさの変化が目立たなくなります。
ランプが消えない	● 緑色のランプ(メール着信ランプ)が点灯している場合、未読のメールがあることを示します。ホームインデックス1画面で〔メール〕アイコン、メールトップ画面の〔読む〕アイコンを選択し、未読のメールを確認すると、ランプは消えます。 ● オレンジ色のランプ(エラー通知ランプ)が点灯している場合、メールの送信/受信に失敗したことを示します。もう一度、メールの送信/受信をやり直してください。正しく送信/受信できると、ランプは消えます。 または、「ユーザー設定」のメール着信通知設定画面(☞250ページ)で「点灯中のエラー通知ランプを消す」の〔実行〕にタッチするとランプは消えます。
〔機能〕(カード)キーをしばらく押してもカードメモリーに切り替わらない	● 装着しているカードと「カード設定」で指定しているカードが違っている可能性があります(たとえば、この製品にコンパクトフラッシュメモリーカードを装着して、「カード設定」で〔SDメモリーカード〕を指定している場合など)。「ユーザー設定」の「カード設定」(☞251ページ)をご覧ください。

- 「データの登録、一覧表示や画面の切り替わりが遅い」「ほかの画面から戻ってきたとき、前の状態に戻らない」「検索や絞り込みができない」「各種の一覧表示ができない」「複写や貼り込みなどができない」「全角→半角変換やひらがな→カタカナ変換ができない」「その他、一部の機能が働かない」などのときは、本体またはカードのメモリーの空き容量が足りません。不要なデータを削除し、〔ホームインデックス〕キーを数回押し、システム設定画面で〔メモリー管理〕アイコンを選択し、〔メモリー整理〕にタッチしてメモリー整理を行ってください(☞255ページ)。

● 光通信をしているときに

こんなとき	ここをお確かめください
光通信ができない	● 距離は約20cm以下になっていますか(295ページ)。 ● お互いの光通信端子(送受信部)がまっすぐに向き合っていますか。 ● 受信側を受信状態にした後、送信側からデータを送っていますか。 ● 光通信機能の選択は送信側、受信側とも同じですか。 相手機によっては1データのための光通信と複数データの光通信では、機能が違うことがあります。通信方法を合わせてください(297ページ)。 ● 相手機がPI-8000などのPIシリーズザウルスではありませんか。この製品では、PIシリーズザウルスの光通信方法(ASK方式)は使用できません。 ● 相手機が「光送信」、「光受信」キーを使っていませんか。この製品と光通信するときは、MI-P10、ザウルスMI-C1シリーズ、MI-EX1では「操作メニュー」キー、「通信」タブ、「光通信...」、MI-J1、MI-P1/MI-P2シリーズではオリジナル画面で「光通信」、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-10ではザウルス通信の「光」、MI-310では通信メニューの「光通信」にタッチして行います。

Arcstar internetFAX(旧称テガルス)を使ってFAX送信する

NTTコミュニケーションズ(株)が提供している「Arcstar internetFAX」を使って、この製品から相手先のファクシミリにインターネットメールの本文などを送信することができます。

なお、「Arcstar internetFAX」のサービスを利用するには、申し込みが必要です。Sharp Space Townのホームページから申し込むことができます(URL: <http://www.zaaurusworld.ne.jp>)。

「Arcstar internetFAX」のサービス内容やご利用料金、サービスへの申し込みについては、Sharp Space Townのホームページをご覧ください。

(2000年11月現在)

付 録

付
録

キー操作一覧

下記の一覧のように各画面でキーボードを使って操作することができます。
一覧での表記は、次のようになります。

● キー操作の表記

表 記	操 作
(機能)キー + …	(機能)キーを押した後、…キーを押す
⇧キー + …	⇧キーを押したまま…キーを押す

キー操作は、画面によって異なります。下記一覧以外の画面では、同様の操作はできません。
(戻る)キーは、一覧画面やホームインデックス1画面などに切り替えます。また、[閉じる]や
[X] クローズボタン)が表示された画面では画面を閉じたり、[中止]が表示された画面では
操作を中止します。各画面で同じような働きをするので、このキー操作一覧には記載して
いません。くわしい(戻る)キーの使いかたは、43、66ページをご覧ください。

新規作成・修正画面での(スクロールキー)を使ったカーソル移動については、このキー
操作一覧では記載していません。くわしい(スクロールキー)の使いかたは、61ページを
ご覧ください。

その他各キーの使いかたは、「キーボードの基本操作」(76ページ)をご覧ください。

各機能共通

● インデックス画面(61、64ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
(アイコン)	アイコンを選択する
(決定)キー	選択したアイコンを実行する

● 操作メニュー(45ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
(操作メニュー)キー	操作メニューを表示する、操作メニューのタブを切り替える
左右の(アイコン)	タブを切り替える
上下の(アイコン)	項目を選択する
(決定)キー	選択した項目を実行する

● ポップアップメニュー(➡55ページ) お好みメニュー(➡59ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
上下の 	項目を選択する(縦画面)
左右の 	項目を選択する(横画面)
 決定 キー	選択した項目を実行する

メール

画面の参照先は、『取扱説明書(通信ガイド)』です。

●メール トップ画面(☞「通信ガイド」41ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
	作る アイコン ~ 読む アイコンを選択する
決定 キー	選択した機能を実行する

●送信簿・受信簿のリスト画面(☞「通信ガイド」49、154ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
上下の 	リストの選択データを変える
左右の 	送信簿 タブ、 受信簿 タブを切り替える / 送信簿 タブ、 受信簿 タブ
逆送り キー / 順送り キー	画面をスクロールする
決定 キー	選択データを表示する / 〈詳細へ
機能 キー + 後退 削除 キー	選択データを削除する
機能 キー + (N) キー	新規メールを作成する

●受信簿の詳細表示画面(☞「通信ガイド」49ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
上下の 	本文をスクロールする スクロールする本文がないときは、前後のデータを表示する
決定 キー	自動スクロールを開始・終了する
左右の 	自動スクロール中の速度を調整する
逆送り キー / 順送り キー	前後のデータ呼び出す
機能 キー + 決定 キー	返信する / 返事
機能 キー + 後退 削除 キー	表示データを削除する
機能 キー + (B) キー	添付データを表示する / 添付表示
機能 キー + (N) キー	新規メールを作成する

● 送信簿の詳細表示画面(☞「通信ガイド」46ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
上下の $\odot$	本文をスクロールする スクロールする本文がないときは、前後のデータを表示する
(決定)キー	自動スクロールを開始・終了する
左右の $\odot$	自動スクロール中の速度を調整する
(逆送り)キー / (順送り)キー	前後のデータを呼び出す
(機能)キー + (決定)キー	メールを送信する / 送る
(機能)キー + (B)キー	添付データを表示する / 添付表示
(機能)キー + (M)キー	データを修正する / 直す
(機能)キー + (N)キー	新規メールを作成する

● 新規作成画面、修正画面(☞「通信ガイド」42ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
(入力)キー	下の項目にカーソルを移動する
(↑)キー + (入力)キー	宛先を選択する(「タイトル」にカーソルがあるとき) / 宛先入力 「タイトル」にカーソルを移動する(本文にカーソルがあるとき)
(機能)キー + (入力)(登録)キー	登録する / 登録

- メール宛先選択画面の「アドレス帳から選択」タブ(「通信ガイド」42ページ)、お知らせメール設定画面の「アドレス帳から選択」タブ(「通信ガイド」148ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
上下の $\odot$	アドレス帳のデータを選択する
左右の $\odot$	アドレス帳のインデックスを切り替える
(逆送り)キー / (順送り)キー	アドレス帳のデータをページめくりする
(決定)キー	選択したアドレス帳のデータを宛先にする
(機能)キー + (決定)キー	宛先の設定を完了する / 「宛先設定完了」(メール宛先選択画面) お知らせメールの宛先を設定する / 「設定」(お知らせメール設定画面)
(↑)キー + 左右の $\odot$	「TO:」、「CC:」、「BCC:」を切り替える(メール宛先選択画面)
(↑)キー + 上下の $\odot$	画面上部の宛先選択リストの宛先を選択する(メール宛先選択画面)
(↑)キー + (逆送り)キー / (順送り)キー	画面上部の宛先選択リストの宛先をページ単位で逆送り、順送りする(メール宛先選択画面)
(↑)キー + (決定)キー	画面上部の宛先選択リストの宛先を確認する(メール宛先選択画面)
(機能)キー + 左右の $\odot$	「アドレス帳から選択」タブ、「直接入力」タブを切り替える
(A)キー	インデックスの「あ」に切り替える
(K)キー	インデックスの「か」に切り替える
(S)キー	インデックスの「さ」に切り替える
(T)キー	インデックスの「た」に切り替える
(N)キー	インデックスの「な」に切り替える
(H)キー	インデックスの「は」に切り替える
(M)キー	インデックスの「ま」に切り替える
(Y)キー	インデックスの「や」に切り替える
(R)キー	インデックスの「ら」に切り替える
(W)キー	インデックスの「わ」に切り替える
(↑)キー + (A)キー	インデックスの「abc」に切り替える
(↑)キー + (H)キー	インデックスの「他」に切り替える

- メール(宛先選択)画面の「直接入力」タブ(☞「通信ガイド」153ページ)お知らせメール設定画面の「直接入力」タブ

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
〔決定〕キー	宛先にする
〔機能〕キー + 〔決定〕キー	宛先の設定を完了する / 〔宛先設定完了〕(メール(宛先選択)画面) お知らせメールの宛先を設定する / 〔設定〕(お知らせメール設定画面)
〔機能〕キー + 〔後退〕(削除)キー	宛先から外す / 〔宛先から外す〕(メール(宛先選択)画面)
〔機能〕キー + 左右の⬅➡	〔アドレス帳から選択〕タブ、〔直接入力〕タブを切り替える
⬆➡キー + 左右の⬅➡	〔TO:〕、〔CC:〕、〔BCC:〕を切り替える(メール(宛先選択)画面)
⬆➡キー + 上下の⬆⬆	画面上部の宛先選択リストの宛先を選択する(メール(宛先選択)画面)
⬆➡キー + 〔逆送り〕キー / 〔順送り〕キー	画面上部の宛先選択リストの宛先をページめくりする(メール(宛先選択)画面)
⬆➡キー + 〔決定〕キー	画面上部の宛先選択リストの宛先を確認する

- 選択送信画面(☞「通信ガイド」144ページ) 選択受信画面(☞「通信ガイド」156ページ) 選択削除画面(☞「通信ガイド」155ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
上下の⬆⬆	メールを選択する
〔決定〕キー	選択したメールにチェックを入れる、チェックを外す
〔機能〕キー + 〔決定〕キー	選択したメールを送る / 〔送る〕(選択送信画面)

- メール条件設定画面(☞「通信ガイド」163ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
〔決定〕キー	条件を設定する / 〔設定〕

- 自動メール文章追加画面

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
〔機能〕キー + 〔入力〕(登録)キー	自動文章を登録する / 〔登録〕

● お知らせメールリスト画面(☞「通信ガイド」147ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
(機能)キー + (N)キー	新しいデータをリストに追加する / 追加
(決定)キー	選択したデータのお知らせメールの内容を表示する
上下の(⬆/⬇)キー	データを選択する
(機能)キー + (後退)削除 キー	リストから選択したデータを除外する / 除外

● 宛先ID/メールアドレス選択画面、メールアドレス選択画面(☞「通信ガイド」149ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
上下の(⬆/⬇)キー	メールアドレスを選択する
(決定)キー	選択したメールアドレスを宛先にする

● 添付データ画面(☞「通信ガイド」49ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
上下の(⬆/⬇)キー	前後の添付データを呼び出す
(逆送り)キー / (順送り)キー	
(機能)キー + (後退)削除 キー	表示データを添付から除外する / 除外 (送信メール) 表示データを削除する / 削除 (受信メール)
(機能)キー + (入力)登録 キー	表示データをフォトメモリーに登録する / 登録

● 分類条件設定(選択)画面(☞「通信ガイド」60ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
(機能)キー + (N)キー	新しい分類条件を作成する / 新規作成
(機能)キー + (M)キー	選択した分類条件を修正する / 修正
(機能)キー + (後退)削除 キー	選択した分類条件を削除する / 削除
上下の(⬆/⬇)キー	分類条件を選択する
(決定)キー	選択した分類条件にチェックを入れる、チェックを外す

● 分類条件設定画面(☞「通信ガイド」59ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
(機能)キー + (入力)登録 キー	分類条件を登録する / 登録
左右の(⬅/⬆)キー	左右にカーソルを移動する
(入力)キー	次の条件に移動する
(⬆)キー + (入力)キー	前の条件に移動する

● 分類条件設定のメールアドレス選択画面(☞「通信ガイド」63ページ)
タイトル選択画面

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
上下の $\odot$	メールアドレス、タイトルを選択する
(逆送り)キー / (順送り)キー	メールアドレス、タイトルをページめくりする
(決定)キー	選択したメールアドレス、タイトルを分類条件にする / 選択

● メール送付リスト画面(☞「通信ガイド」46ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
上下の $\odot$	添付するメールを選択する
(逆送り)キー / (順送り)キー	リストをページめくりする
(機能)キー + (N)キー	新しいメールを作成し添付する / 新規メールに添付
(決定)キー	選択したメールに添付する / 添付
左右の $\odot$	本体とカードを切り替える

● オートスクロール設定画面、表示設定画面(☞「通信ガイド」158ページ)

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
(決定)キー	設定する / 設定
(機能)キー + (決定)キー	

その他の機能

- 各機能(スケジュール、アドレス帳など)の一覧画面、詳細画面

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
(機能)キー + (N)キー	新規作成画面を表示する / 新規作成
(機能)キー + (M)キー	表示しているデータを修正画面にする / 修正
(機能)キー + (入力)登録キー	新規作成中、修正中のデータを登録する / 登録

- スケジュール、アドレス帳の一覧画面

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
(機能)キー + 左右の $\odot$	タブを切り替える

タブの切り替えは、操作メニューで変更できます(操作メニューの操作タブのスクロール設定で変更できます)。

- アクションリストの一覧画面

キー操作	画面の動き / 対応する画面のボタン
左右の $\odot$	タブを切り替える

補足説明

「ポスマガビューア」MOREソフトを利用する

この製品には、Sharp Space Townのメールマガジン配信サービス「ポストマガジンクラブ」から発行されるメールマガジンを便利に読める「ポスマガビューア」MOREソフトのデモ版が入っています（「ポストマガジンクラブ」については、くわしくは同梱のチラシ「ポストマガジンクラブ」をご覧ください）。

「ポスマガビューア」MOREソフトを実行するには、MOREインデックス画面を表示して、**「ポスマガビューア」**アイコンを選択し、**（決定）**キーを押します。使いかたについては、下記ホームページ（URL）をご覧ください。

このMOREソフトは、ポストマガジンの発行機能はありません。



- MOREインデックス画面には、「メール文章表示ツール」MOREソフトも表示されます。このMOREソフトは、「ポスマガビューア」MOREソフトでメールマガジンを読むときに必要なソフトで単独では動作しません。



- 「ポスマガビューア」MOREソフトをお使いいただくときのご注意
このMOREソフトは、基本的な動作確認を行っておりますが、十分な確認は完了していません。念のためにご利用前に本体メモリーに入っているデータのバックアップを必ず取ってください（バックアップについては、276ページをご覧ください）。

正式版につきましては、下記ホームページ（URL）で2001年1月中旬より提供予定です。

■「ポスマガビューア」MOREソフト正式版のダウンロード

（2001年1月中旬掲載予定）

http://pmag.spacetown.ne.jp/reader/zaurus_dl.html

また、「ポストマガジンクラブ」と「ポスマガビューア」MOREソフトの使いかたについては、下記ホームページ（URL）をご覧ください。

■イラストやマンガの楽しいメールマガジン「ポストマガジンクラブ」

<http://pmag.spacetown.ne.jp/>

■「ポスマガビューア」MOREソフトの使いかた

<http://pmag.spacetown.ne.jp/reader/zaurusplay.html>

：//ヤ-7%株式会社

本	社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号 電話 (06) 6621-1221(大代表)
通信システム事業本部		〒639-1186	奈良県大和郡山市美濃庄町492
モバイルシステム事業部			電話 (0743) 63-5521(大代表)